

第1部 調査概要

1. 調査の目的

高石市次世代育成支援行動計画策定にあたり、子育て家庭の実態と子育て支援ニーズをアンケート調査によって把握し、計画策定の基礎資料とするとともに、本市の子育て支援に対する考えを聞き、今後の施策展開の参考にすることを目的として実施した。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

対 象	内 容	対象者数
就学前児童	住民基本台帳の中から無作為に抽出した、平成20年4月2日現在で0歳～5歳のお子さんのいる世帯の保護者の方	1,213人
就学児童	住民基本台帳の中から無作為に抽出した平成20年4月2日現在で、6歳～11歳のお子さんのいる世帯の保護者の方	1,209人

(2) 調査方法及び調査時期

調査方法は郵送による配布、回収。

調査時期は、平成21年2月5日から3月11日まで。

3. 回収状況

調査の種類	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	1,213	725	59.8%
小学校児童	1,209	716	59.2%

4. 報告書を読む上での注意事項

- (1) グラフ中の「N」はその項目における回答者を合計した実数値であり、比率算出の基数となる。
- (2) 比率については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が0.05未満の場合には0.0で表している。また、この四捨五入のため各比率の合計が100%に合致しない場合がある。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答者数を基数として比率算出を行っているため、比率計は100%を超える。
- (4) グラフ中の「不明」はその設問における無回答者および無効回答者の意味である。
- (5) クロス集計の計は、クロス項目の不明を除いているため単純集計の計とは一致しない。

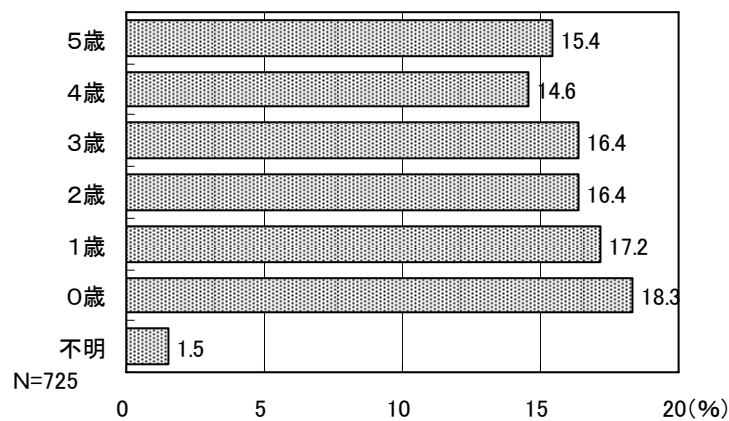
第2部 調査結果

I 就学前児童

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておたずねします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

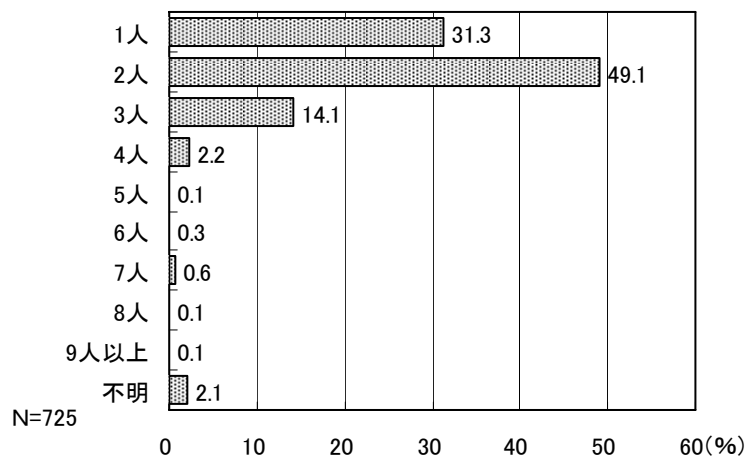
対象となる子どもの年齢階層別割合は、次のとおりである。



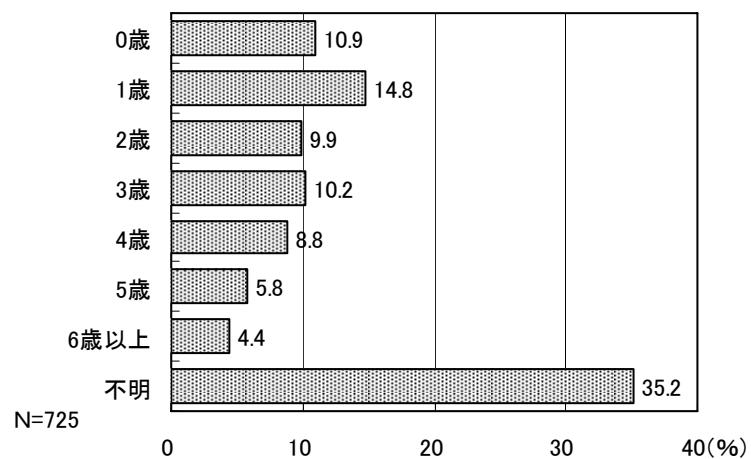
問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）を記入ください。

あて名の子どもを含めた子どもの数は、「2人」と回答した人が49.1%で最も多い。子どもが2人以上いる場合の末子の年齢では、「1歳」が14.8%で最も多い。

■子どもの数

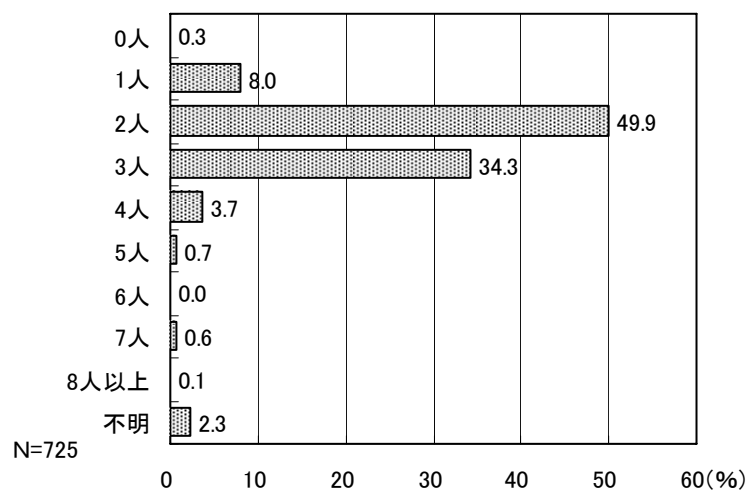


■末子の年齢



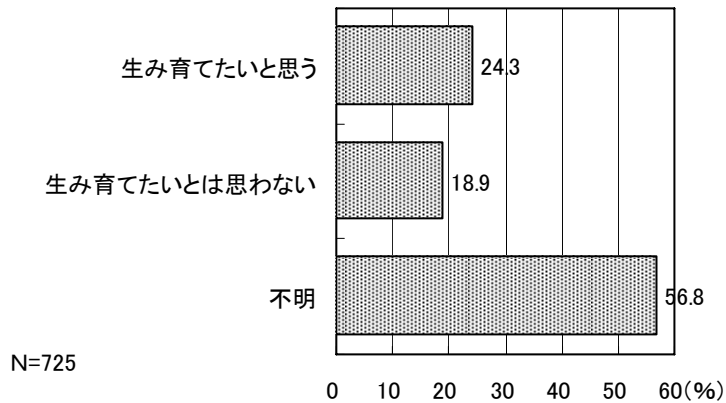
問3. 希望するお子さんの数は何人ですか。

希望する子どもの数は、「2人」が最も多く、次が「3人」である。



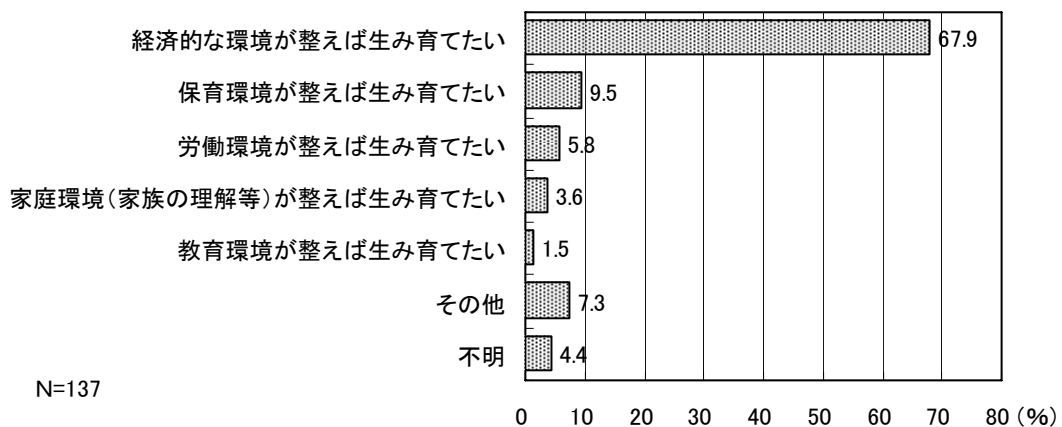
問4. 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを生み育てたいと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「生み育てたいと思う」と回答した人が24.3%で、「生み育てたいとは思わない」と回答した人(18.9%)よりも多い。



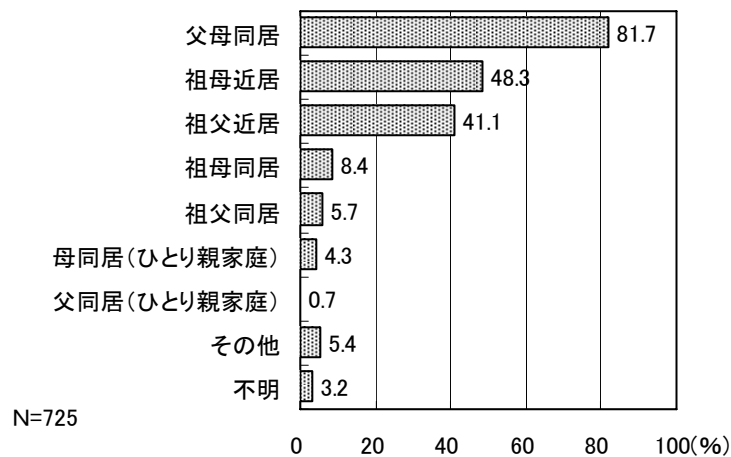
問4-1. どのような環境が整えばもう一人子どもを生み育てたいと思いますか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「経済的な環境が整えば生み育てたい」が67.9%と特に多いことから、家庭の経済状況が子どもの数を規定する要因のひとつになっていることがわかる。



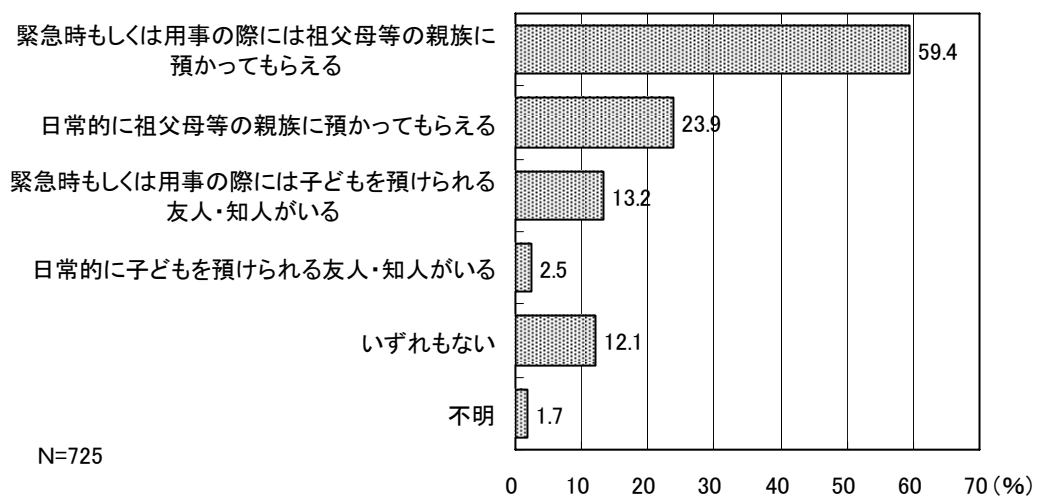
問5 封筒のあて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

同居・近居の状況については、「父母同居」と回答した人が81.7%で最も多く、次に「祖母近居」（48.3%）、「祖父近居」（41.1%）と続いている。



問6 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

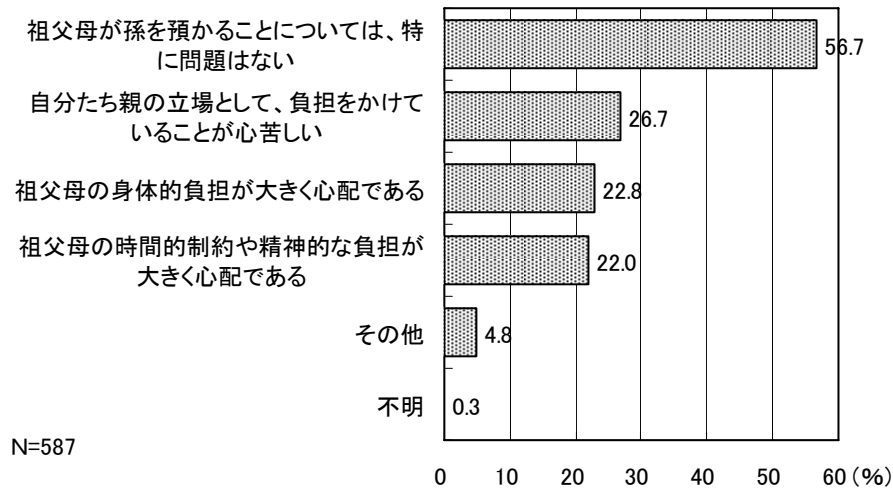
日頃、子どもを預かってもらえる人がいるかどうかをたずねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」と回答した人は59.4%で約6割であり、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」人は23.9%である。一方、「いずれもない」と回答した人は12.1%である。



問6－1は、問6で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問6－1 祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

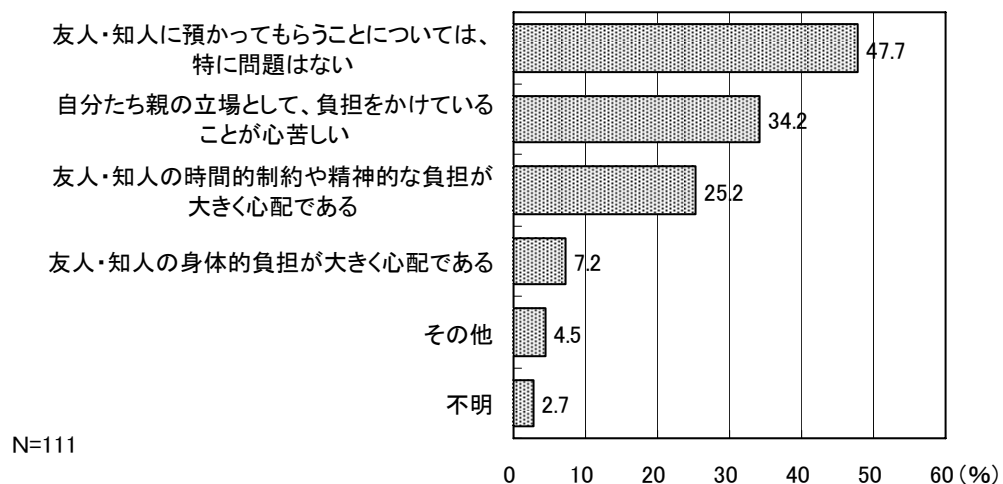
最も多いのは「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」であり、次が「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」である。



問6－2は、問6で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。

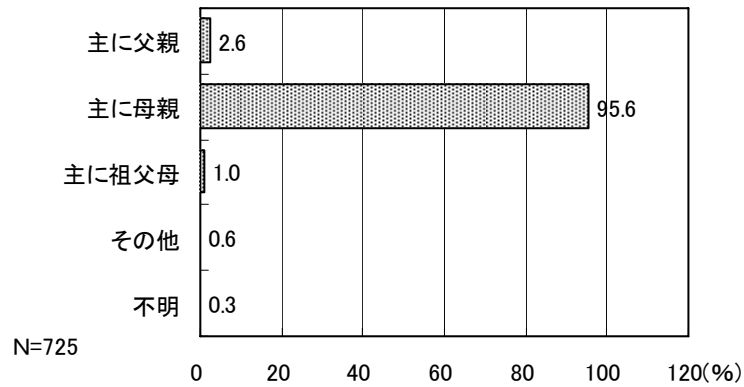
問6－2 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

最も多いのが「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」であり、次が「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」である。



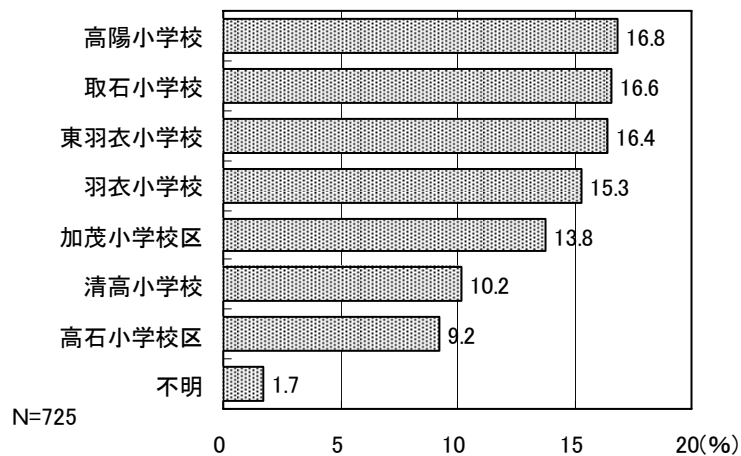
問7 封筒のあて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

身の回りの世話をしている人は、「主に母親」と回答した人が圧倒的に多く95.6%となっている。



問8 お住まいの地域の小学校区に1つだけ○をつけてください。

住んでいる小学校区については、多い順に「高陽小学校」「取石小学校」「東羽衣小学校」などとなっている。



2. 封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問9 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、（ ）に数字の記入をお願いします。

※帰宅時間が一定していない方は、主な帰宅時間を記入してください。

（1）母親

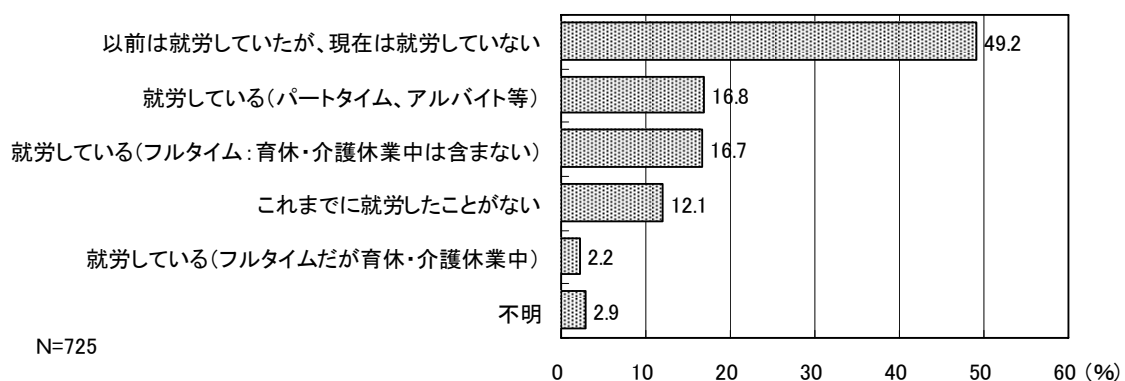
母親の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した人が最も多く49.2%とほぼ半数近くとなっている。一方、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」は16.8%、「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」は16.7%でほぼ同じ割合である。

フルタイムで就労している人の1週当たりの平均の就労時間は、40時間以上45時間未満が最も多い。また、就労の出発時間は8時台、帰宅時間は18時台が最も多い。

平日以外の勤務については、土曜日は「ある」が、日曜・祝日は「ない」が多い。

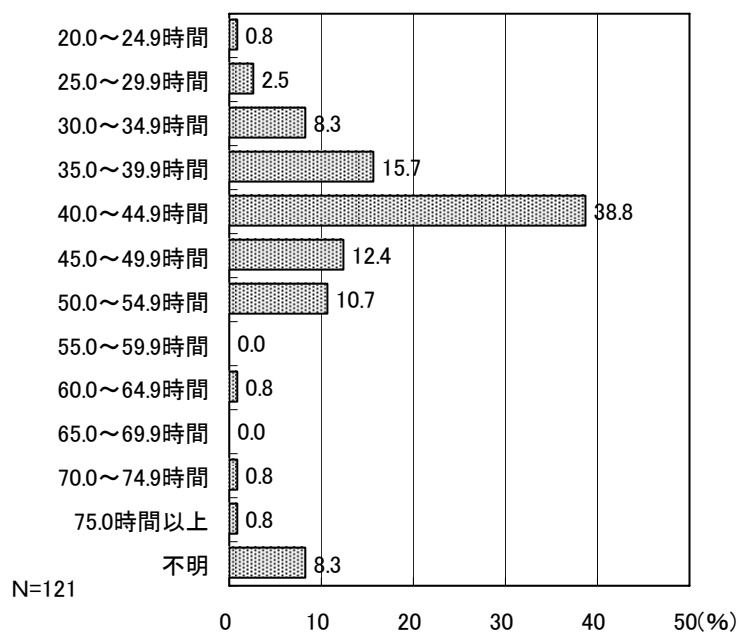
パートタイム、アルバイト等で就労している人の1週当たりの就労時間については、20時間以上25時間未満が最も多い。また、就労の出発時間は8時～9時台、帰宅時間は16～17時台が最も多い。

パート、アルバイト等からフルタイムへの転換希望については、「希望はない」と回答した人が41.8%で最も多い。



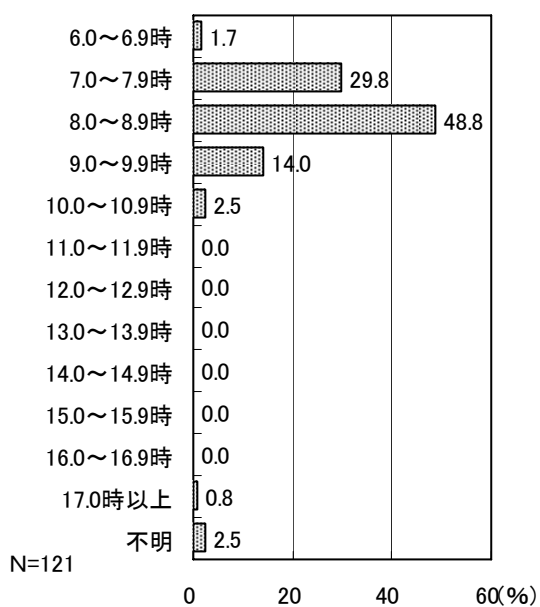
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

（平均就労時間：1週当たり）

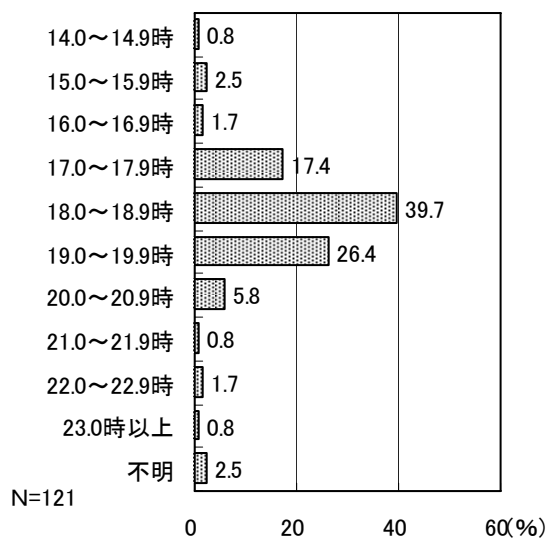


■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

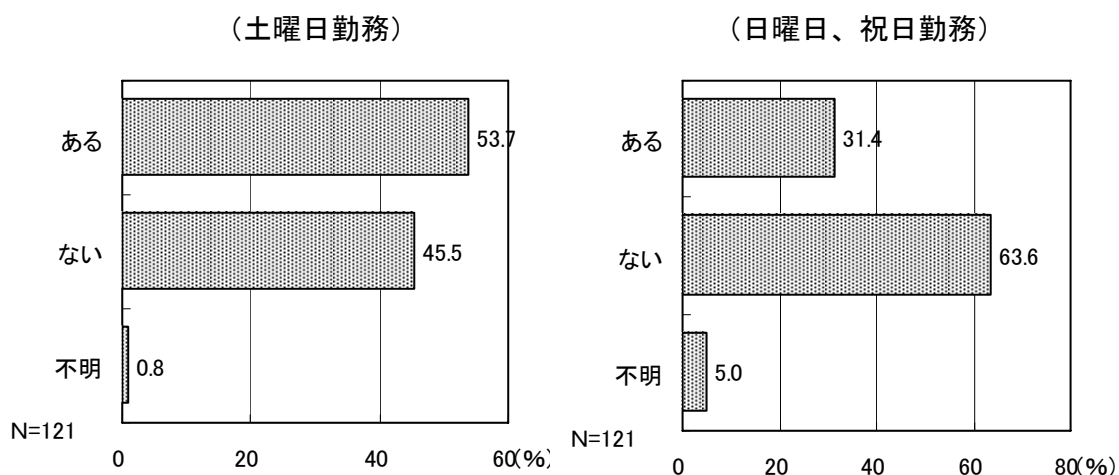
（出発時間）



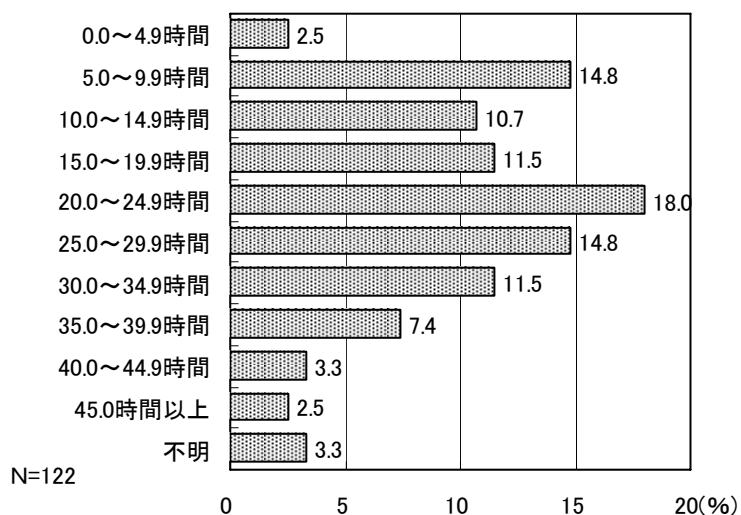
（帰宅時間）



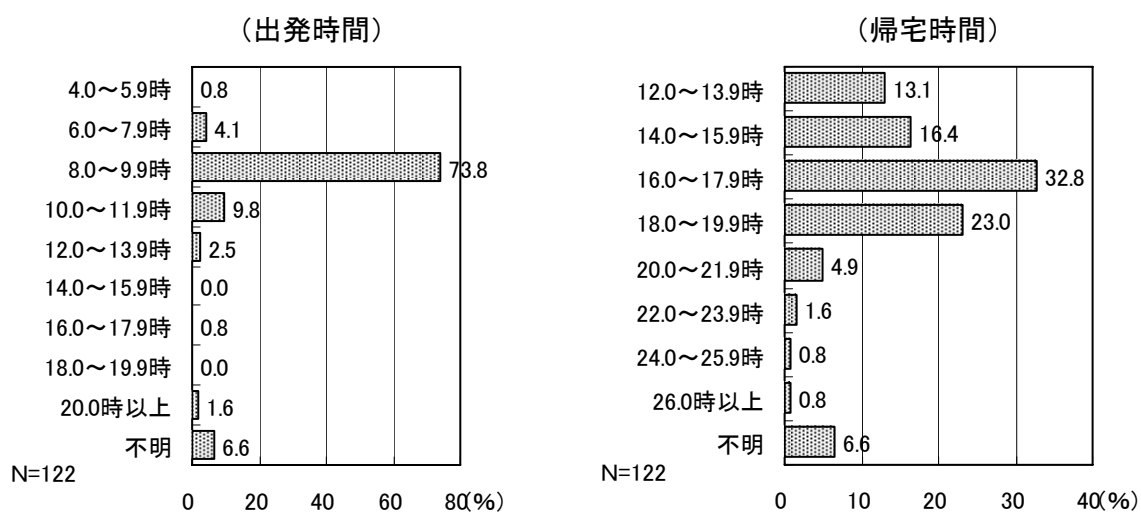
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）



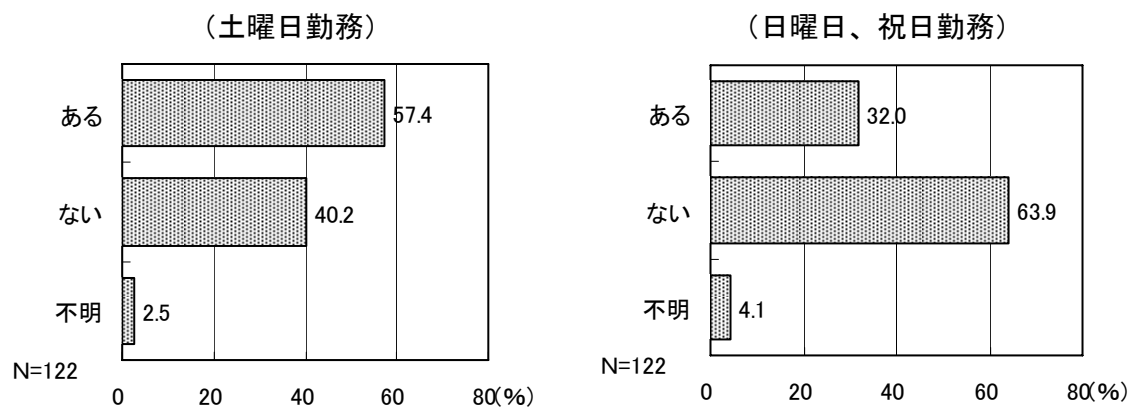
■就労している（パートタイム、アルバイト等）（平均就労時間：1週当たり）



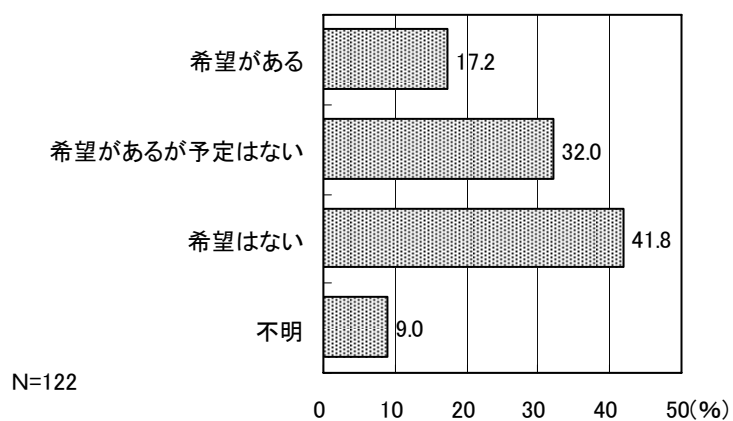
■就労している（パートタイム、アルバイト等）



■就労している（パートタイム、アルバイト等）



■就労している（パートタイム、アルバイト等）（フルタイムへの転換希望）



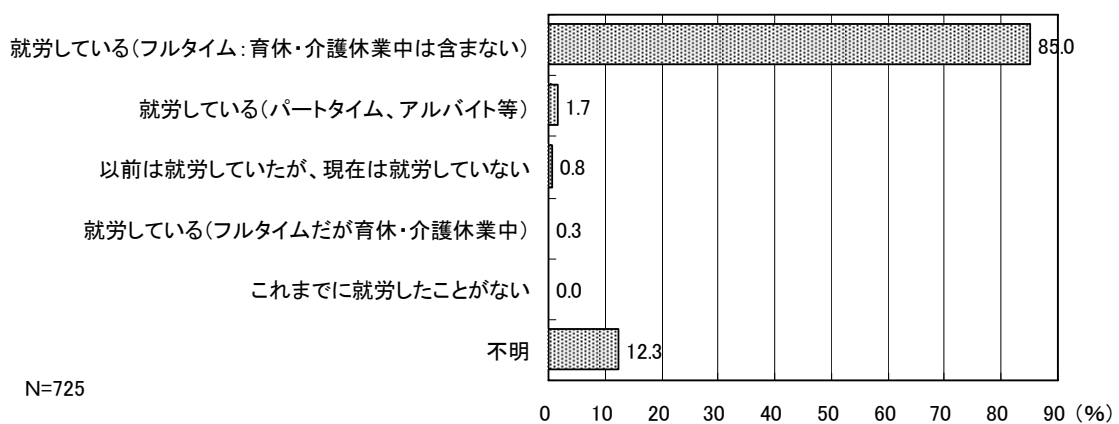
(2) 父親

父親の就労状況については、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」と回答した人が85.0%と大半を占めている。

フルタイムで就労している人の1週当たりの平均の就労時間は、40時間以上50時間未満が最も多い。また、就労の出発時間は6～7時台、帰宅時間は19時台が最も多い。

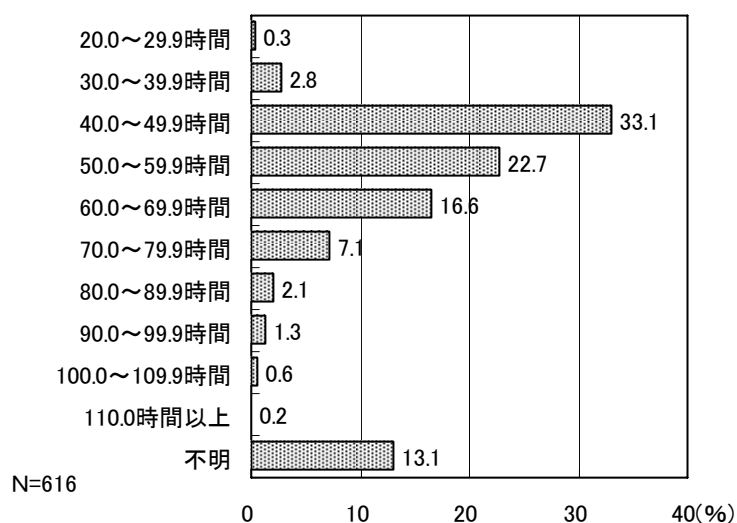
パートタイム、アルバイト等で就労している人の1週当たりの就労時間は、20時間以上30時間未満及び30時間以上40時間未満がともに25.0%で最も多い。また、就労の出発時間は6時～7時台、帰宅時は19時台が最も多い。

パート、アルバイト等からフルタイムへの転換希望については、「希望はない」と回答した人が半数で最も多い。

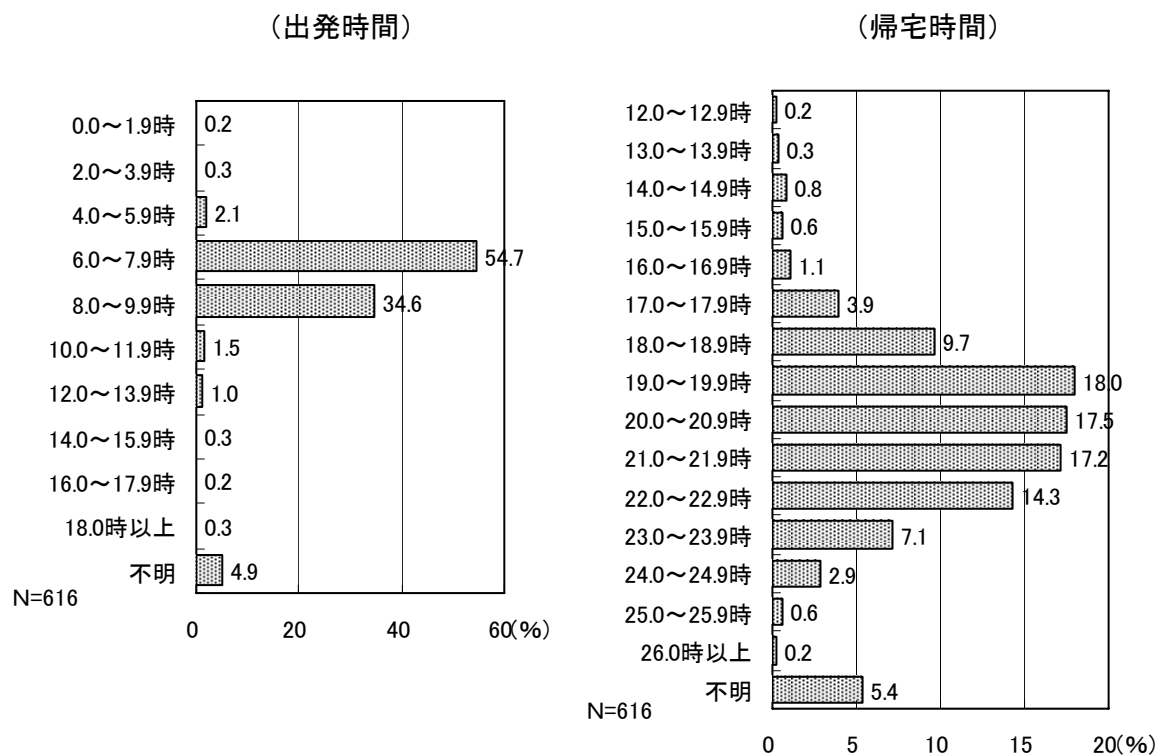


■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

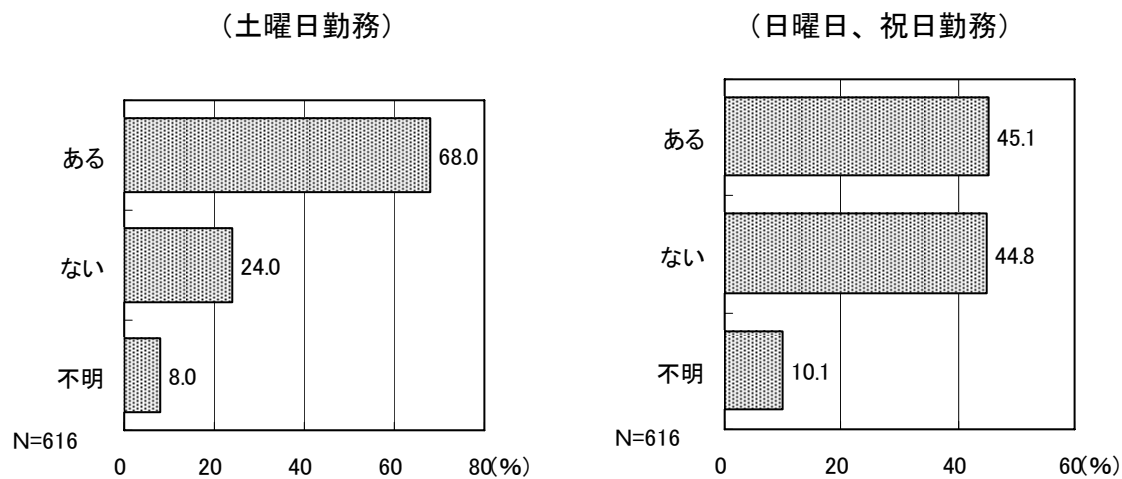
（平均就労時間：1週当たり）



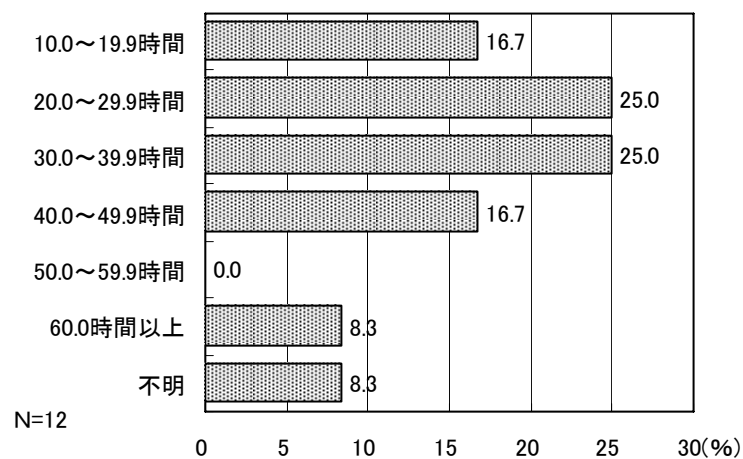
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）



■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

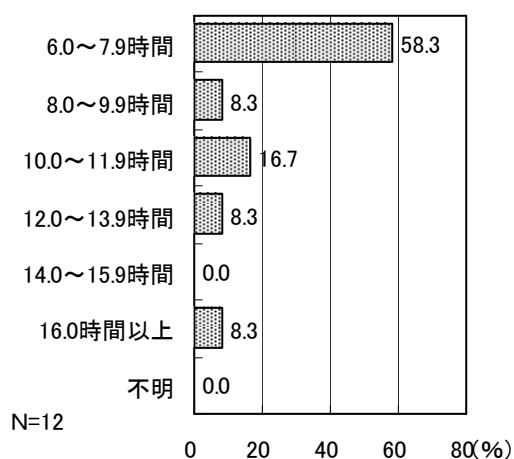


■就労している（パートタイム、アルバイト等）（平均就労時間：1週当たり）

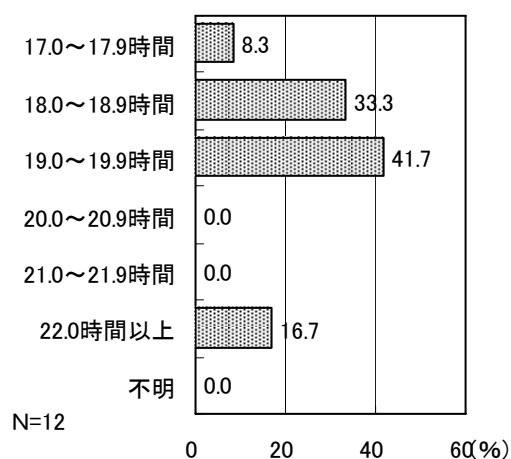


■就労している（パートタイム、アルバイト等）

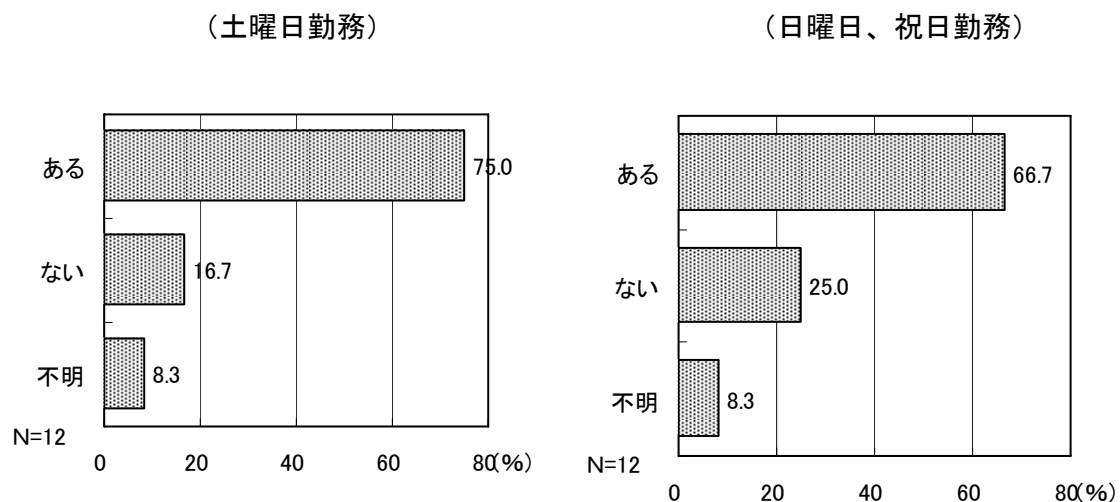
（出発時間）



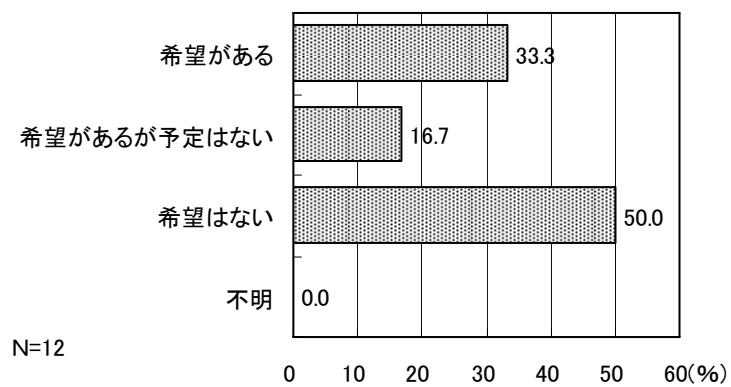
（帰宅時間）



■就労している（パートタイム、アルバイト等）



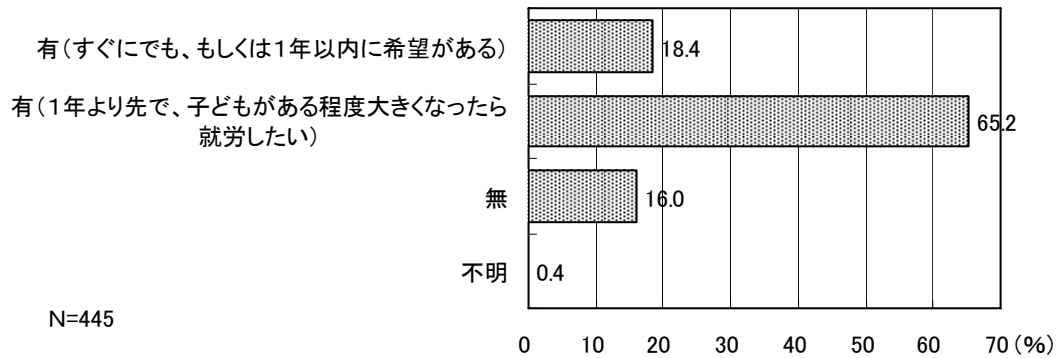
■就労している（パートタイム、アルバイト等）（フルタイムへの転換希望）



問9-1は、問9の「(1) 母親」で「4.」または「5.」を選ばれた方にお伺いします。

問9-1 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問9の(1) 母親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」と回答した人に就労希望についてたずねたところ、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と回答した人が65.2%で特に多い。

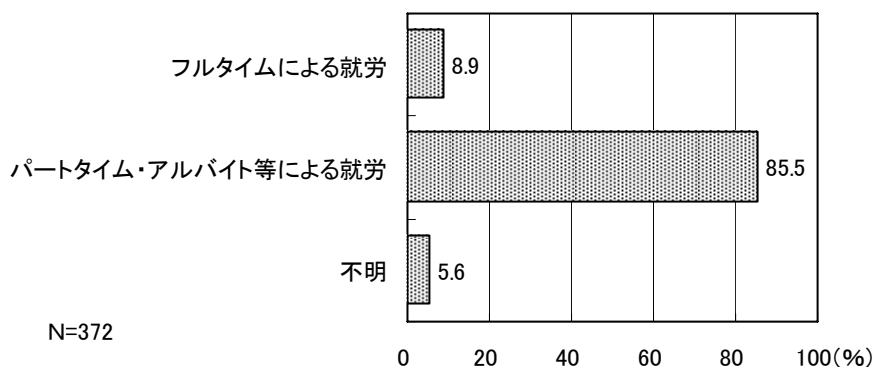


問9-2及び問9-3は、問9-1で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

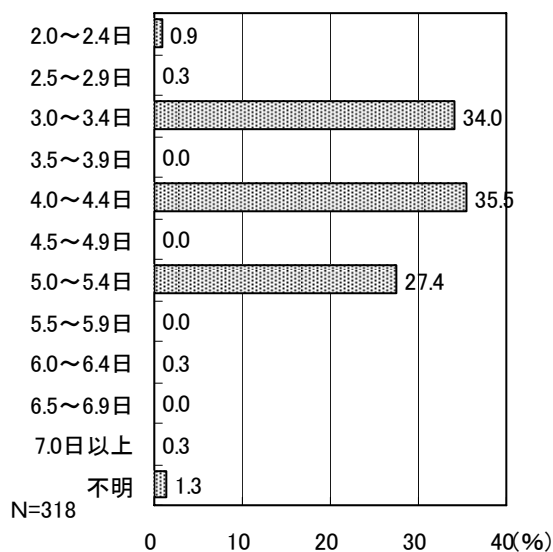
問9-2 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。)

問9-1で「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と回答した人に就労希望の形態についてたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等による就労」と回答した人が85.5%で特に多い。

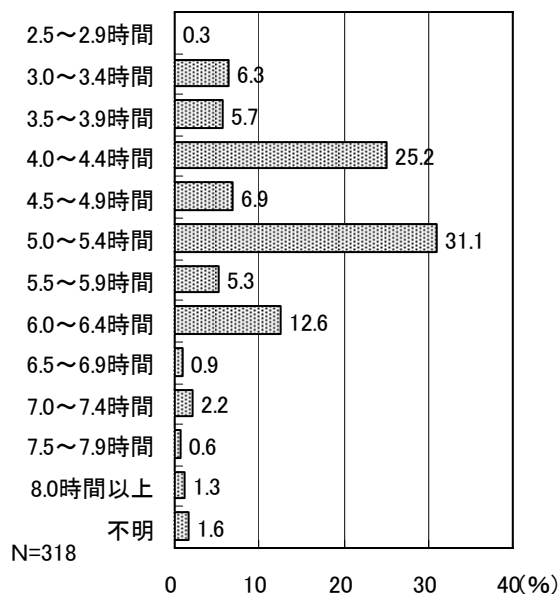
「パートタイム、アルバイト等による就労」と回答した人の1週当たりの希望日数は、4日が最も多く、1日当たりの希望時間は、「5.0～5.5時間」が最も多い。



■ 1週当たり希望日数

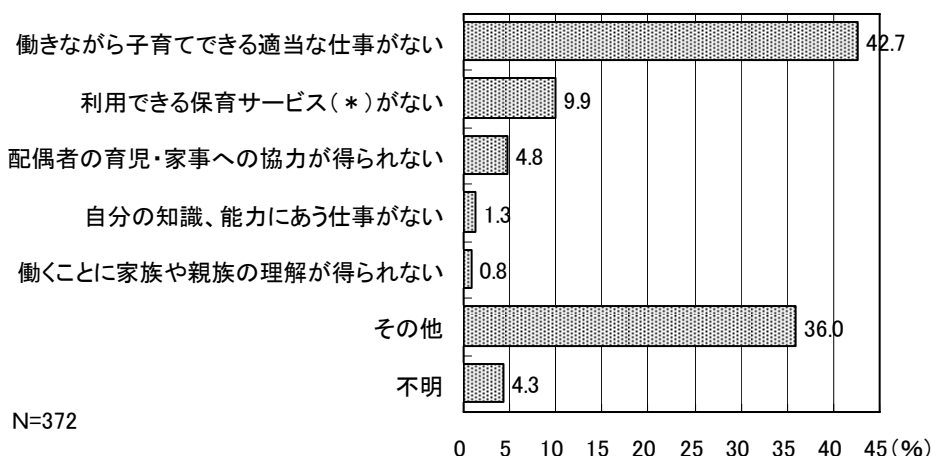


■ 1日当たり希望時間



問9-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

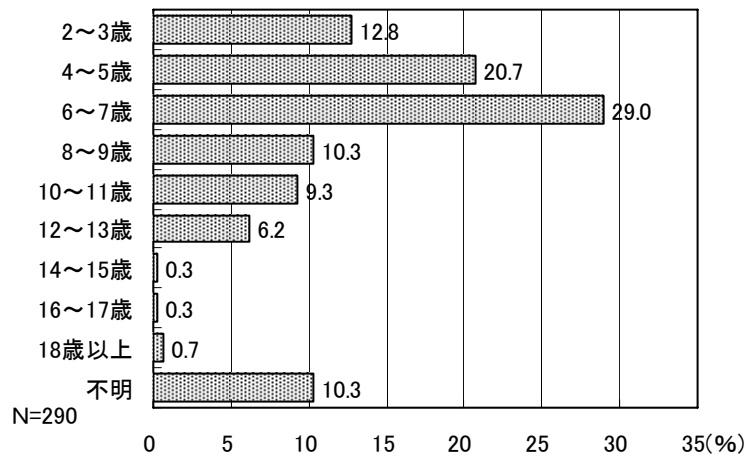
問9-1で「有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と回答した人に就労希望がありながら、現在働いていない理由をたずねたところ、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」と回答した人が42.7%で最も多い。また「その他」の内容では、「まだ子どもが小さいから」「育児に専念したい」「妊娠中」といった内容が大半を占めている。



問9-4は、問9-1で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問9-4 封筒のあて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

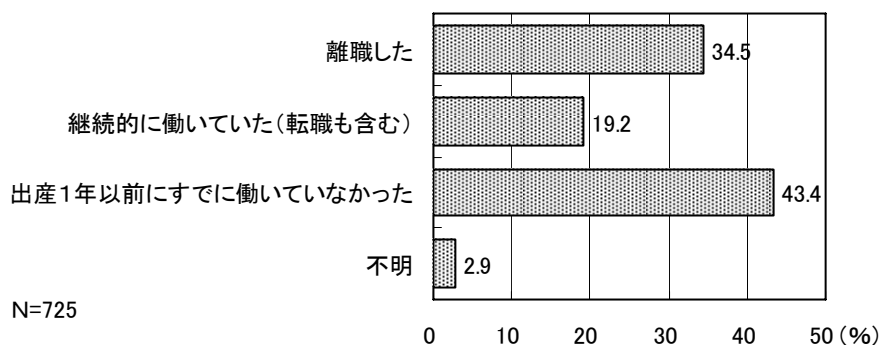
問9-1で「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と回答した人に一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するかたずねたところ、「6～7歳」が最も多く29.0%、次が「4～5歳」（20.7%）となっている。



母親の皆さんすべてにお伺いします。

問10 封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

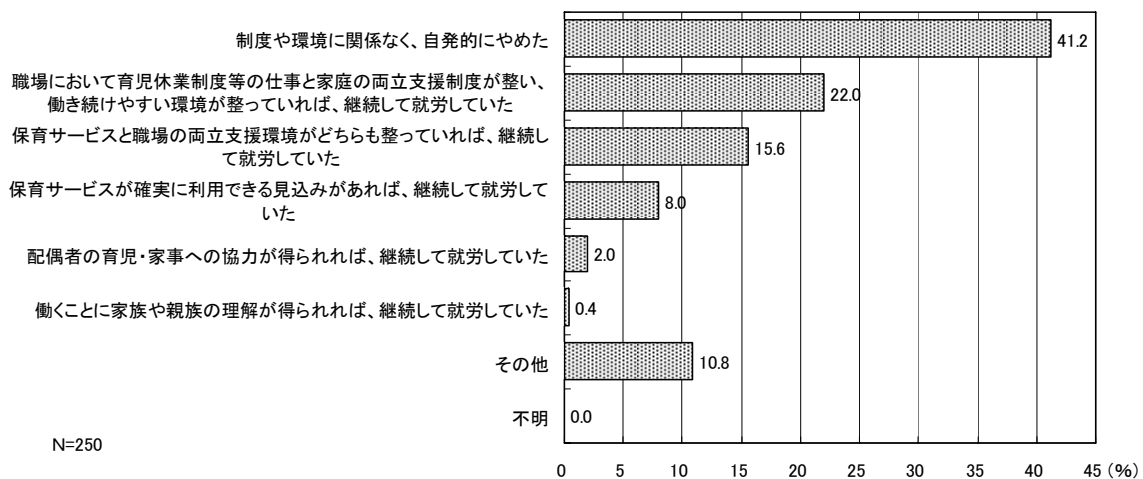
出産前後に離職をしたかどうかをたずねたところ、「出産1年以前にすでに働いていなかった」と回答した人が43.4%で最も多く、「離職した」人は34.5%である。



問10-1 《問10で「1.」を選ばれた方にお伺いします。》

仕事と家庭の両立を支援する環境が整っていたら、就労を継続しましたか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

最も多いのが「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」(41.2%)であり、次が「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」(22.0%)であった。

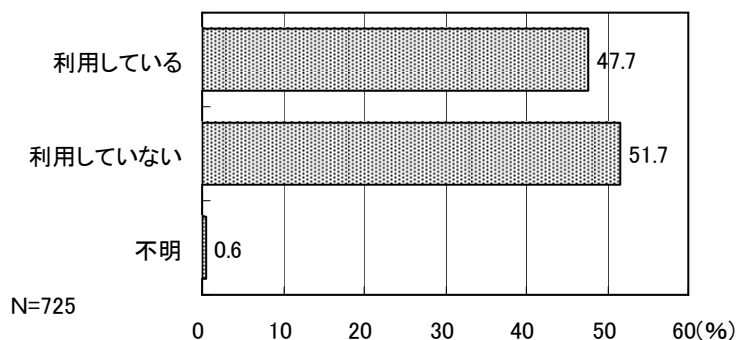


3. 保育サービスの利用についてお伺いします。

問11はすべての方にお伺いします。

問11 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービス（問9-3の定義参照）の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していच्छいますか。当てはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

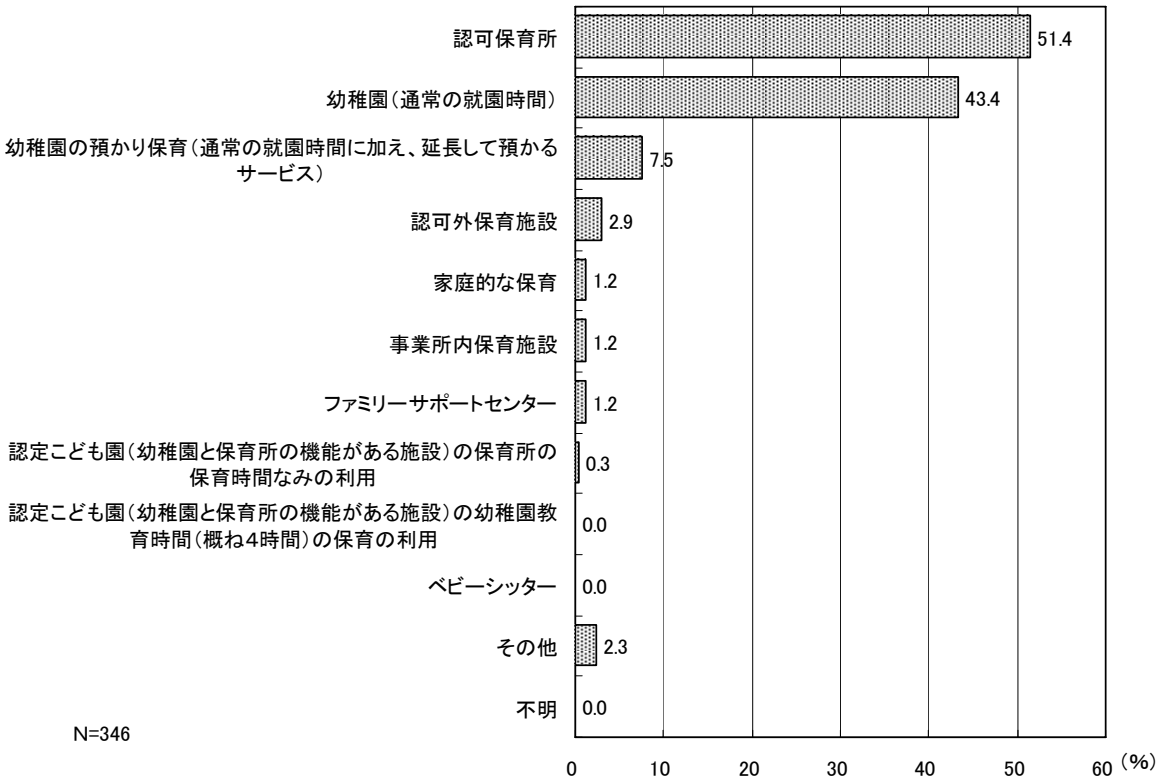
現在の保育サービスの利用の有無については、「利用していない」人が51.7%で「利用している」人をやや上回っている。



問11-1は、問11で「1。」を選ばれた方にお伺いします。

問11-1 封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような保育サービスを利用していますか。
当てはまる答えの番号に○をつけてください。不定期に利用されるものも含めてお答えください。（複数回答可）

問11で「利用している」と回答した人に利用している保育サービスをたずねたところ、「認可保育所」が最も多く、51.4%、次が「幼稚園（通常の就園時間）」の43.4%となっている。

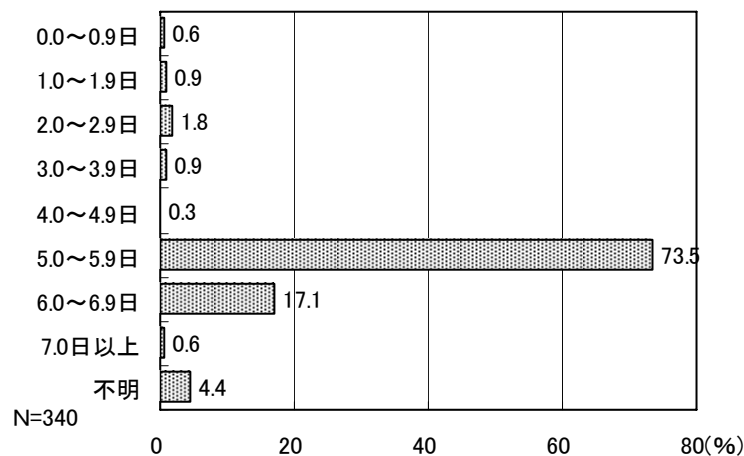


問11-2～問11-4は、問11-1で「1.」～「8.」を選ばれた方にお伺いします。

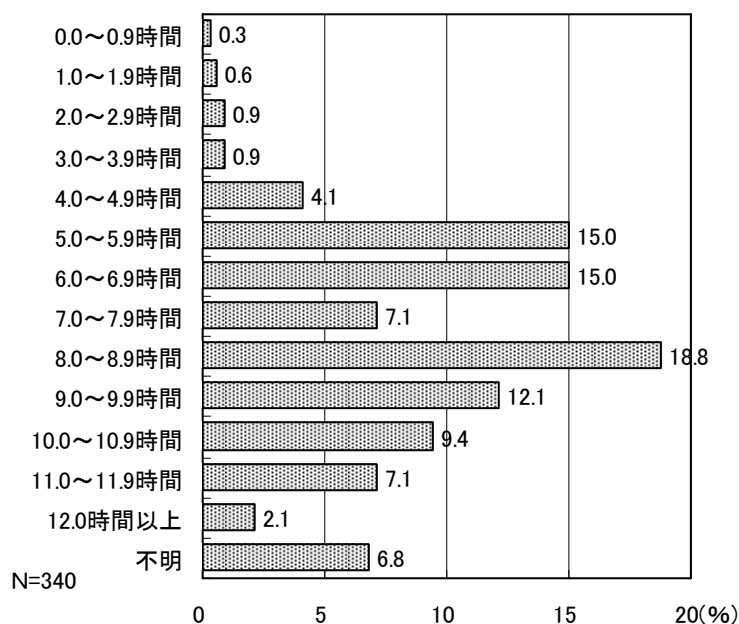
問11-2 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用していますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず9：00～18：00（例）のように24時間制で記入ください。

問10-1で「認可保育所」「事業所内保育施設」「その他の保育施設」「幼稚園」のいずれかを回答した人に利用状況をたずねたところ、1週当たりの利用日数は、「5日」が最も多く73.5%を占めている。1日当たりの利用時間については、「8.0～8.9時間」が最も多い。また、開始時間は「9時台」が、終了時間は、「17時台」が最も多い。

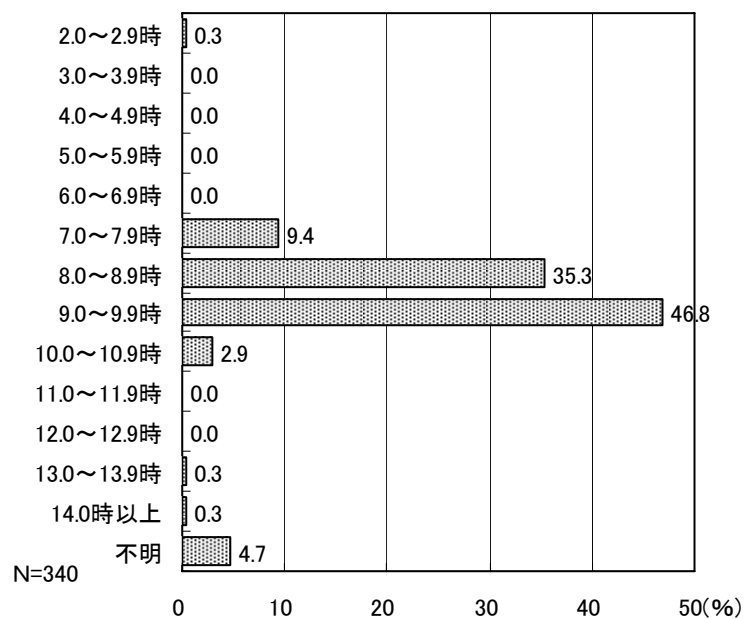
■ 1週当たり利用日数



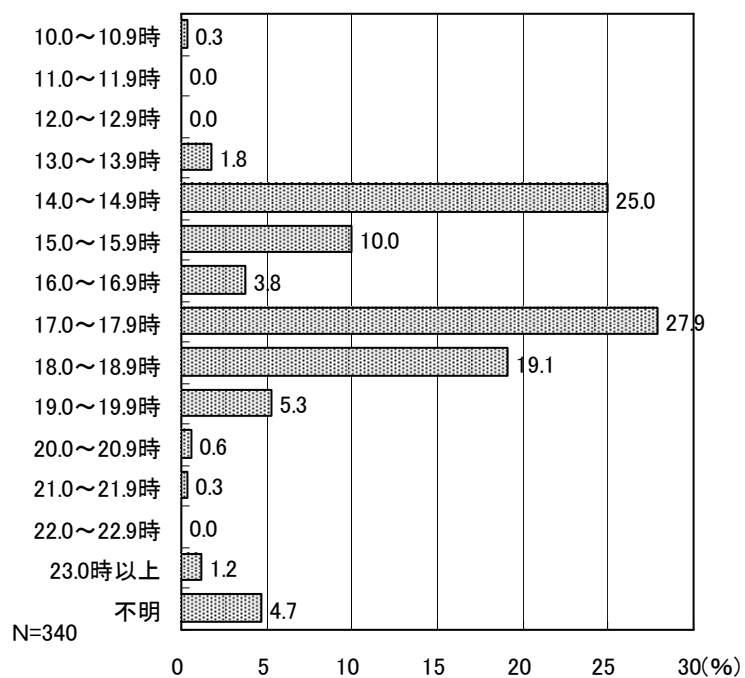
■ 1日当たり利用時間



■ 1日当たり利用時間（開始時間）

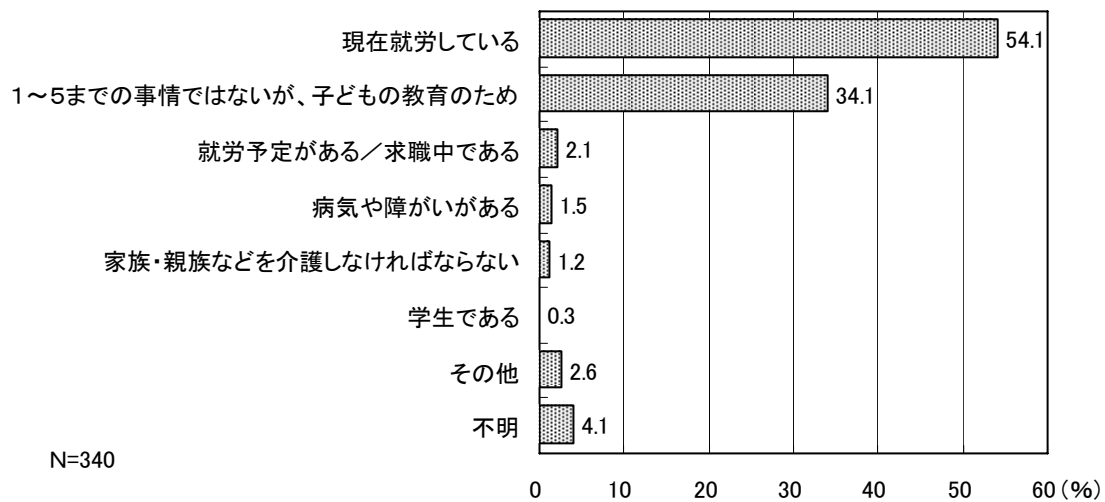


■ 1日当たり利用時間（終了時間）



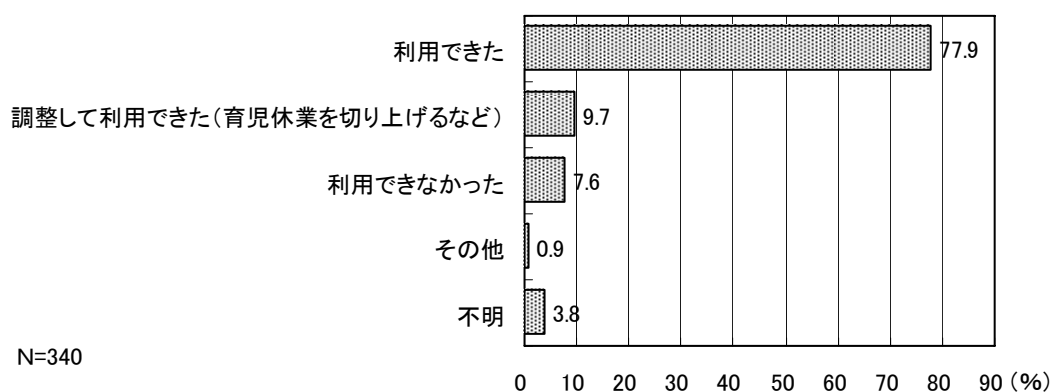
問 1 1－3 利用されている理由についてお伺いします。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

保育サービスを利用している理由では、「現在就労している」が最も多く、次が「1～5までの事情ではないが、子どもの教育のためである」であり、子どもの教育が目的で幼稚園等を利用している人も多いことがわかる。



問 1 1－4 あなたは、希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。また「2.」に○をつけた方は、どのように調整したか内容をお答えください。

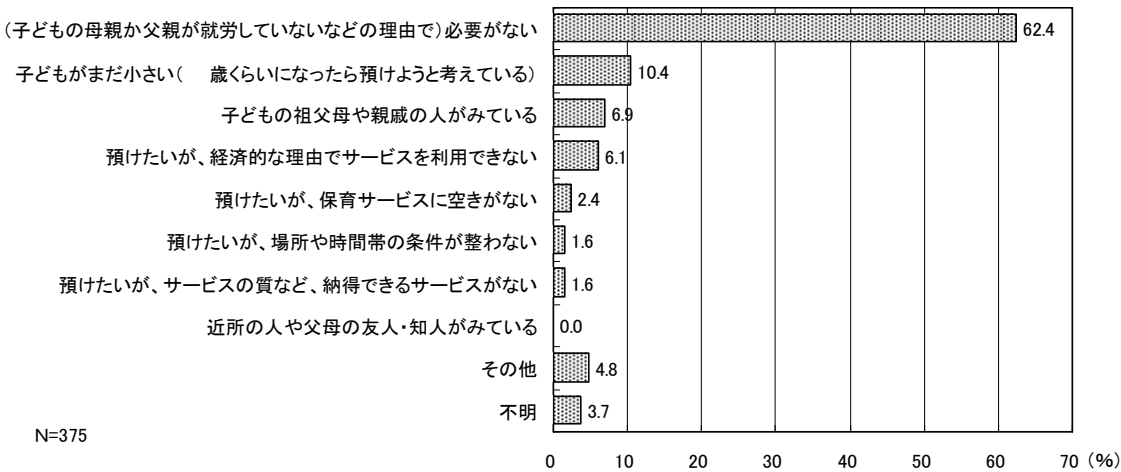
「利用できた」と回答した人が 77.9%で大半を占めている。一方。「利用できなかった」と回答した人も 7.6%あった。



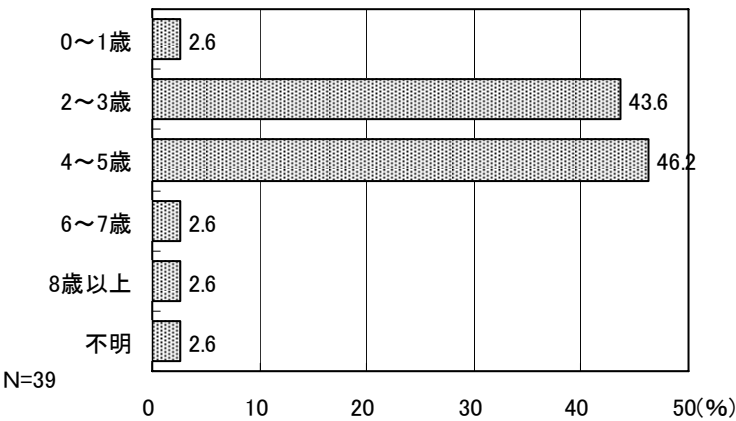
問11-5は、問11で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問11-5 保育サービスを利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が62.4%で特に多い。また、「子どもがまだ小さい()歳くらいになったら預けようと考えている」と回答した人の預ける希望年齢は、最も多いのが「4～5歳」、次が「2～3歳」である。



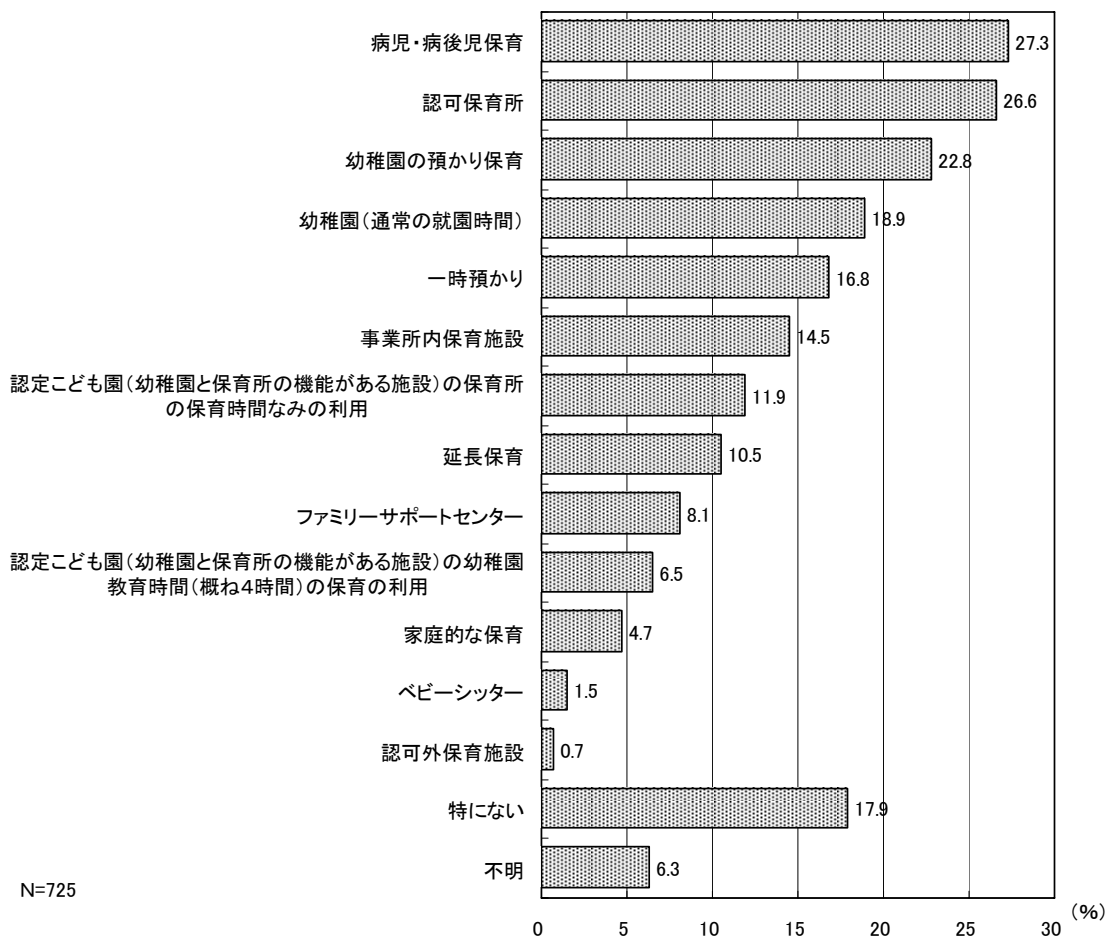
■子ども預ける年齢



保育サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問 1 2 封筒のあて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。(複数回答可)

今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスとしては、「病児・病後児保育」が最も多く、次が「認可保育所」「幼稚園の預かり保育」といった順である。「特にない」という人は17.9%である。



問12-1及び問12-2は、問12で「1.」～「9.」を選ばれた方にお伺いします。

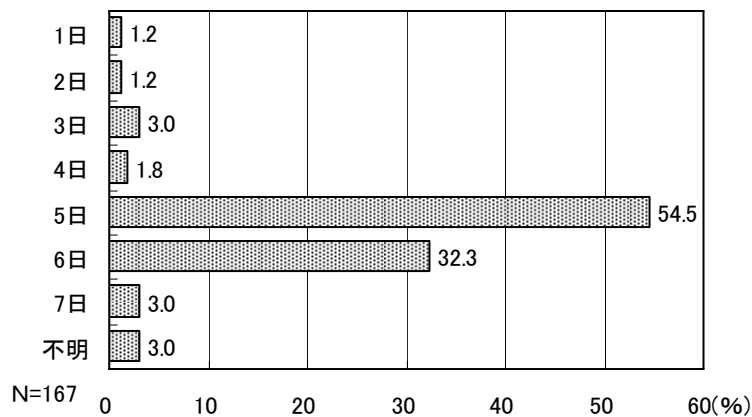
問12-1は選択されたサービスそれぞれについてお答えください。

問12-1 今後の利用希望についてお伺いします。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

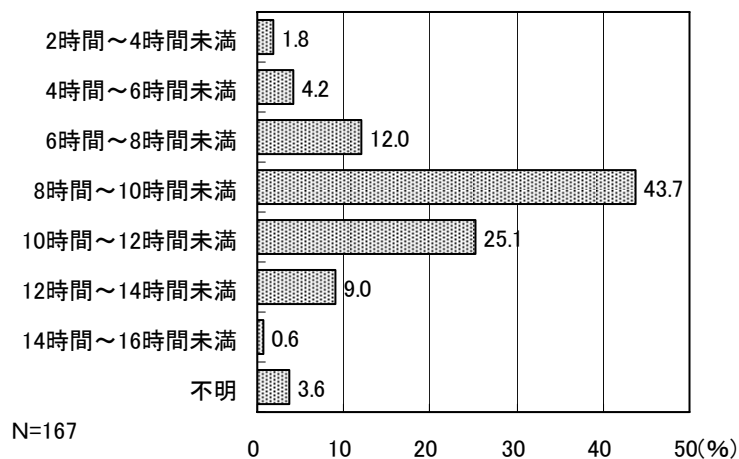
（1）認可保育所

認可保育所については、利用日数の希望は1週当たり5日、利用時間は8時間～10時間未満が最も多い。また、利用の開始時間は8～9時台、終了時間は18～19時台が多い。

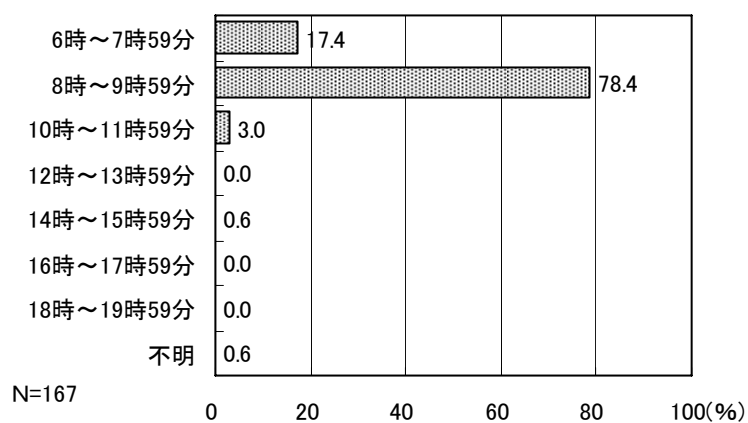
■希望する利用日数（1週当たり）



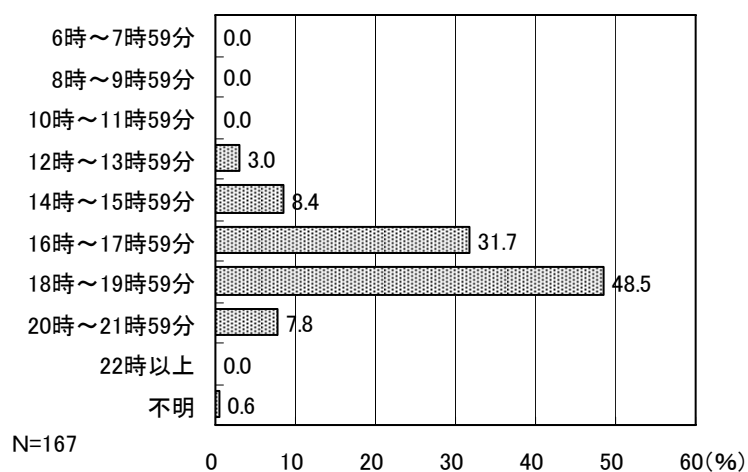
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間



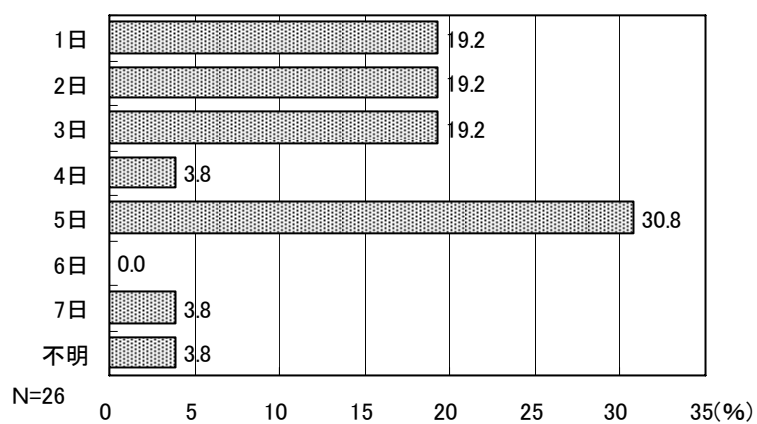
■希望する利用終了時間



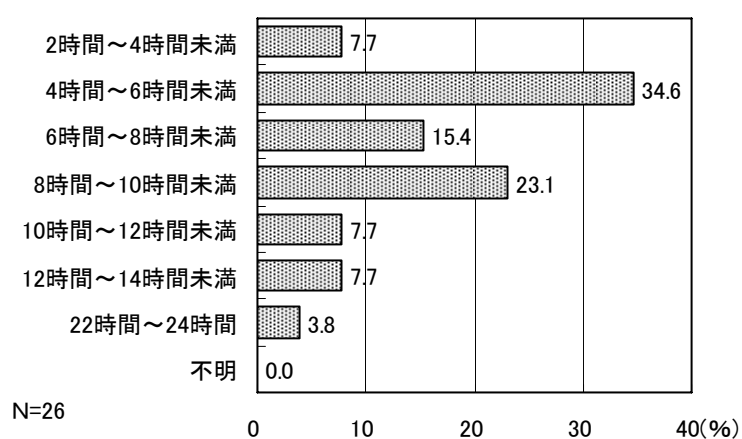
(2) 家庭的な保育

家庭的な保育については、利用日数の希望は1週当たり5日、利用時間は4時間～6時間未満が最も多い。また、利用の開始時間は8～9時台、終了時間は16～17時台が多い。

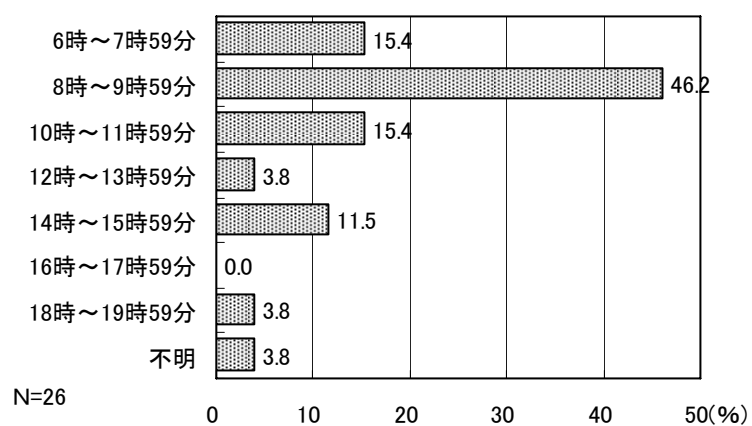
■希望する利用日数（1週当たり）



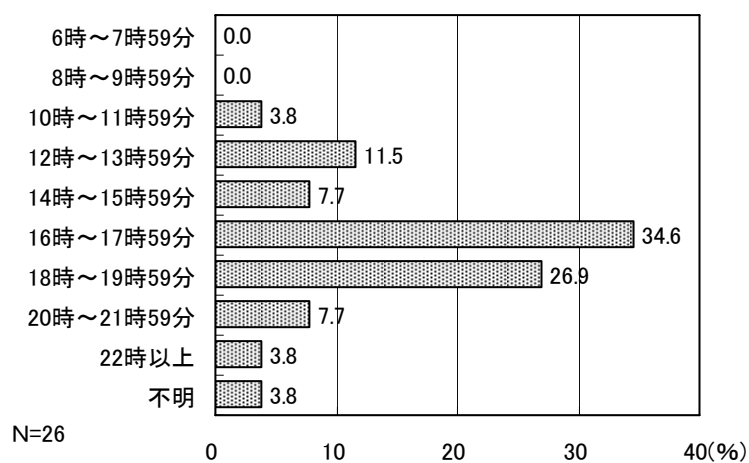
■希望する利用時間（１日当たり）



■希望する利用開始時間



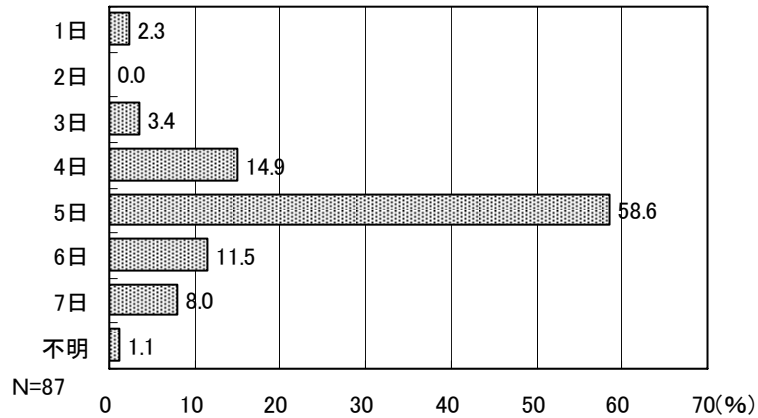
■希望する利用終了時間



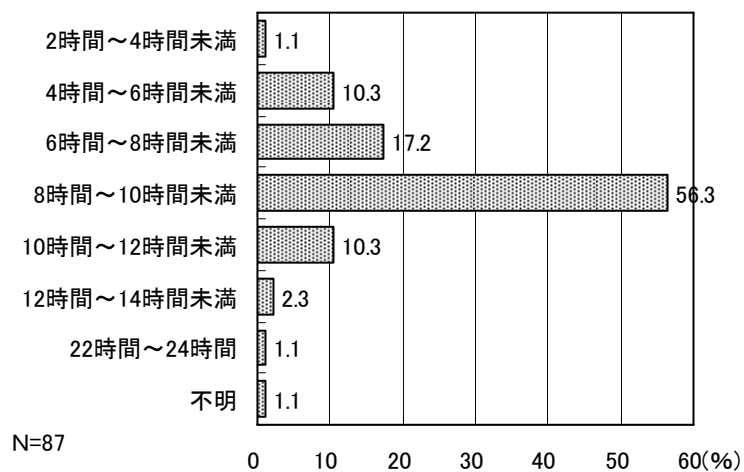
(3) 事業所内保育施設

事業所内保育施設については、利用日数の希望は1週当たり5日、利用時間は8時間～10時間未満が最も多い。また、利用の開始時間は8～9時台、終了時間は16～17時台が多い。

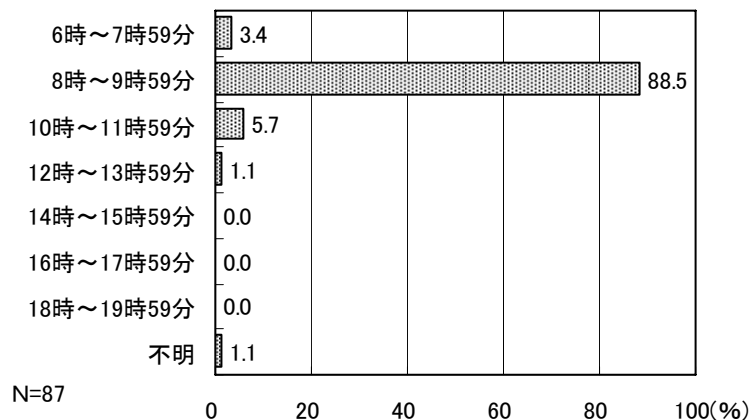
■希望する利用日数（1週当たり）



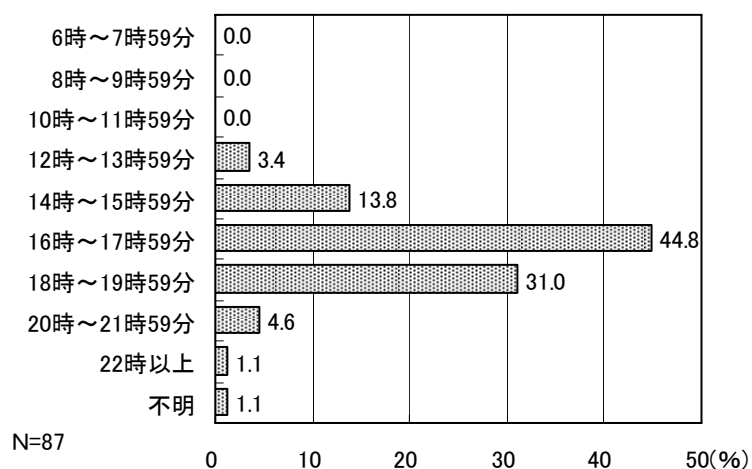
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間



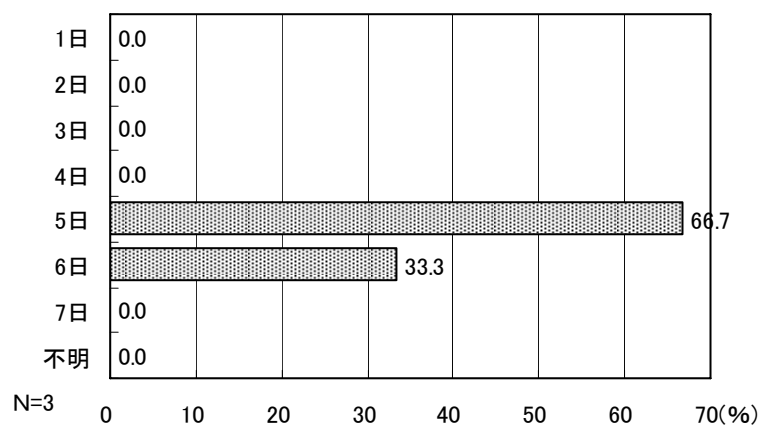
■希望する利用終了時間



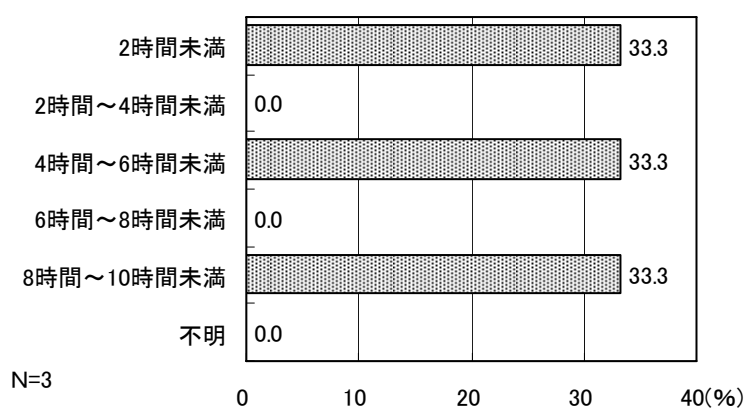
(4) 認可外保育施設

認可外保育施設については、希望者は3名と少なく、利用日数の希望は1週当たり5日、利用の開始時間は8～9時台が多い。

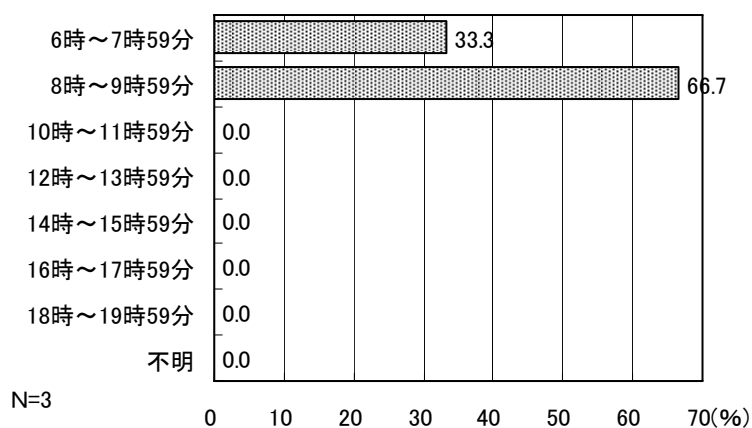
■希望する利用日数（1週当たり）



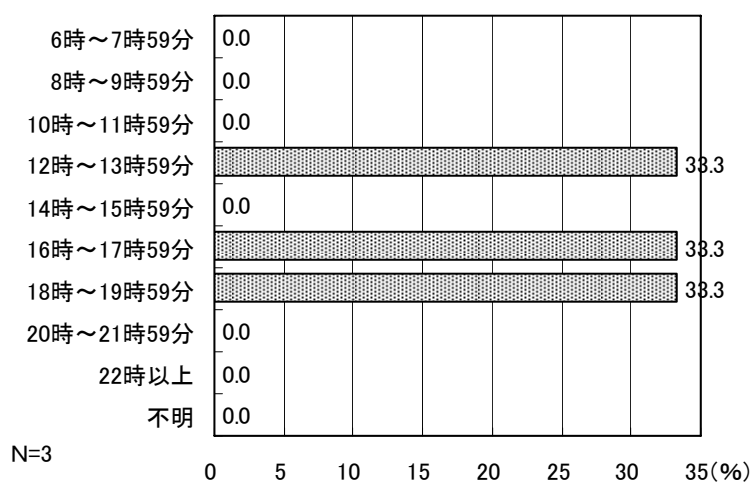
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間



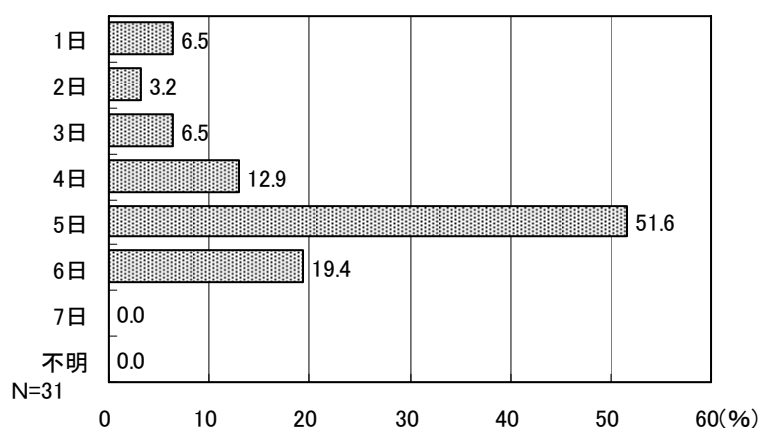
■希望する利用終了時間



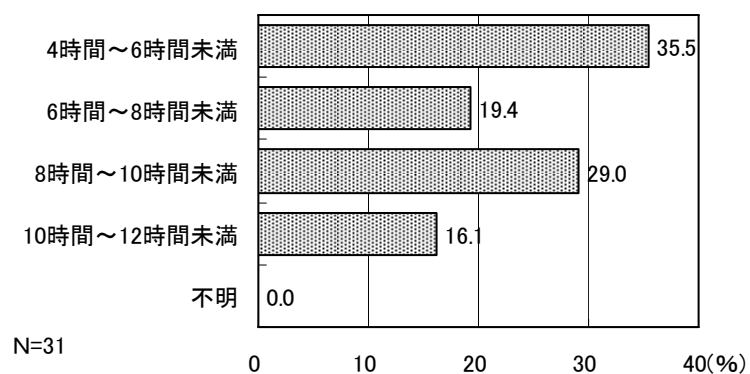
(5) 認定こども園（幼稚園と保育所の機能がある施設）の幼稚園教育時間（概ね4時間）の保育の利用)

認定こども園の幼稚園教育時間については、利用日数の希望は1週当たり5日、利用時間は4時間～6時間未満が最も多い。また、利用の開始時間は8～9時台、終了時間は14～15時台が多い。

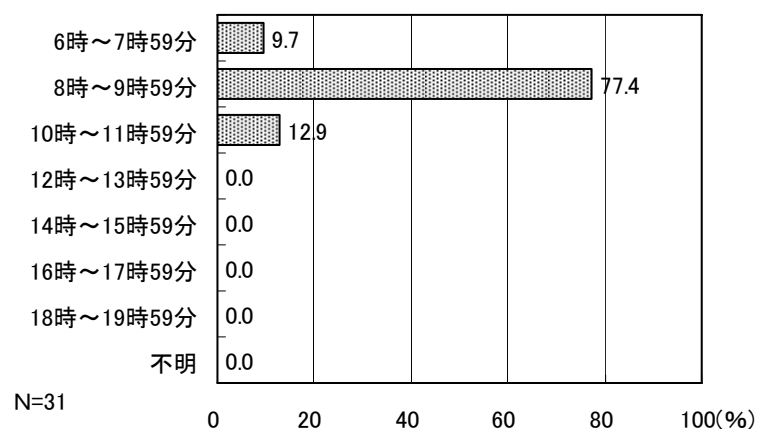
■希望する利用日数（1週当たり）



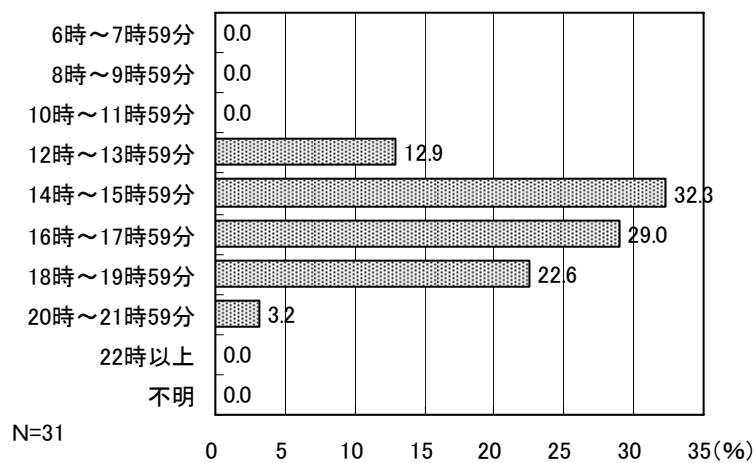
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間



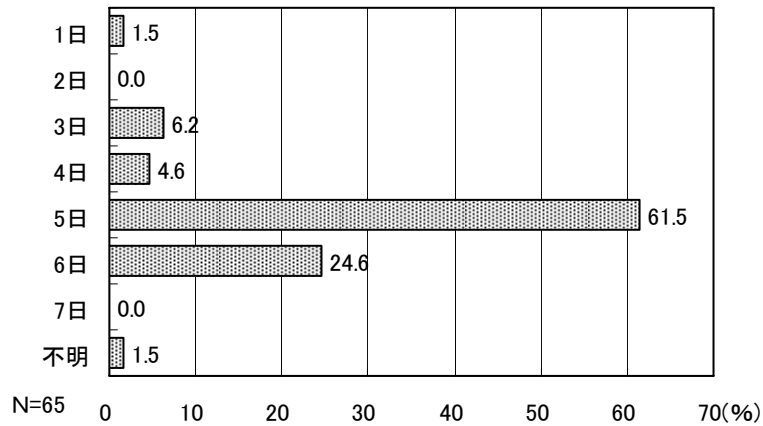
■希望する利用終了時間



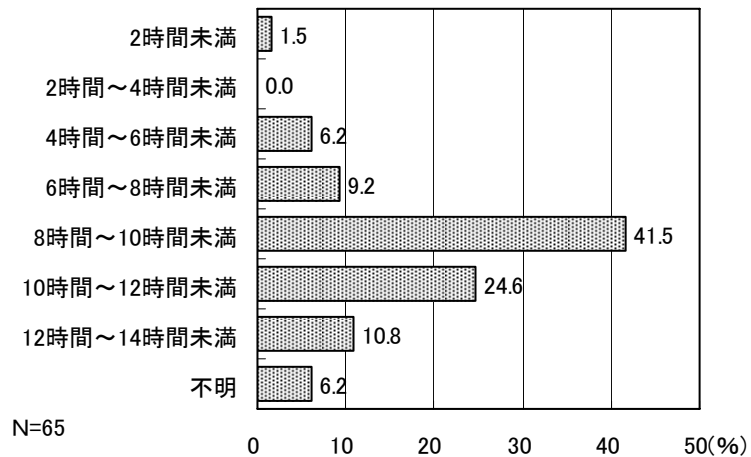
（６）認定こども園（保育所の保育時間なみの利用）

認定こども園（保育所の保育時間なみの利用）については、利用日数の希望は１週当たり５日、利用時間は８時間～１０時間未満が最も多い。また、利用の開始時間は８～９時台、終了時間は１８～１９時台が多い。

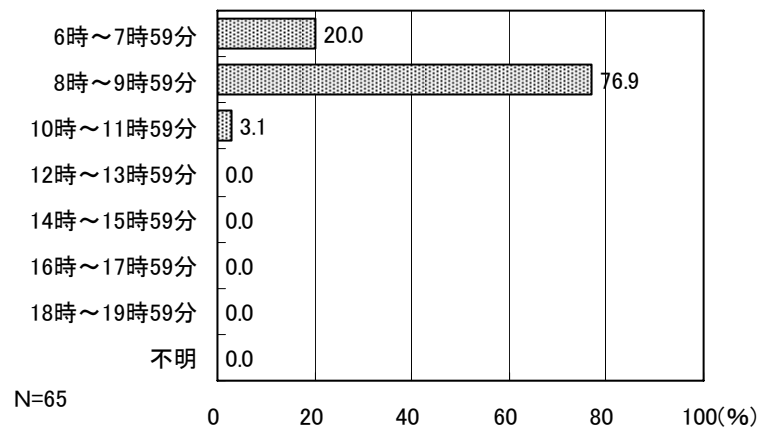
■希望する利用日数（１週当たり）



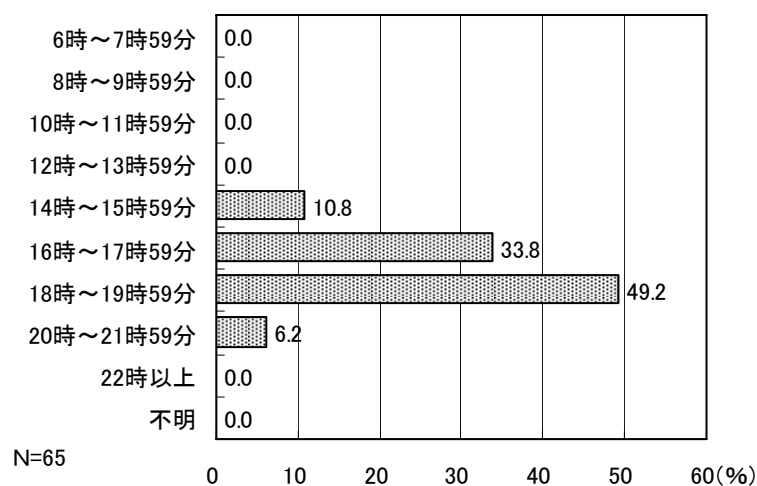
■希望する利用時間（１日当たり）



■希望する利用開始時間



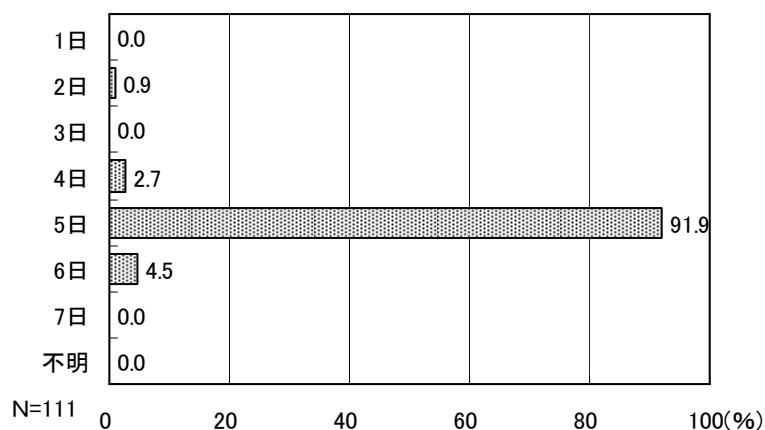
■希望する利用終了時間



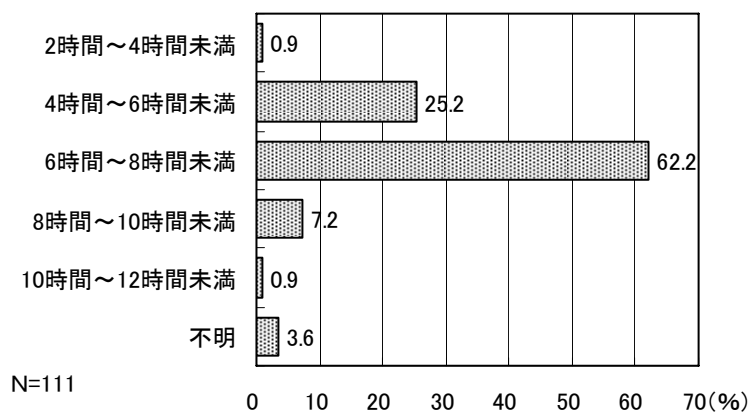
(7) 幼稚園（通常の就園時間）

幼稚園（通常の就園時間）については、利用日数の希望は1週当たり5日、利用時間は6時間～8時間未満が最も多い。また、利用の開始時間は8～9時台、終了時間は14～15時台が多い。

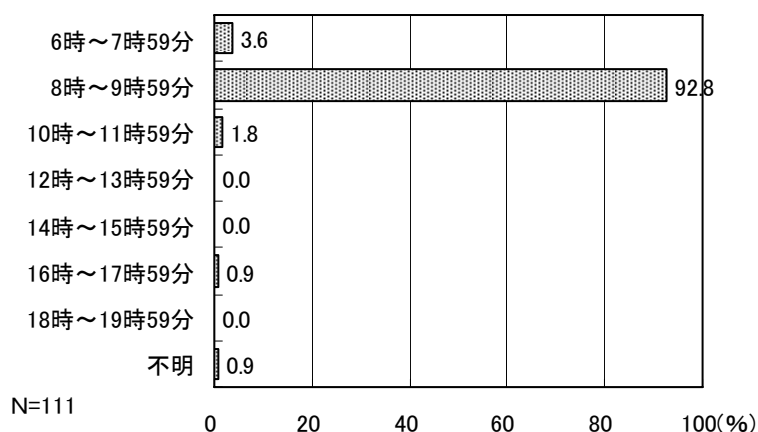
■希望する利用日数（1週当たり）



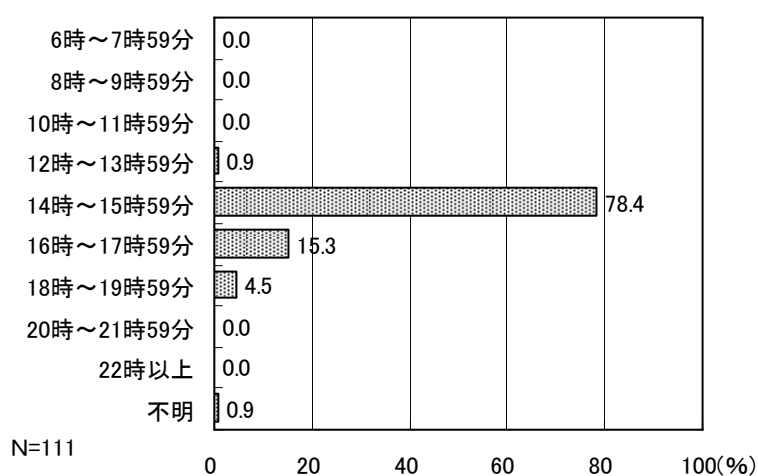
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間



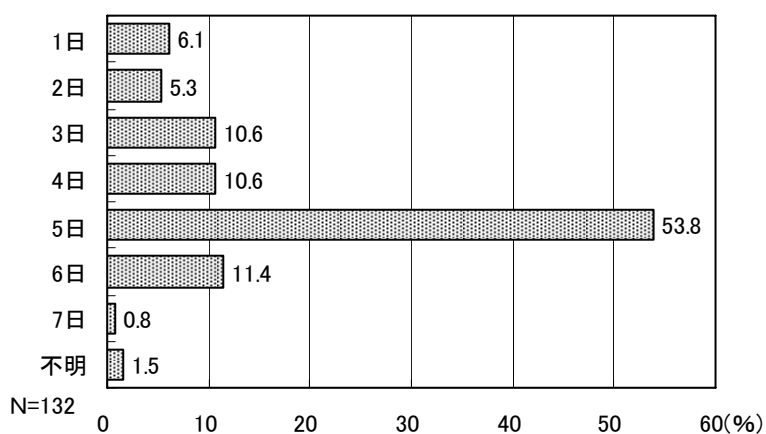
■希望する利用終了時間



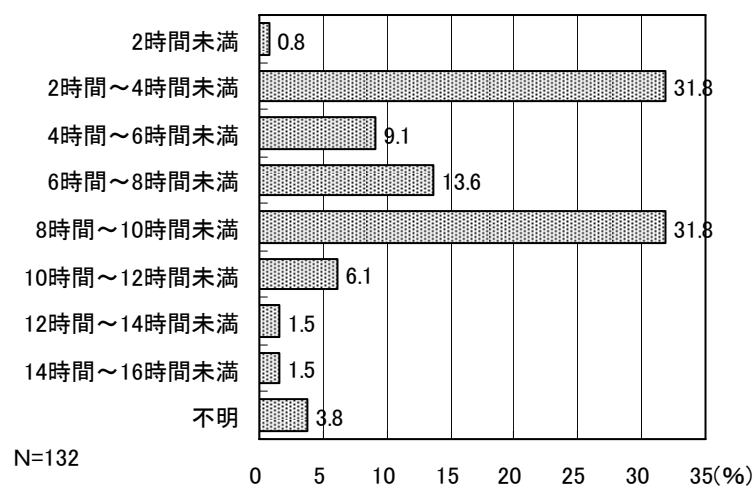
(8) 幼稚園の預かり保育

幼稚園の預かり保育については、利用日数の希望は1週当たり5日、利用時間は2時間～4時間未満及び8時間～10時間未満が多い。また、利用の開始時間は8～9時台、終了時間は16～17時台が多い。

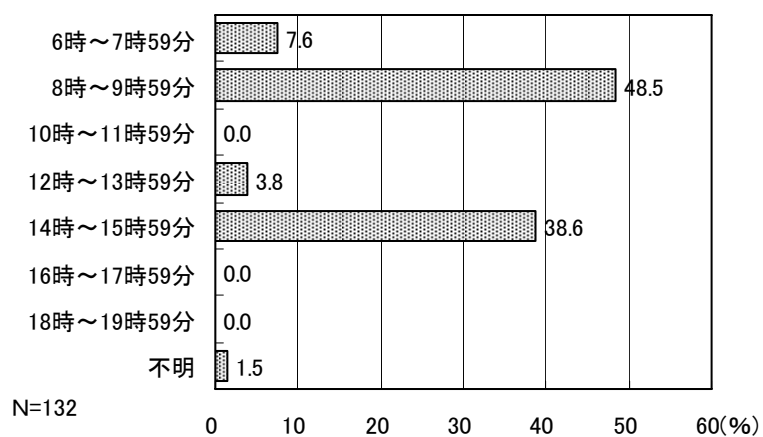
■希望する利用日数（1週当たり）



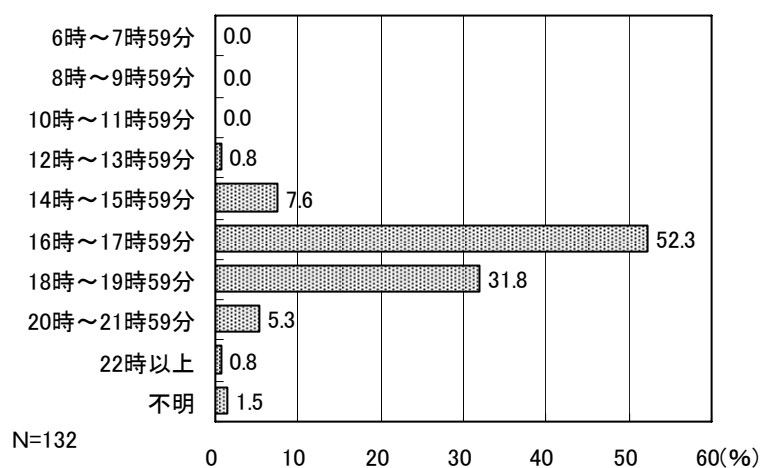
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間



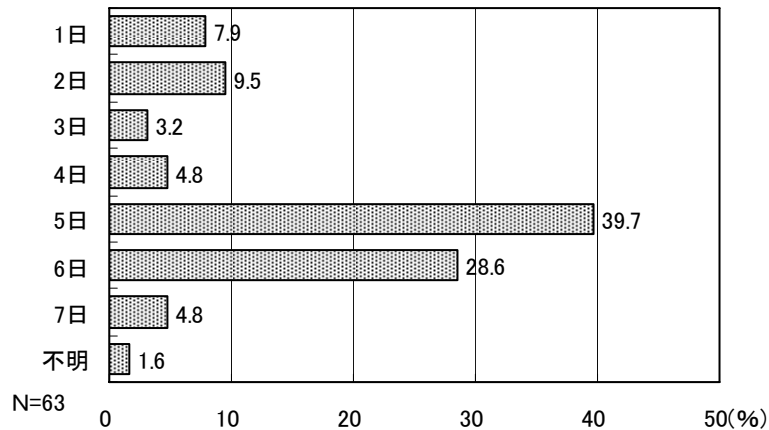
■希望する利用終了時間



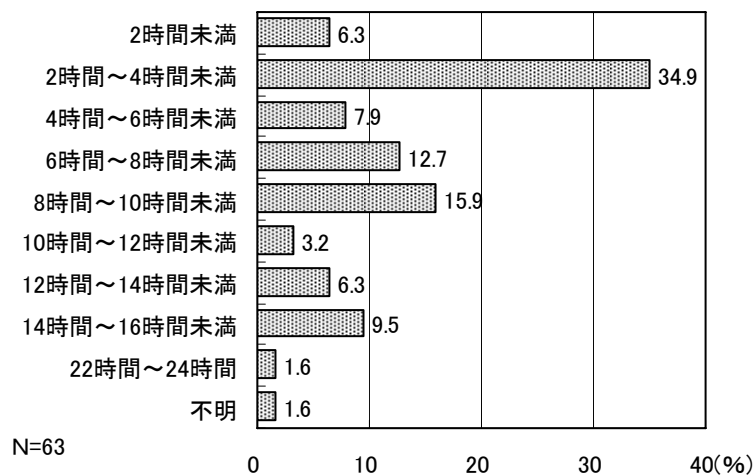
(9) 延長保育

延長保育については、利用日数の希望は1週当たり5日が最も多いが、6日も比較的多い。利用時間の希望は2時間～4時間未満が多い。利用の開始時間は8～9時台、終了時間は20～21時台が多い。

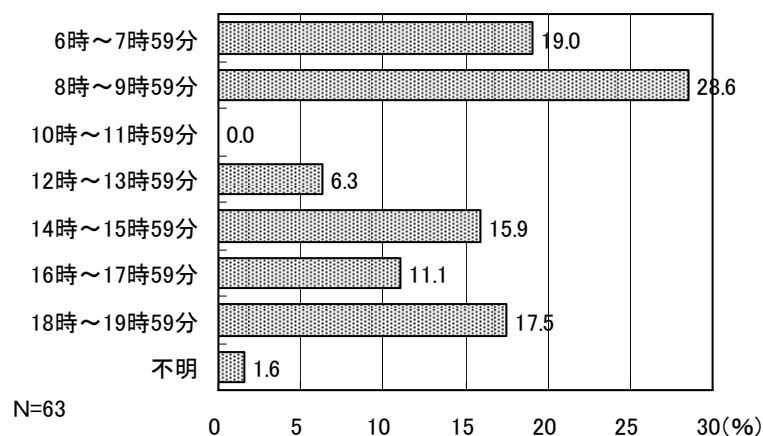
■希望する利用日数（1週当たり）



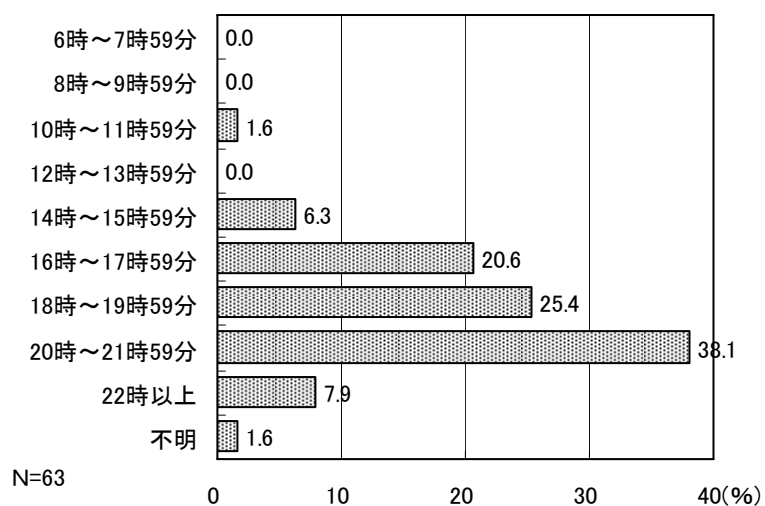
■希望する利用時間（1日当たり）



■希望する利用開始時間

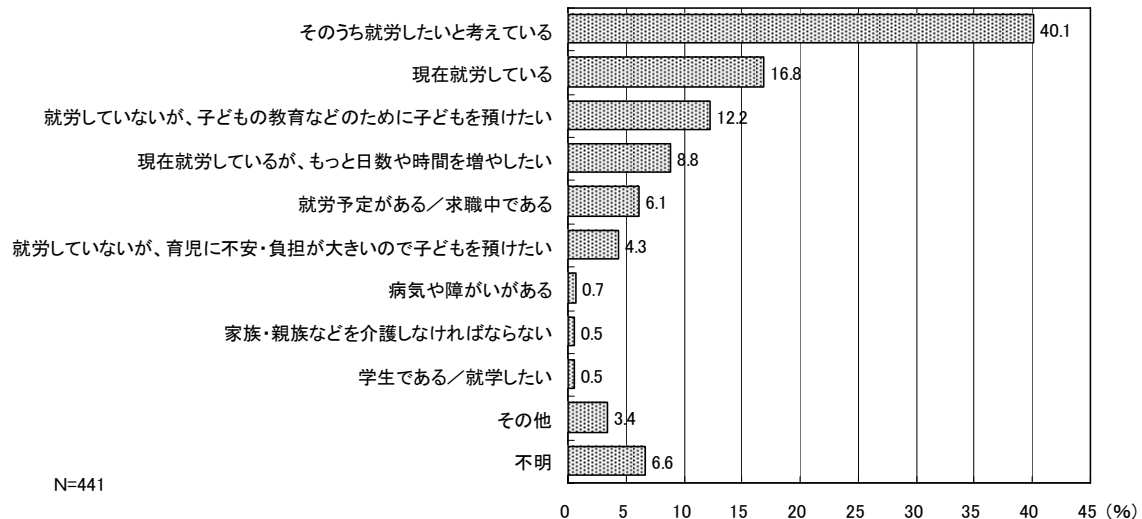


■希望する利用終了時間



問 1 2-2 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。もっともあてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。

問 1 2 で「1.」～「9.」のいずれかを回答した人に、サービスを利用したいと考えている理由についてたずねたところ、「そのうち就労したいと考えている」と回答した人が最も多く、次が「現在就労している」(16.8%)、「就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい」(12.2%)といった順である。



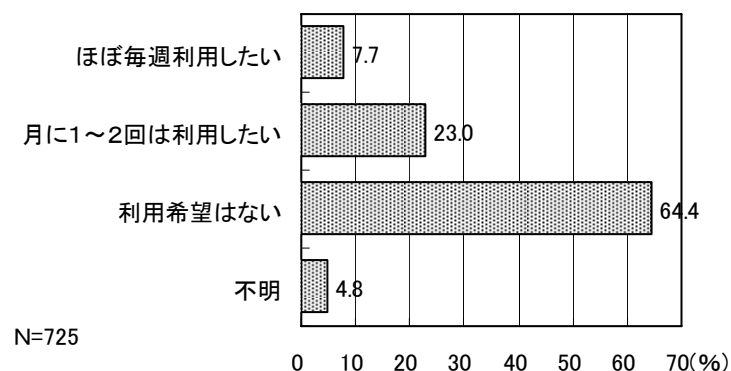
問 1 3 封筒のあて名のお子さんの土曜日と日曜日・祝日の保育について、すべての方に希望をお伺いします。

問 1 3 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど(就労、介護などの恒常的な利用で一時的な利用は除きます)の利用希望がありますか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。

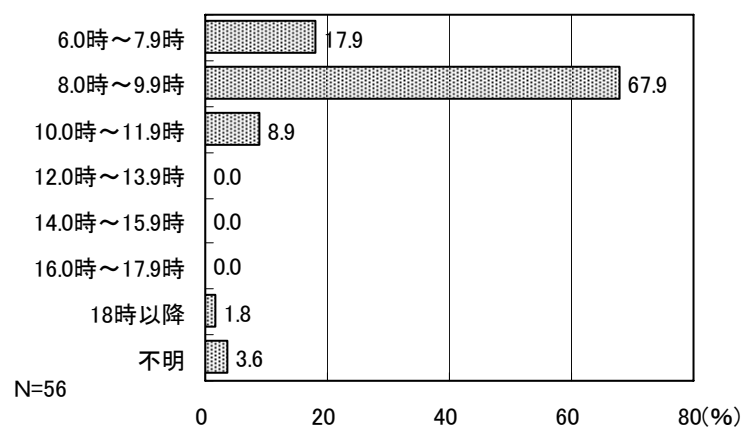
※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの保育サービスを指し、親族・知人による預かりは含みません。

土曜日と日曜日・祝日の保育サービスなどの利用については、「利用希望はない」と回答した人が 64.4%と半数以上である。

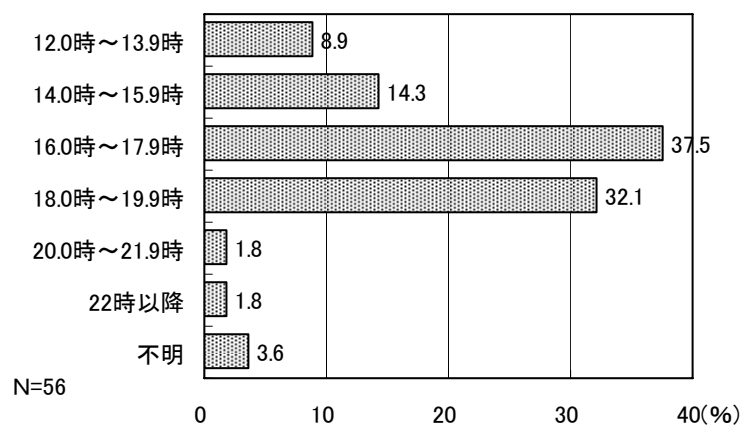
利用を希望する人の希望開始時間は 8～9 時台、希望終了時間は 16～17 時台が最も多い。



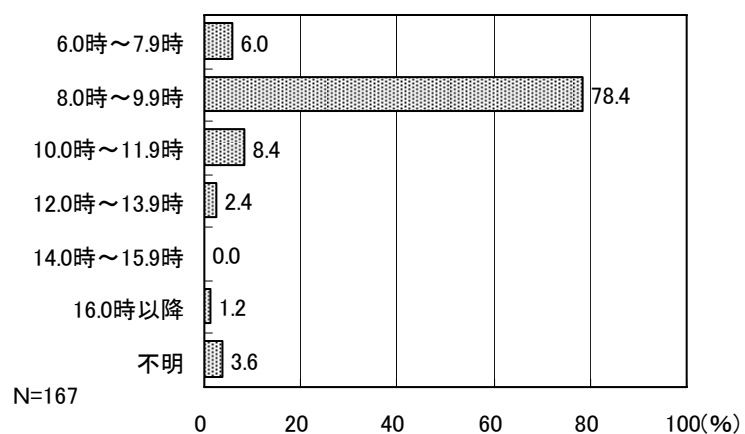
■每週利用希望開始時間



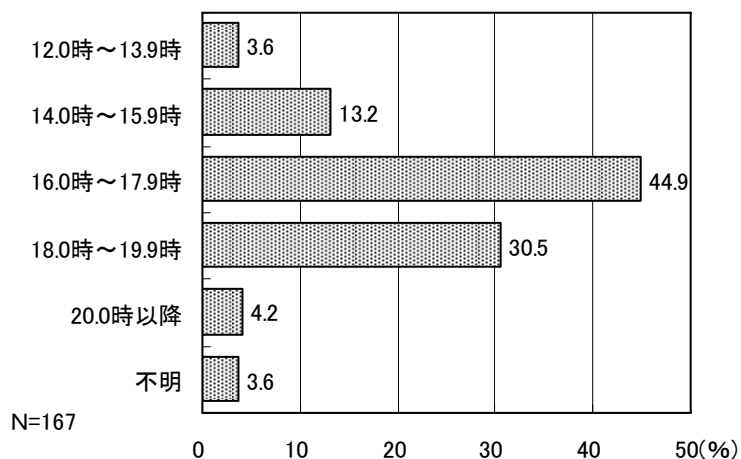
■每週利用希望終了時間



■毎月利用希望開始時間



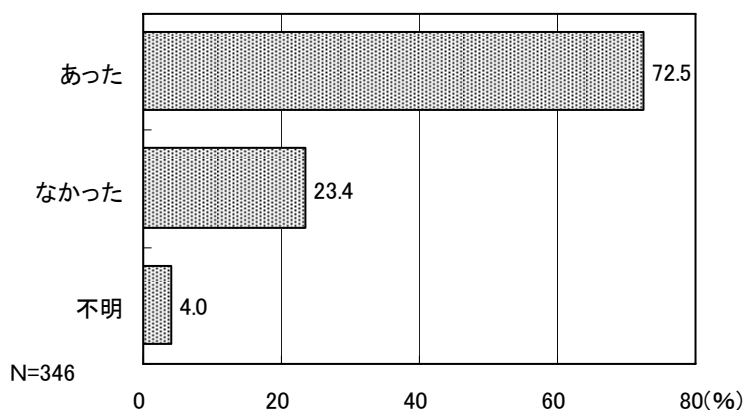
■ 毎月利用希望終了時間



4. 封筒のあて名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問 1 4 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス（問9－3の定義参照）が利用できなかったことはありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

現在、保育サービスを利用している人のうち、この1年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかった人は、72.5%である。

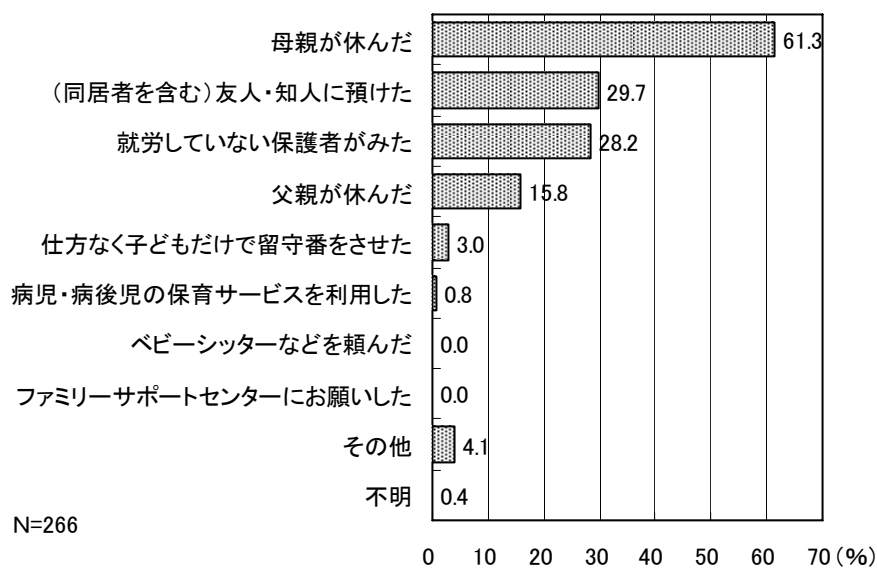


問14-1は、問14で「1。」を選ばれた方にお伺いします。

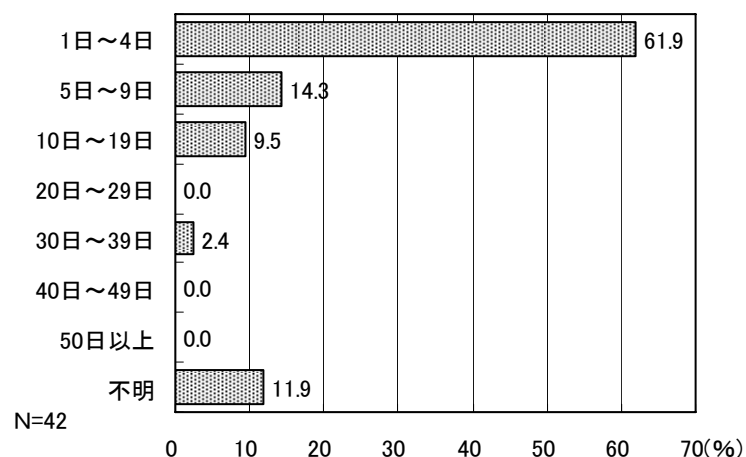
問14-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）（複数回答可）

問14で通常の保育サービスが利用できなかったことがあったと回答した人にその際の対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」と回答した人が最も多く、次いで「(同居者を含む)友人・知人に預けた」(29.7%)、「就労していない保護者がみた」(28.2%)と続いている。

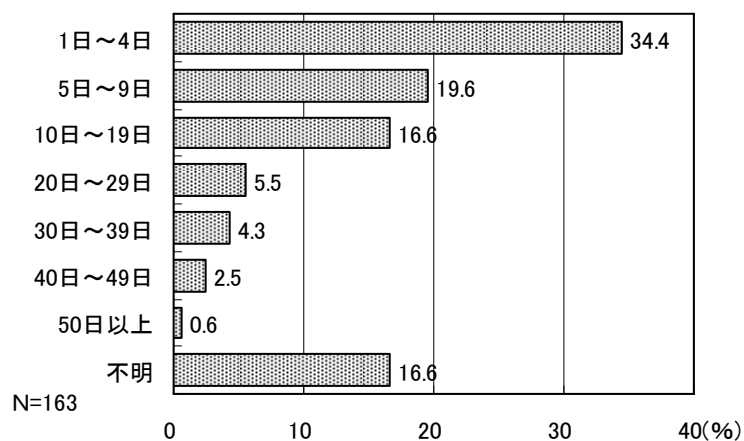
休んだ日数及び預けた日数は、いずれも「1～4日」が最も多い。



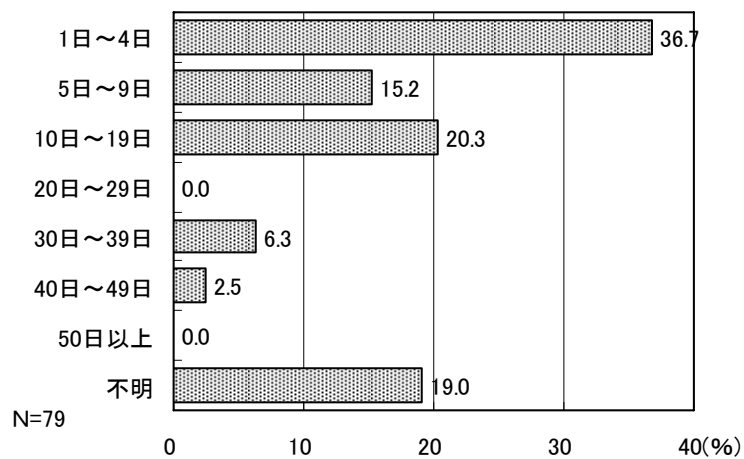
■父親が休んだ日数



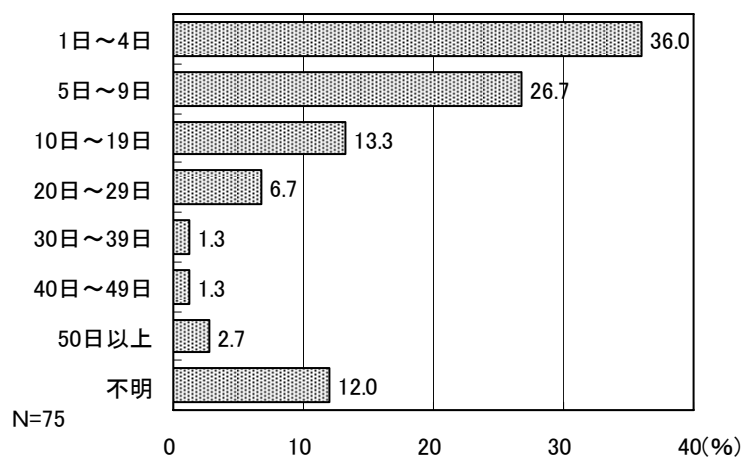
■母親が休んだ日数



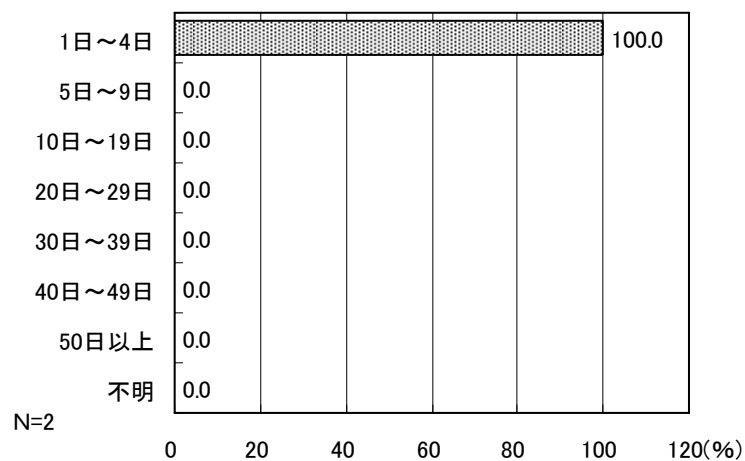
■（同居者を含む）親族・知人に預けた日数



■就労していない保護者に預けた日数



■病児・病後児の保育サービスを利用した日数



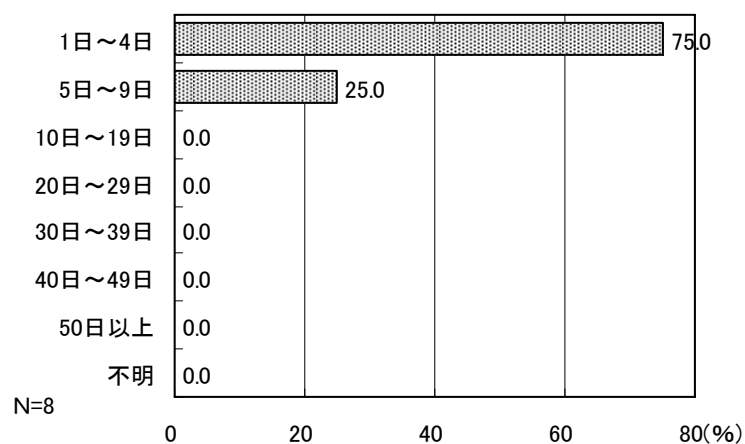
■ベビーシッターなどを頼んだ日数

該当なし

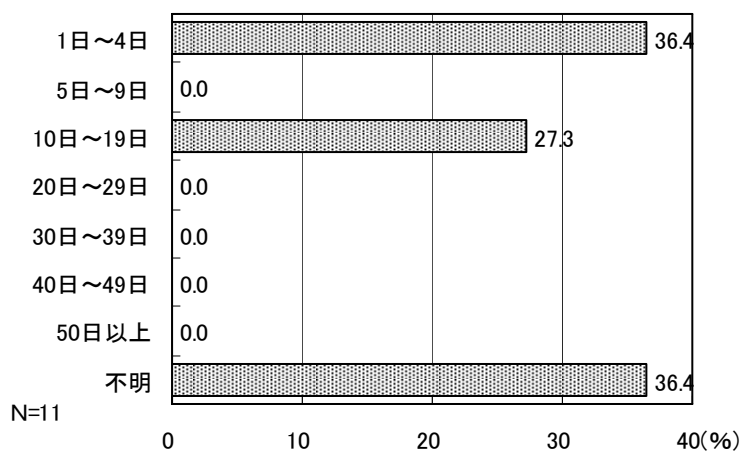
■ファミリーサポートセンターにお願いした日数

該当なし

■仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



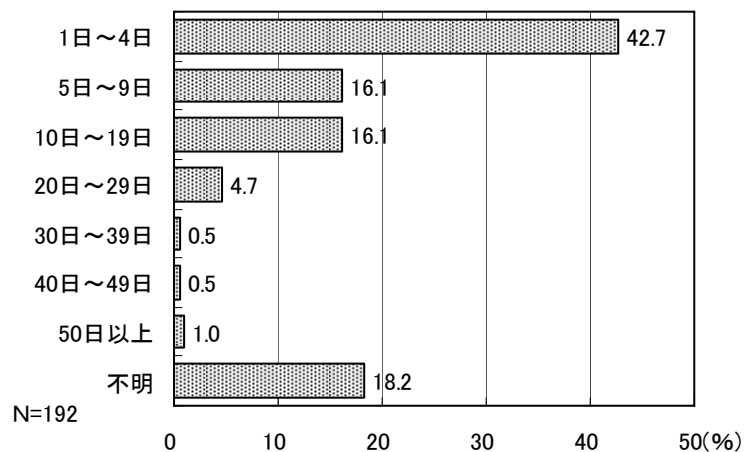
■その他の日数



問14-2は、問14-1で「1.」「2.」「3.」を選ばれた方にお伺いします。

問14-2 その際、できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

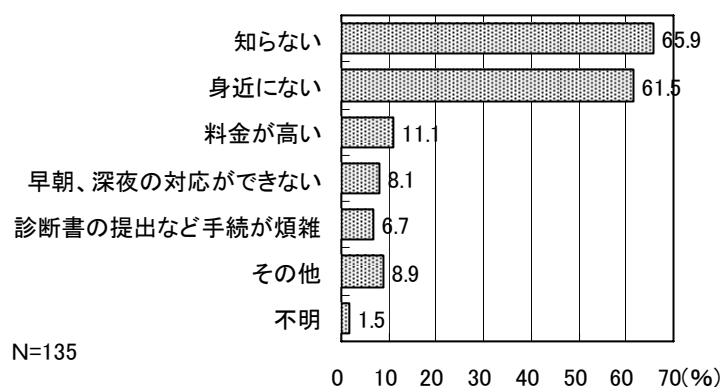
問14-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に預けた」のいずれかを回答した人に、できれば施設に預けたいと思った日数をたずねたところ、「1～4日」と回答した人が42.7%で最も多い。



問14-3は、問14-2で「できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したい」日数を1日以上と記入された方にお伺いします。

問14-3 その際、病児・病後児保育サービスを利用されなかった理由はどのようなことですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

病児・病後児保育サービスを利用しなかった理由としては、「知らない」、「身近にない」が半数以上であり、サービスの認知度の向上等が課題と言える。



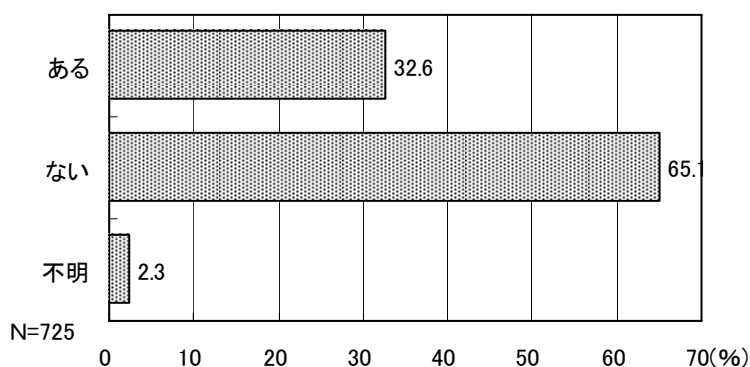
5. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問 15 この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけて日数を記入してください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

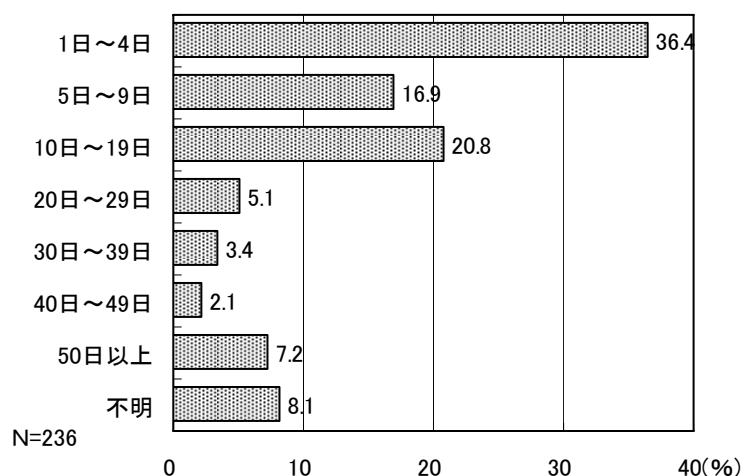
この１年間に私用等や就労のため子どもを誰かに一時的に預けたことについては、「ある」人は32.6%とほぼ３人に１人の割合である。

１年間に預けた日数については、「１～４日」が最も多い。

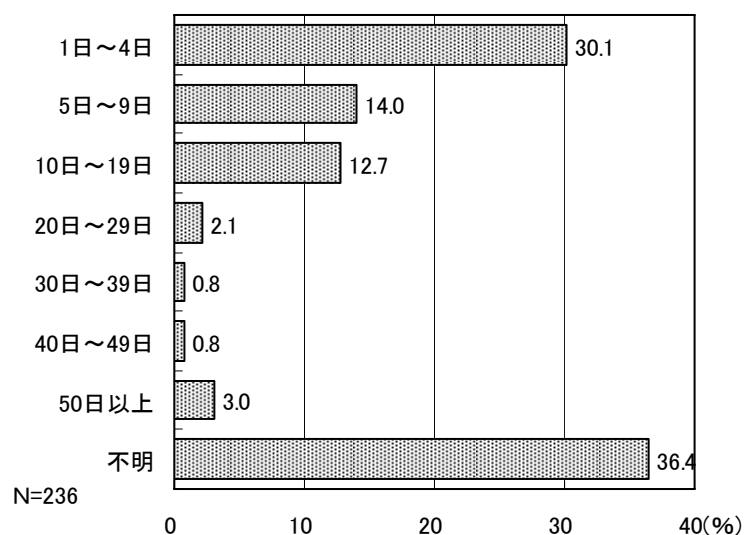
理由別では、私用、リフレッシュ目的が多く、日数は「１～４日」が最も多い。



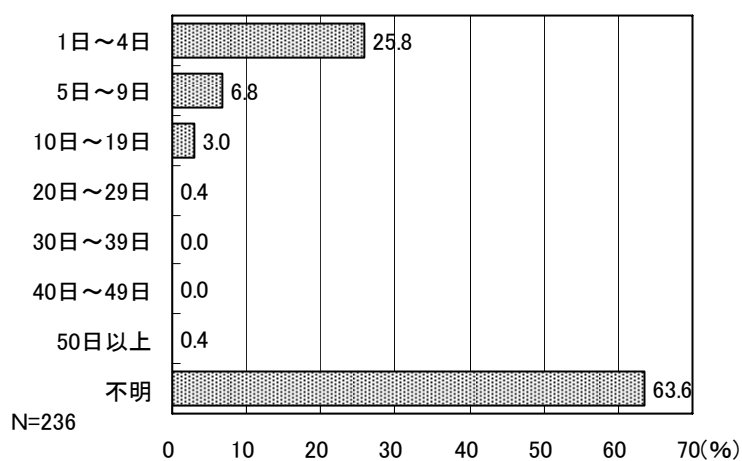
■ 年間



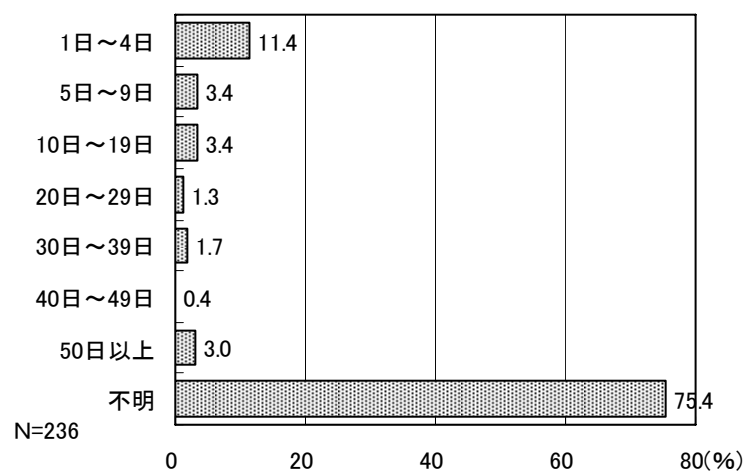
①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的



②冠婚葬祭、子どもの親の病気

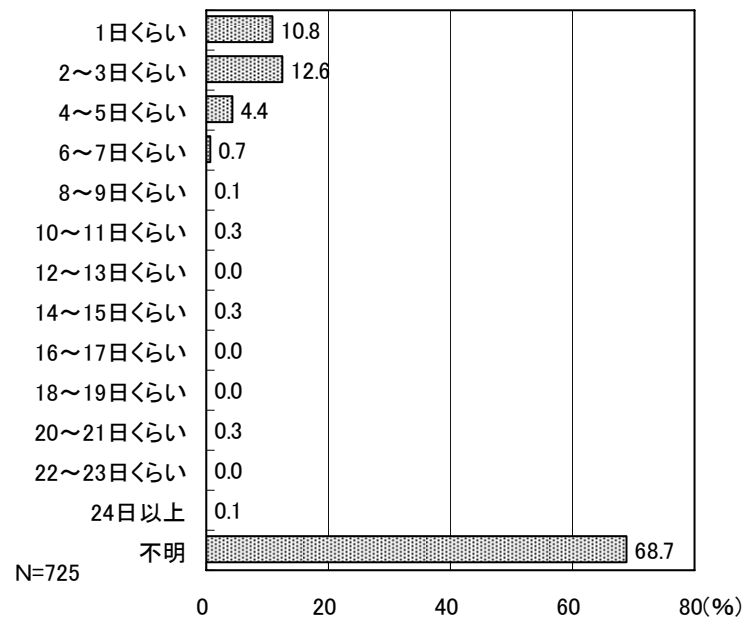


③就労



問 15-1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

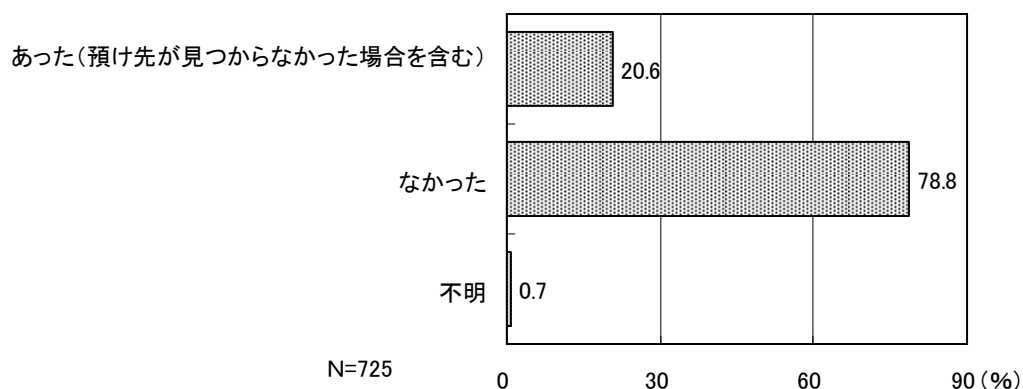
増やしたい日数では、月に「2～3日くらい」が多い。



6. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問 16 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで預けなければならぬことはありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

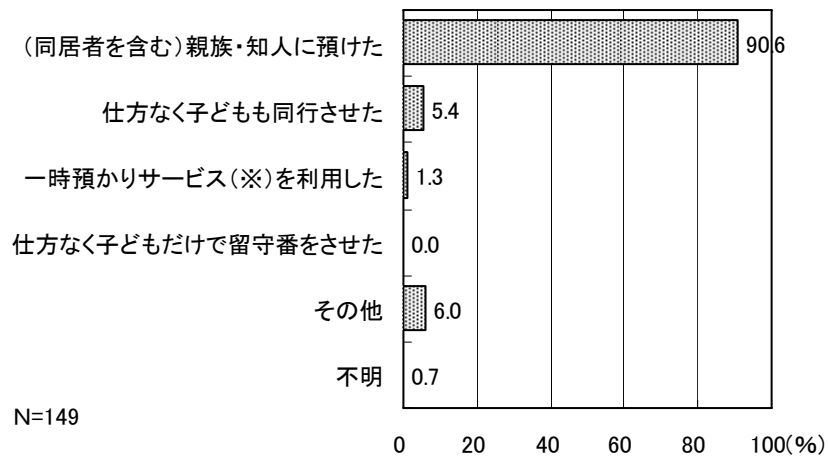
この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで預けなければならぬことが「あった」人は20.6%、およそ5人に1人の割合であった。



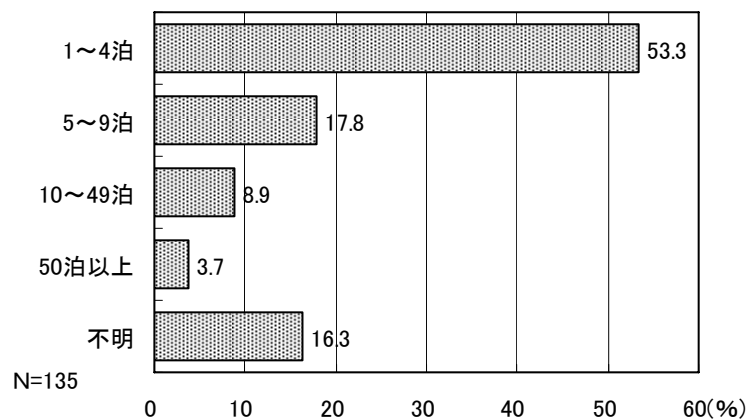
問16-1は、問16で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問16-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（複数回答可）

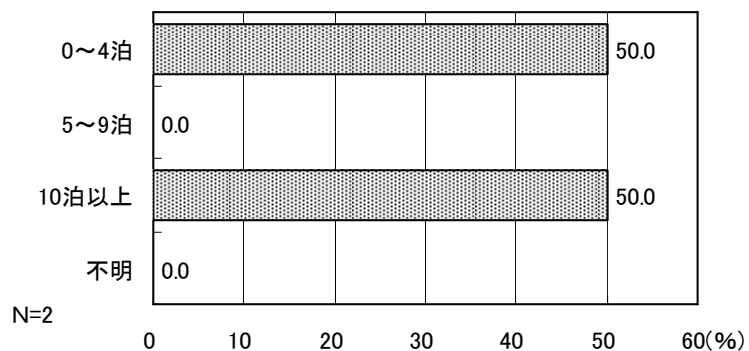
問16で「あった」と回答した人にその際の対処方法をたずねたところ、「（同居者を含む）親族・知人に預けた」と回答した人が圧倒的に多く90.6%であった。また、（同居者を含む）親族・知人に預けた泊数は「1～4泊」が最も多い。



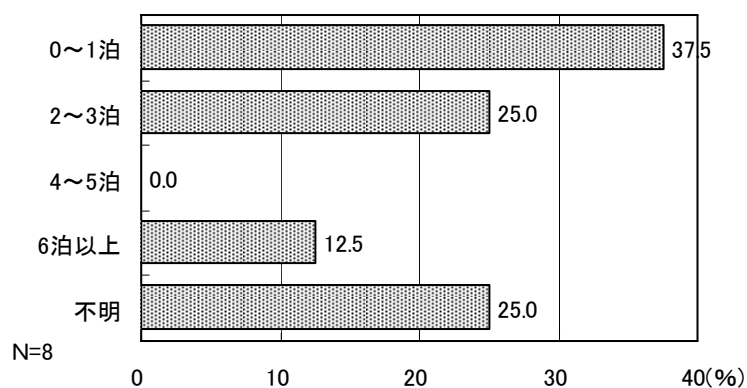
■（同居者を含む）親族、知人に預けた泊数



■一時預かりサービスを利用した泊数

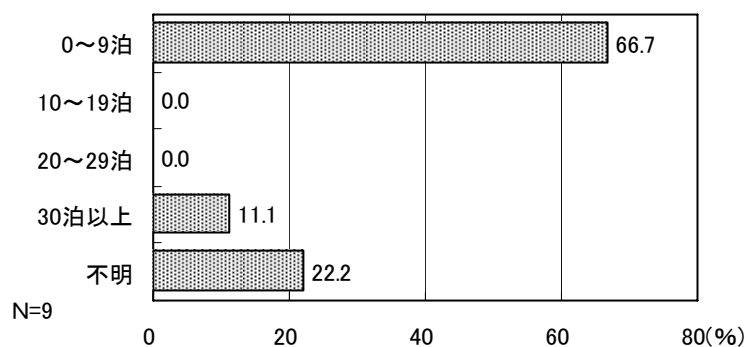


■仕方なく子どもも同行させた泊数



■仕方なく子どもだけで留守番をさせた
該当なし

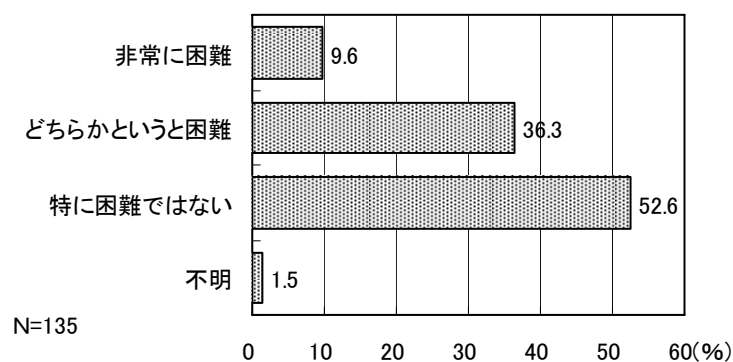
■その他の泊数



問16-2は、問16-1で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問16-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問16-1で「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」と回答した人にその場合の困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」と回答した人が半数を上回っているが、「非常に困難」「どちらかという困難」と回答した人を合わせると45.9%であり、困難さを感じた人も多いことがわかる。

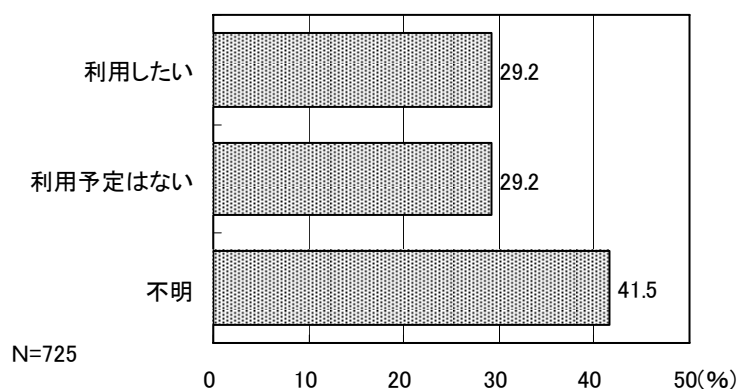


7. 来年度就学予定の児童の保護者の方にお伺いします。

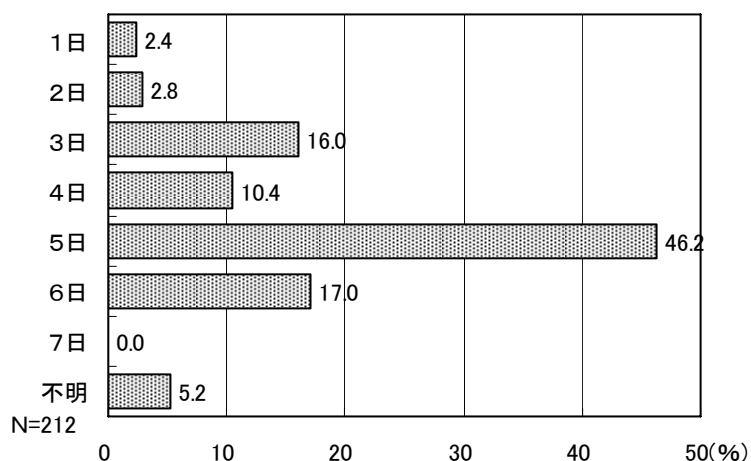
問17 封筒のあて名のお子さんの小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

【放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。】

放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用したい」と「利用予定はない」が同じ割合であった。また、利用希望者の希望利用日数は週当たり「5日」が最も多い。



■希望利用日数（週当たり）



8. ベビーシッターを利用していられる方にお伺いします。

問18 どのような目的で利用していられるいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

ベビーシッターを利用している人は4人であり、利用目的は、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」などであった。

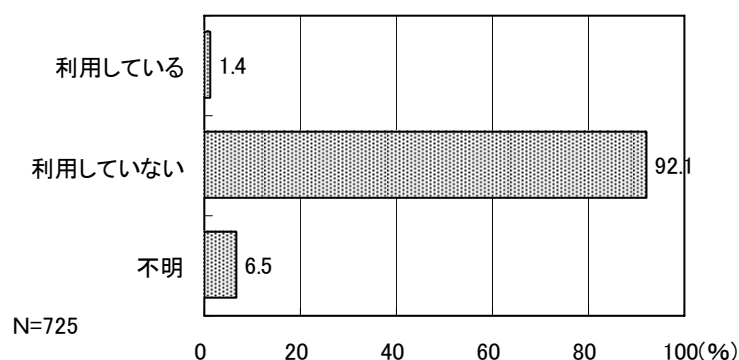
問18-1 どれくらいの頻度で利用していられるいますか。枠内に数字をご記入ください。

1月あたりの利用日数は、「1日」が2人、「8日」が1人であった。また、1回あたり利用時間は、「2時間」が1人、「4時間」が1人、「5時間」が1人であった。

9. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問19 ファミリーサポートセンターを利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

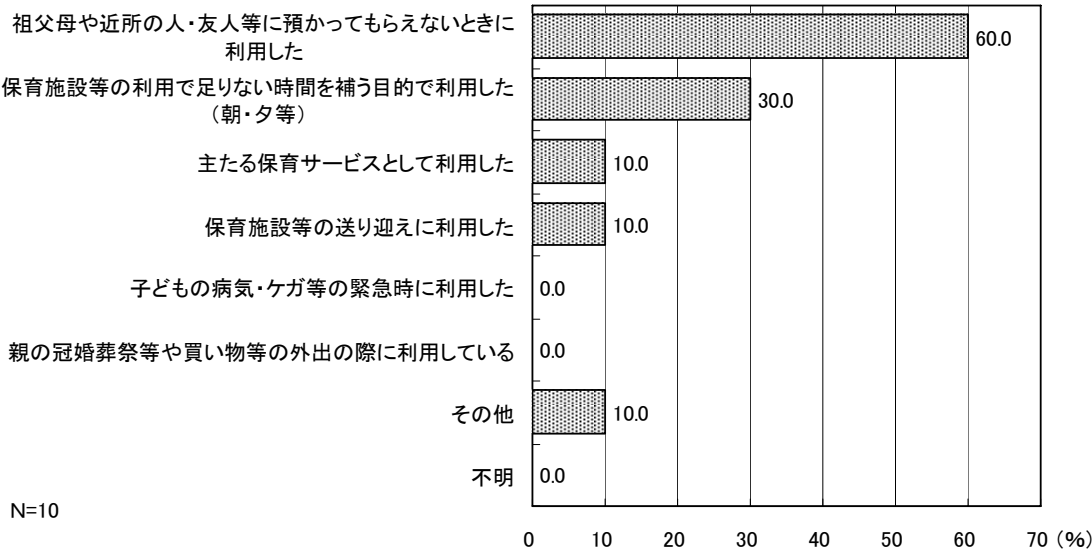
ファミリーサポートセンターを「利用している」人は1.4%(10人)と少なく、「利用していない」人が圧倒的に多い。



問19-1～問19-3は、問19で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問19-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

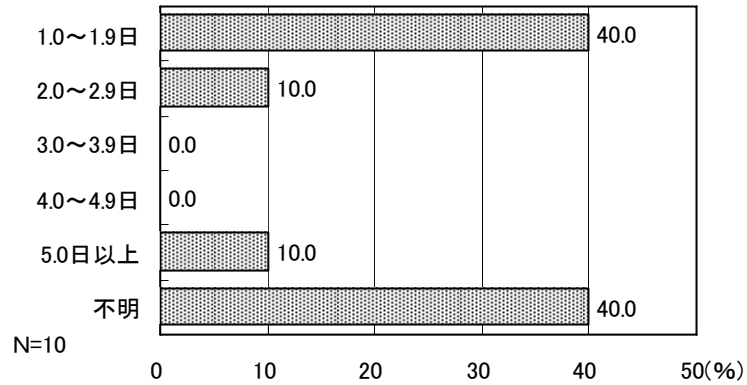
問19でファミリーサポートセンターを「利用している」と回答した人にその目的をたずねたところ、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用した」と回答した人が最も多く、次が「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用した（朝・夕等）」である。



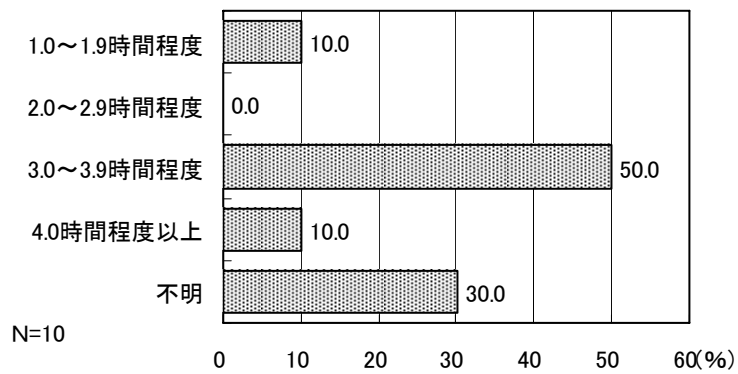
問 19-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

ファミリーサポートセンターを利用している人に利用頻度についてたずねたところ、1月あたり「1～2日未満」と回答した人が最も多く、1回あたりの利用時間は、「3～4時間未満」と回答した人が最も多い。

■ 1月あたり利用日数



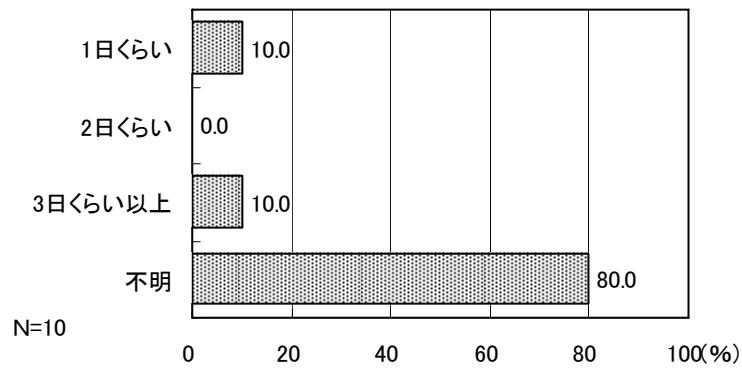
■ 1回あたり利用時間



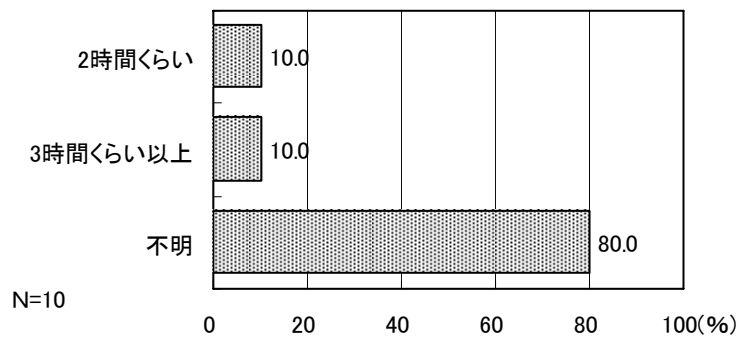
問 19-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

ファミリーサポートセンターを利用している人に利用日数・回数を増やしたいかどうかをたずねたところ、10人中2人が増やしたいと回答した。

■ 1月あたり利用日数



■ 1回あたり利用時間

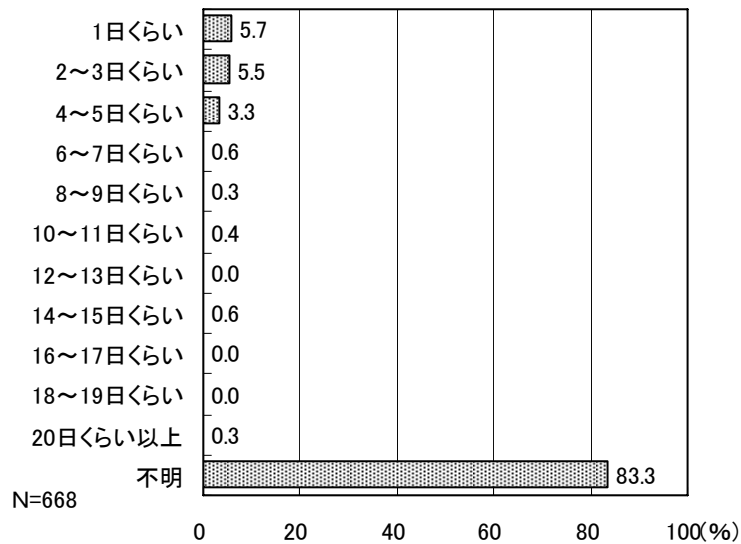


問19-4は、問19で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

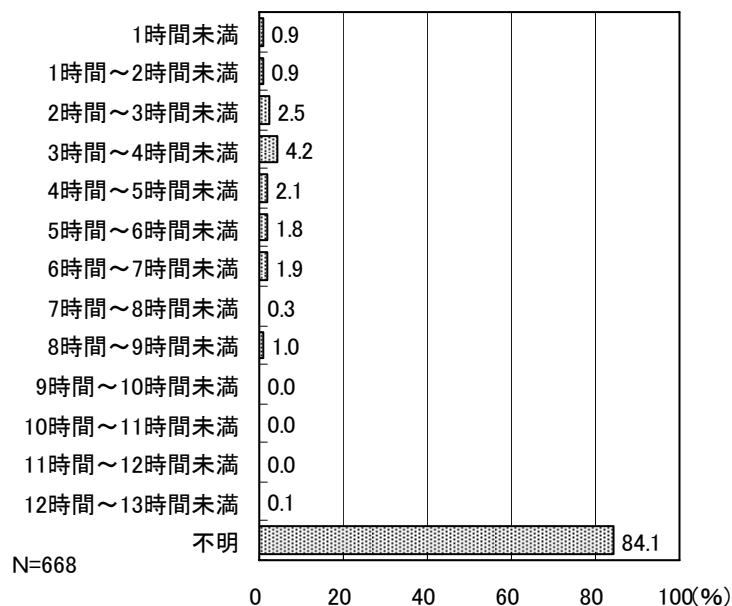
問19-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

問19でファミリーサポートセンターを「利用していない」と回答した人に今後の利用希望をたずねたところ、1割以上の方が利用を希望している。

■ 1月あたり利用日数



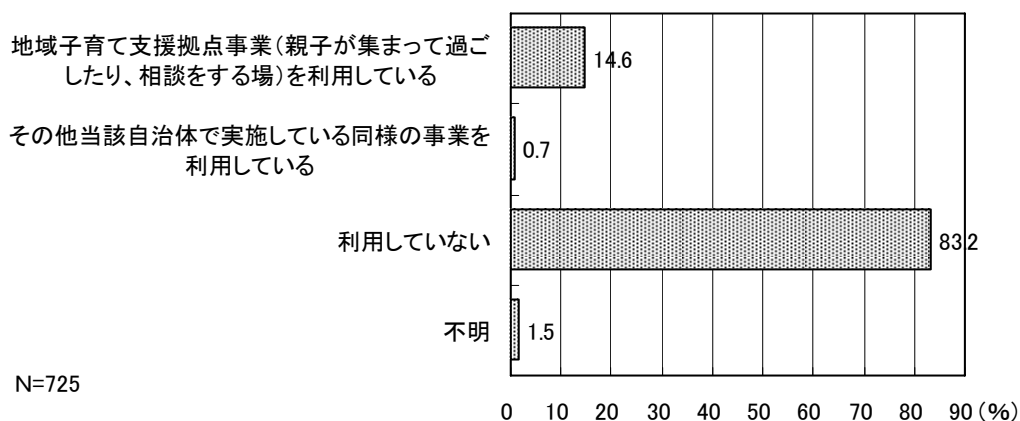
■ 1回あたり利用時間



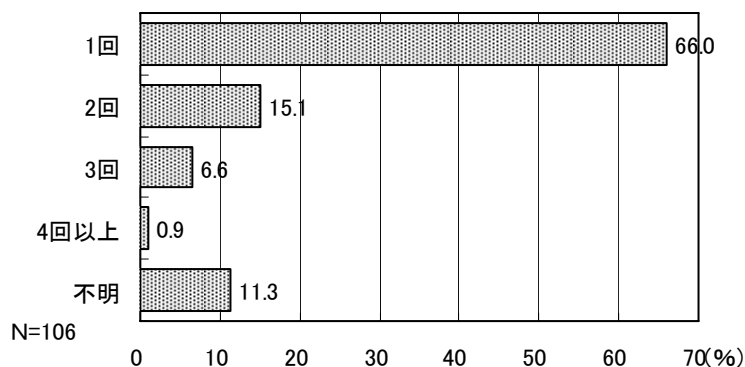
10. すべての方にお伺いします。

問20 封筒のあて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいのひろば、子育て支援センター等と呼ばれています）を利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

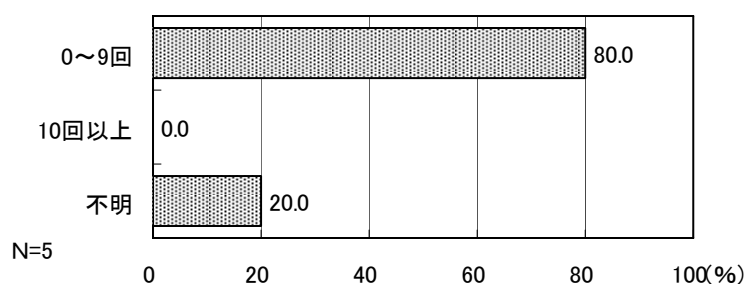
地域子育て支援拠点事業を利用している人は14.6%であり、1週当たりの利用回数は「1回」が66.0%で最も多い。



■地域子育て支援拠点事業 1 週当たり回数

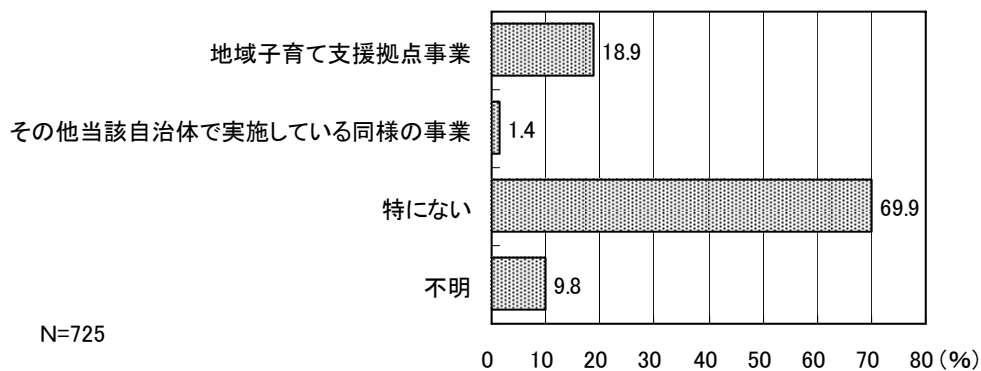


■その他当該自治体で実施している同様の事業 1 週当たり回数

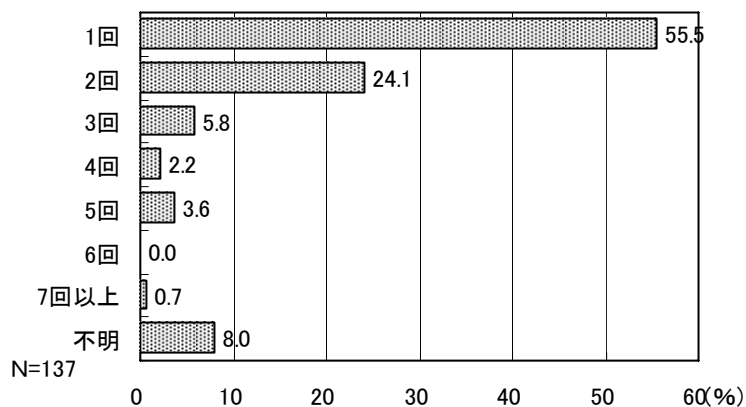


問20-1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

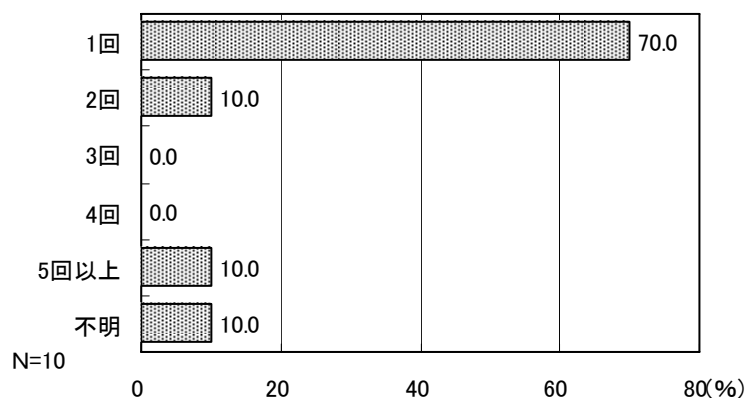
地域子育て支援拠点事業の今後の利用や利用日数の増加の希望を希望する人は18.9%であり、利用している割合(14.6%)よりも4.3ポイント多い。希望する1週当たりの利用回数は、「1回」が最も多く55.5%であった。



■地域子育て支援拠点事業 1 週当たり希望回数



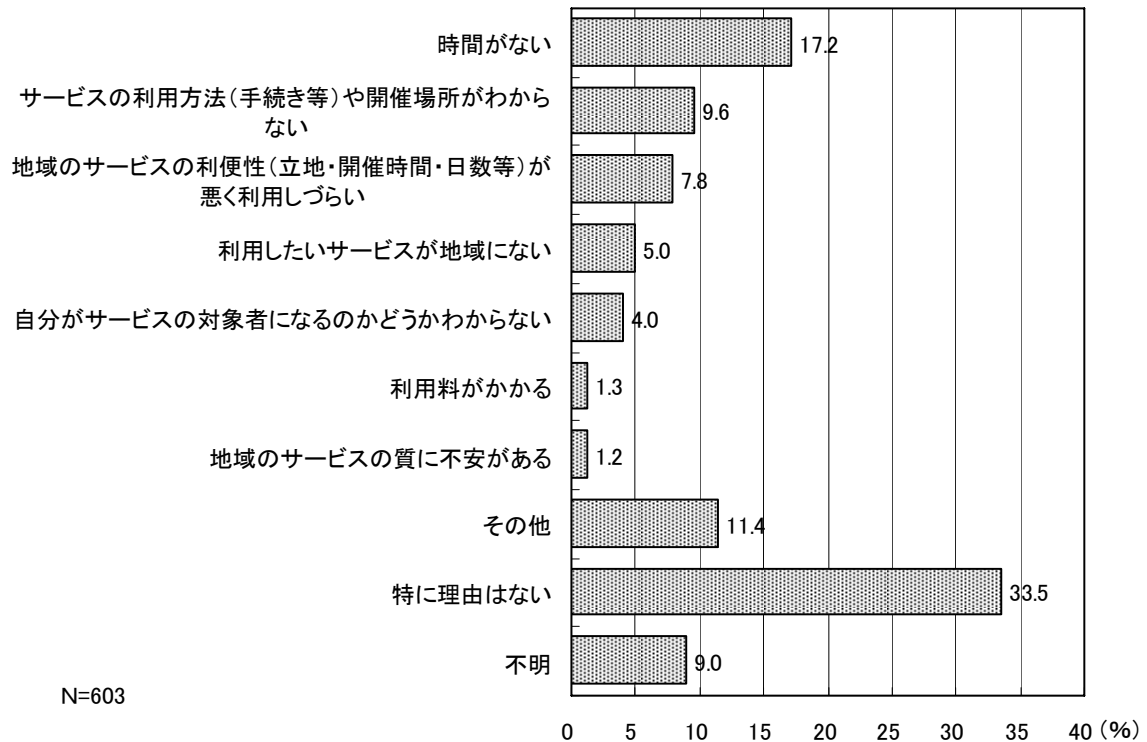
■その他当該自治体で実施している同様の事業 1 週当たり希望回数



問20-2は、問20で「3.」を選ばれた方にお伺いします。

問20-2 現在利用していない理由はどのようなことですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問20で地域子育て支援拠点事業を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「特に理由はない」と回答した人が33.5%で最も多い。具体的な理由の中では「時間がない」が17.2%で最も多い。



子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします。

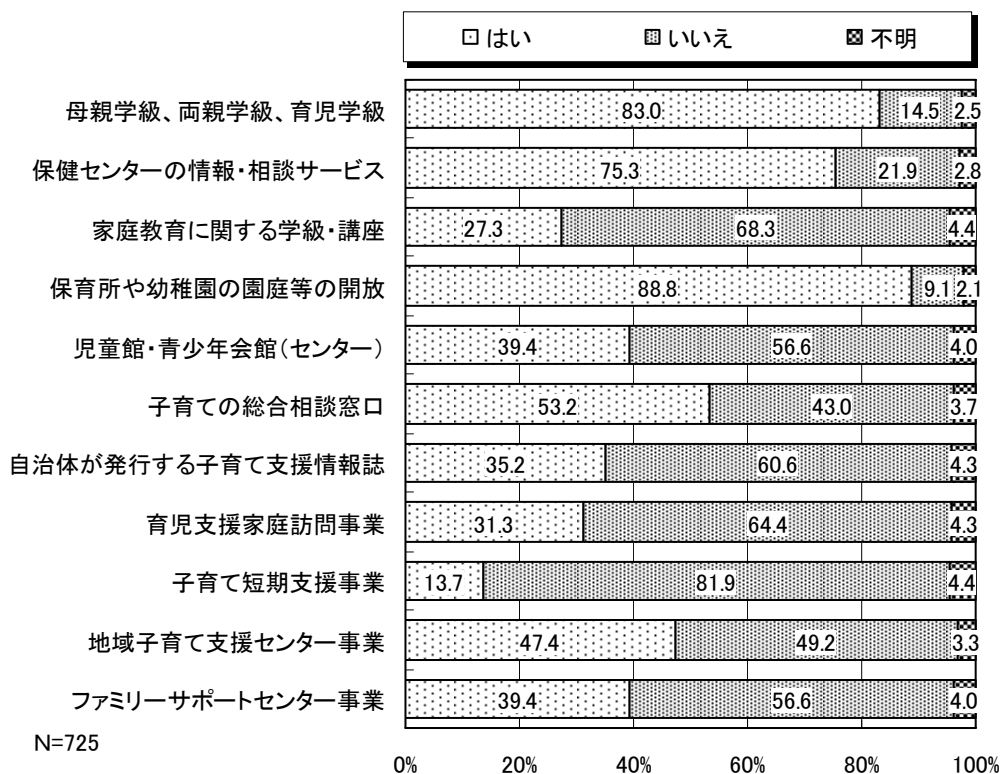
問 2 1 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、「1. はい」、「2. いいえ」のどちらかに○をつけてください。

子育て支援サービスの認知度をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」や「母親学級、両親学級、育児学級」などは認知度が高い。一方、「子育て短期支援事業」は他のサービスと比べて、特に認知度が低い。

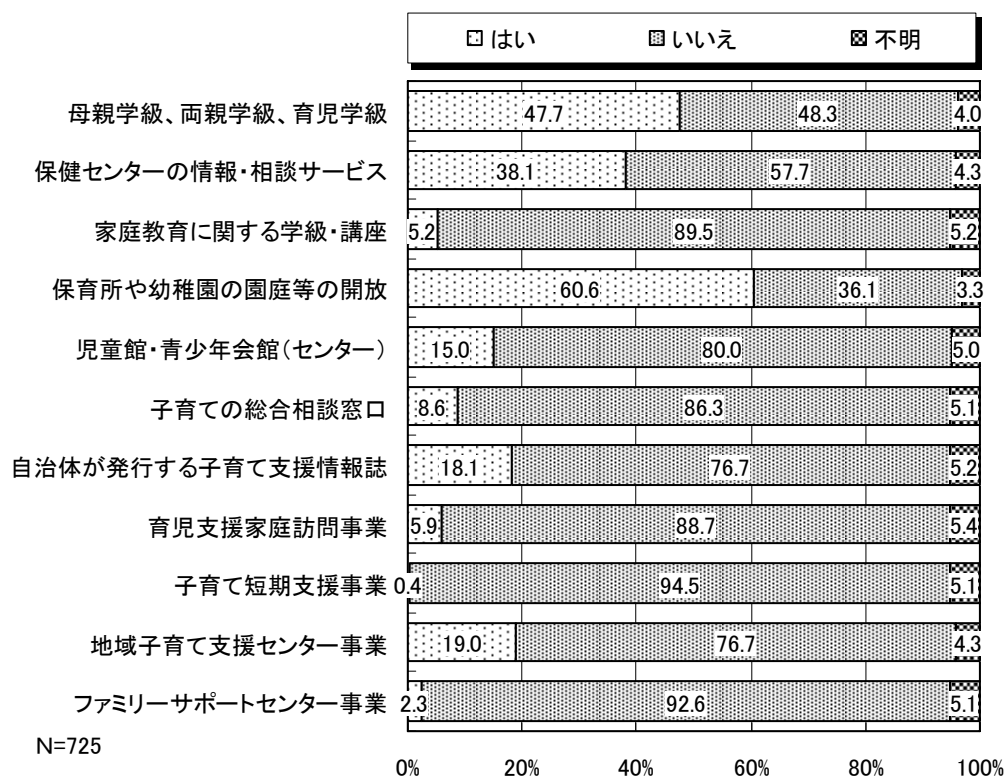
サービスの利用経験については、認知度の高い「保育所や幼稚園の園庭等の開放」や「母親学級、両親学級、育児学級」は利用した人も多い。

今後のサービスの利用希望については、「保健センターの情報・相談サービス」や「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、「自治体が発行する子育て支援情報誌」などが多い。

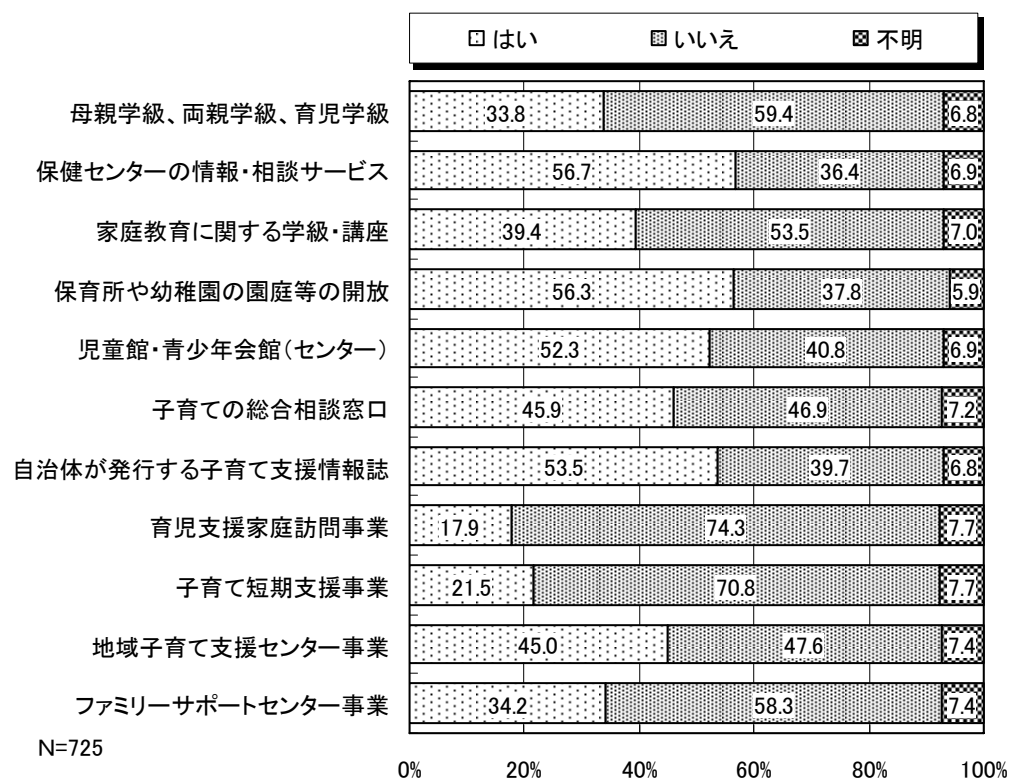
A. 知っている



B. これまでに利用したことがある

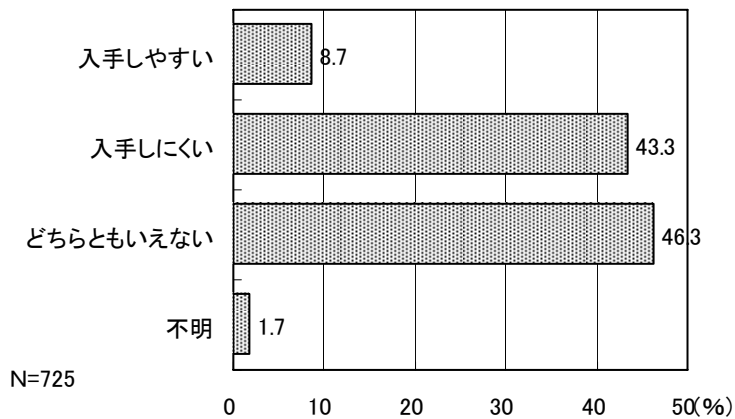


C. 今後利用したい



問2 1－1 問2 1の子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

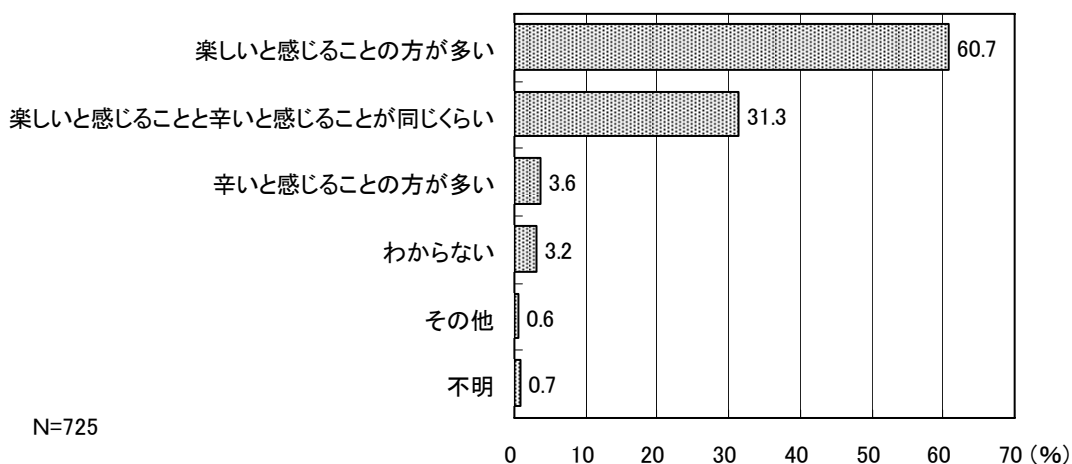
子育て支援サービスの情報については、「入手しやすい」と回答した人は8.7%と大変少なく、「入手しにくい」と回答した人が43.3%にのぼっており、今後の課題といえる。



子育て全般についてお伺いします。

問2 2 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

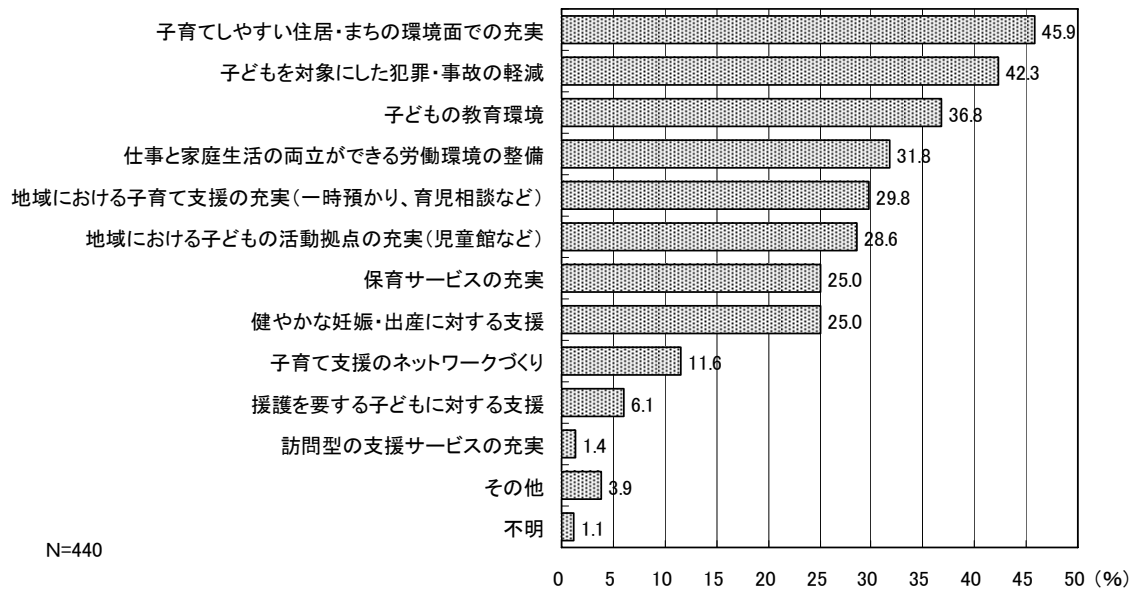
子育ての楽しさについては、「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人が最も多く、約6割を占めている。



問22-1は、問22で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問22-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。（3つまで回答可）

子育てをする中で、有効と思われる支援・対策としては、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も多く、次に「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」「子どもの教育環境」と続く。

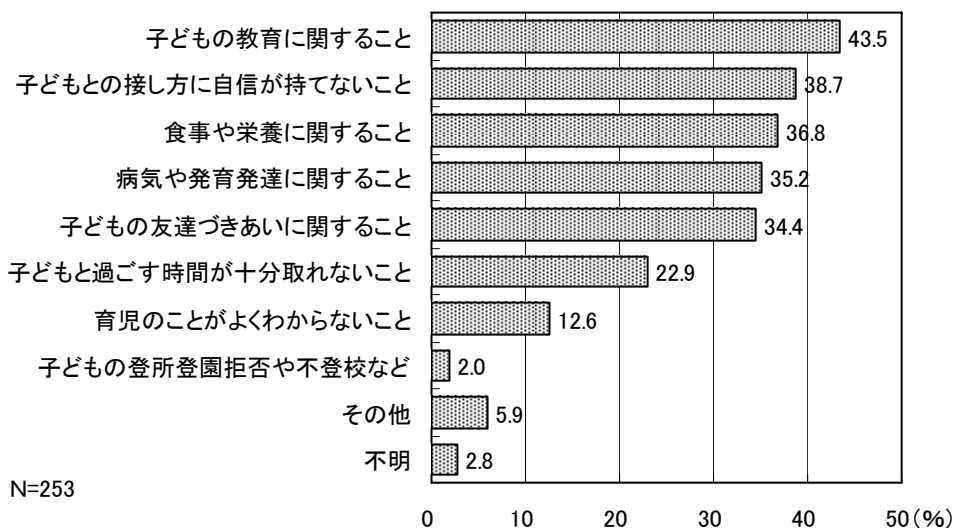


問22-2及び問22-3は、問22で「2.」「3.」を選ばれた方にお伺いします。

問22-2 あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

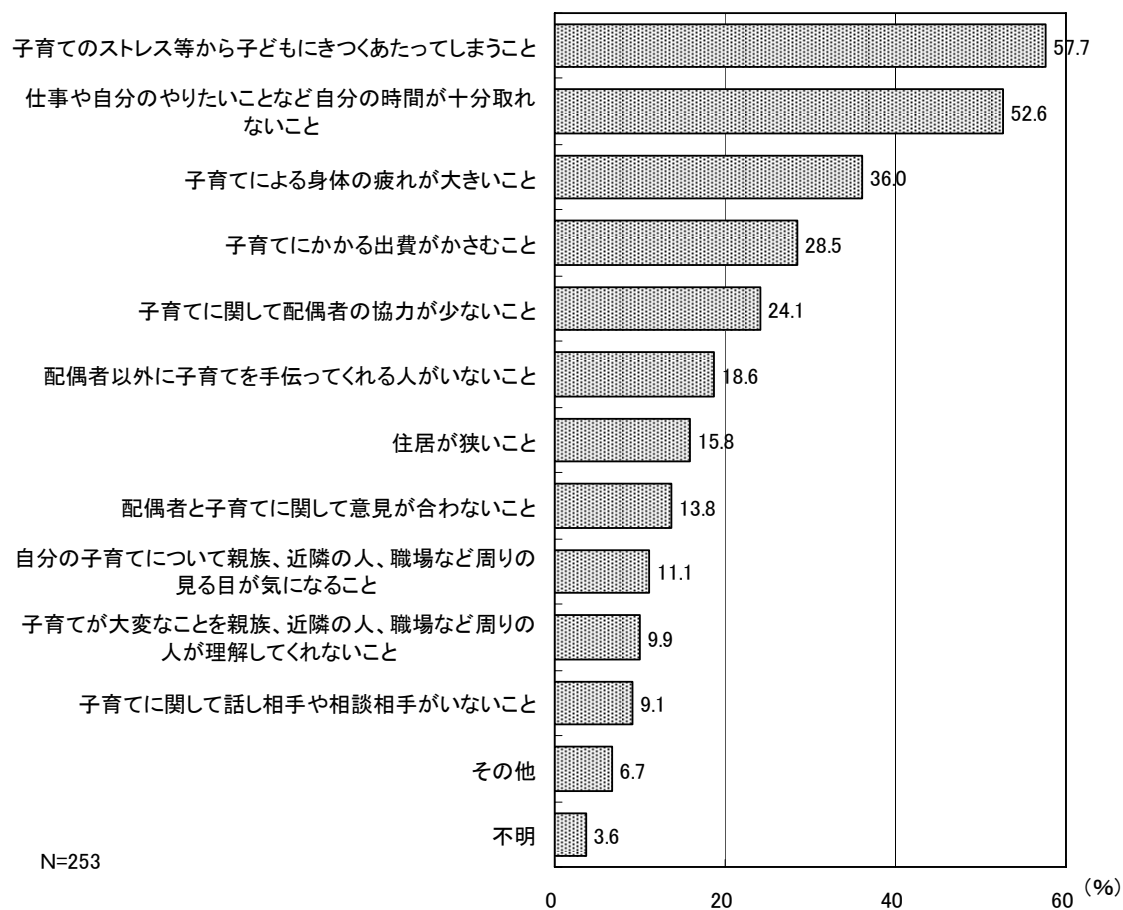
(1) 子どもに関すること

日常悩んでいること、あるいは気になることとしては、「子どもの教育に関すること」が最も多く、次が「子どもとの接し方に自信が持てないこと」である。



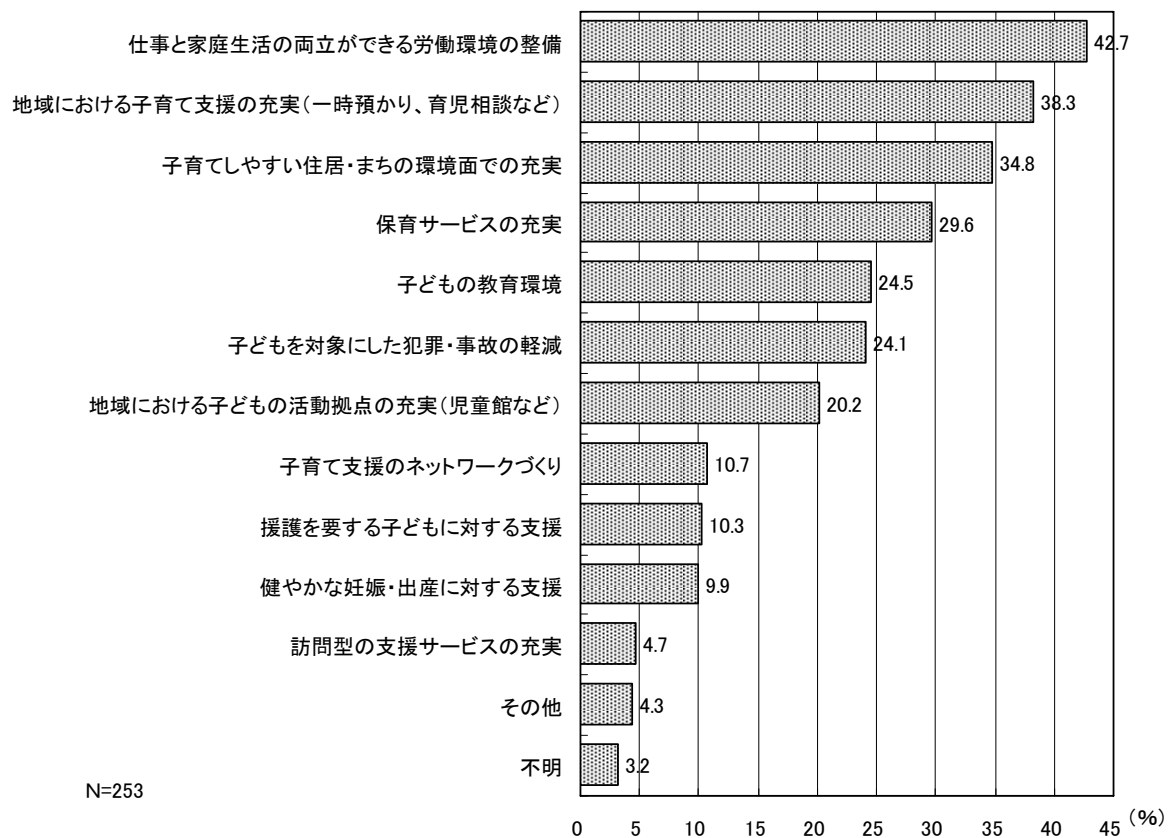
(2) あなたに関すること

自分自身については、最も多いのが「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」であり、次が「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」である。



問 2 2 - 3 あなたにとって子育ての辛さを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。(3つまで回答可)

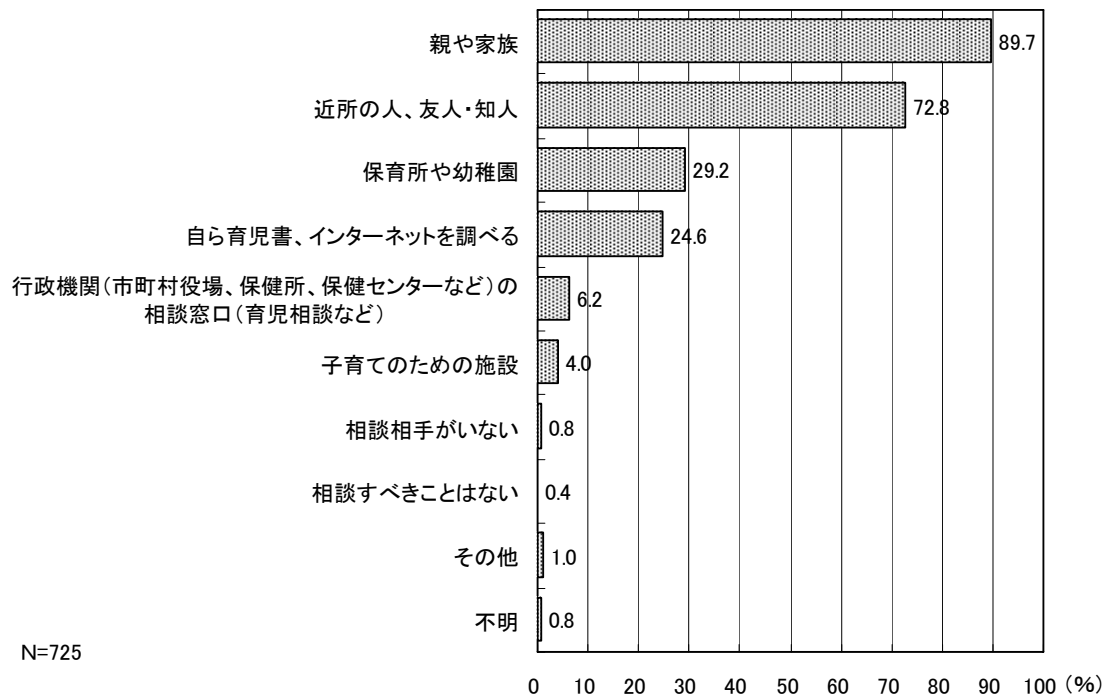
子育ての辛さを解消するために必要な支援・対策としては、最も多いのが「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」であり、次に「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」と続く。



すべての方にお伺いします。

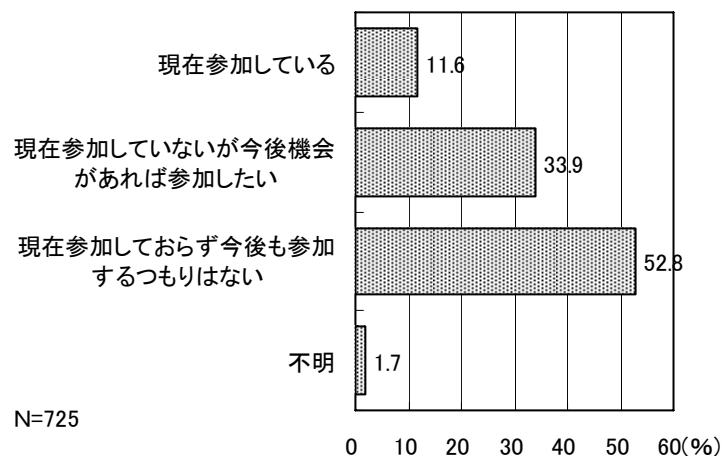
問 2 3 子育てについて、誰に相談していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

子育ての相談相手としては、最も多いのが「親や家族」であり、次が「近所の人、友人・知人」である。



問 2 4 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

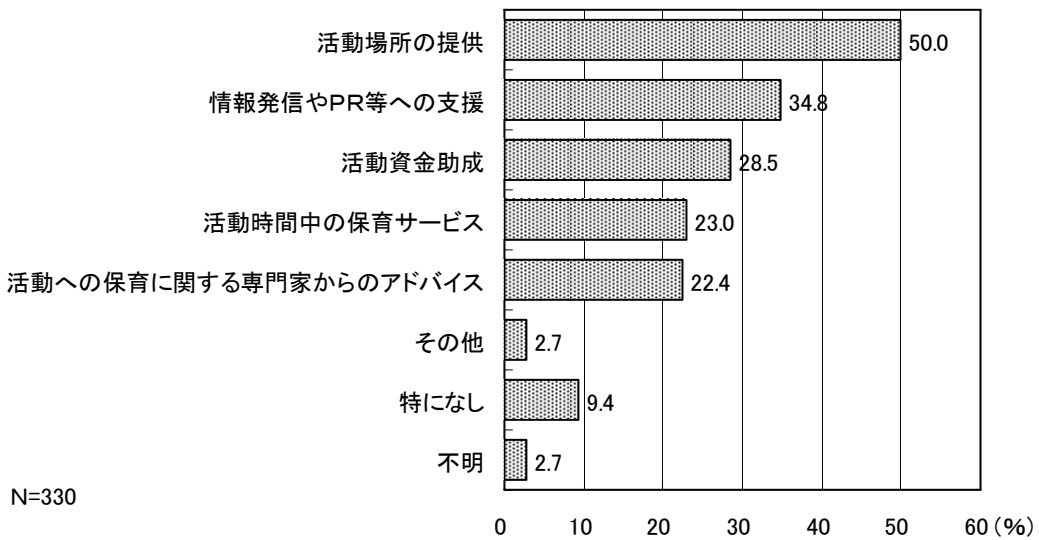
子育てサークルなど自主的な活動については、「現在参加している」人は11.6%であり、半数以上の人々が「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」と回答している。



問24-1は、問24で「1.」「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問24-1 自主活動をするにあたり、行政に行って欲しい支援は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

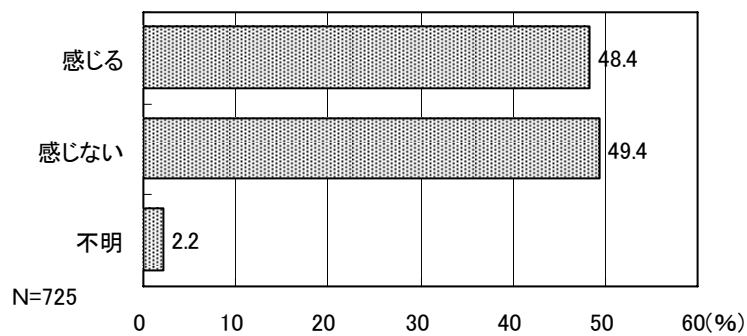
最も多いのは「活動場所の提供」であり、次が「情報発信やPR等への支援」である。



すべての方にお伺いします。

問25 あなたにとって、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

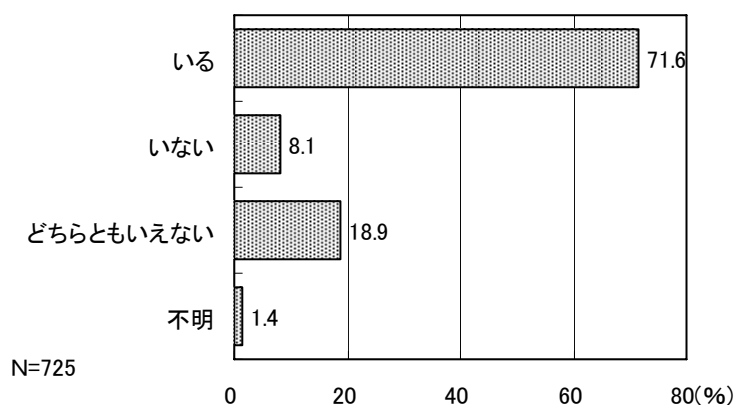
「感じる」と回答した人と「感じない」と回答した人がほぼ同じ割合であった。



1 1. 子どもの健康についてお伺いします。

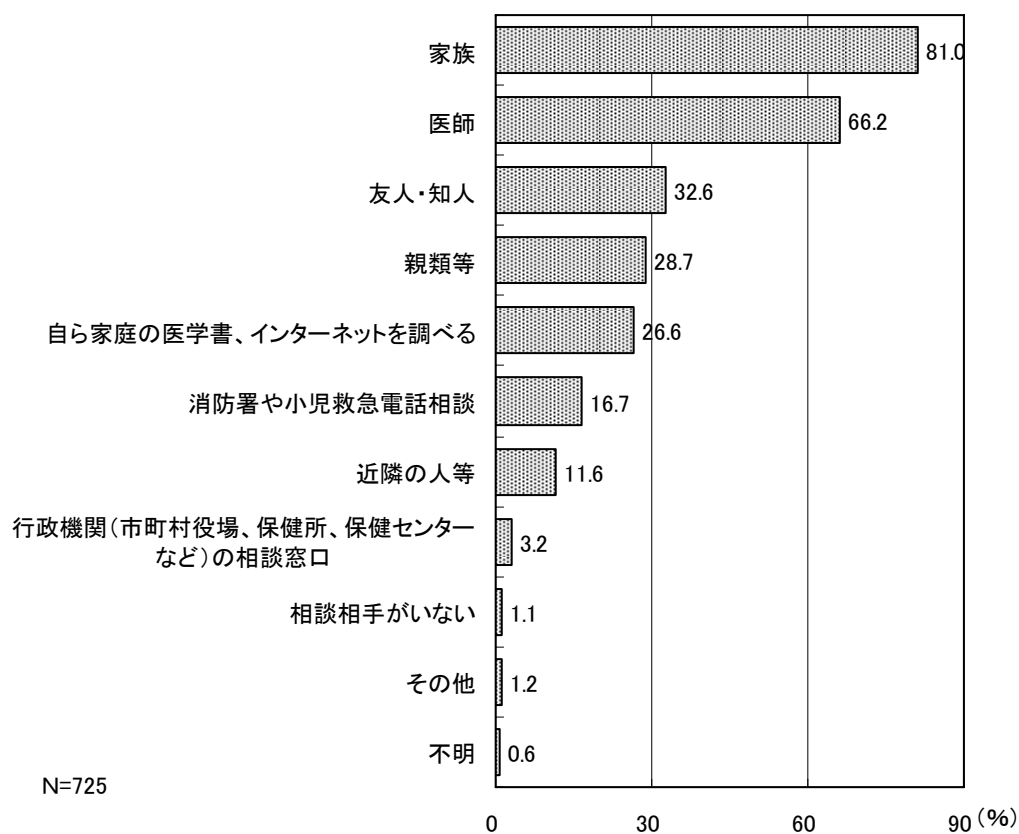
問2 6 封筒のあて名のお子さんについて、かかりつけの医師はいますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

かかりつけの医師の有無については、「いる」と回答した人が71.6%であった。



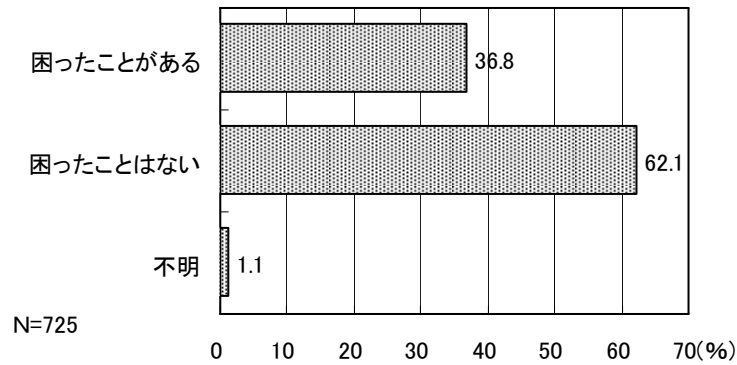
問2 7 お子さんがけがや急病のとき、誰に相談していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

子どもがけがや急病のときの相談相手では、「家族」が最も多く、次が「医師」である。



問28 お子さんがけがや急病のとき、すぐ診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

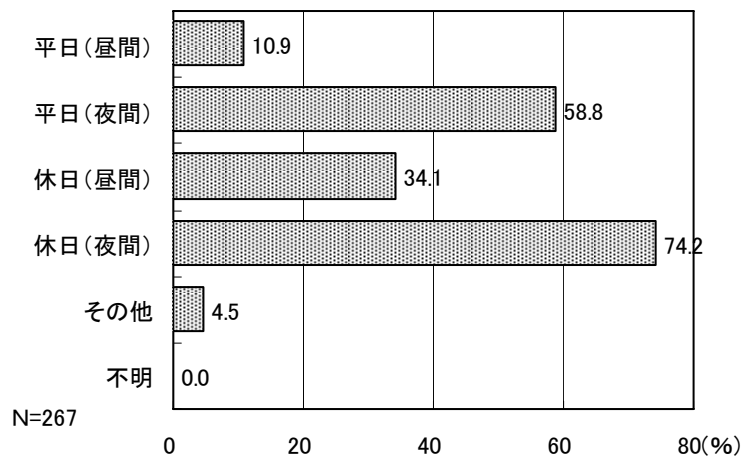
お子さんがけがや急病のときに医療機関が見つからず困ったことがあった人は 36.8% であり、小児救急体制の整備が課題と言える。



問28-1は、問28で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問28-1 困ったのはいつですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

最も多いのが「休日（夜間）」であり、次が「平日（夜間）」である。

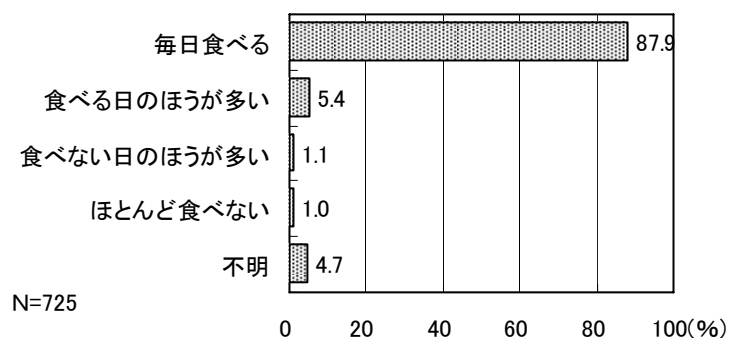


12. 離乳食を終えられたお子さんの保護者の方に、子どもの食生活についてお伺いします。

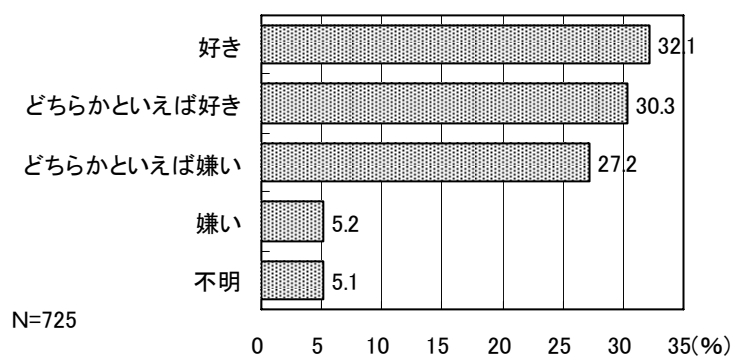
問29 封筒のあて名のお子さんについて、それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの食生活については、朝ご飯を毎日食べる子どもは87.9%、野菜が嫌いな子どもは「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせると32.4%である。

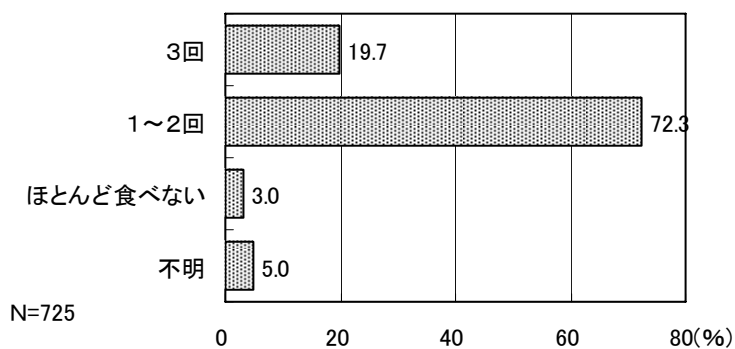
A. 朝ごはんを食べますか



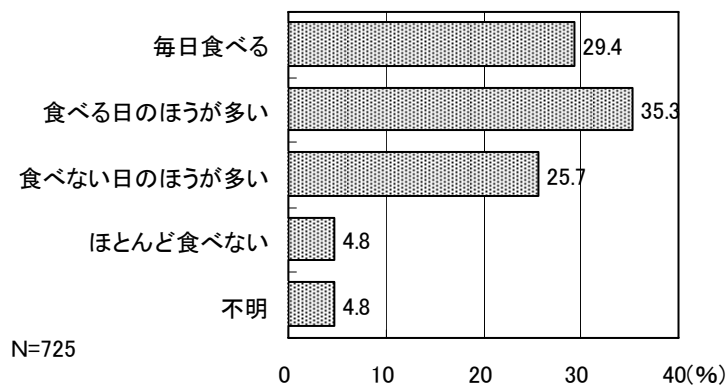
B. 野菜は好きですか



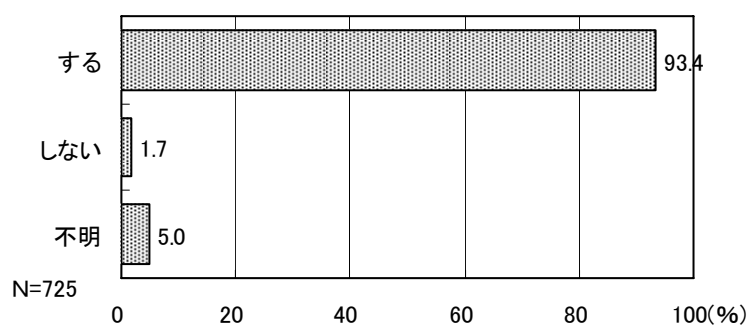
C. 野菜は、朝食・昼食・夕食のうち1日何回食べますか



D. 果物は食べますか

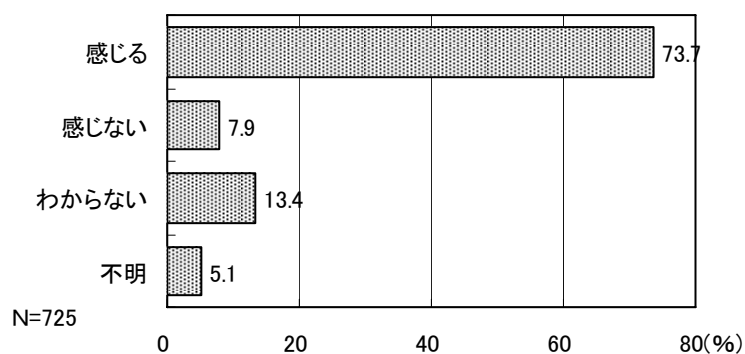


E. 1日1回は家族と一緒に食事をしますか



問29-1 決まった時間に食事するなど、お子さんは、健康的な食習慣を身につけていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

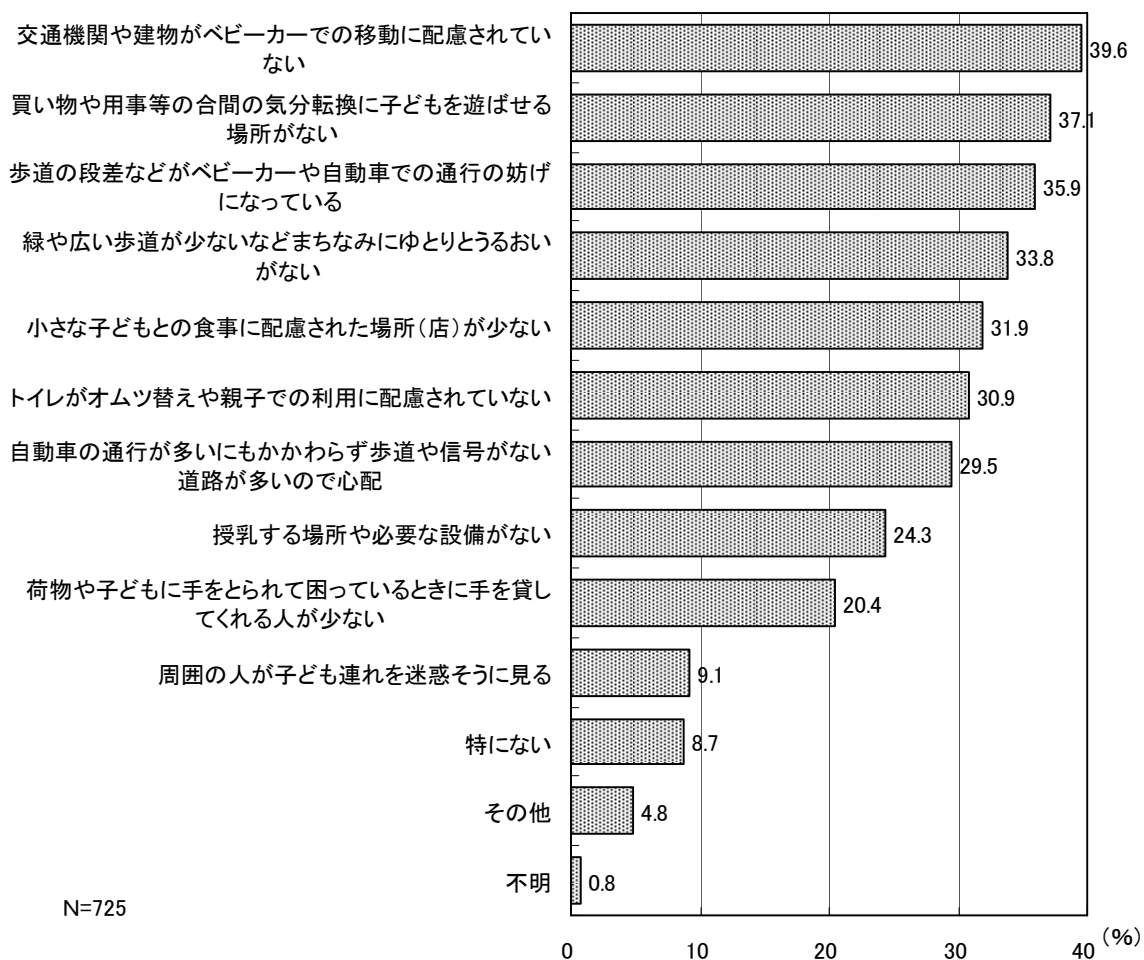
子どもが健康的な食習慣を身につけていると「感じる」人は73.7%と多いが、「感じない」と回答した人も7.9%あった。



1 3. 子育てを支援する生活環境の整備についてお伺いします。

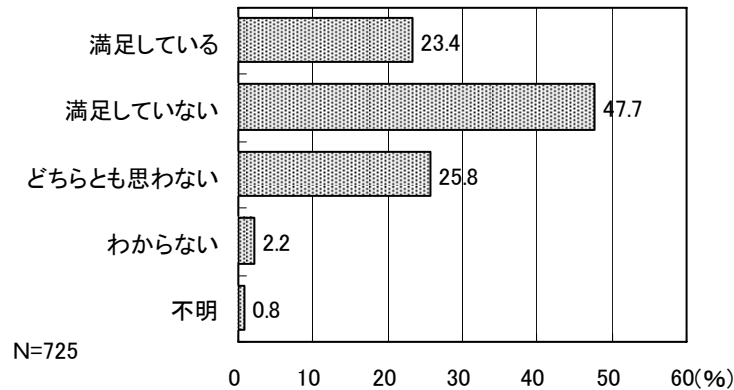
問 3 0 封筒のあて名のお子さんと外出する際、困ること、困ったことはありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

多い順に「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」、「買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」「歩道の段差などがベビーカーや自動車での通行の妨げになっている」などとなっている。



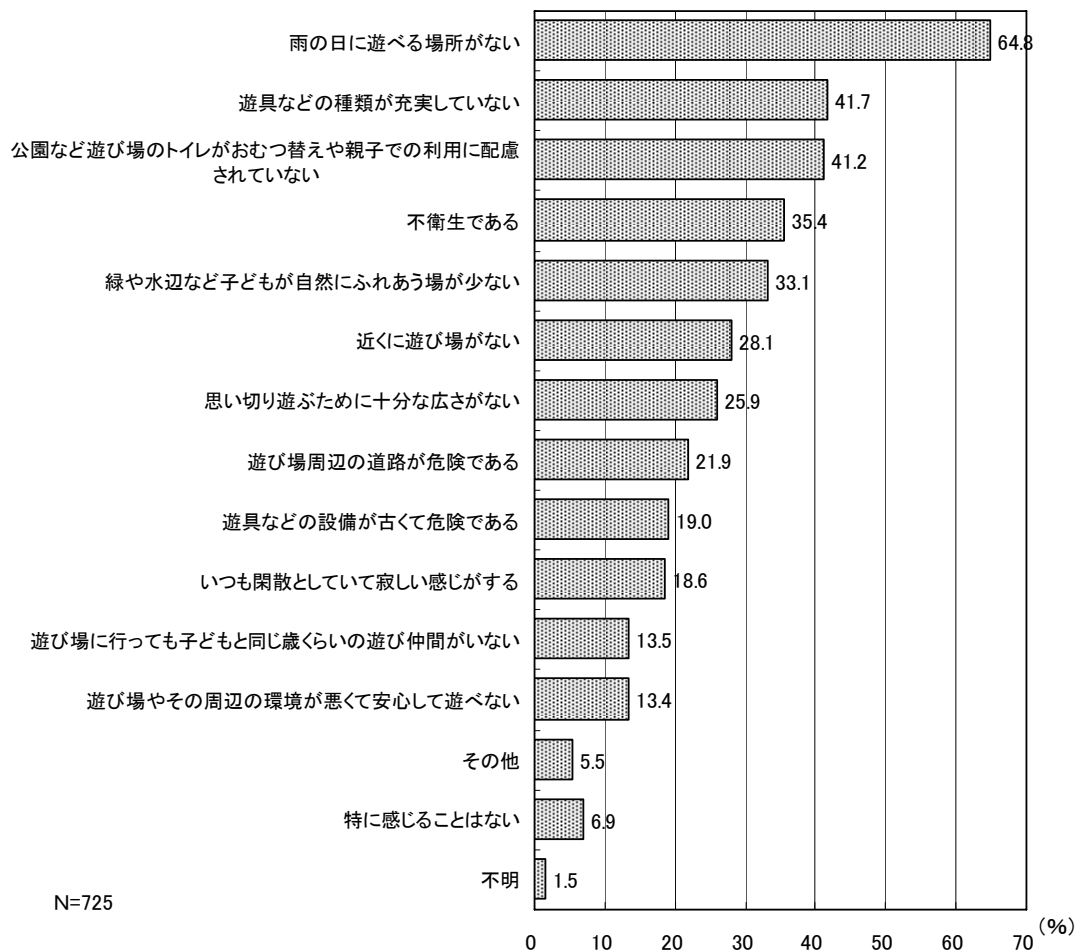
問3 1 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの遊び場に関して「満足していない」と回答した人が47.7%であり、「満足している」と回答した人のおよそ2倍となっている。



問3 2 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

最も多いのが「雨の日に遊べる場所がない」、次が「遊具などの種類が充実していない」である。



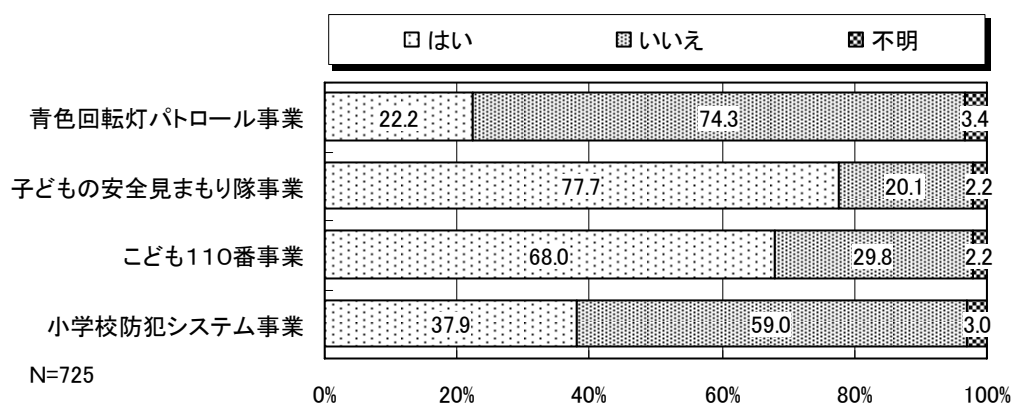
14. 子どもの安全の確保についてお伺いします。

子どもの安全を確保するための取組やサービスの認知度等についてお伺いします。

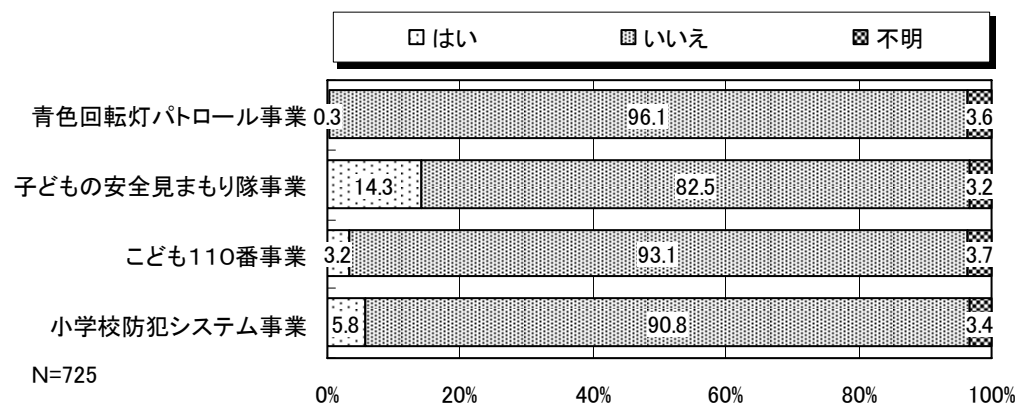
問33 下記の取組やサービスを知っていたり、これまでに協力したことはありますか。また、今後、協力したいと思いますか。サービスごとに、「1. はい」、「2. いいえ」のどちらかに○をつけてください。

認知度では「子どもの安全見まもり隊事業」及び「こども110番事業」が高い。今後の協力については、「青色回転灯パトロール事業」以外は半数を超えている。

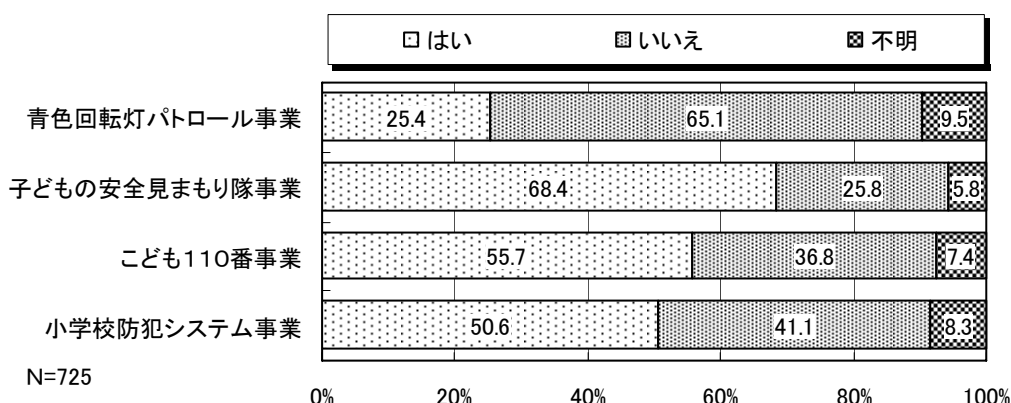
A. 知っている



B. これまでに協力したことがある

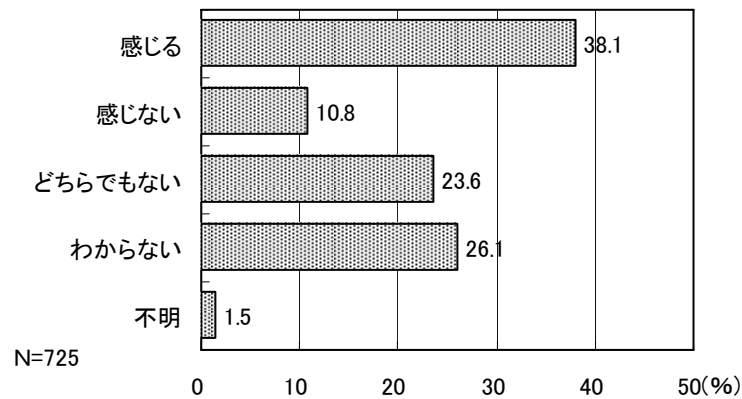


C. 今後協力したい



問3 4 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

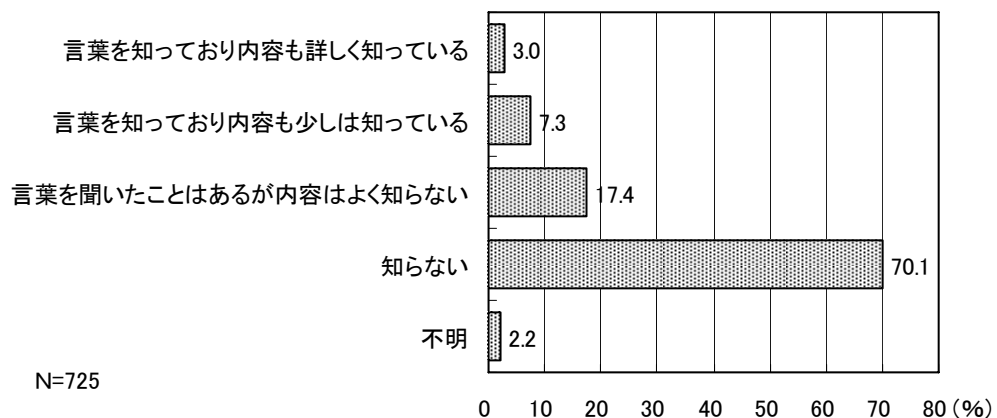
増加していると「感じる」人は38.1%であり、「感じない」と回答した人(10.8%)の3倍以上である。



1 5. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします。

問3 5 「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

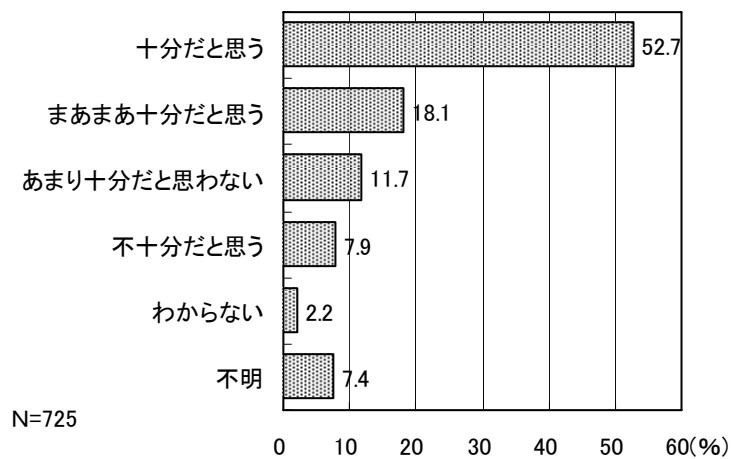
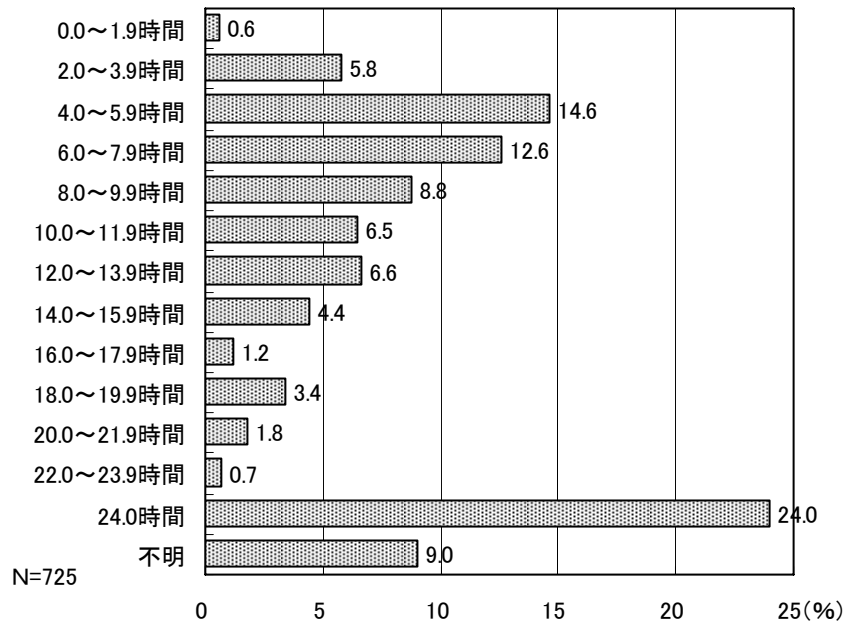
「仕事と生活の調和」または「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度では、「知らない」と回答した人が70%以上であり、認知度が低いことがわかる。



問36 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思いますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

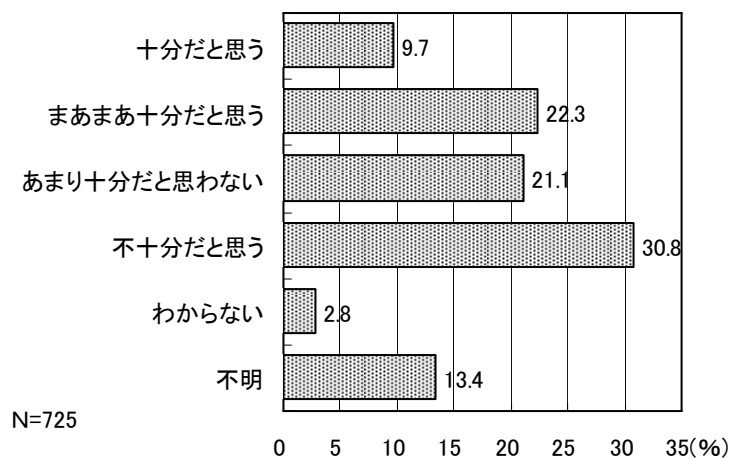
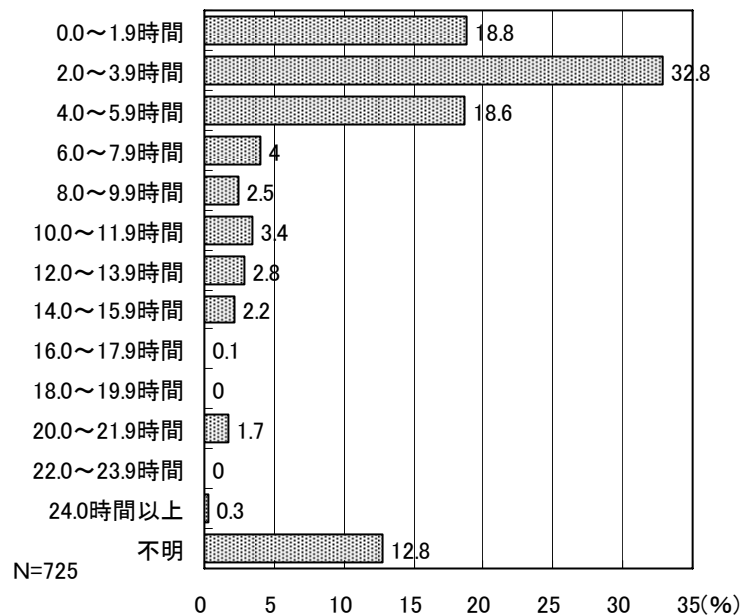
（1）母親

母親が1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間は、「24時間」が最も多く、次が「4.0～5.9時間」である。また、一緒に過ごす時間については「十分だと思う」人が半数以上である。



(2) 父親

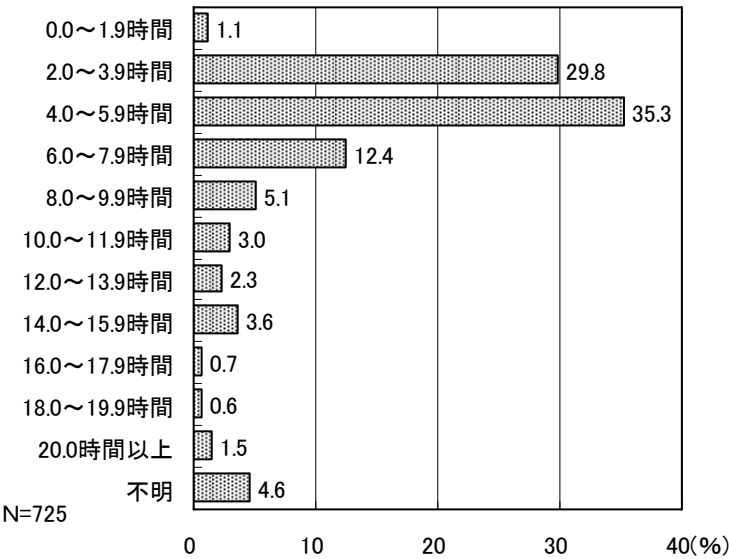
父親が1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間は、「2.0～3.9時間」が最も多い。また、一緒に過ごす時間については「不十分だと思う」人が30.8%と最も多く、「あまり十分だと思わない」人と合わせると51.9%、約半数が不十分と回答している。



問 3 7 1 日当たりの家事を何時間くらいしますか。（1 週間の平均的な時間をお答えください。）

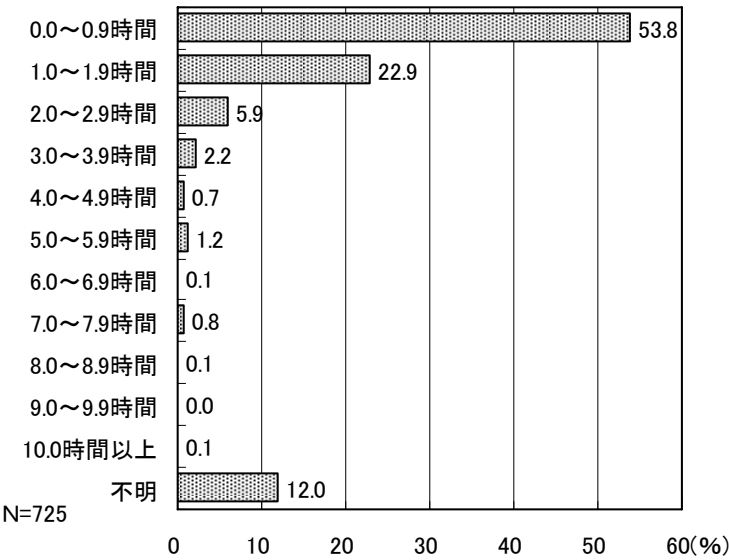
(1) 母親

母親の 1 日当たりの家事の時間は、「4.0～5.9 時間」が最も多く、次が「2.0～3.9 時間」である。



(2) 父親

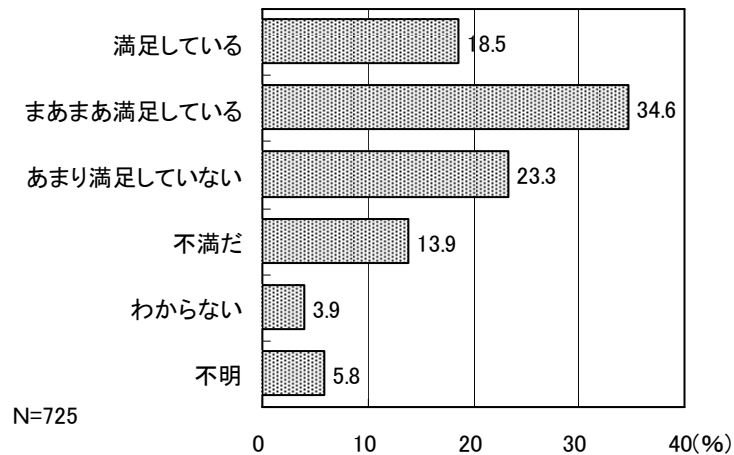
父親の 1 日当たりの家事の時間は、「0.0～0.9 時間」（1 時間未満）が最も多く、次が「1.0～1.9 時間」である。



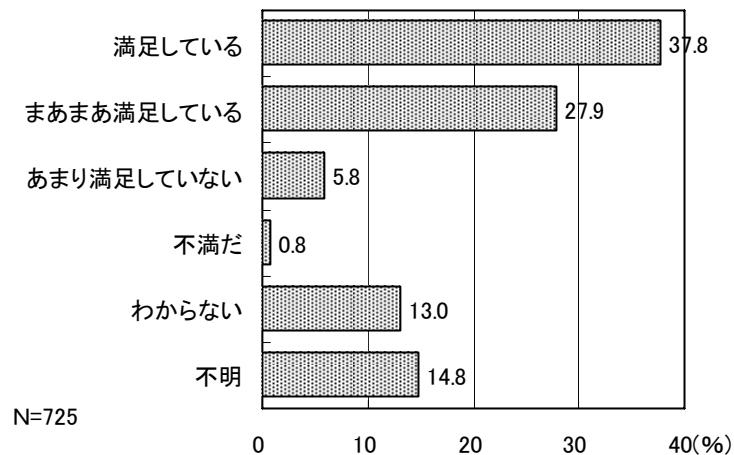
問38 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

配偶者との家事、育児分担の満足度をみると、母親は「あまり満足していない」と「不満だ」を合わせると37.2%が満足していないが、父親は満足していない人は6.6%と少なく大半の人が満足しており、男女で家事、育児分担の満足度に大きな差があることがわかる。

(1) 母親



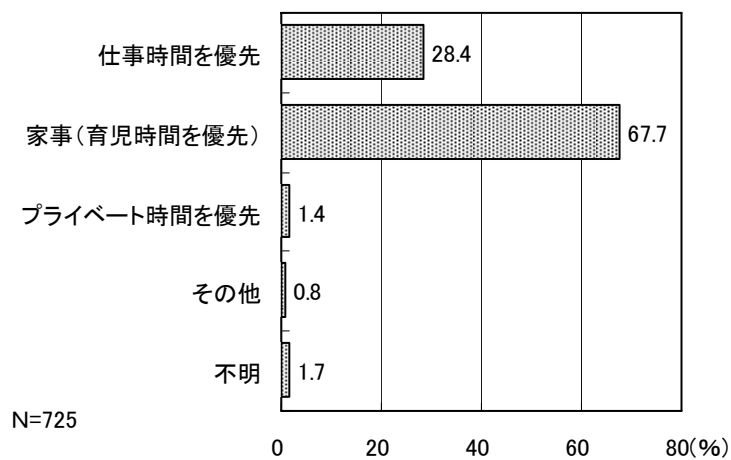
(2) 父親



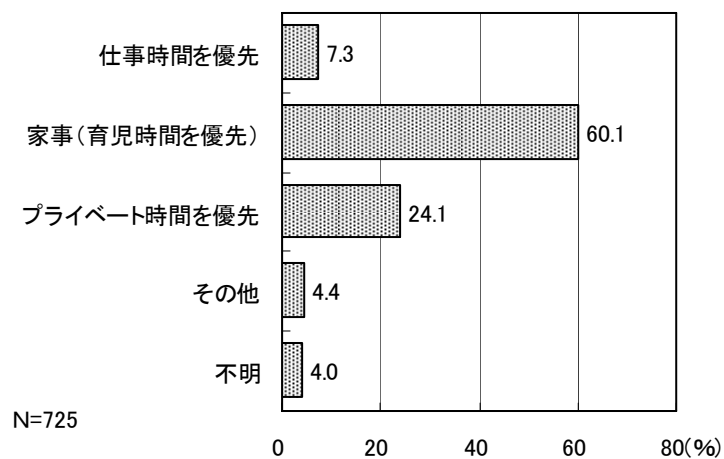
問39 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。それぞれについてあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度をみると、「家事（育児時間を優先）」する人は、現実と希望の両方で最も多い。また、「プライベート時間を優先」は希望する人は24.1%あるが、現実には1.4%と大変少ない。

（１）現実

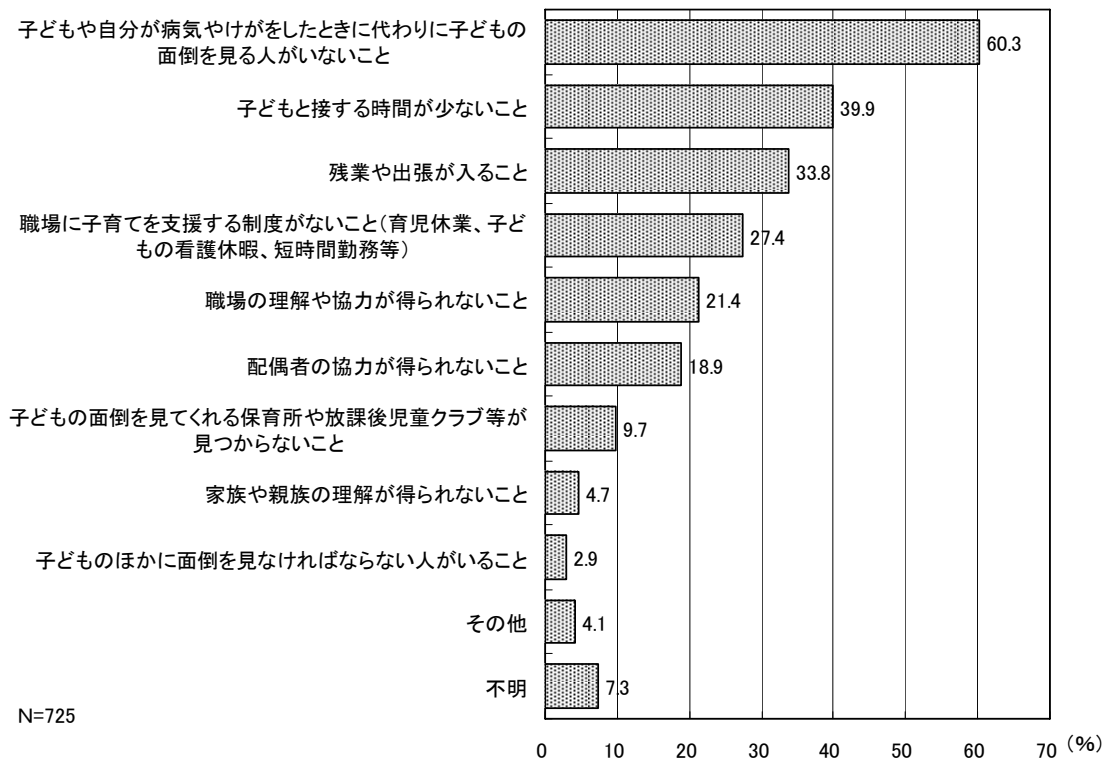


（２）希望



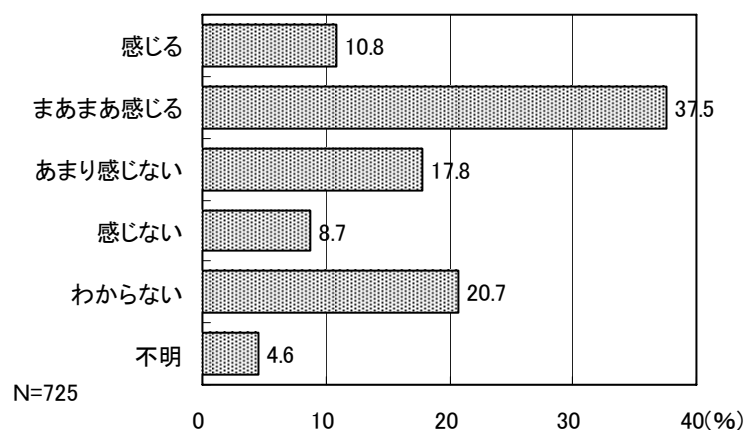
問４０ あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

最も多いのは「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもの面倒を見る人がいないこと」であり、次が「子どもと接する時間が少ないこと」である。



問４１ あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。

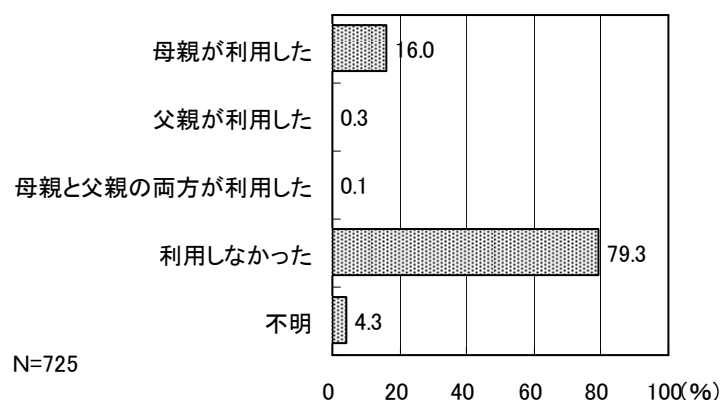
仕事と生活の調和については、調和が図られていると「感じる」人と「まあまあ感じる」人を合わせて、48.3%の人が調和が図られていると感じている。



16. 育児休業制度の利用についてお伺いします。

問42 封筒のあて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

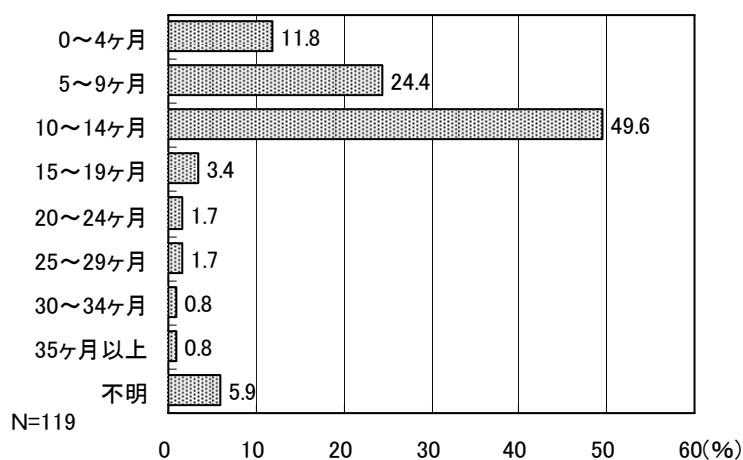
育児休業制度の利用状況については、「利用しなかった」人が79.3%、約8割である。利用した人では、「母親が利用した」が16.0%であり、「父親が利用した」人は0.3%と非常に少ない。



問42-1及び問42-2は、問42で「1.」「2.」「3.」を選ばれた方にお伺いします。

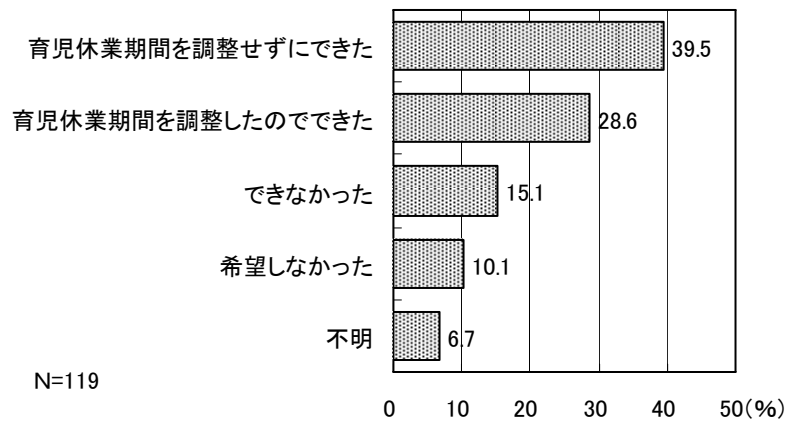
問42-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入ください。（お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。）

育児休業から仕事に復帰したときの子どもの年齢をたずねたところ、「10～14ヶ月」と回答した人が最も多く、次が「5～9ヶ月」である。



問４２－２ 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。

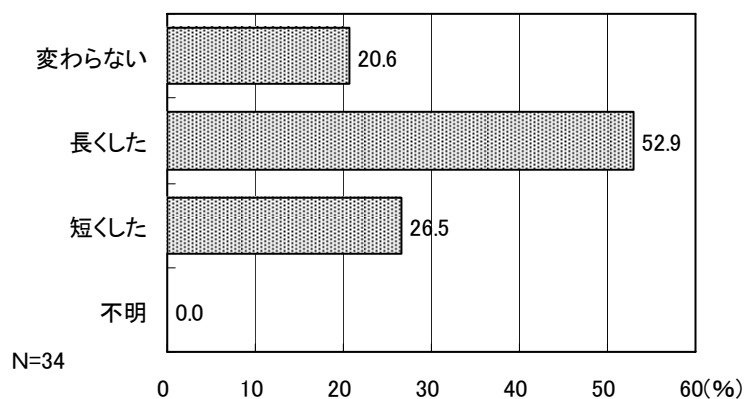
育児休業明けの保育サービスの利用については、「育児休業期間を調整せずにできた」と回答した人は 39.5%であり、「利用できなかった」人は 15.1%である。



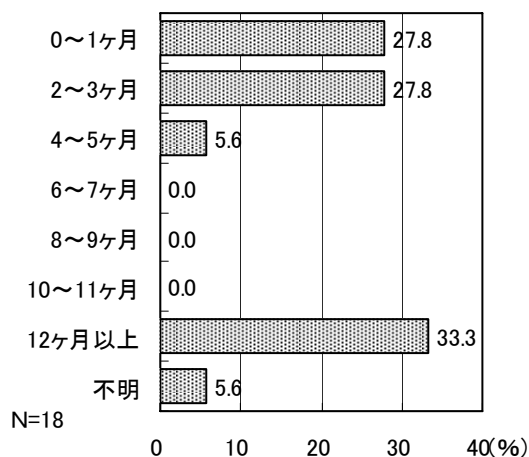
問４２－３は、問４２－２で「２．」を選ばれた方にお伺いします。

育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけ、枠内に数字をご記入ください。

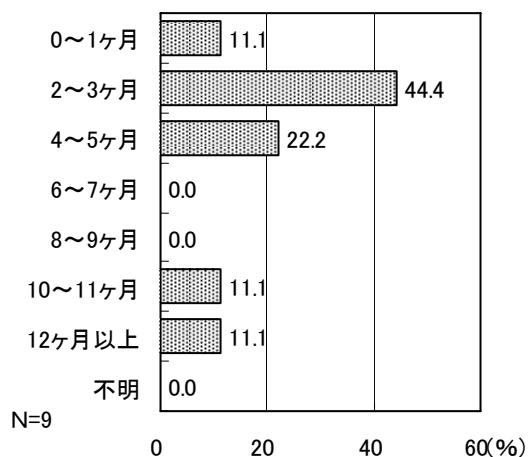
育児休業明けに希望する保育サービスを確実に利用できたとしたら、育児休業は実際取得した期間と変わったかどうかをたずねたところ、「長くした」と回答した人が 52.9%で半数以上であり、逆に「短くした」という人は 26.5%であった。



■長くした



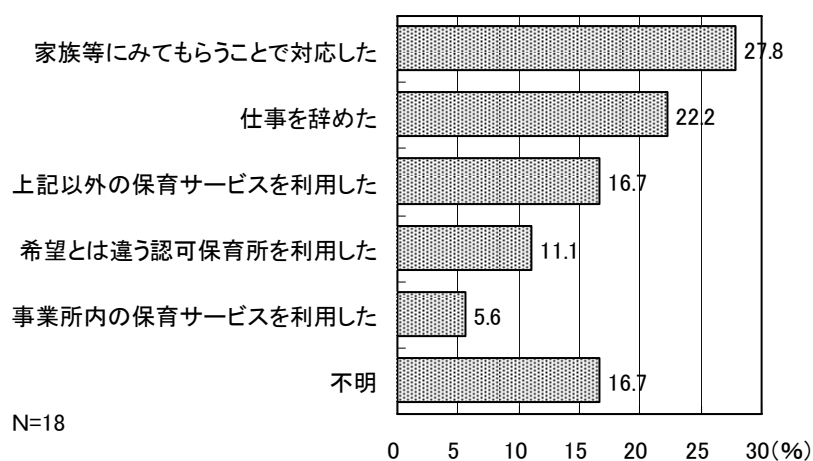
■短くした



問4 2－4は、問4 2－2で「3. 」を選ばれた方にお伺いします。

問4 2－4 どのように対応されましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

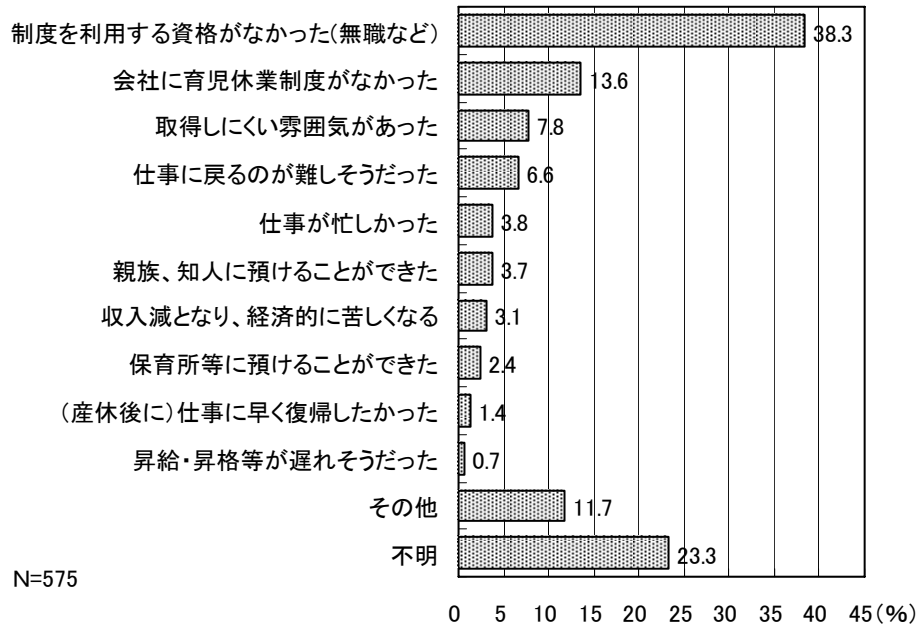
問4 2－2で希望する保育サービスをすぐに利用できなかったと回答した人に、どのような対応をしたかたずねたところ、「家族等にみてもらうことで対応した」が最も多く、次が「仕事を辞めた」であった。



問42-5は、問42で「4.」を選ばれた母親にお伺いします。

問42-5 育児休業を取得しなかった理由は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

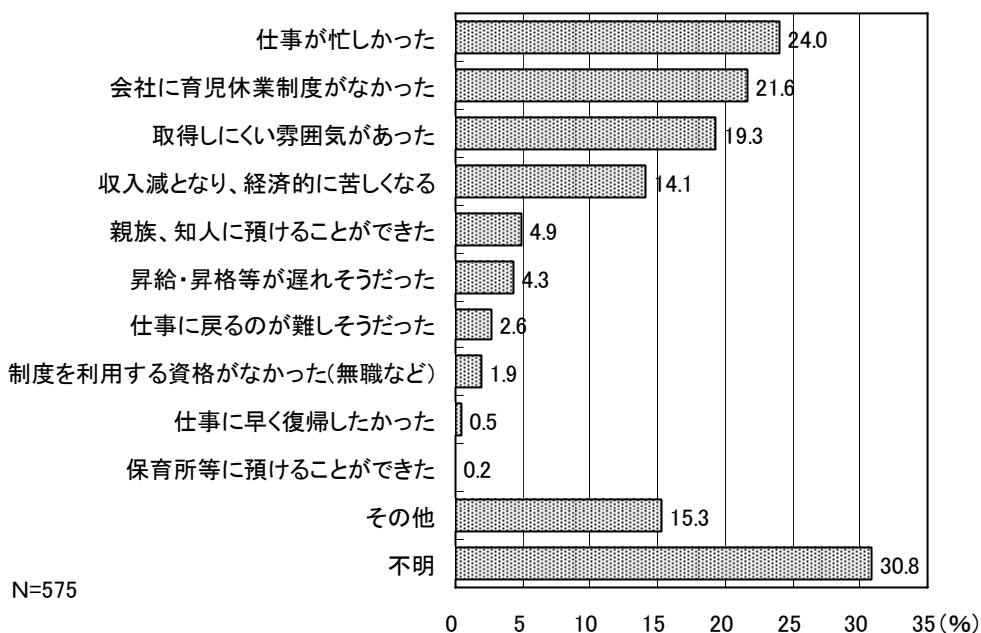
母親が育児休業を取得しなかった理由としては、「制度を利用する資格がなかった(無職など)」が最も多く、次が「会社に育児休業制度がなかった」であった。



問42-6は、問42で「4.」を選ばれた父親にお伺いします。

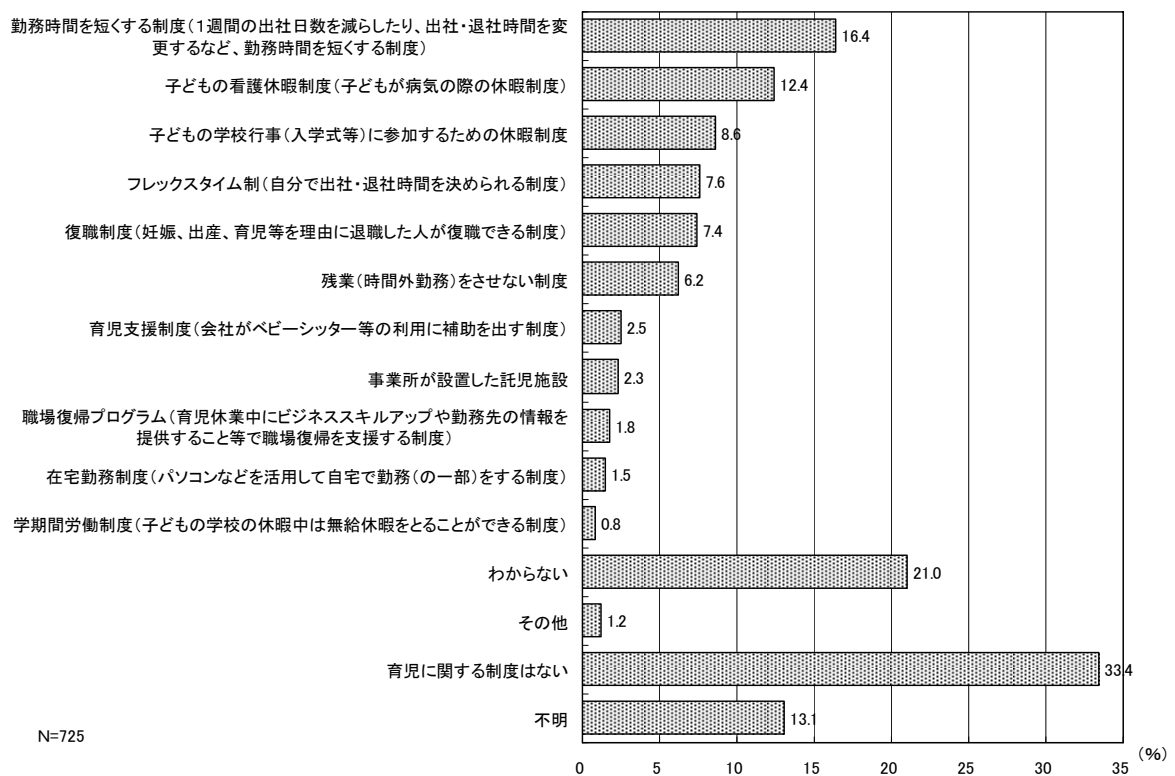
問42-6 育児休業を取得しなかった理由は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

父親が育児休業を取得しなかった理由としては、多い順に「仕事が忙しかった」、「会社に育児休業制度がなかった」、「取得しにくい雰囲気があった」などとなっている。



問4-3 あなたの勤務先にある育児休業以外の育児のための制度は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。あなたが勤務されていない場合は配偶者の勤務先の状況についてお答えください。(複数回答可)

勤務先にある育児休業以外の育児のための制度についてたずねたところ、「育児に関する制度はない」と回答した人が最も多かった。具体的な制度としては、「勤務時間を短くする制度（1週間の出勤日数を減らしたり、出勤・退社時間を変更するなど、勤務時間を短くする制度）」が最も多く、次が「子どもの看護休暇制度（子どもが病気の際の休暇制度）」であった。

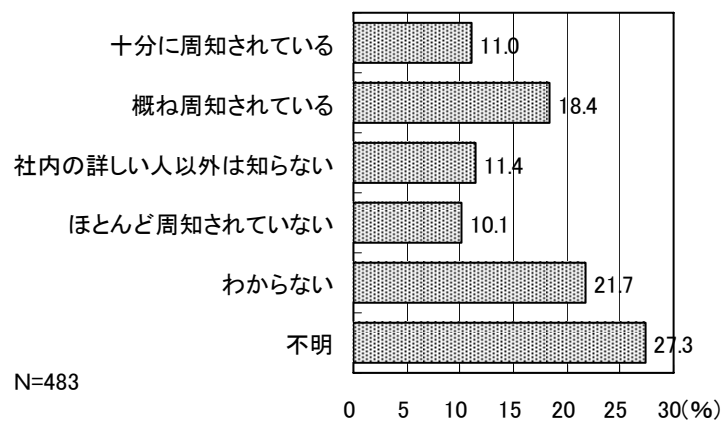


問43-1は、問43で「14.」以外を回答された方にお伺いします。

問43-1 あなた（またはあなたの配偶者）の勤務先の育児支援制度は、社員に広く周知されていますか。また、あなたの勤務先は制度を利用しやすい職場環境ですか。あなたは勤務先の育児支援制度に満足していますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

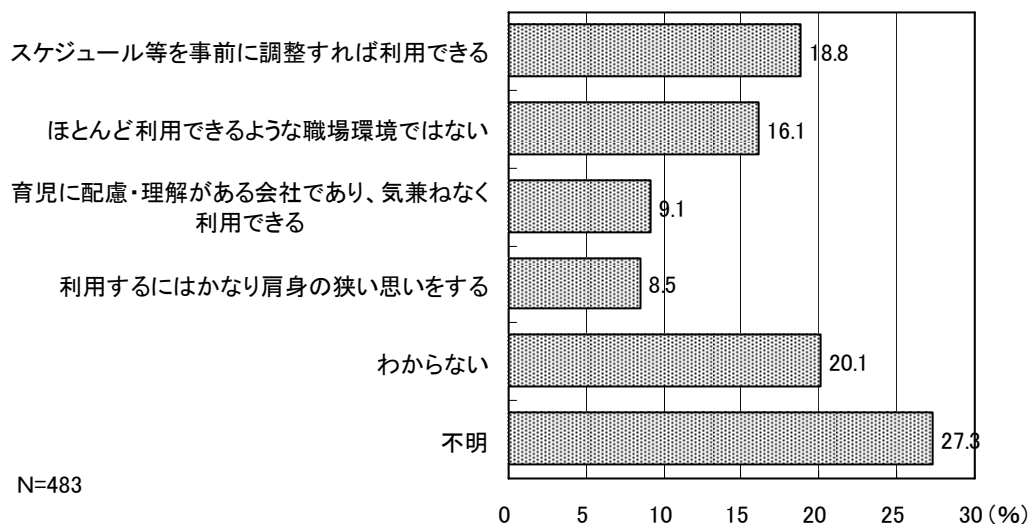
（１）周知状況

会社の育児支援制度の周知状況については、「わからない」を除くと、「概ね周知されている」が最も多い。



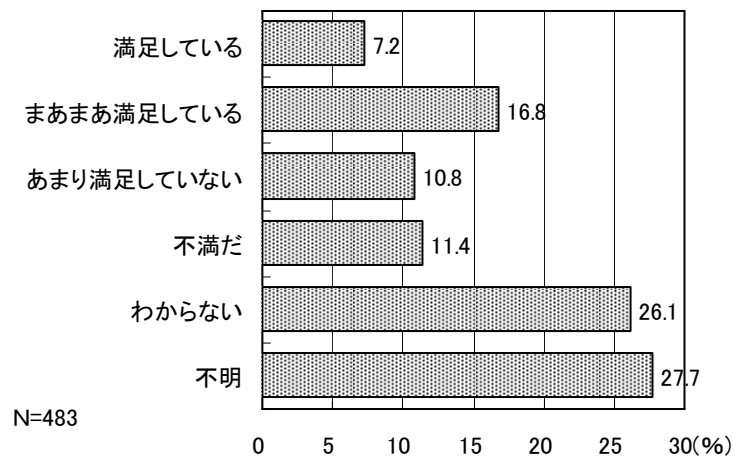
（２）利用しやすさ

制度の利用しやすさについては、「わからない」を除くと「スケジュール等を事前に調整すれば利用できる」が最も多い。



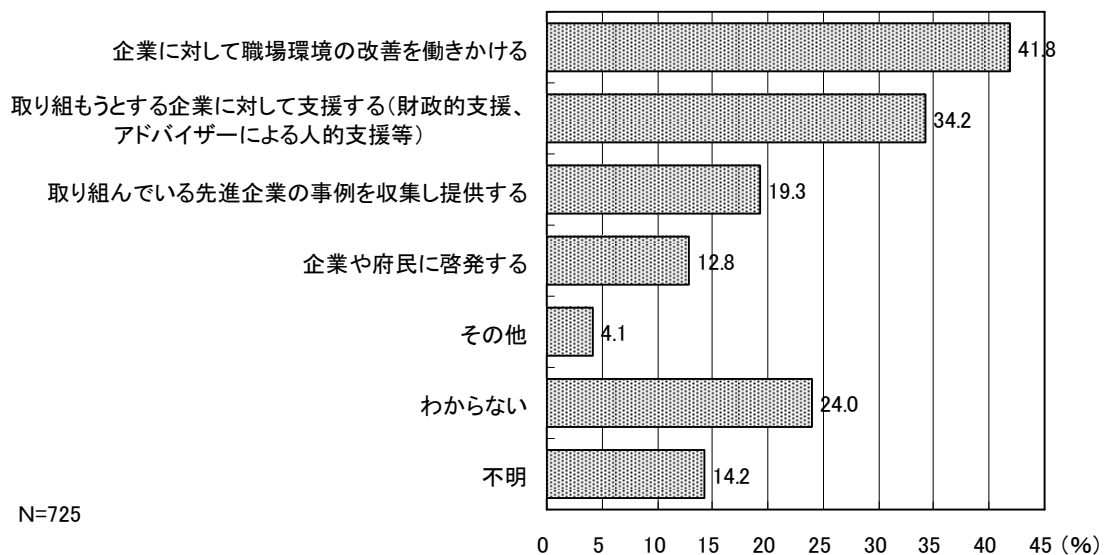
(3) 満足度

制度に対する満足度では、「わからない」を除くと「まあまあ満足している」が最も多い。



問 4 4 あなた（またはあなたの配偶者）の勤務先で、労働時間の短縮、休暇の取得促進、育児休業取得促進等が進むため、行政のどのような取組みが必要と思いますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

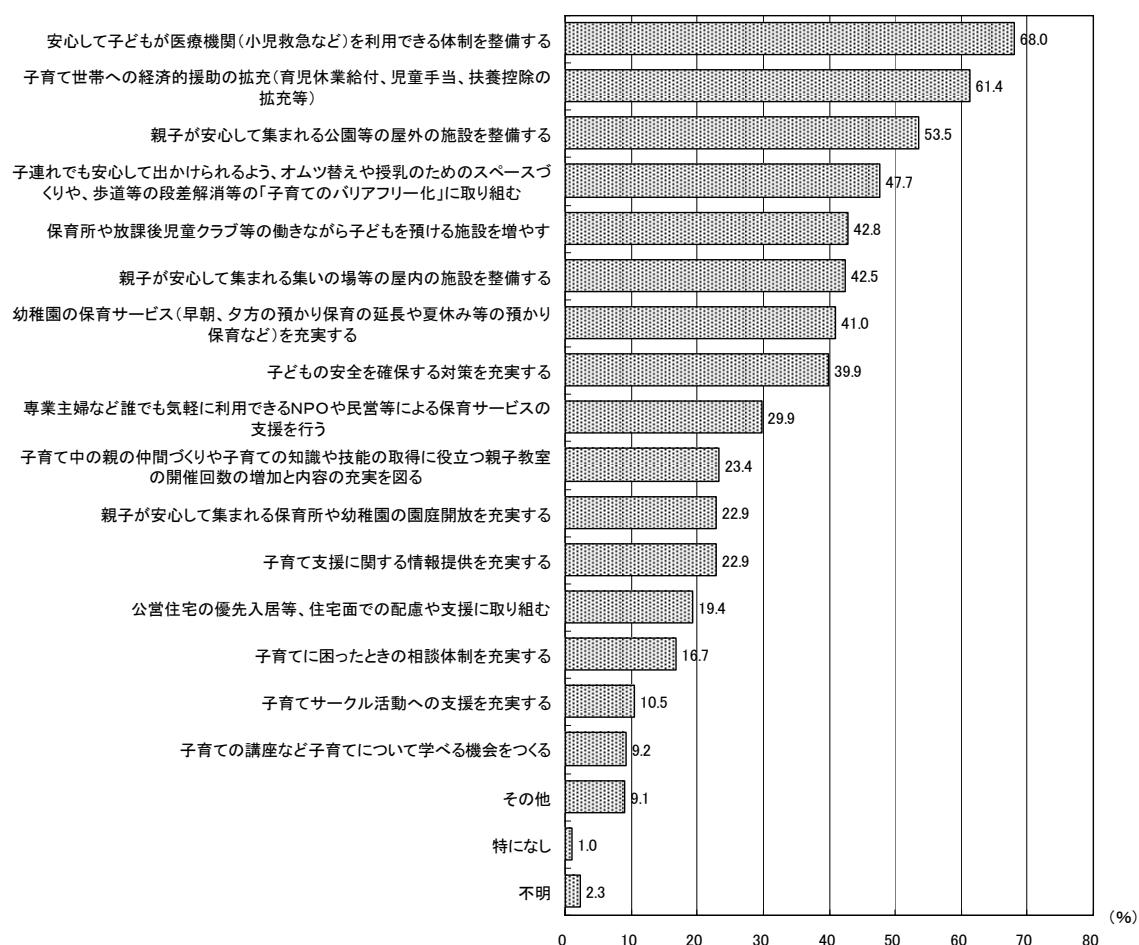
最も多いのが「企業に対して職場環境の改善を働きかける」であり、次が「取り組もうとする企業に対して支援する（財政的支援、アドバイザーによる人的支援等）」である。



17. 行政サービスへの要望についてお伺いします。

問45 行政（市町村、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

最も多いのが「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」であり、次に「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」と続く。

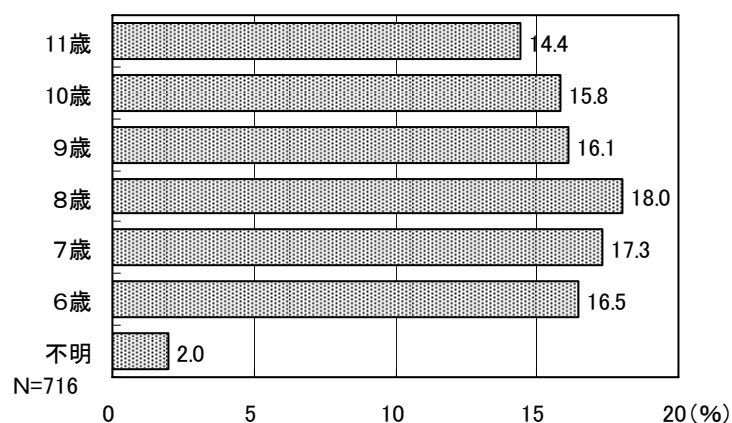


Ⅱ 就学児童

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておたずねします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

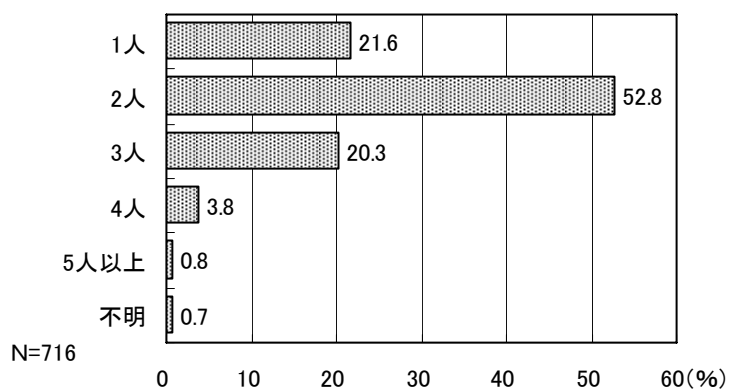
対象児童の年齢階層別割合は、次のとおりである。



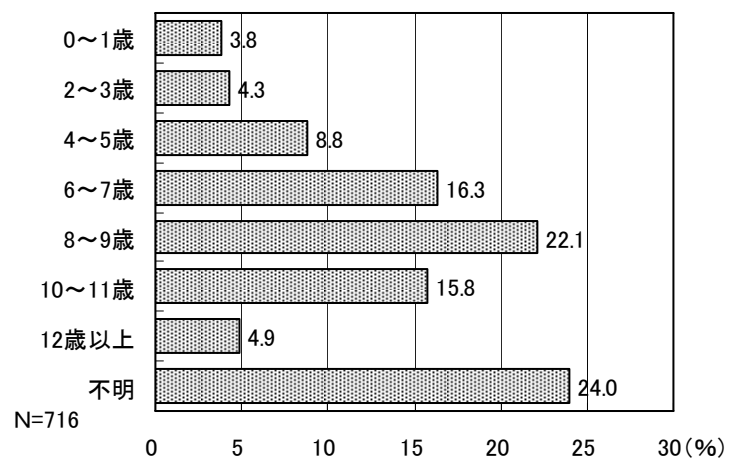
問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）を記入ください。

あて名の子どもを含めた子どもの数は、「2人」が52.8%で最も多くなっている。2人以上いる場合の末子の年齢については、「8～9歳」が最も多い。

■子どもの数

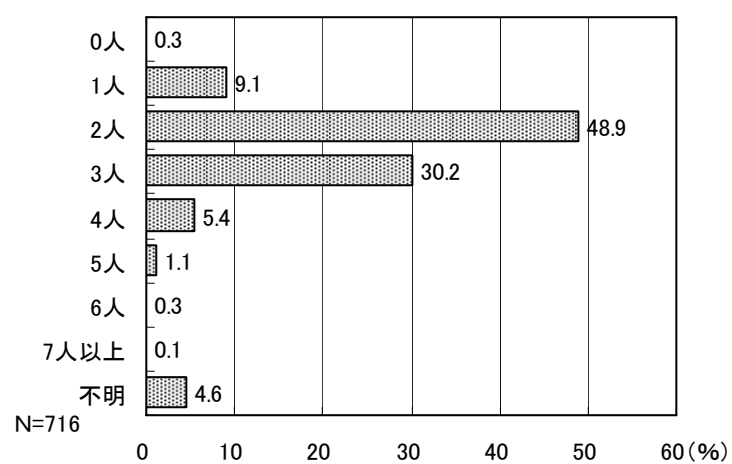


■末子の年齢



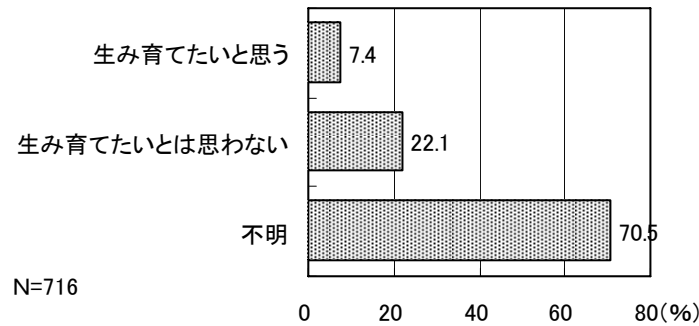
問3. 希望するお子さんの数は何人ですか。

希望する子どもの数としては、「2人」が最も多く、次が「3人」である。



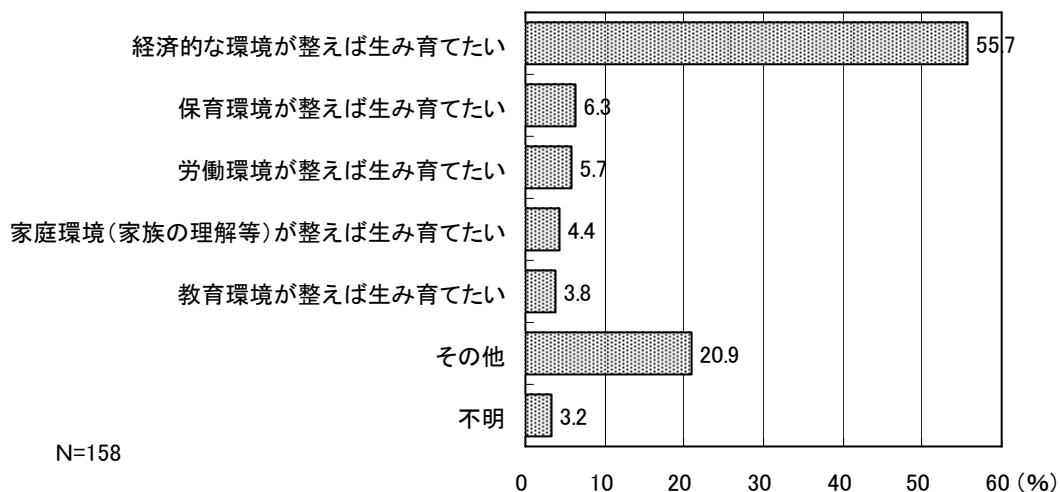
問4. 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを生み育てたいと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「生み育てたいと思う」と回答した人が7.4%、「生み育てたいとは思わない」と回答した人が22.1%であり、思わない人のほうが多い。



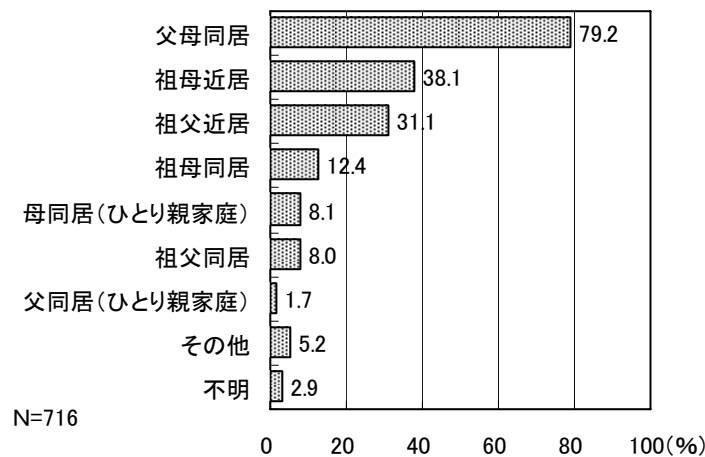
問4-1. どのような環境が整えばもう一人子どもを生み育てたいと思いますか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

もう一人子どもを生み育てるための環境としては、「経済的な環境が整えば生み育てたい」という人が、他の項目に比べて特に多く、家庭の経済状況が子どもの数を決める大きな要因となっていることがわかる。



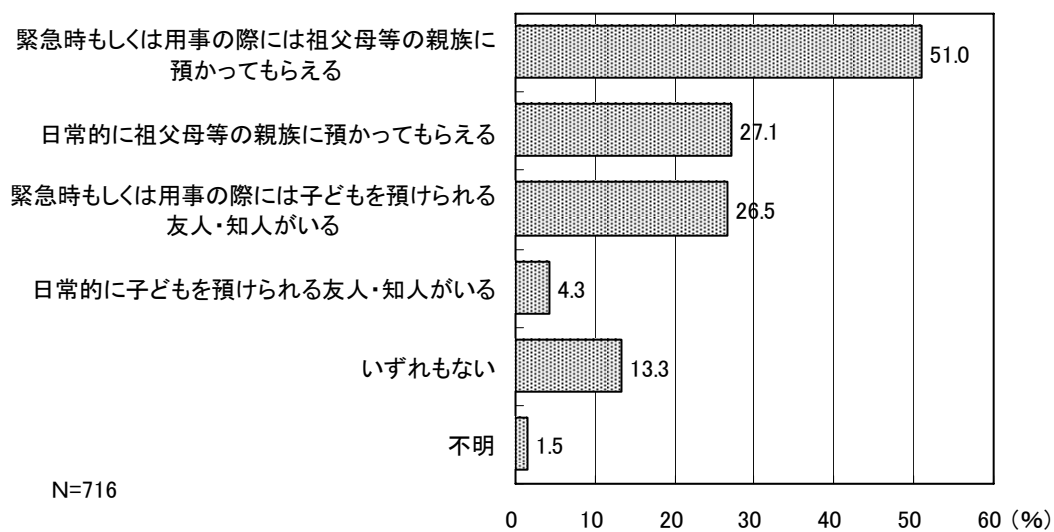
問5 封筒のあて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

「父母同居」は79.2%であり、祖母近居や祖父近居も3割以上である。母同居または父同居のひとり親家庭は合わせて約1割である。



問6 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

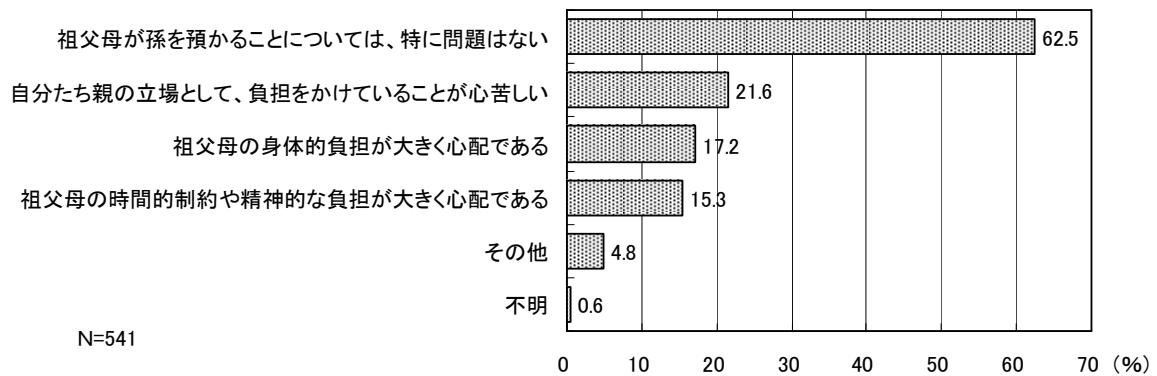
日頃、子どもを預かってもらえる人がいるかどうかをたずねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」と回答した人は約半数である。一方、「いずれもない」と回答した人は13.3%であった。



問6－1は、問6で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問6－1 祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

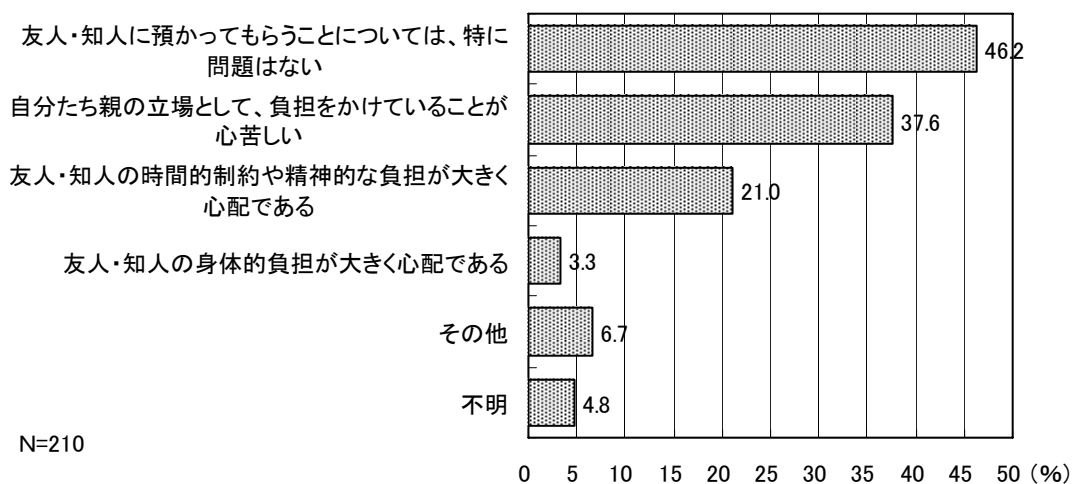
「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」という人が半数以上であるが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」など預けにくさを感じている人もある程度いることがわかる。



問6－2は、問6で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。

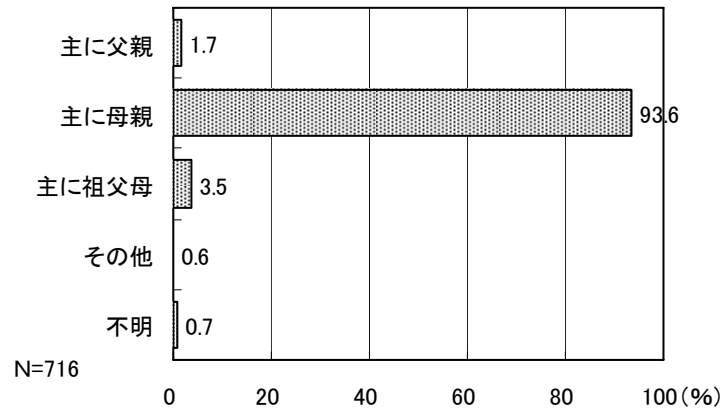
問6－2 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が最も多いが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」という人も 37.6%と比較的多い。



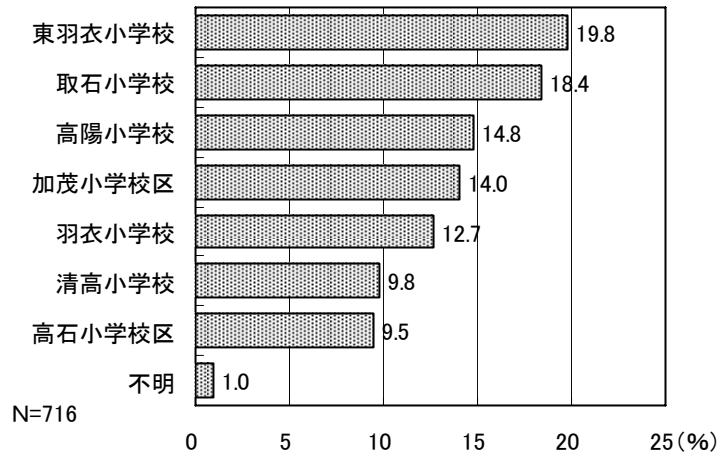
問7 封筒のあて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

身の回りの世話をしている人は、「主に母親」と回答した人が圧倒的に多く93.6%となっている。



問8 お住まいの地域の小学校区に1つだけ○をつけてください。

居住の小学校区については、「東羽衣小学校」が19.8%で最も多く、次いで「取石小学校」(18.4%)、「高陽小学校」(14.8%)等の順となっている。



2. 封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問9 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、（ ）に数字の記入をお願いします。

※帰宅時間が一定していない方は、主な帰宅時間を記入してください。

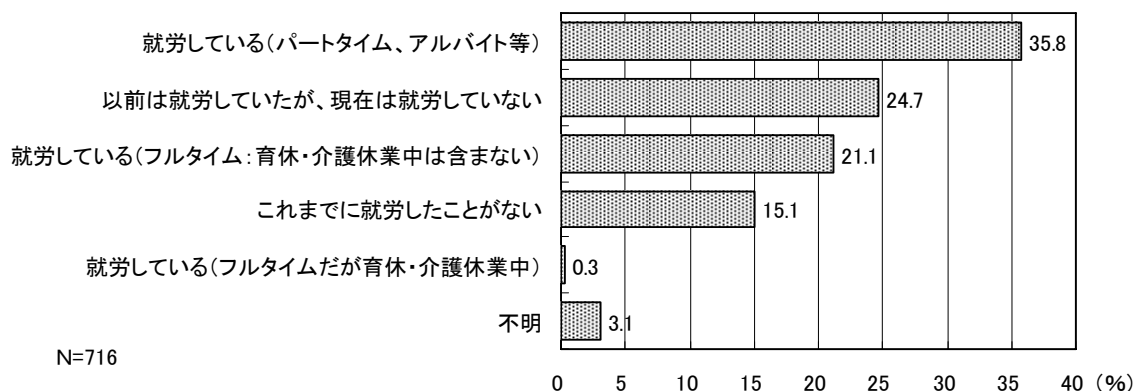
（1）母親

母親の就労状況をみると、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が最も多く35.8%、次が「以前は就労していたが、現在は就労していない」（24.7%）である。

「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」と回答した人に1週当たりの平均の就労時間をたずねたところ、40～50時間未満の人が最も多い。また、平均的な出発時間は8～9時台、帰宅時間は18～19時台がそれぞれ最も多い。

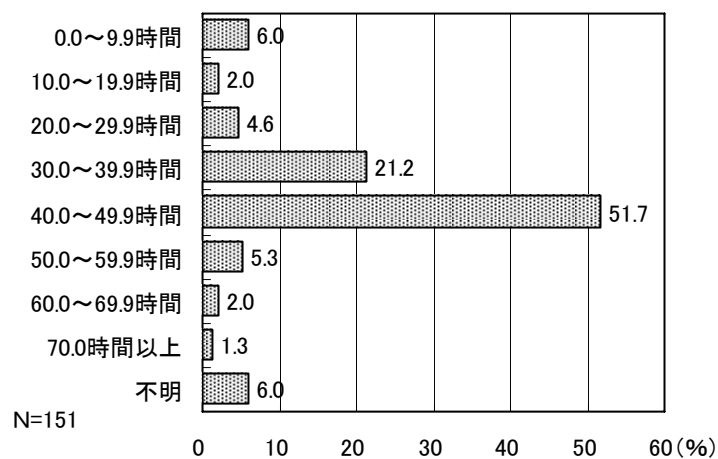
「就労している（パートタイム、アルバイト等）」と回答した人の1週当たりの就労時間は、20～25時間未満が最も多い。また、出発時間は8～9時台が特に多いが、帰宅時間は人によってさまざまである。

フルタイムへの転換希望については、「希望はない」と回答した人が49.6%で最も多くなっている。



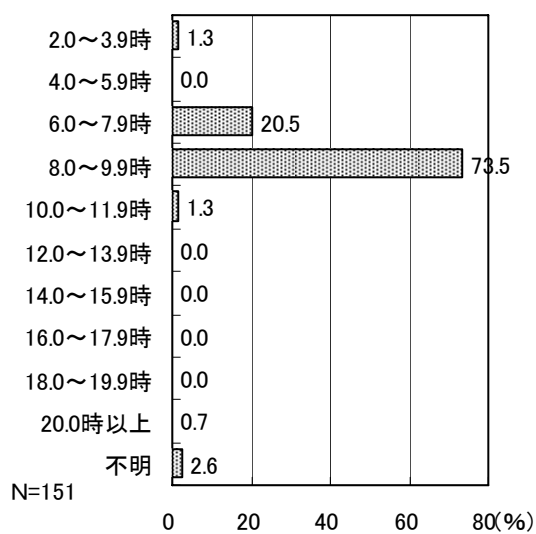
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

（平均就労時間：1週当たり）

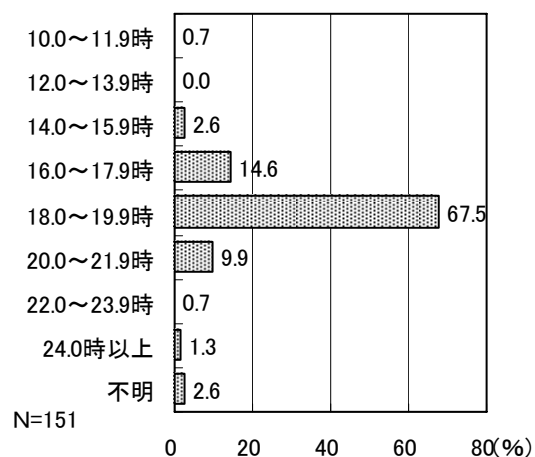


■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

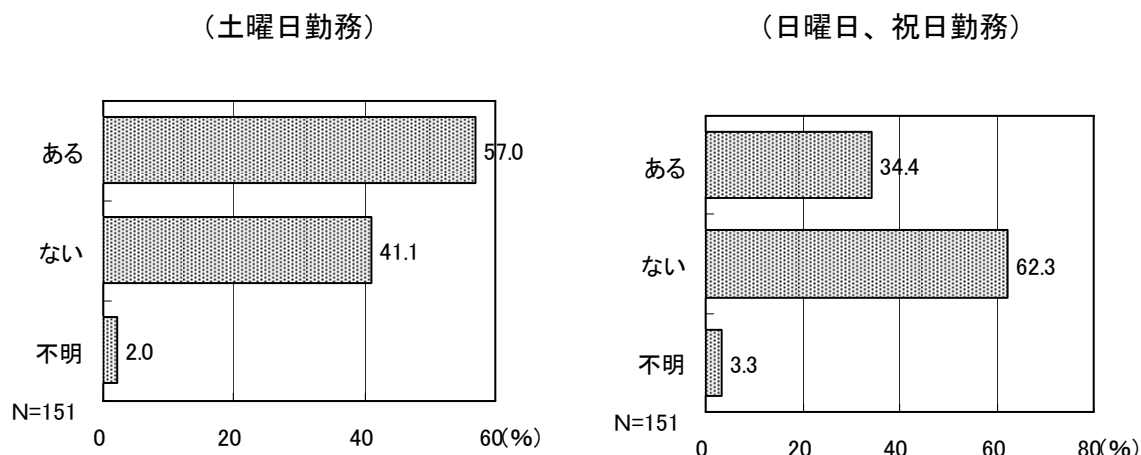
（出発時間）



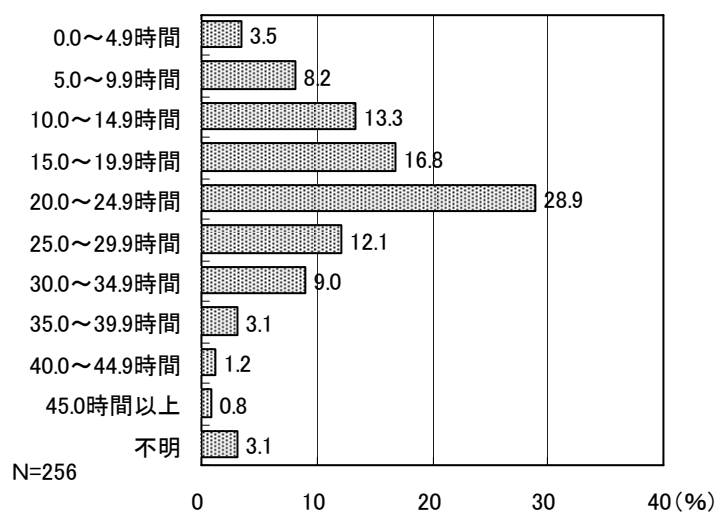
（帰宅時間）



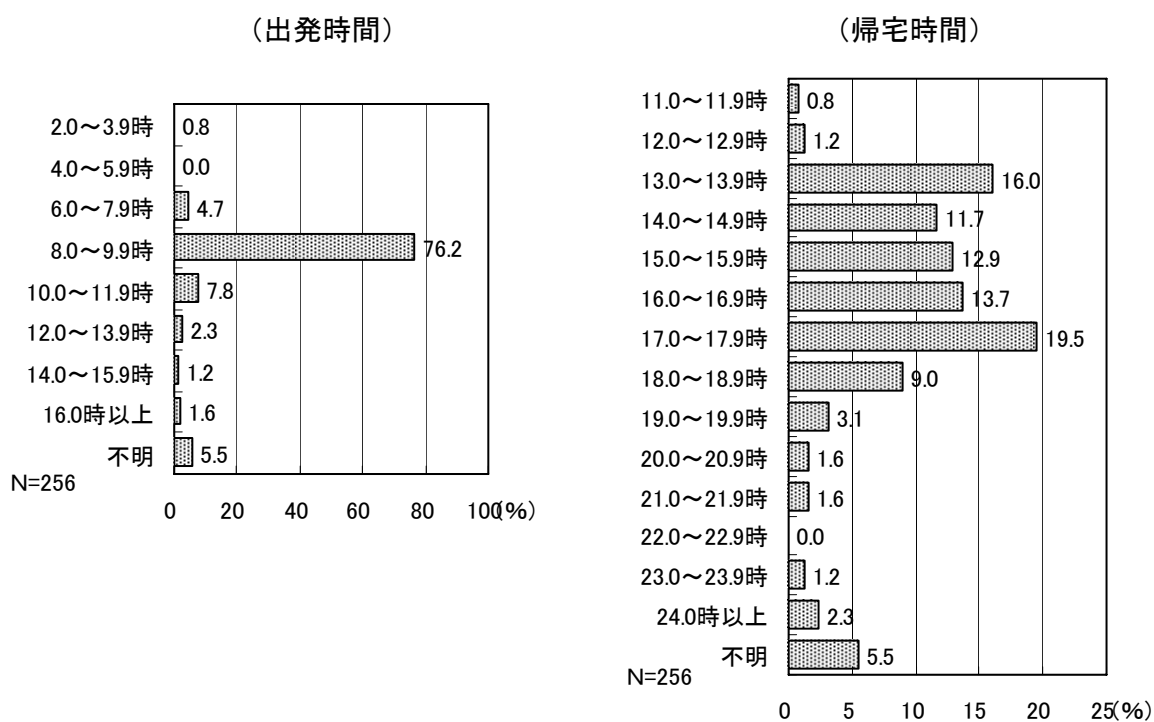
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）



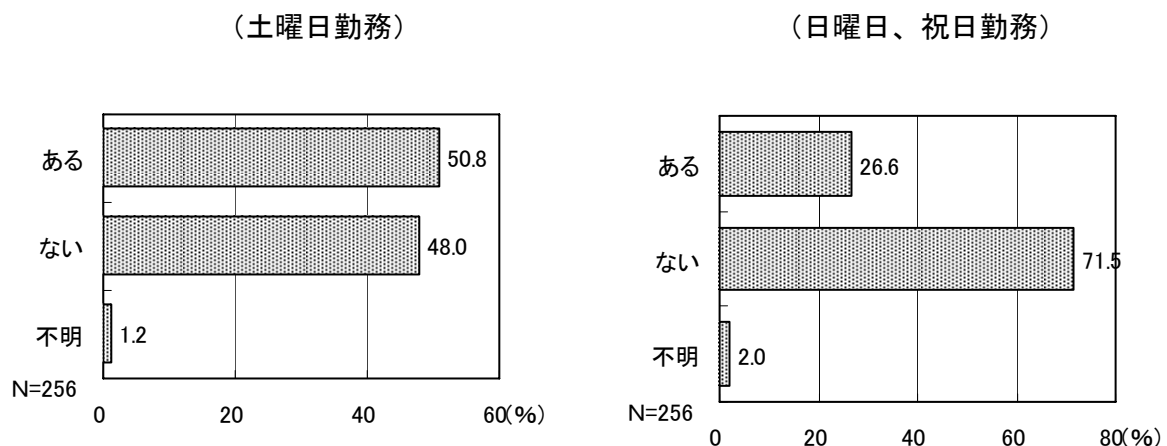
■就労している（パートタイム、アルバイト等）（平均就労時間：1週当たり）



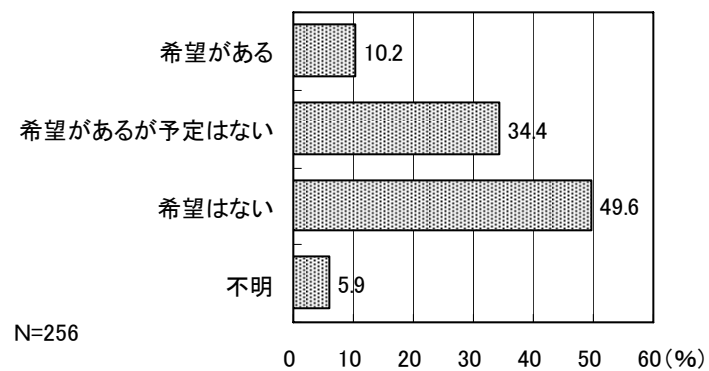
■就労している（パートタイム、アルバイト等）



■就労している（パートタイム、アルバイト等）



■就労している（パートタイム、アルバイト等）（フルタイムへの転換希望）

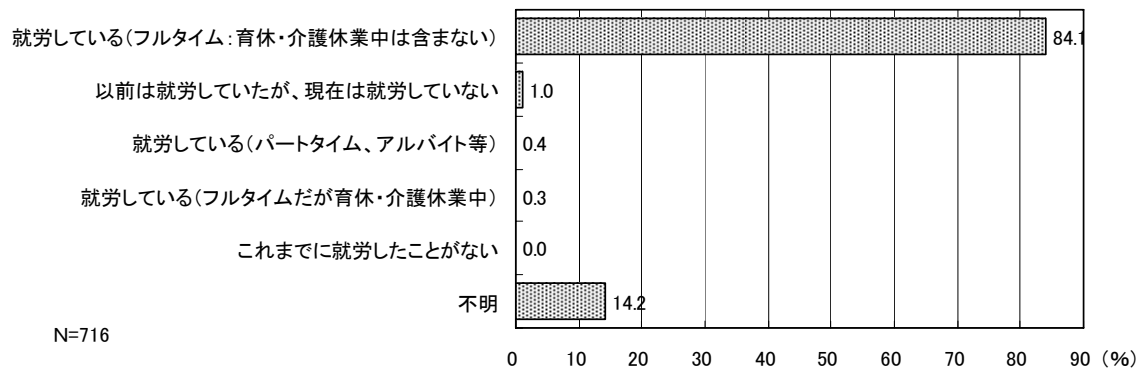


(2) 父親

父親の就労状況をみると、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」人が84.1%で大半を占めている。

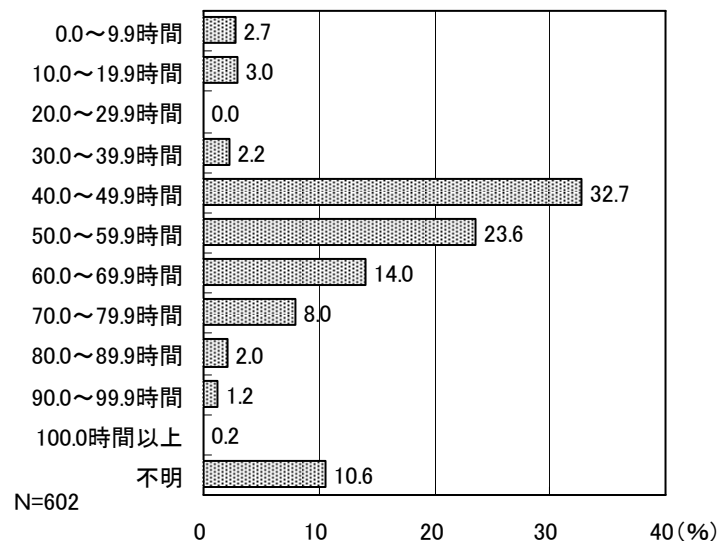
「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」と回答した人に1週当たりの平均の就労時間をたずねたところ、40～50時間未満が32.7%で最も多い。平均的な出発差時間は、6～7時台が最も多く、帰宅時間は19時台及び20時台が最も多い。

また、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」と回答した人は3人であり、就労時間等はグラフのとおりである。

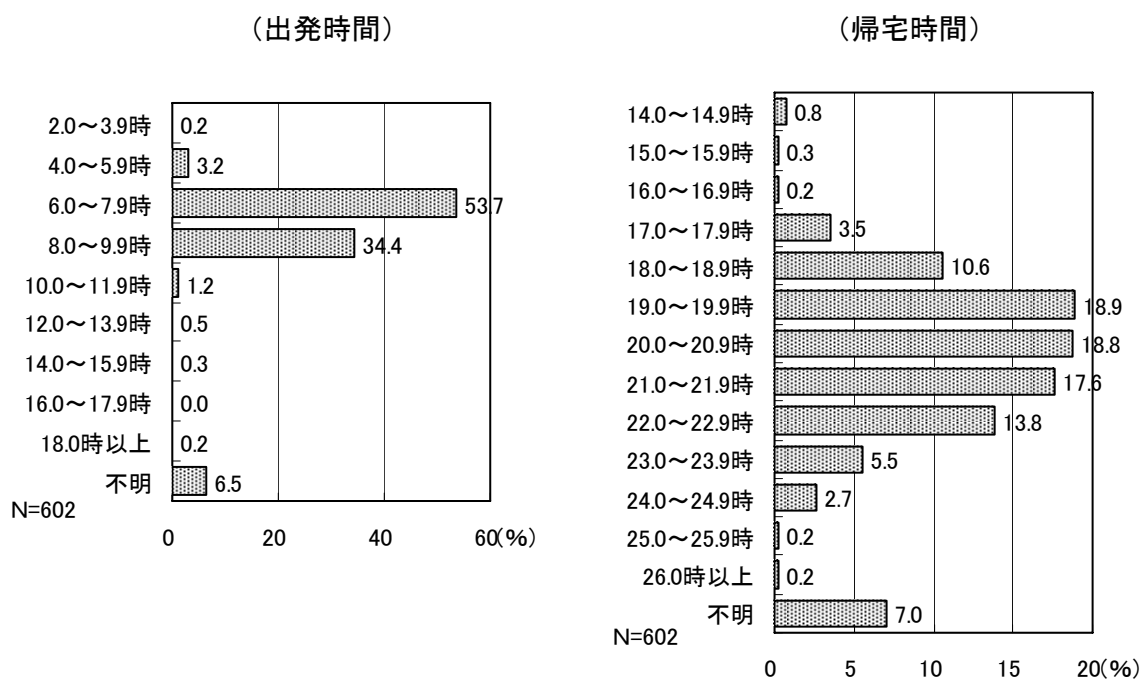


■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）

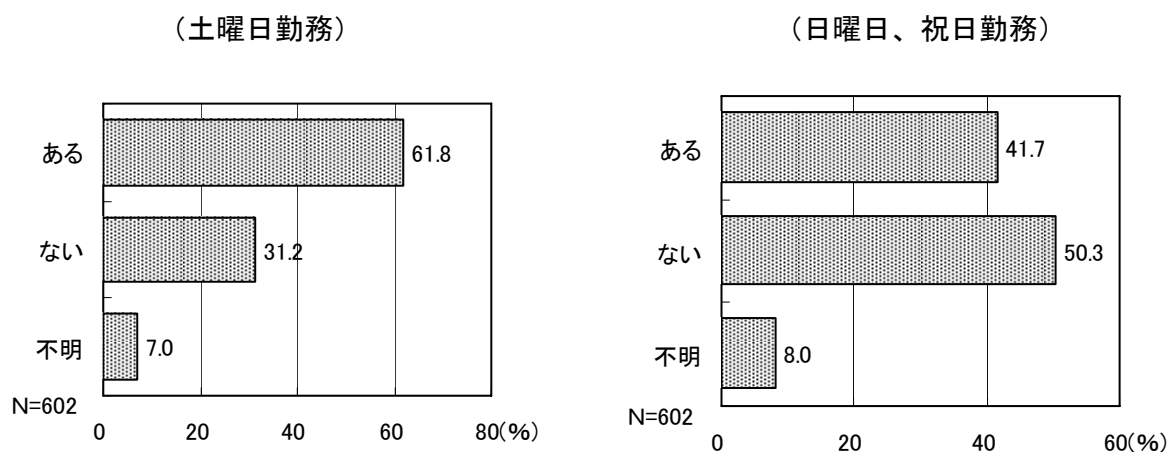
（平均就労時間：1週当たり）



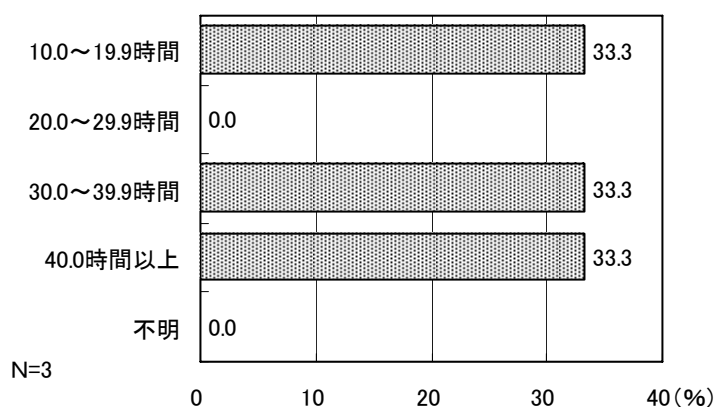
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）



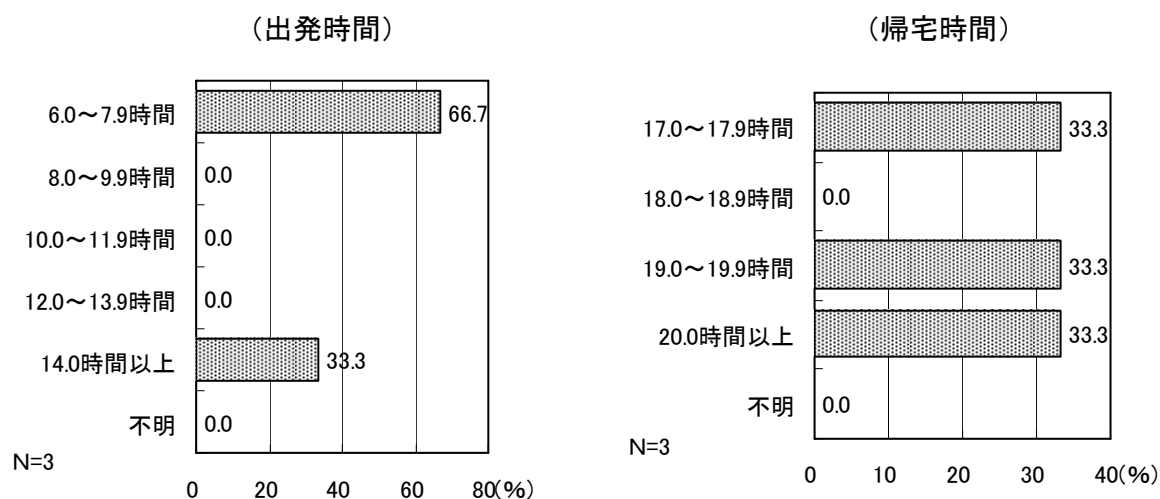
■就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）



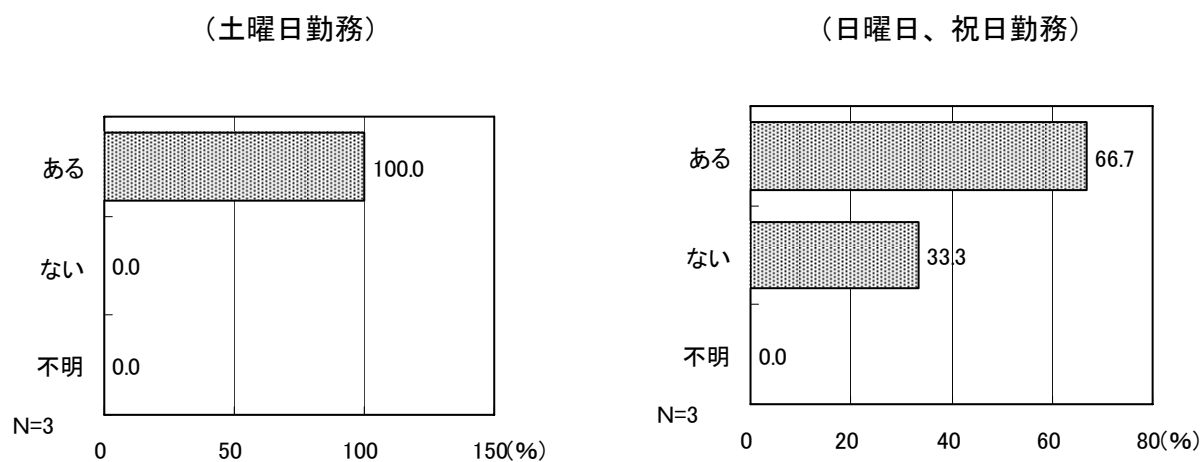
■就労している（パートタイム、アルバイト等）（平均就労時間：1週当たり）



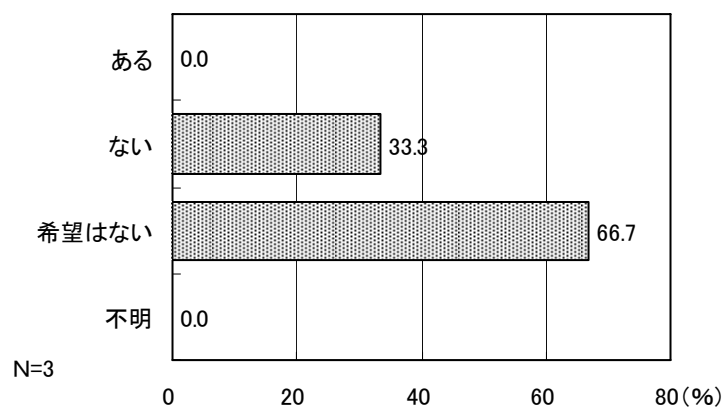
■就労している（パートタイム、アルバイト等）



■就労している（パートタイム、アルバイト等）



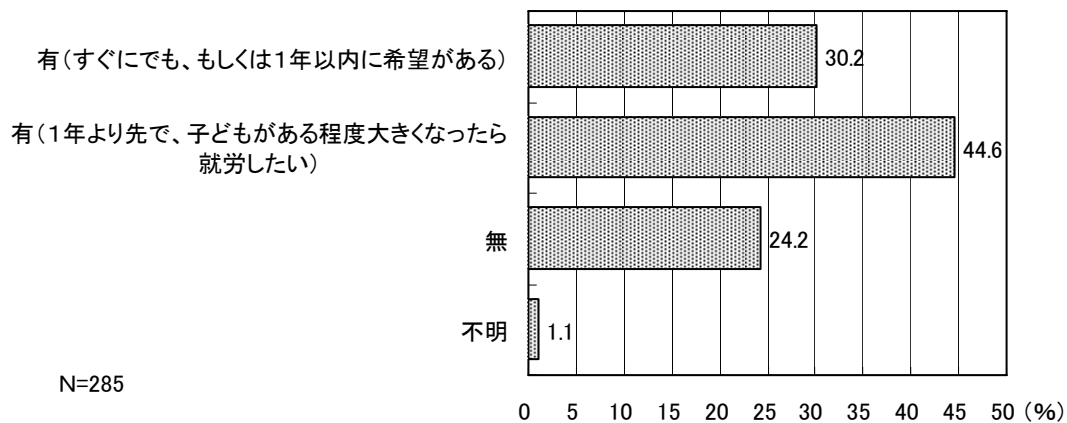
■就労している（パートタイム、アルバイト等）（フルタイムへの転換希望）



問9-1は、問9の「(1) 母親」で「4.」または「5.」を選ばれた方にお伺いします。

問9-1 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問9の(1) 母親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」と回答した人に今後の就労希望についてたずねたところ、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と回答した人が44.6%で最も多く、「有(すぐにでも、もしくは1年以内に希望がある)」と合わせると74.8%が就労の希望があることがわかる。

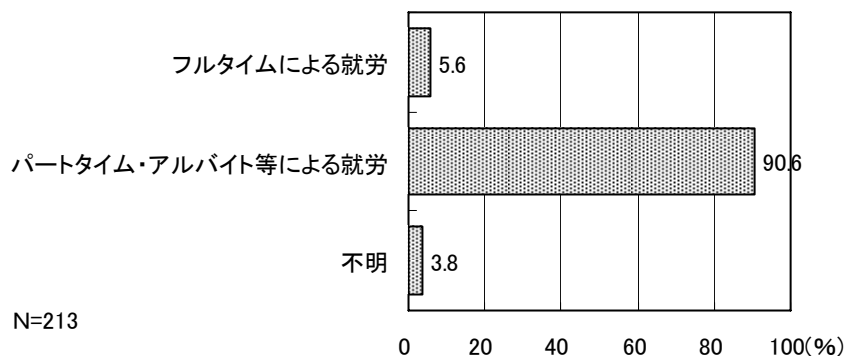


問9-2及び問9-3は、問9-1で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

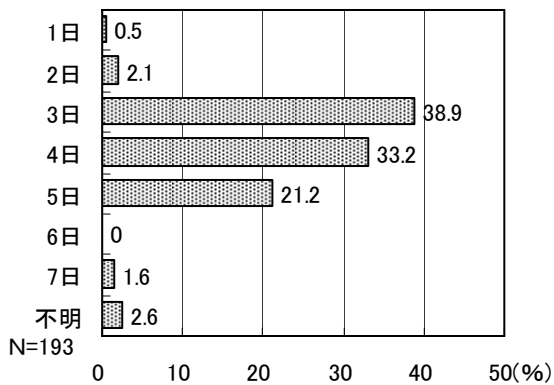
問9-2 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。)

希望する就労の形態については、「パートタイム、アルバイト等による就労」と回答した人が90.6%で圧倒的に多い。

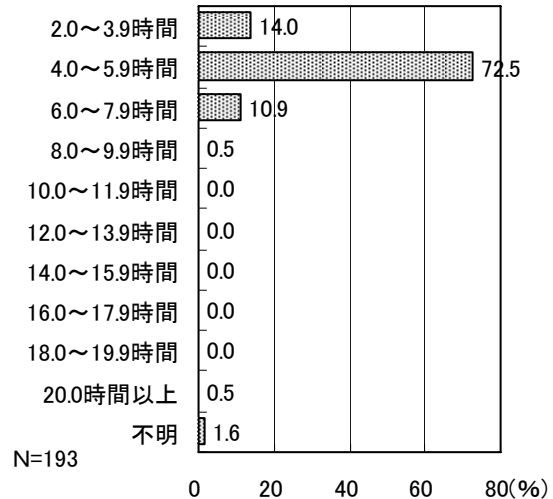
「パートタイム、アルバイト等による就労」の1週当たりの希望日数は「3日」、1日当たりの希望時間は「4～6時間未満」が最も多い。



■ 1週当たり希望日数

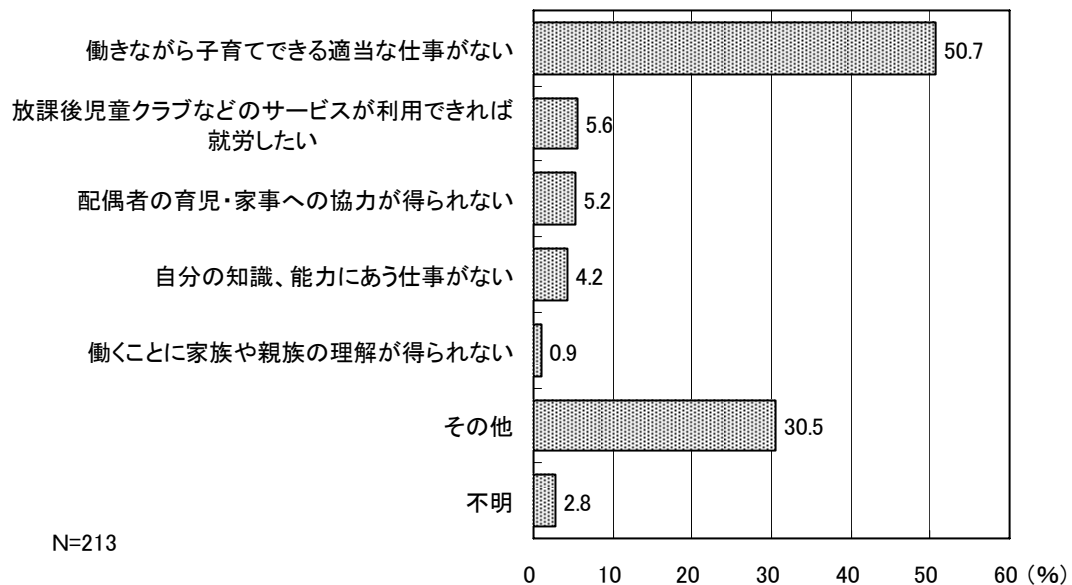


■ 1日当たり希望時間



問9-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

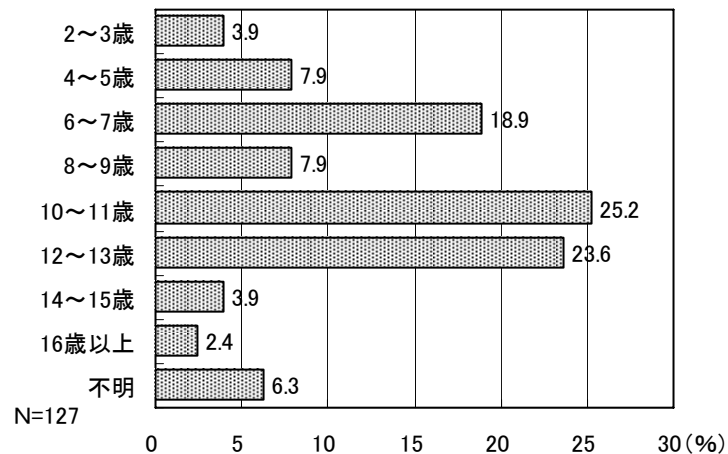
問9-1で「有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と回答した人に、現在働いていない理由をたずねたところ、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」と回答した人が50.7%で最も多い。また「その他」の理由としては、「末子がまだ小さいため」「求職中」などが多かった。



問9-4は、問9-1で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問9-4 封筒のあて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

問9-1で「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と回答した人に一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するかをたずねたところ、「10～11歳」が最も多く、次が「12～13歳」であった。

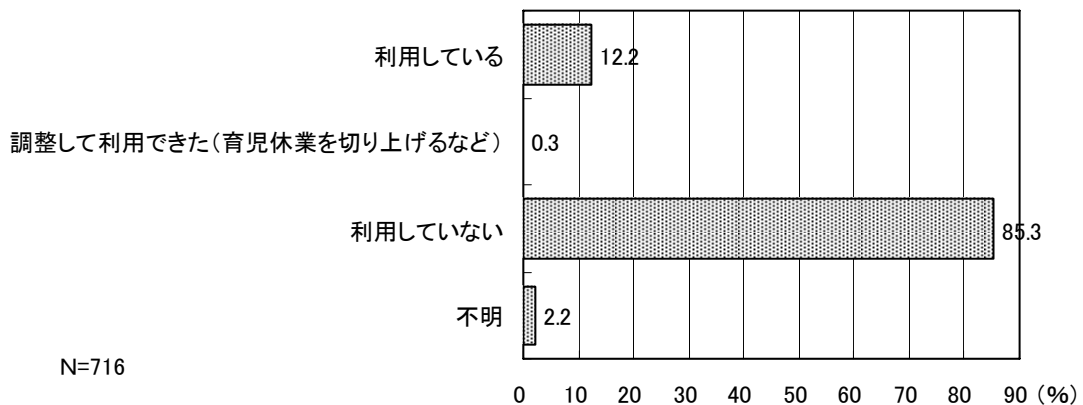


3. 放課後児童クラブの利用についてお伺いします。

問10 封筒のあて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

【放課後児童クラブ（あおぞら児童会）…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。問10-7の「放課後子ども教室（元気広場）」と連携して実施されている場合があります。】

放課後児童クラブの利用状況については、「利用している」人は12.2%であった。



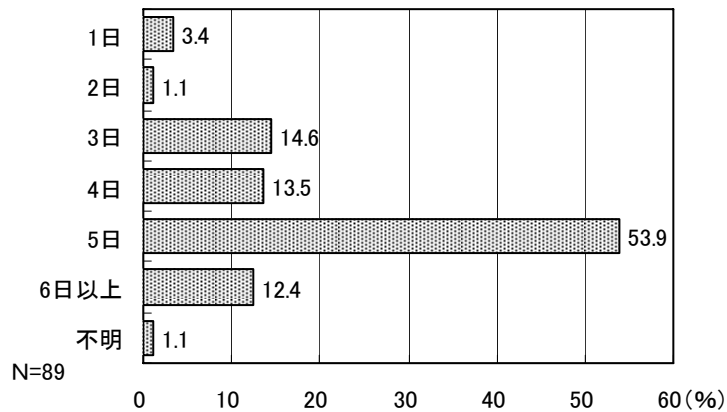
問10-1は、問10で「1.」「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問10-1 封筒のあて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

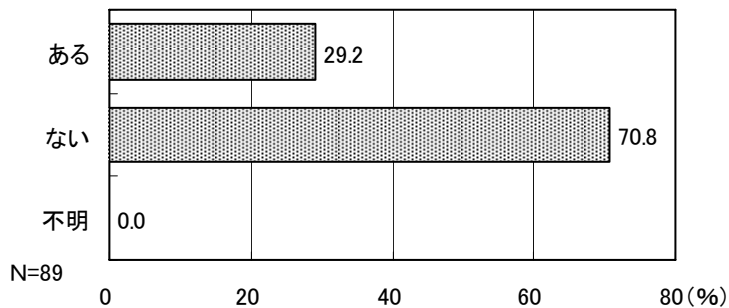
問10で放課後児童クラブを「利用している」と回答した人に1週当たりの利用日数をたずねたところ、「5日」が最も多く53.9%であった。

1週間のうち土曜日にも利用している人は29.2%であり、利用している理由としては、「現在就労している」が特に多い。

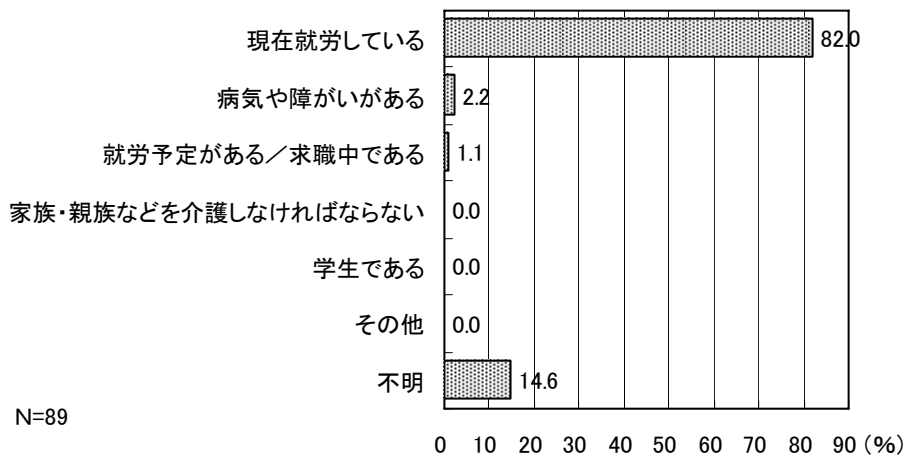
■利用日数（週当たり）



■うち土曜日の利用



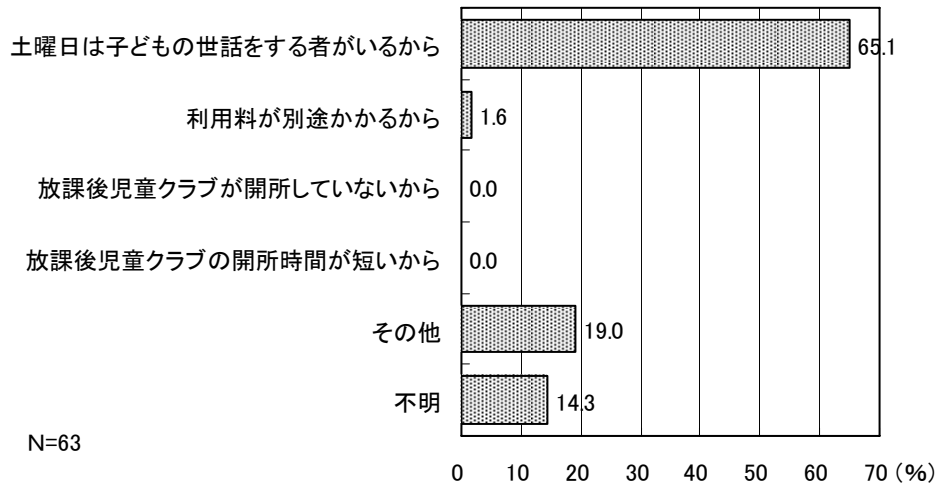
■利用している理由



問10-2は、問10-1で、土曜日について「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問10-2 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

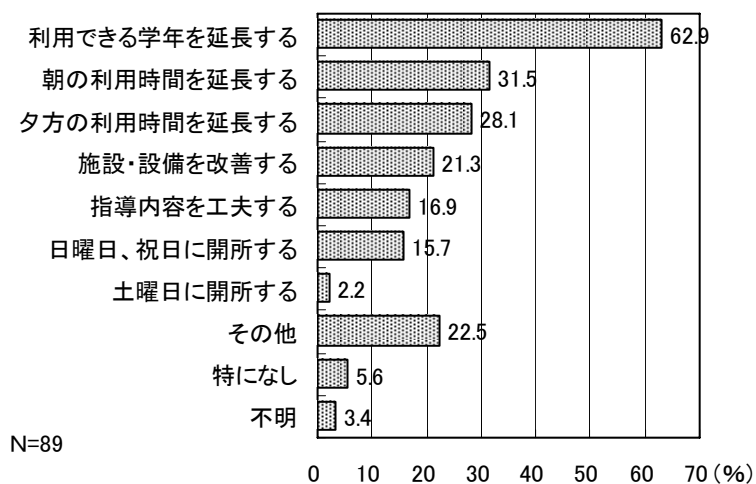
土曜日に利用していない理由としては、「土曜日は子どもの世話をする者がいるから」が特に多い。



問10-3は、問10で、「1.」「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問10-3 現在通っている放課後児童クラブにどのようなことを希望しますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

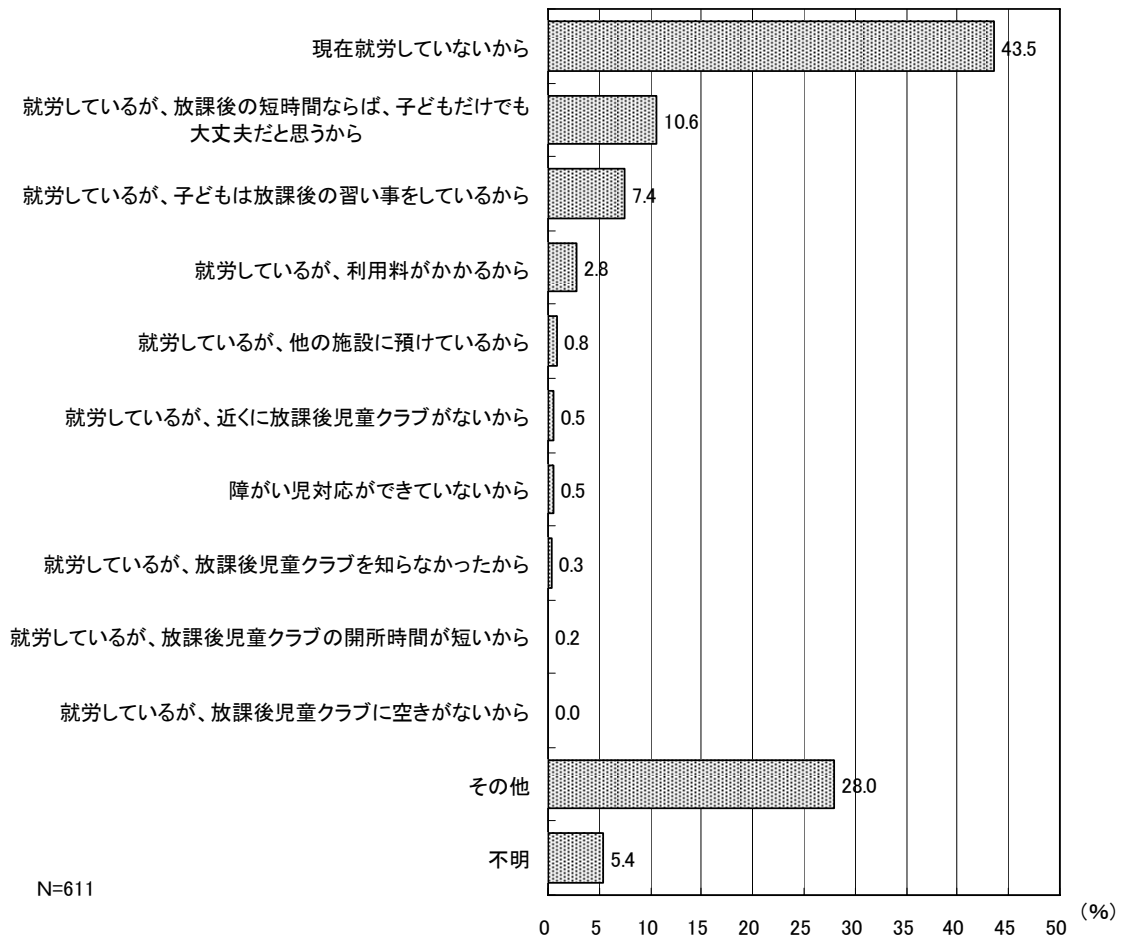
放課後児童クラブに対する希望では、「利用できる学年を延長する」が半数以上で最も多く、次が「朝の利用時間を延長する」である。



問10-4及び問10-5は、問10で、「3.」を選ばれた方にお伺いします。

問10-4 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問9で放課後児童クラブを「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「現在就労していないから」と回答した人が最も多く、次が「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」である。

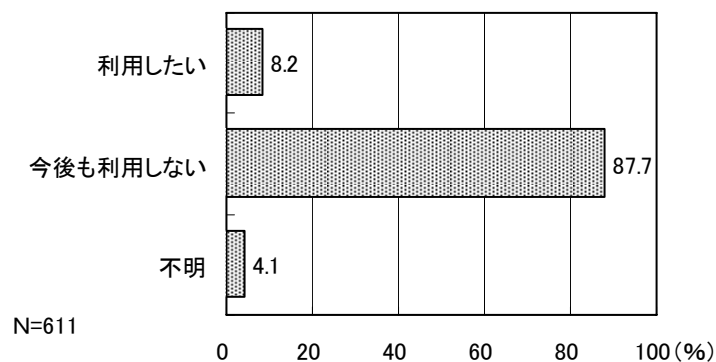


問 10-5 封筒のあて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

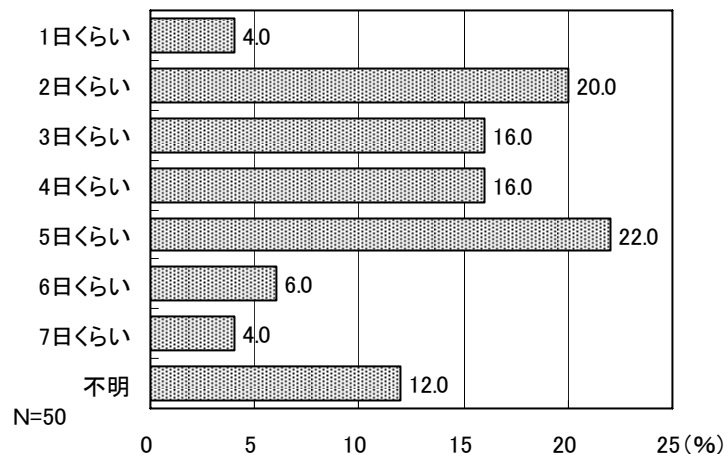
問10で放課後児童クラブを「利用していない」と回答した人に今後の利用希望をたずねたところ、「利用したい」と回答した人は8.2%と少なく、「今後も利用しない」と回答した人が大半を占めた。

利用したいと回答した人の1週当たりの希望日数は、「5日くらい」が最も多く、次が「2日くらい」である。

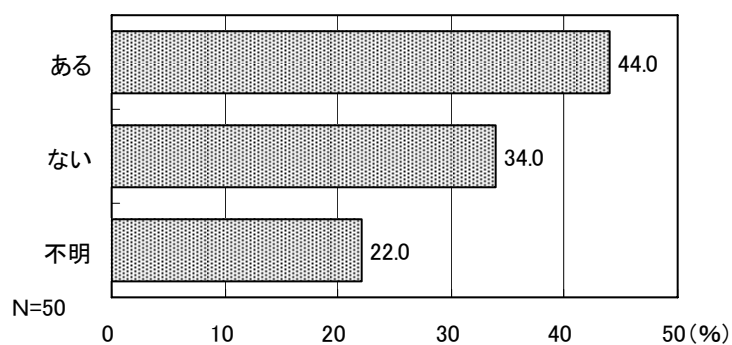
土曜日の利用希望については、「ある」と回答した人が44.0%、日曜日・祝日の利用希望については、「ある」と回答した人が20.0%である。



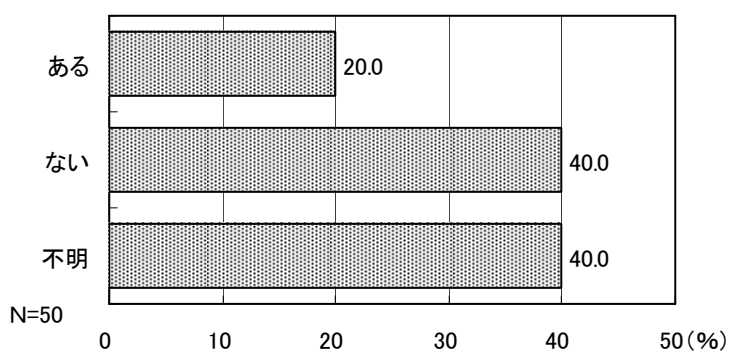
■ 1週当たり希望日数



■うち土曜日の利用希望



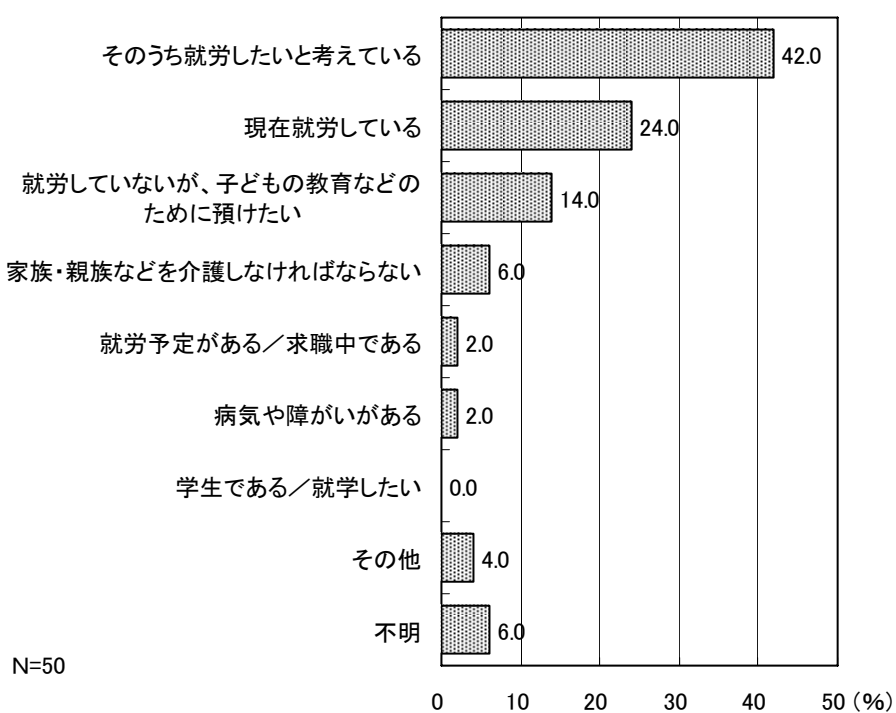
■うち日曜日・祝日の利用希望



問10-6は、問10-5で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問10-6 今後放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問10-5で今後放課後児童クラブを「利用したい」と回答した人にその理由をたずねたところ、「そのうち就労したいと考えている」が42.0%で最も多い。



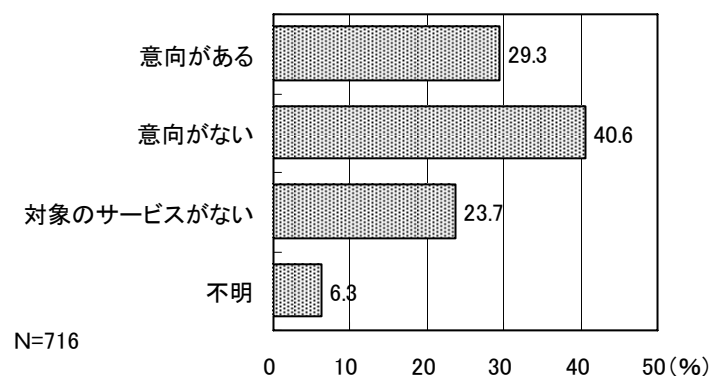
すべての方にお伺いします。

問 10-7 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

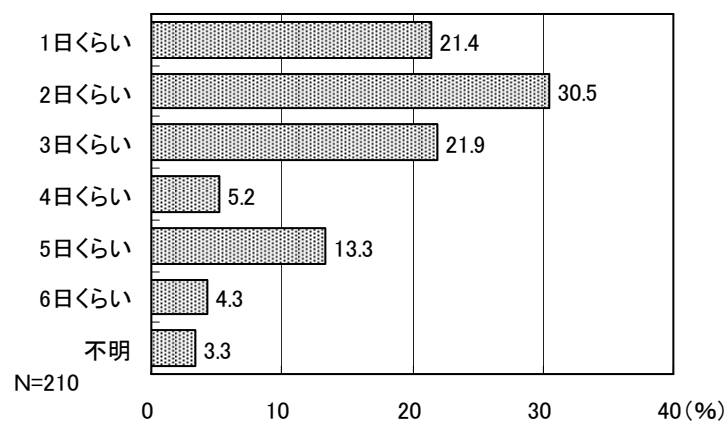
【放課後子ども教室（元気広場）…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。】

放課後子ども教室の利用意向についてたずねたところ、「意向がある」と回答した人は29.3%であった。

「意向がある」と回答した人の1週当たりの希望日数は、「2日くらい」が最も多い。



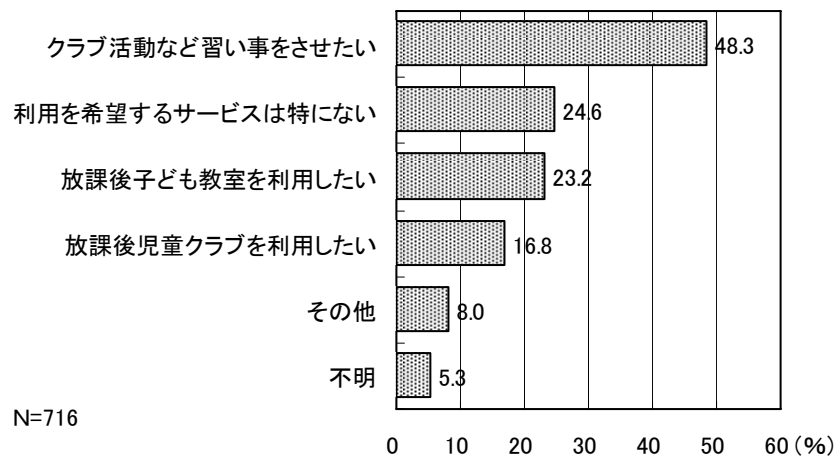
■ 1週当たりの希望日数



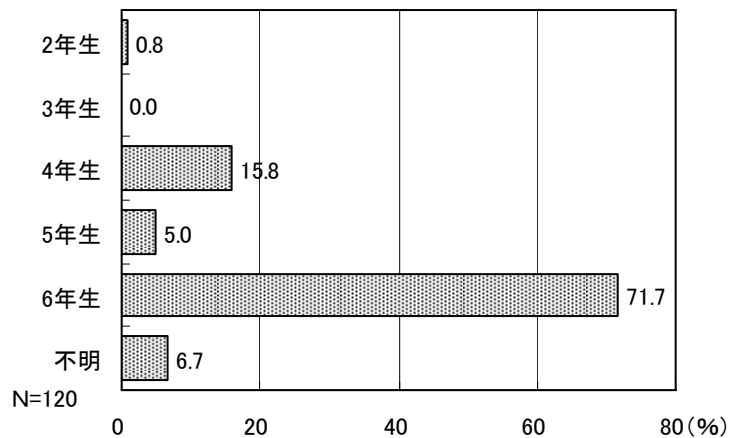
問 10-8 封筒のあて名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

あて名の子どもの小学4年生以降の放課後の過ごし方についてたずねたところ、「クラブ活動など習い事をさせたい」と回答した人が48.3%で最も多い。

また、「放課後児童クラブを利用したい」と回答した人に、小学何年生まで利用したいかをたずねたところ、「6年生」が特に多い。



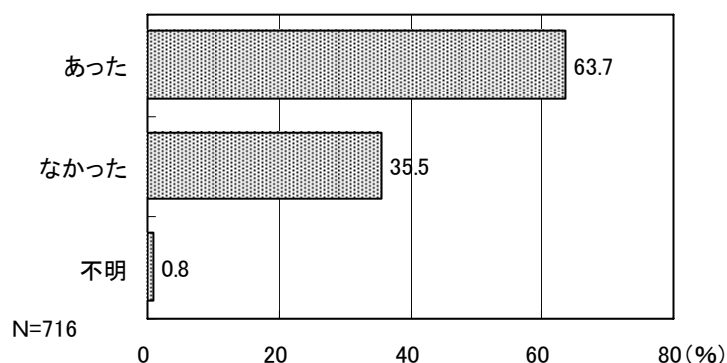
■希望する学年



4. 封筒のあて名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問 1 1 この 1 年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。

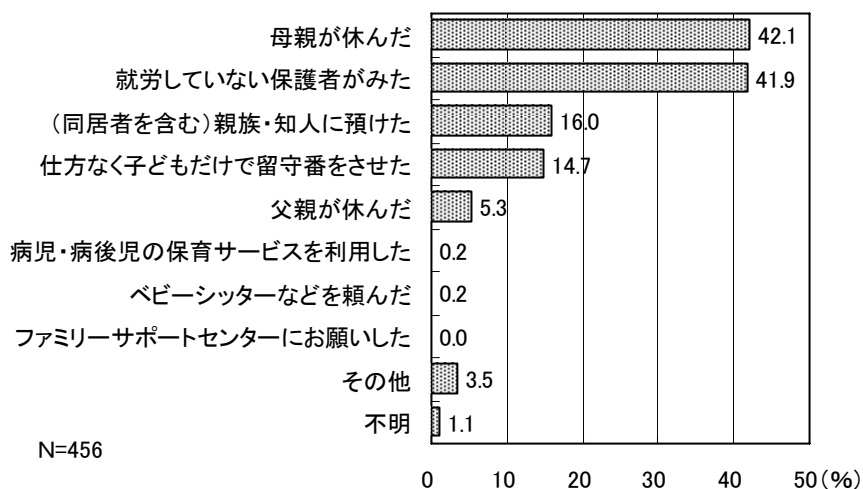
この 1 年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったことについては、「あった」と回答した人が 63.7% である。



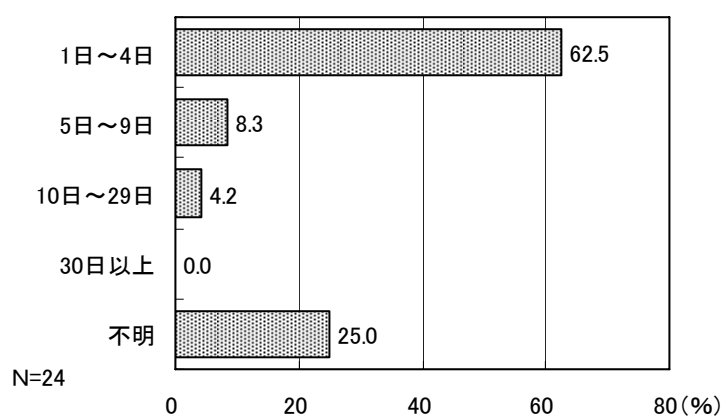
問 1 1-1 は、問 1 1 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問 1 1-1 この 1 年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日程度についても 1 日としてカウントしてください）（複数回答可）

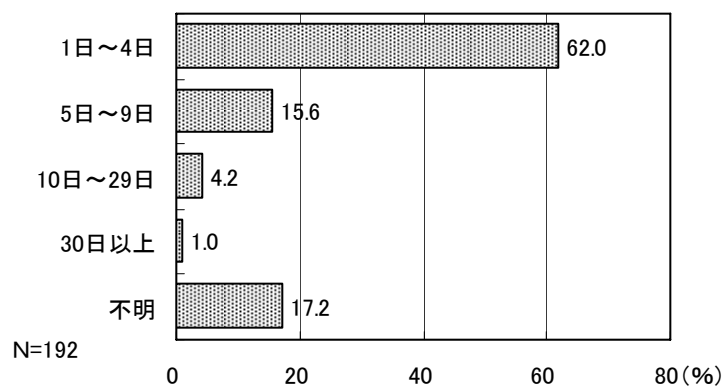
問 1 1 で通常の保育サービスが利用できなかったことがあったと回答した人にその対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」及び「就労していない保護者がみた」という人が多い。また、休んだ日数等は「1～4 日」が最も多い。



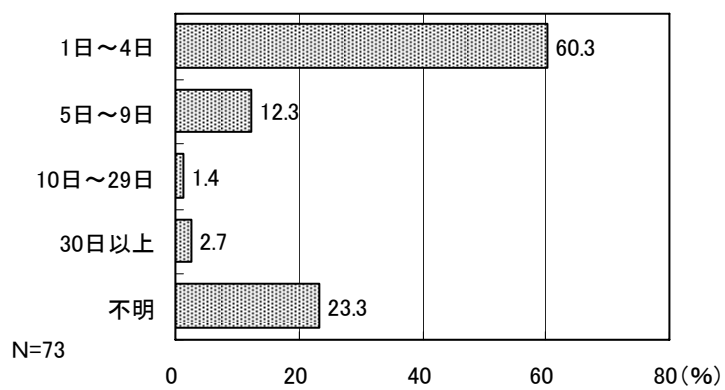
■父親が休んだ日数



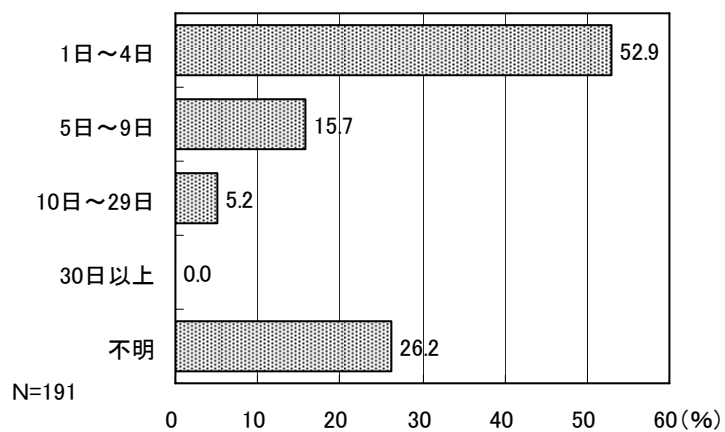
■母親が休んだ日数



■（同居者を含む）親族・知人に預けた日数



■就労していない保護者に預けた日数



■病児・病後児の保育サービスを利用した日数

回答者は1人で、日数は「5日～9日」であった。

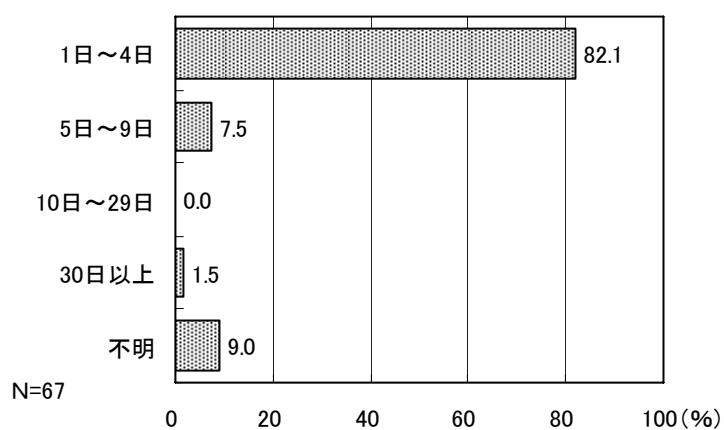
■ベビーシッターなどを頼んだ日数

回答者は1人で、日数は「1日～4日」であった。

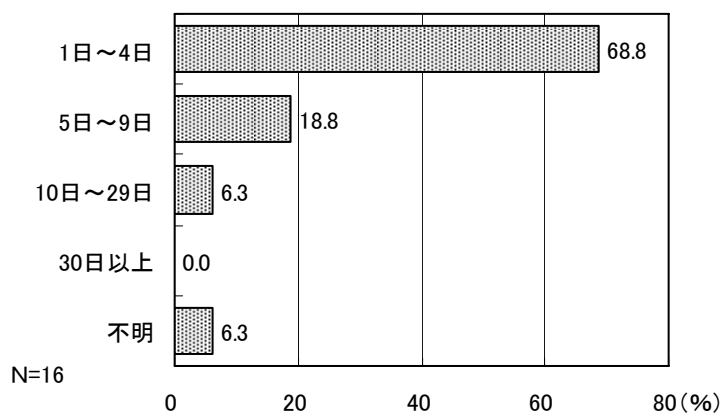
■ファミリーサポートセンターにお願いした日数

該当者はいなかった。

■仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



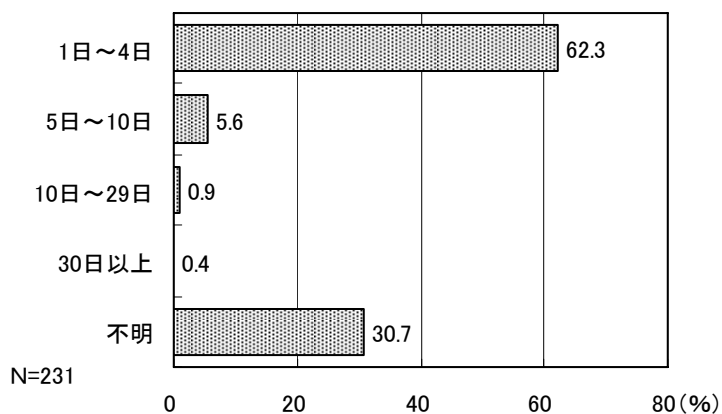
■その他の日数



問1 1－2は、問1 1－1で「1.」「2.」「3.」を選ばれた方にお伺いします。

問1 1－2 その際、できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

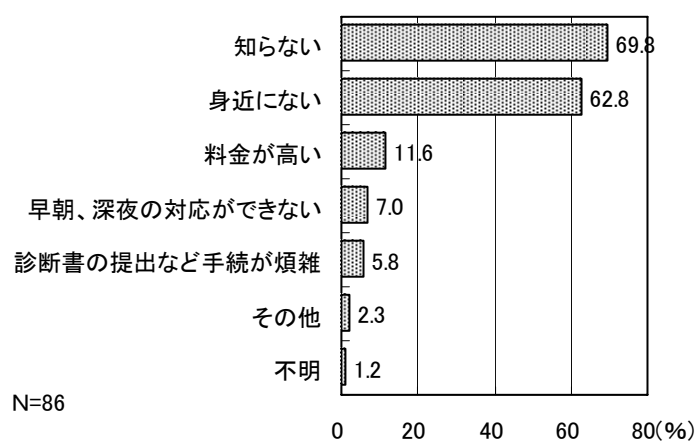
問1 1－1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に預けた」のいずれかを回答した人に、施設に預けたいと思った日数をたずねたところ、1～4日の人が62.3%で最も多かった。



問11-3は、問11-2で「できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したい」日数を1日以上と記入された方にお伺いします。

問11-3 その際、病児・病後児保育サービスを利用されなかった理由はどのようなことですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

病児・病後児保育サービスを利用しなかった理由としては、サービスを「知らない」という人が最も多く、次が「身近にない」であり、認知度の向上等が課題と言える。



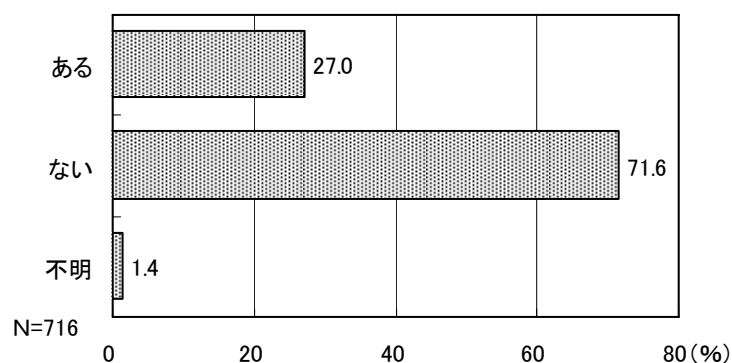
5. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問 1 2 この 1 年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日程度についても 1 日としてカウントしてください）

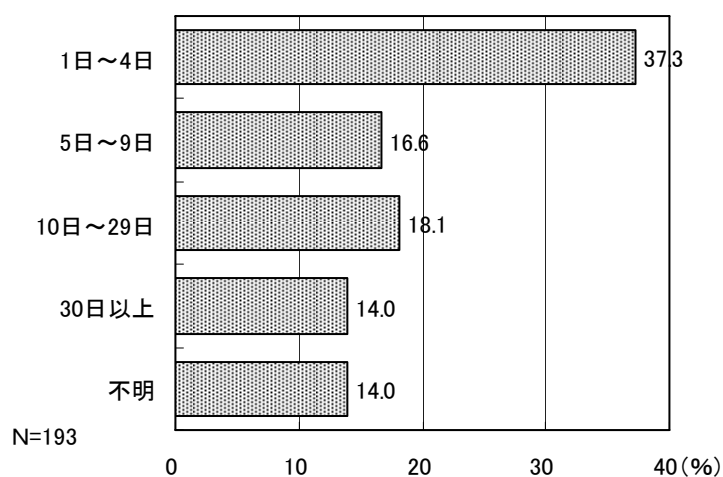
この 1 年間に私用等や就労のため子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことについては、「ある」と回答した人が 27.0%であった。

預けた日数は、年間で「1～4 日」が最も多い。

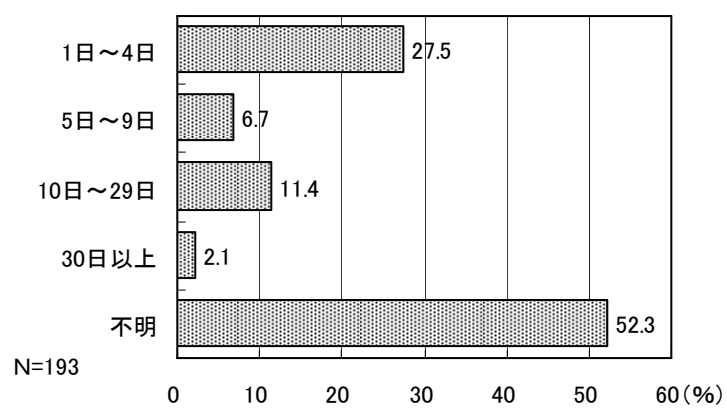
理由別では、①私用、リフレッシュ目的、②冠婚葬祭、子どもの親の病気、③就労のいずれも「1 日～4 日」が最も多くなっている。



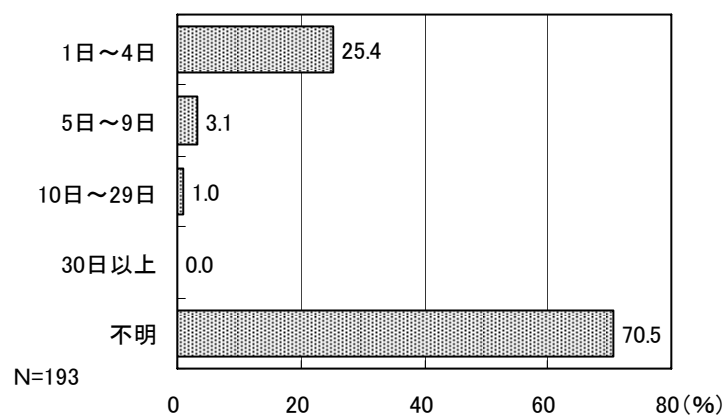
■ 年間



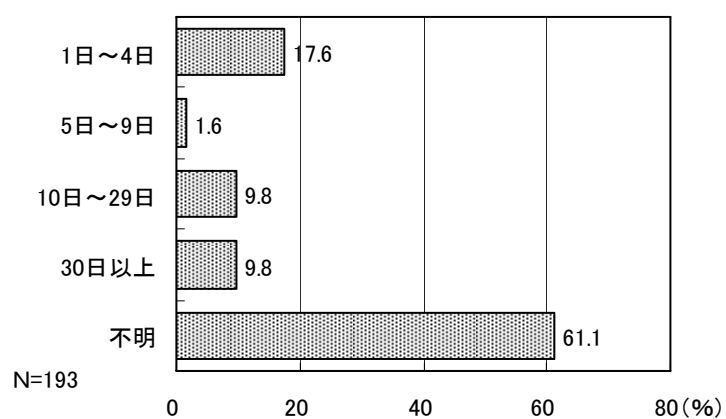
①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的



②冠婚葬祭、子どもの親の病気

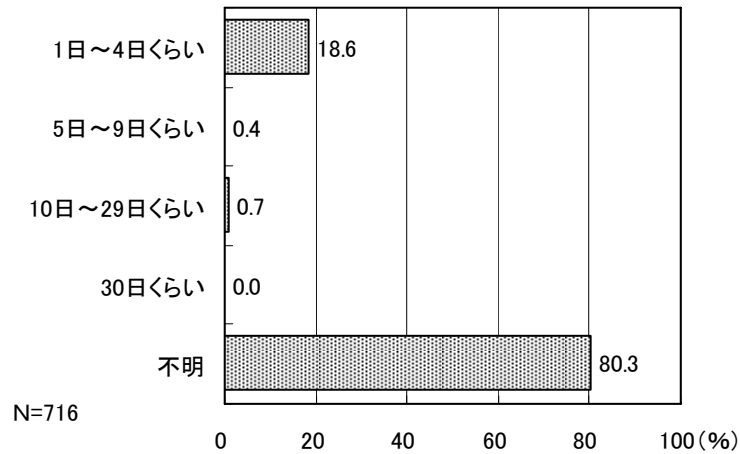


③就労



問 1 2 - 1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

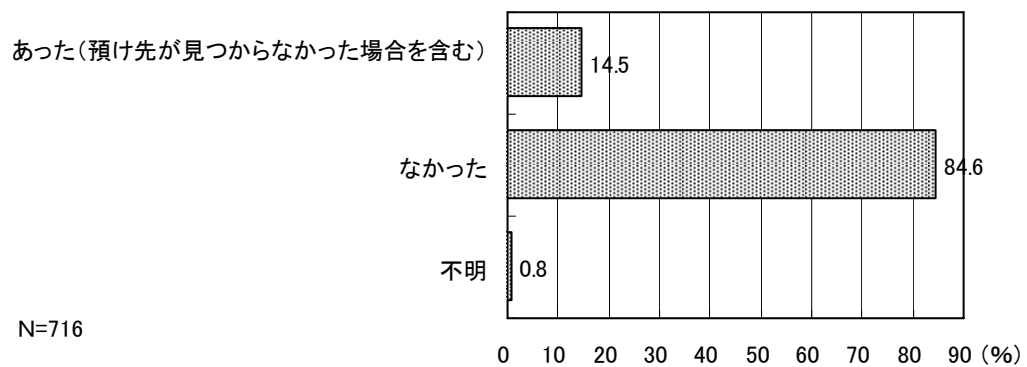
今後の利用希望及び利用増の希望をみると、月に「1日～4日くらい」という人が18.6%である。



6. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問 1 3 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで預けなければならぬことはありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで預けなければならぬことが「あった」人は14.5%であった。

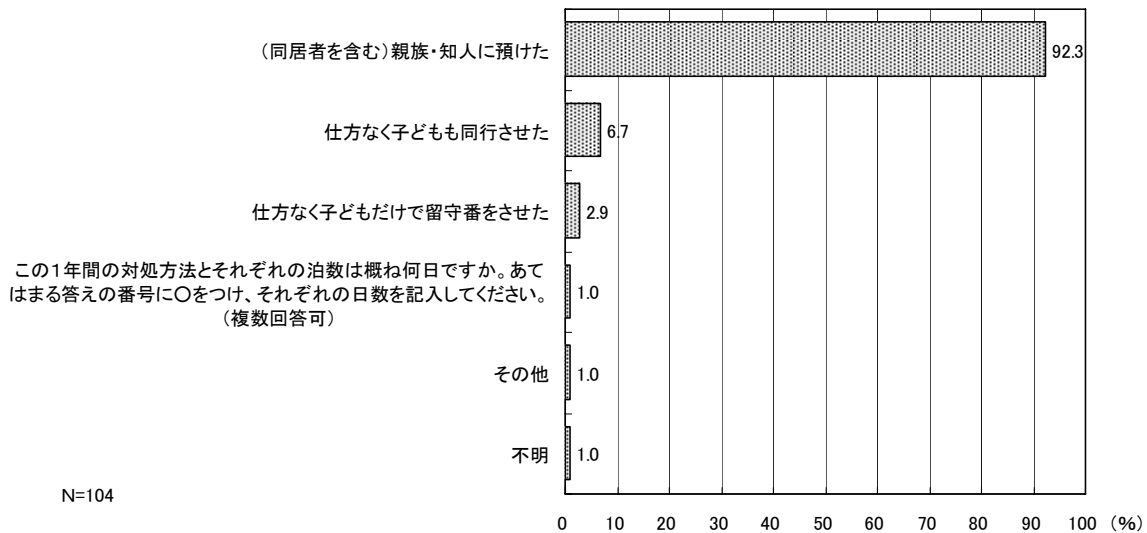


問13-1は、問13で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

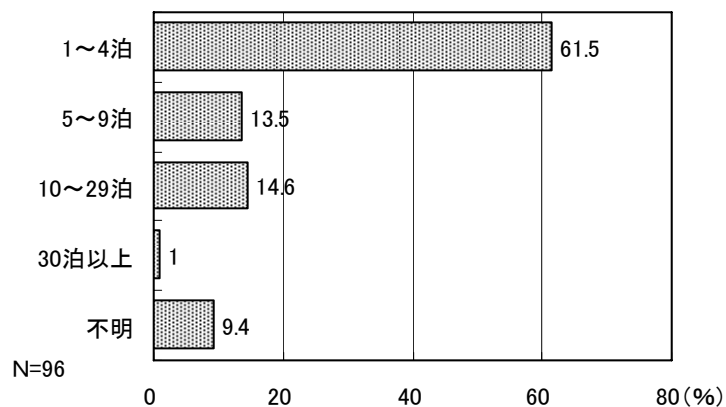
問13-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（複数回答可）

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで預けなければならないことがあった人にその際の対処方法をたずねたところ、「（同居者を含む）親族・知人に預けた」と回答した人が92.3%と大半を占めている。

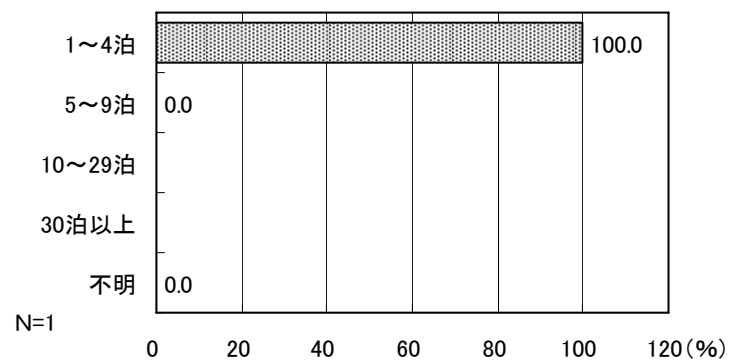
（同居者を含む）親族、知人に預けた泊数は、「1～4泊」が半数以上である。



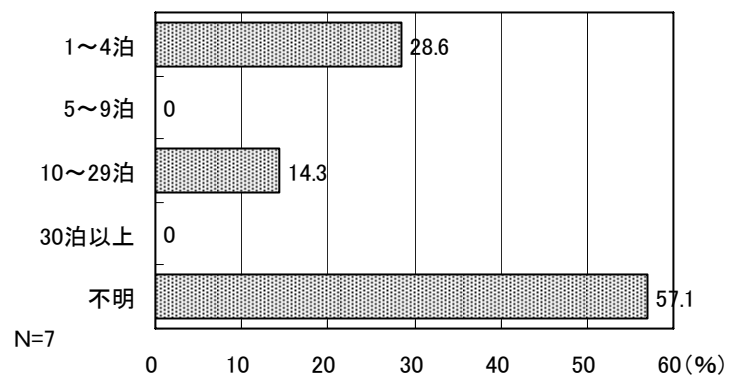
■（同居者を含む）親族、知人に預けた泊数



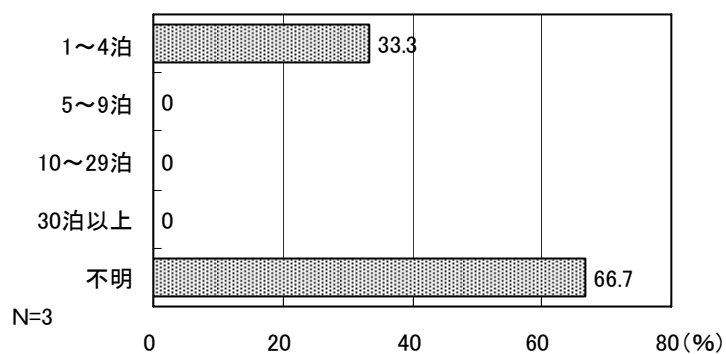
■一時預かりサービスを利用した泊数



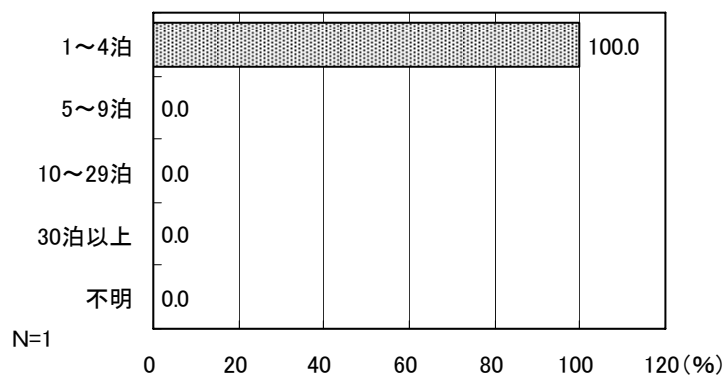
■仕方なく子どもも同行させた泊数



■仕方なく子どもだけで留守番をさせた



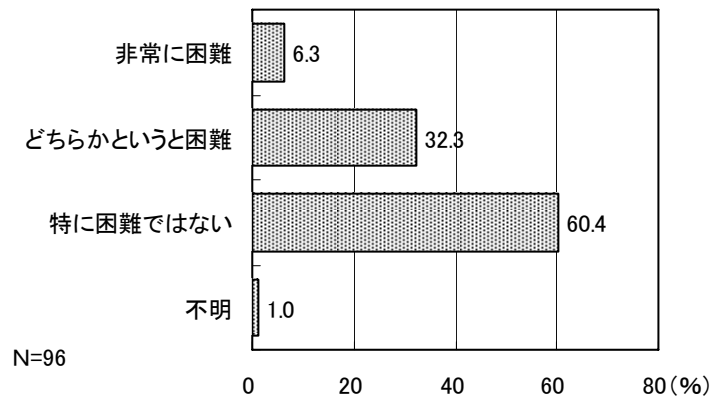
■その他の泊数



問13-2は、問13-1で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問13-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

問13-1で「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」と回答した人にその際の困難さをたずねたところ、「特に困難ではない」と回答した人が60.4%と最も多いが、「非常に困難」または「どちらかという困難」と回答した人を合わせると38.6%が困難さを感じている。



7. ベビーシッターの利用についてお伺いします。

ベビーシッターを利用していいらっしゃる方にお伺いします。

問14 どのような目的で利用していいらっしゃいますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(複数回答可)

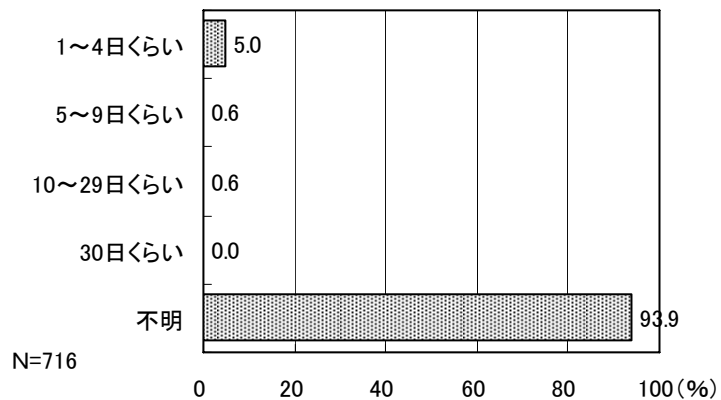
問14-1 どれくらいの頻度で利用していいらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

ベビーシッターの利用目的については、利用者が少ないが、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」1人、「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」1人、「その他」1人であった。利用頻度は、月に1回、4回、5回、1回あたり利用時間は2時間2人、4時間1人、5時間1人、10時間1人であった。

すべての方にお伺いします。

問 1 4 - 2 今とは利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

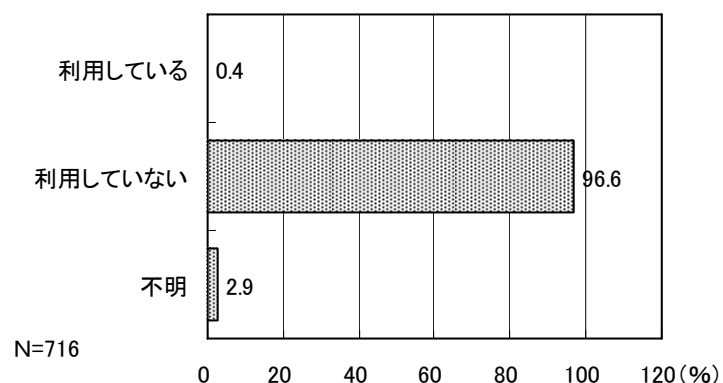
現在、ベビーシッターを利用していない人の今後の利用希望については、「1～4日くらい」という人が5.0%で、ほとんどの人が不明回答(無回答)であり、利用を希望している人は少ない。



8. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問 1 5 ファミリーサポートセンターを利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

ファミリーサポートセンターを「利用している」人は0.4%（3人）と少なく、利用していない人がほとんどである。



問15-1～問15-3は、問15で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問15-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

ファミリーサポートセンターを利用している人の目的は、「放課後児童クラブ等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」などであった。

問15-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

ファミリーサポートセンターを利用している人の利用頻度については、具体的な回答が得られなかった。

問15-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

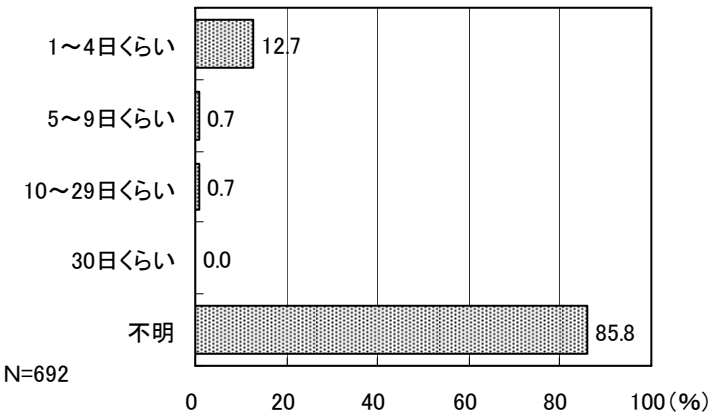
ファミリーサポートセンターを利用している人の利用日数・回数の増加希望については、具体的な回答が得られなかった。

問15-4は、問15で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

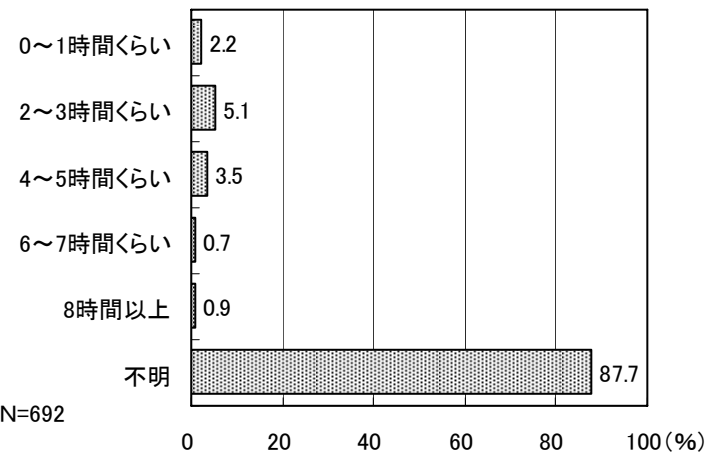
問15-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

問15でファミリーサポートセンターを「利用していない」と回答した人に1月あたりの希望日数をたずねると、「1～4日くらい」と回答した人が12.7%であった。1回当たりの利用時間は「2～3時間くらい」が多い。

■ 1月あたり利用日数



■ 1回あたり利用時間



9. すべての方に子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします。

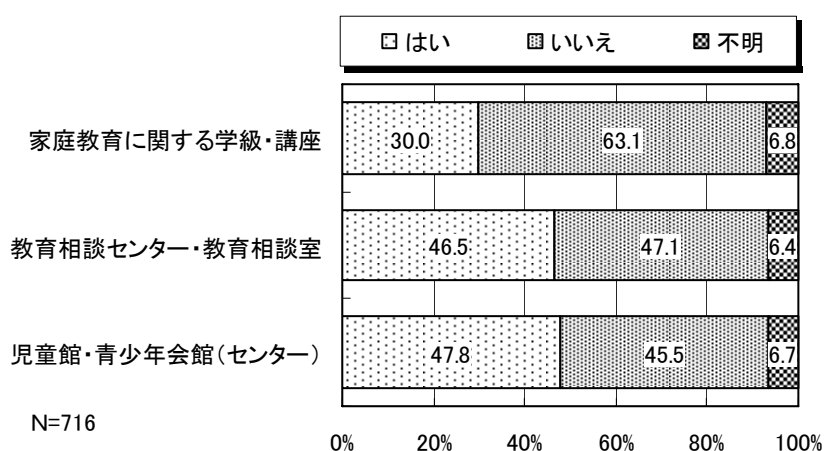
問16 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、「1. はい」、「2. いいえ」のどちらかに○をつけてください。

子育て支援サービスの認知度については、「家庭教育に関する学級・講座」の認知度がやや低い。

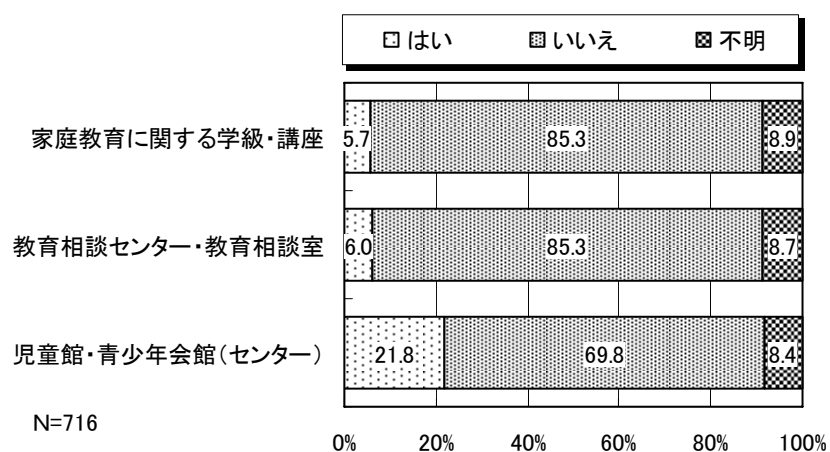
サービスの利用経験では、「児童館・青少年会館（センター）」が最も多い。

今後のサービスの利用希望についても、「児童館・青少年会館（センター）」が最も多い。

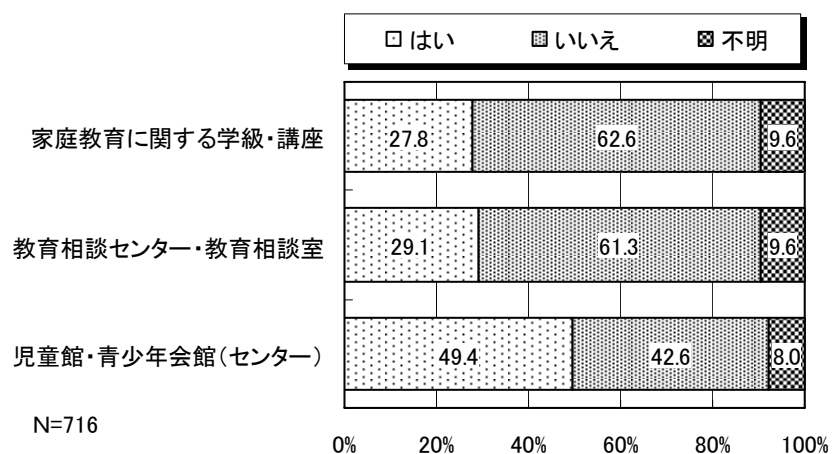
A. 知っている



B. これまでに利用したことがある



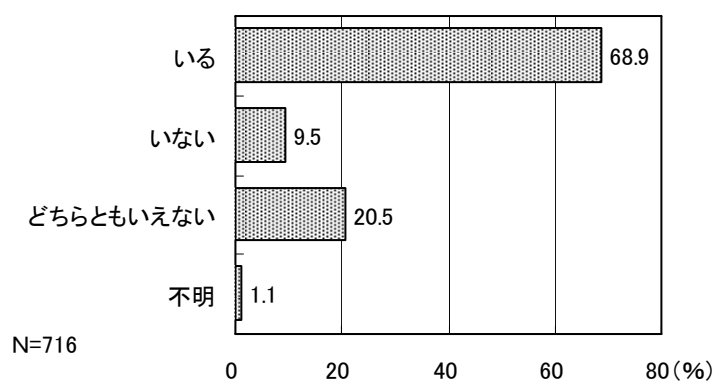
C. 今後利用したい



10. 子どもの健康についてお伺いします。

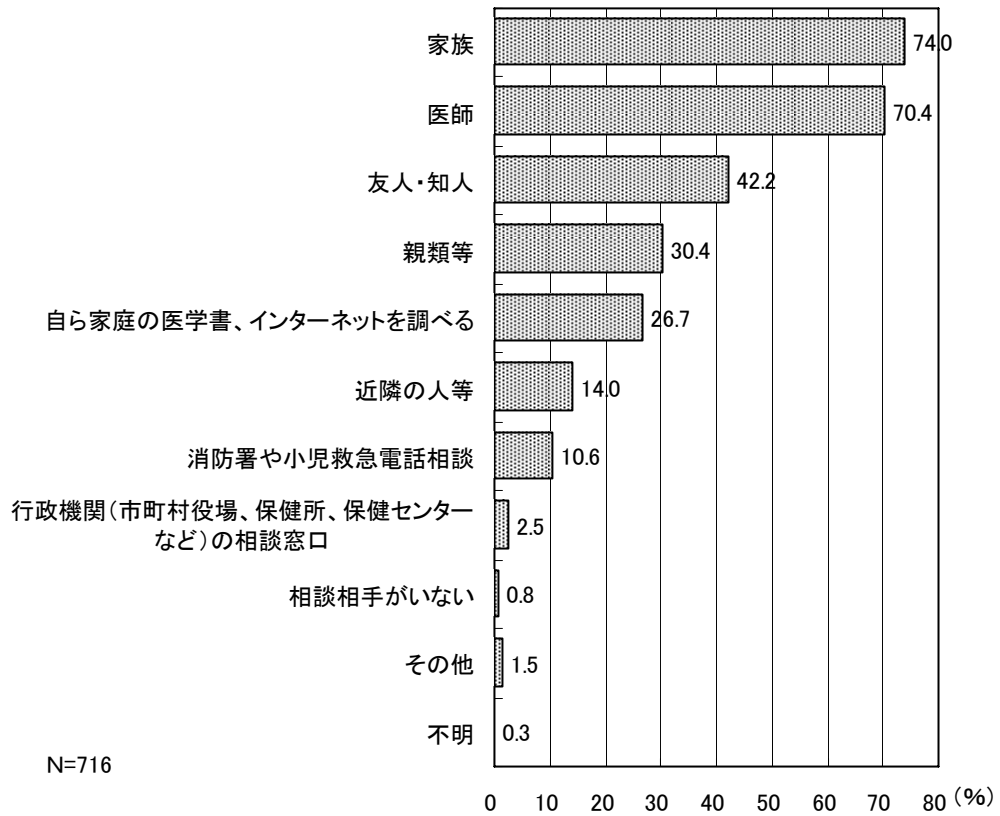
問17 封筒のあて名のお子さんについて、かかりつけの医師はいますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

かかりつけの医師については、「いる」と回答した人が68.9%、およそ7割である。



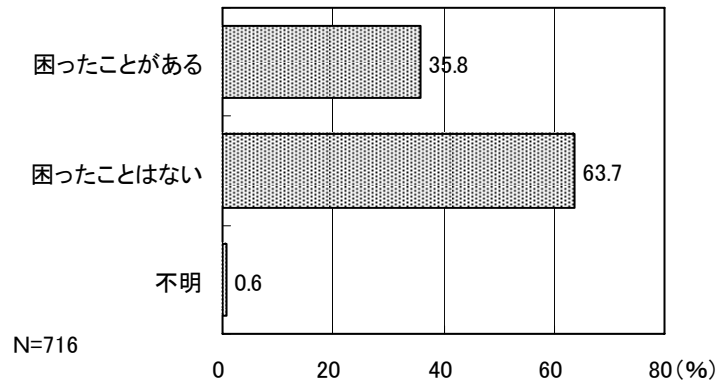
問 18 お子さんがけがや急病のとき、誰に相談していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

子どもがけがや急病のときの相談相手としては、「家族」及び「医師」が多い。



問 19 お子さんがけがや急病のとき、すぐ診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

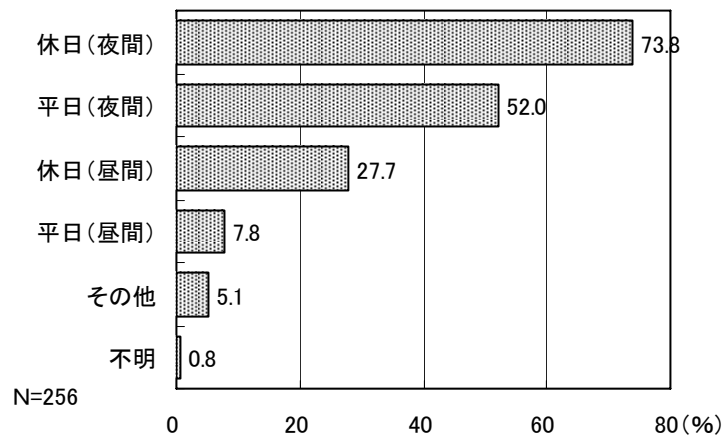
お子さんがけがや急病のときに医療機関が見つからず困ったことがあった人は 35.8% であり、就学前児童の結果とほぼ同じ割合である。



問 19-1 は、問 19 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

問 19-1 困ったのはいつですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

最も多いのが「休日（夜間）」であり、次が「平日（夜間）」である。



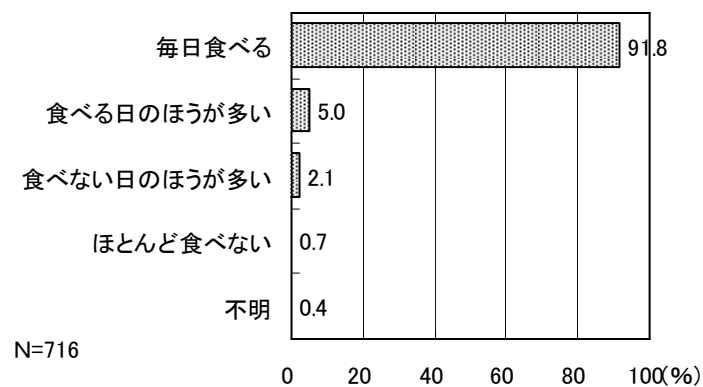
1 1. 子どもの食生活についてお伺いします。

問20 封筒のあて名のお子さんについて、それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

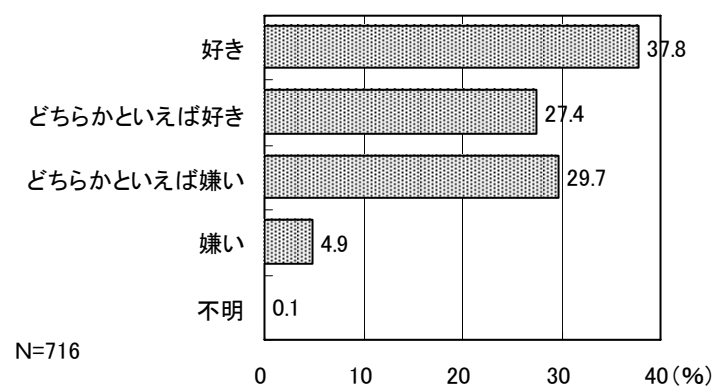
子どもの食生活については、朝ご飯を毎日食べる子どもは91.8%、野菜が嫌いな子どもは「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせると34.6%である。野菜を食べる頻度は、1日に「1～2回」が最も多い。

1日1回は家族と一緒に食事をする人は、97.8%である。

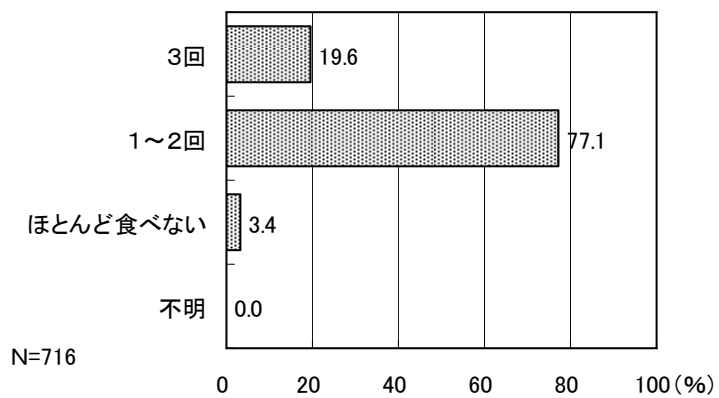
A. 朝ごはんを食べますか



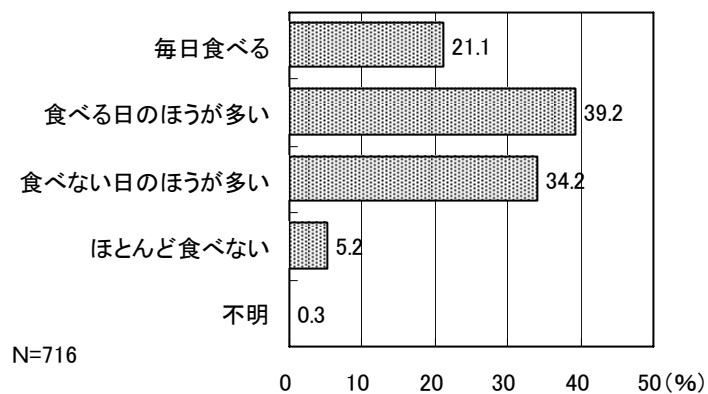
B. 野菜は好きですか



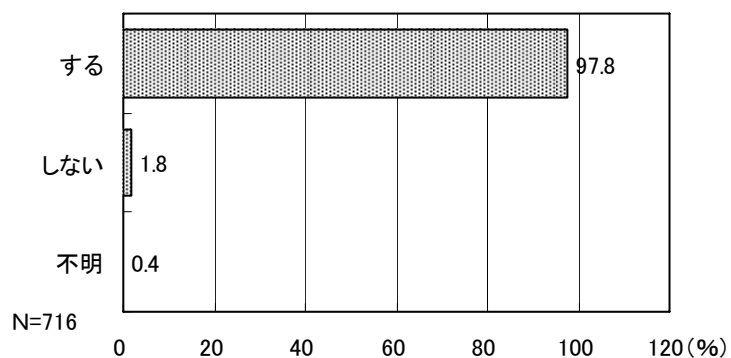
C. 野菜は、朝食・昼食・夕食のうち1日何回食べますか



D. 果物は食べますか

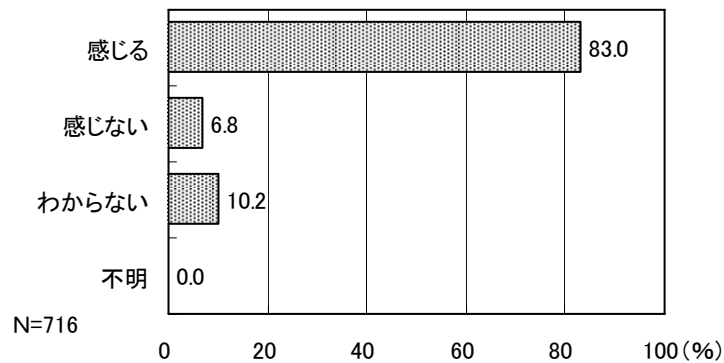


E. 1日1回は家族と一緒に食事をしますか



問20-1 決まった時間に食事するなど、お子さんは、健康的な食習慣を身につけていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

子どもが健康的な食習慣を身につけていると「感じる」人は83.0%と多いが、「感じない」と回答した人も6.8%ある。



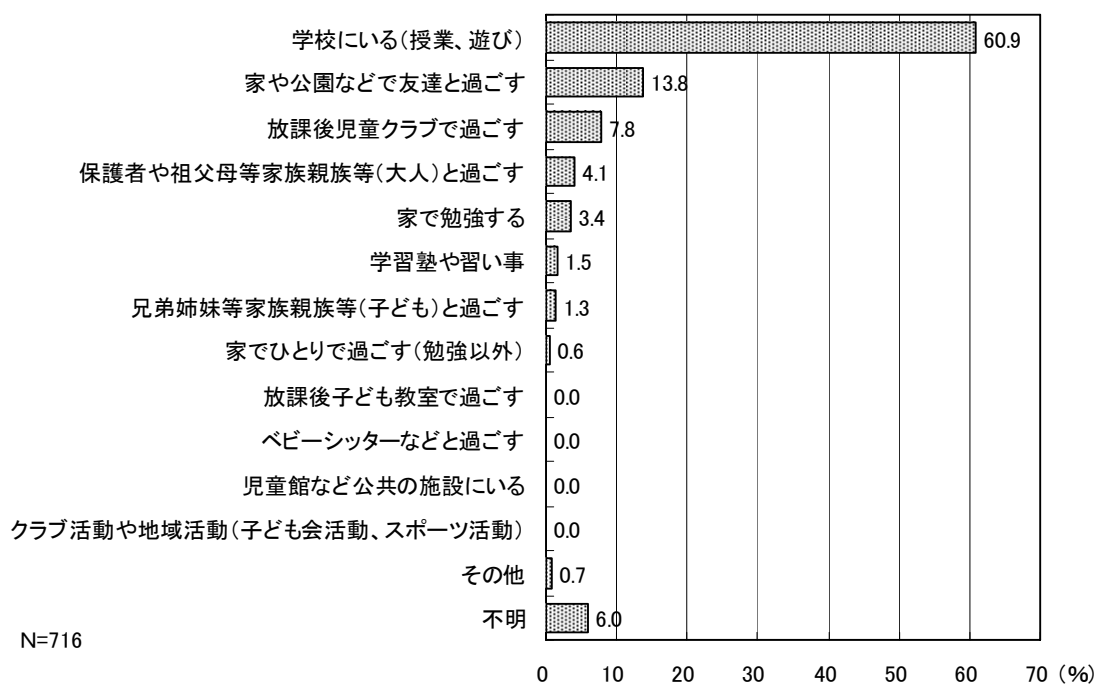
12. 子どもが心身とともに健やかに成長するための取組についてお伺いします。

封筒のあて名のお子さんの日ごろの過ごし方についてお伺いします。

問21 平日の放課後および休日の日常なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに選択肢の中からあてはまる答えの番号をそれぞれ選んでご記入ください。

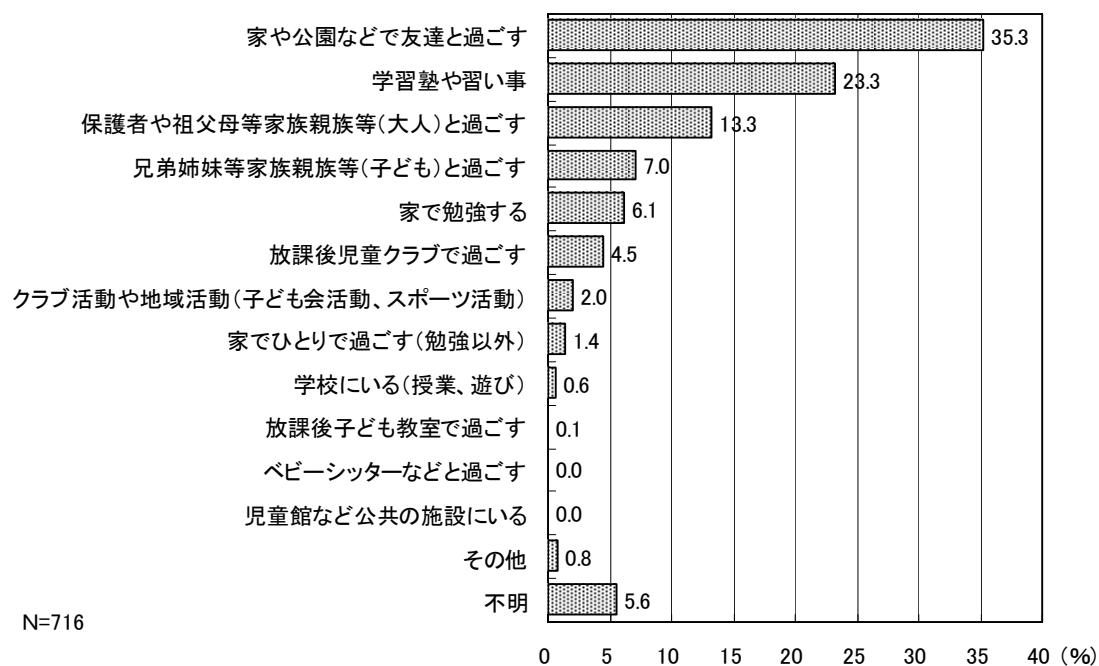
■平日14～16時

「学校にいる（授業、遊び）」が半数以上で特に多い。



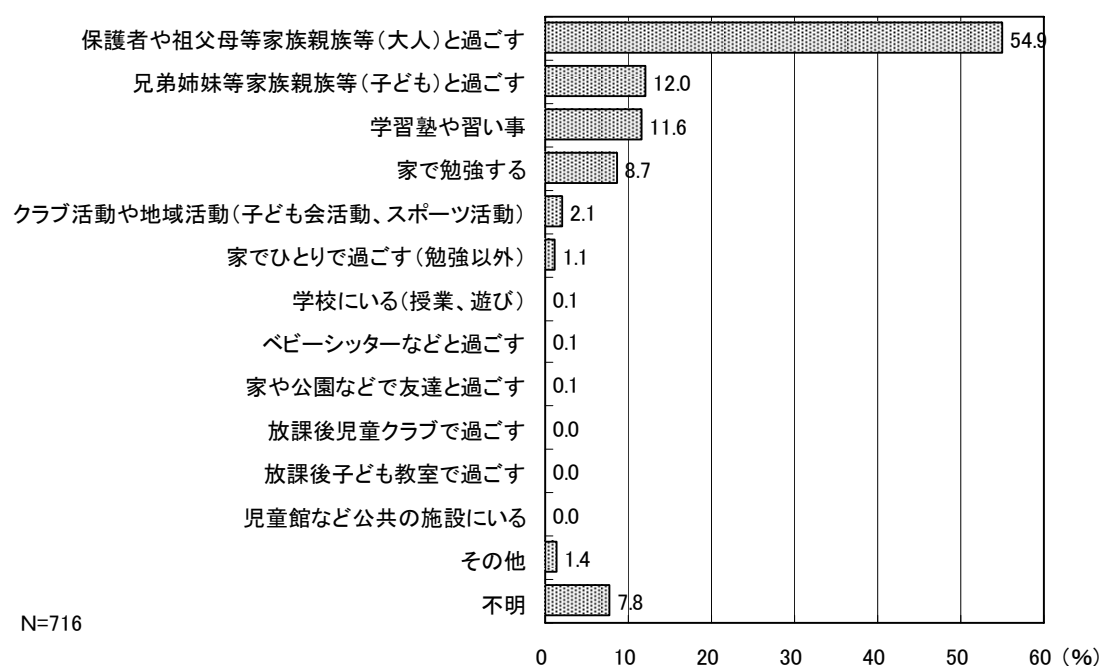
■平日 16～18時

「家や公園などで友達と過ごす」が最も多く、次が「学習塾や習い事」である。



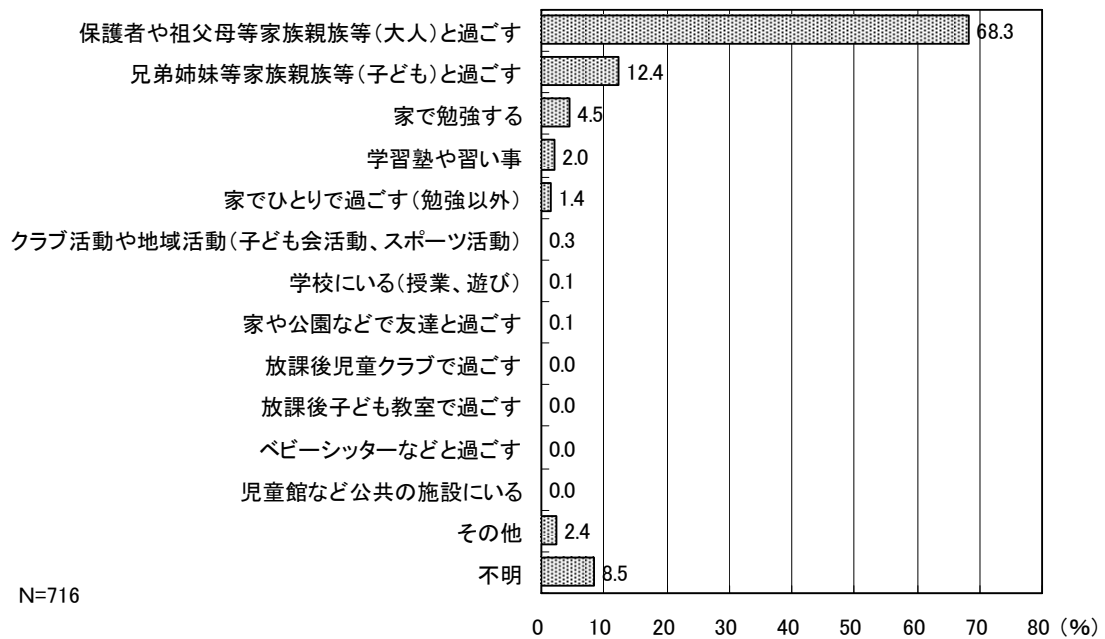
■平日 18～20時

「保護者や祖父母等家族親族等(大人)と過ごす」が半数以上で特に多い。



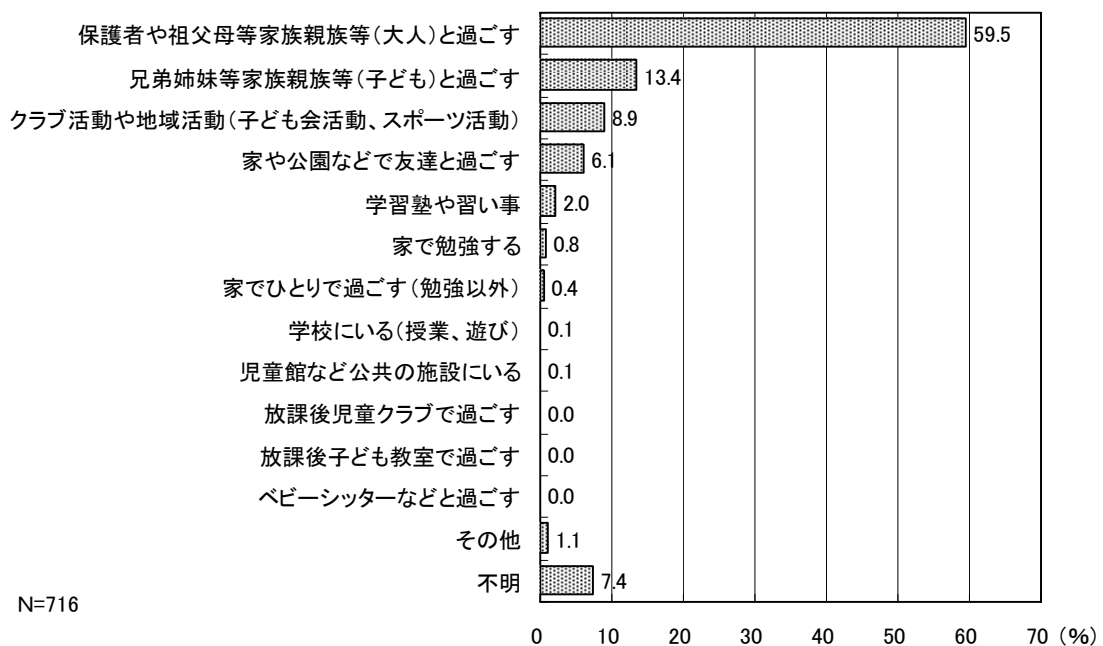
■平日20時以降

「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が特に多い。



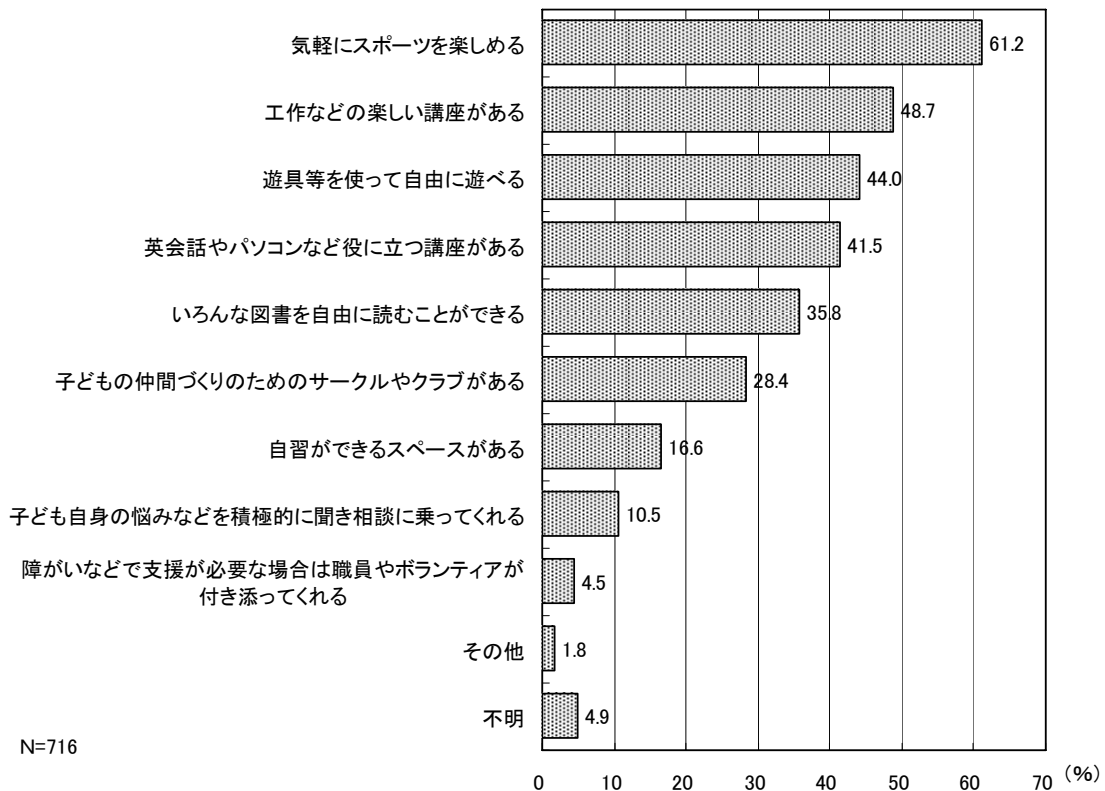
■休日

「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が半数以上で特に多い。



問２２ 公民館や青少年会館などの公共施設でどのような企画やサービスがあれば利用してみたいと思いますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

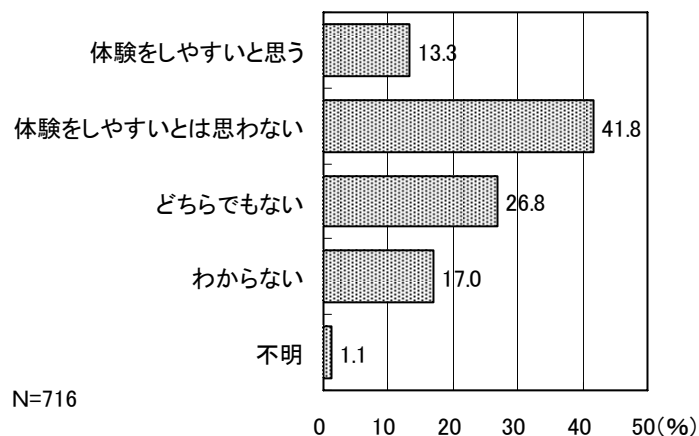
利用してみたいと思う公共施設での企画、サービスとしては、「気軽にスポーツを楽しめる」が最も多く、次が「工作などの楽しい講座がある」である。



封筒のあて名のお子さんの地域における自然体験、社会参加、文化活動などへの参加状況についてお伺いします。

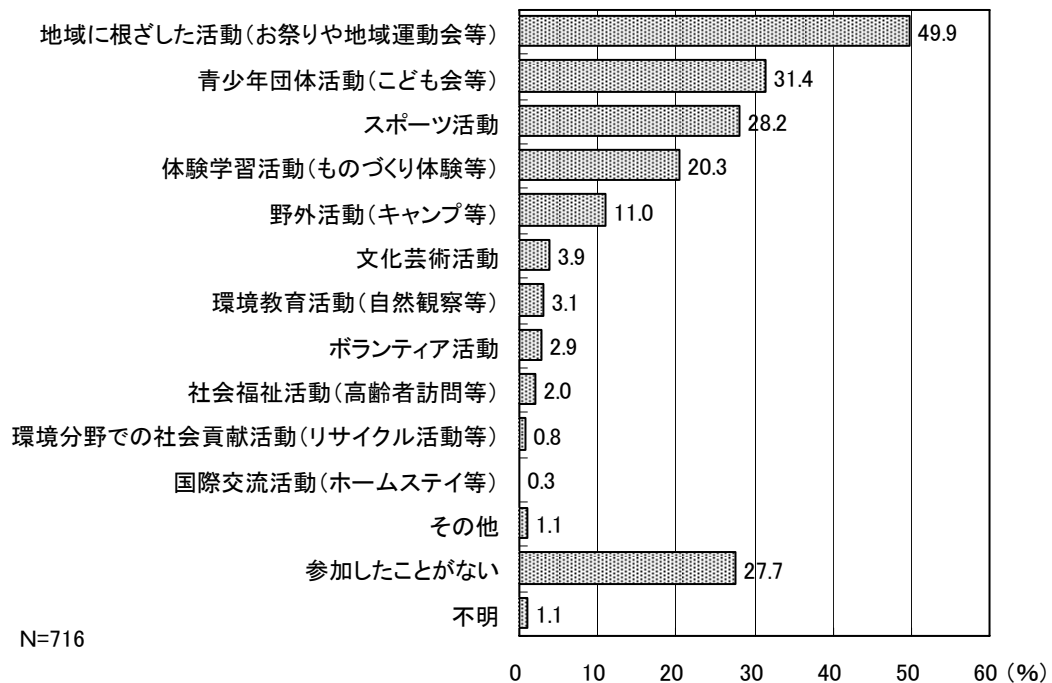
問２３ 地域の環境が、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。

「体験をしやすいとは思わない」という人が 41.8%と多く、「体験をしやすいと思う」人は 13.3%である。



問24 参加したことがある地域における自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

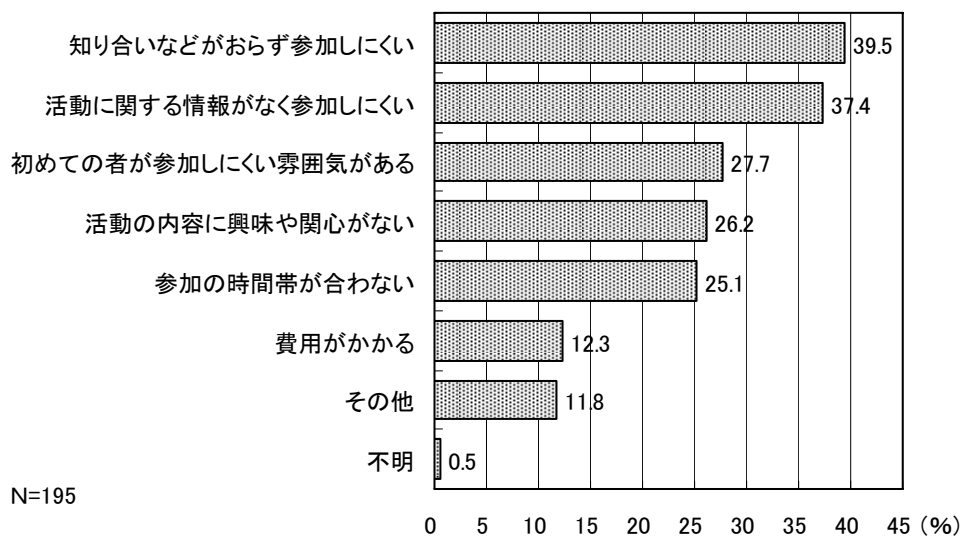
最も多いのが「地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会等）」であり、次が「青少年団体活動（こども会等）」である。



問24-1は、問24で「13.」を選ばれた方にお伺いします。

問24-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

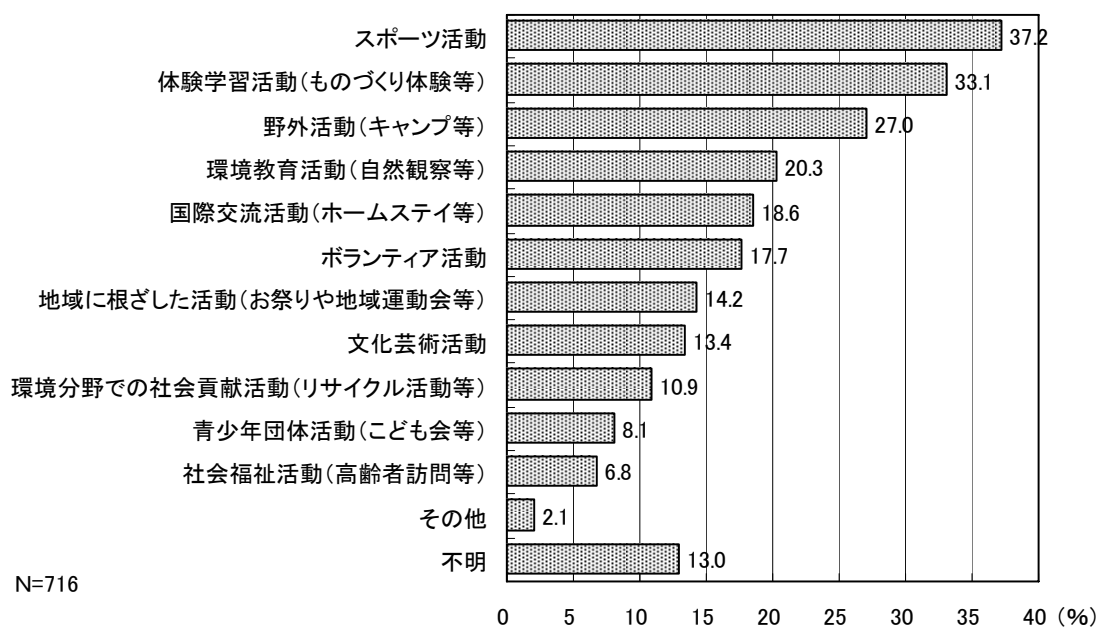
参加していない理由としては、「知り合いなどがおらず参加しにくい」が最も多く、次が「活動に関する情報がなく参加しにくい」である。



すべての方にお伺いします。

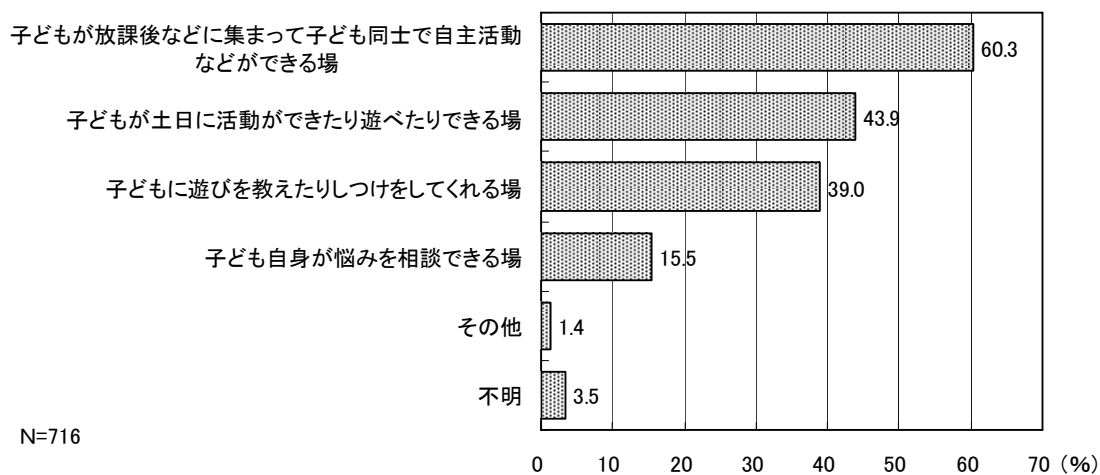
問 2 4 - 2 お子さんが参加したことはないが、今後参加したいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

最も多いのは「スポーツ活動」、次が「体験学習活動(ものづくり体験等)」である。



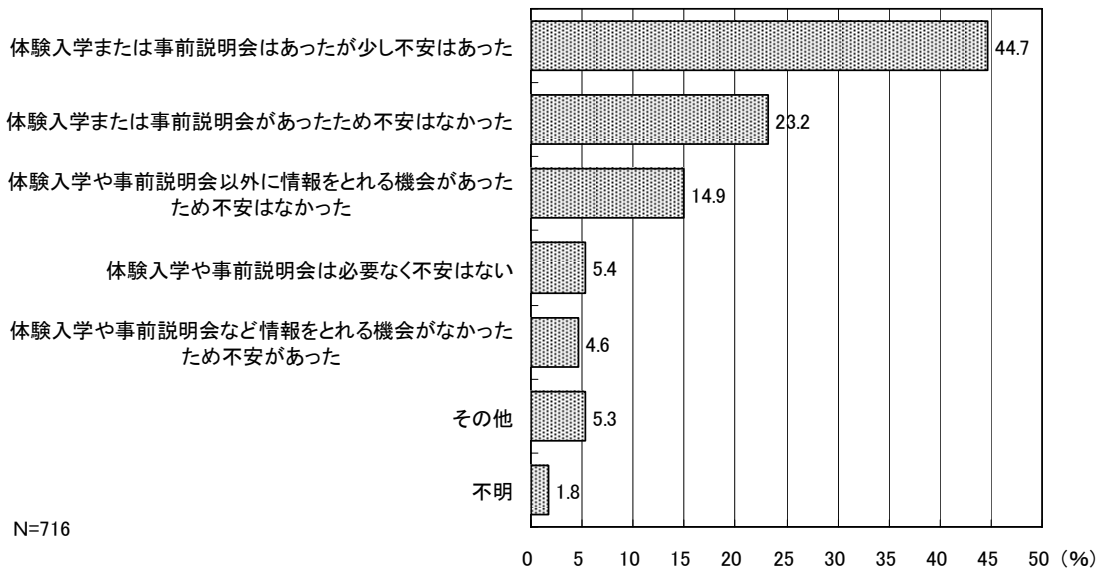
問 2 5 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

最も多いのは「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」であり、次が「子どもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」である。



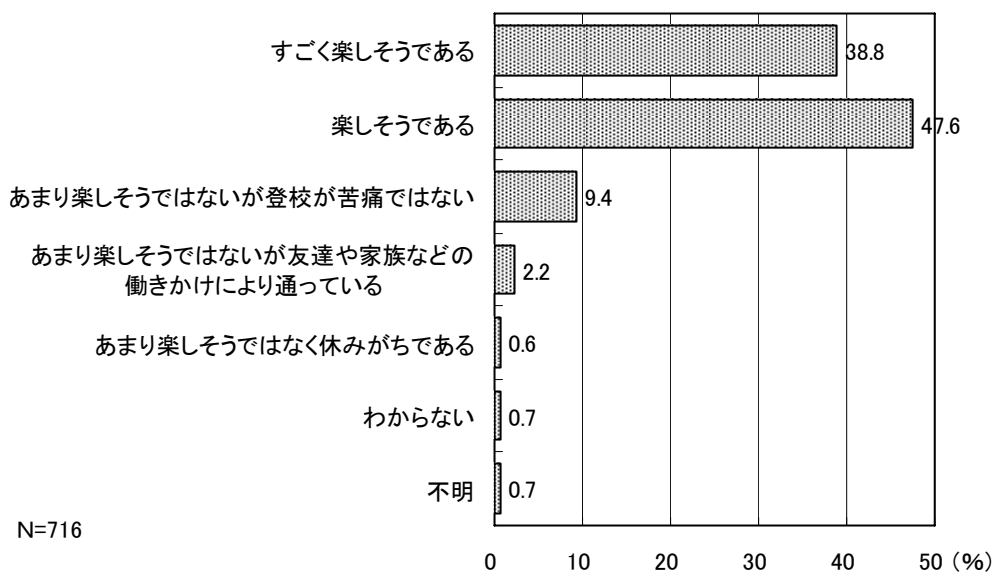
問 2 6 あなたはお子さんが幼稚園や保育所から小学校に入学する際、小学校での生活などについてうまく過ごせるか不安がありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「体験入学または事前説明会はあったが少し不安はあった」という人が44.7%で最も多く、子どもが小学校に入学する際に、不安を感じていた保護者が半数近くあることがわかる。



問 2 7 あなたのお子さんは学校に行くのが楽しそうですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

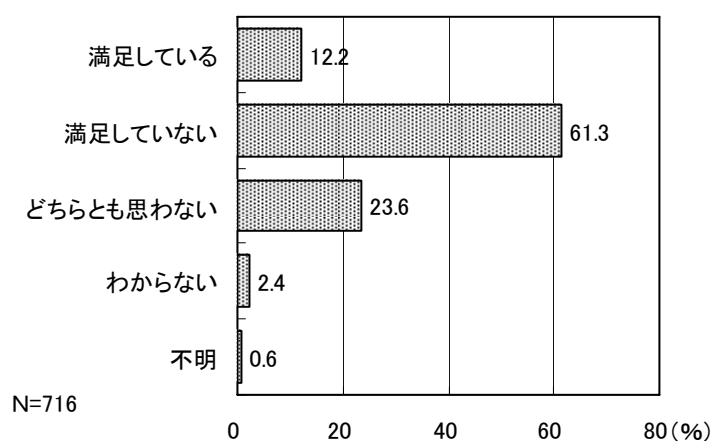
「すごく楽しそうである」と「楽しそうである」を合わせると、86.4%が楽しそうであると回答している。



13. 子育てを支援する生活環境の整備についてお伺いします。

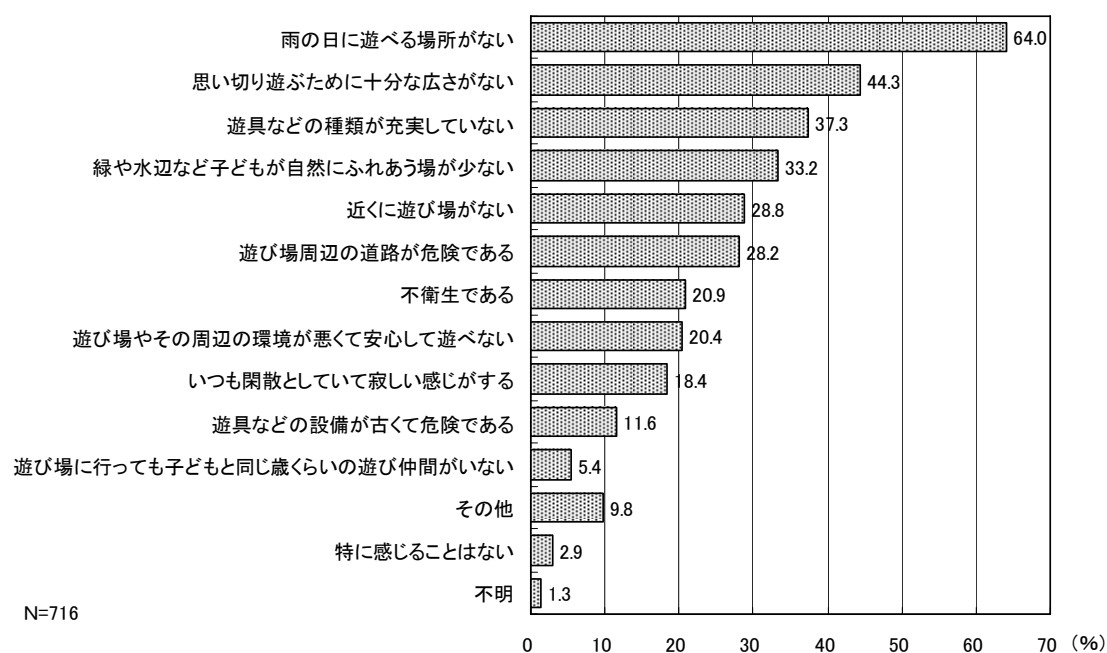
問28 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

地域における子どもの遊び場に関しては、「満足していない」という人が半数以上にのぼっている。



問29 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることとしては、「雨の日に遊べる場所がない」が最も多く、次が「思い切り遊ぶために十分な広さがない」である。



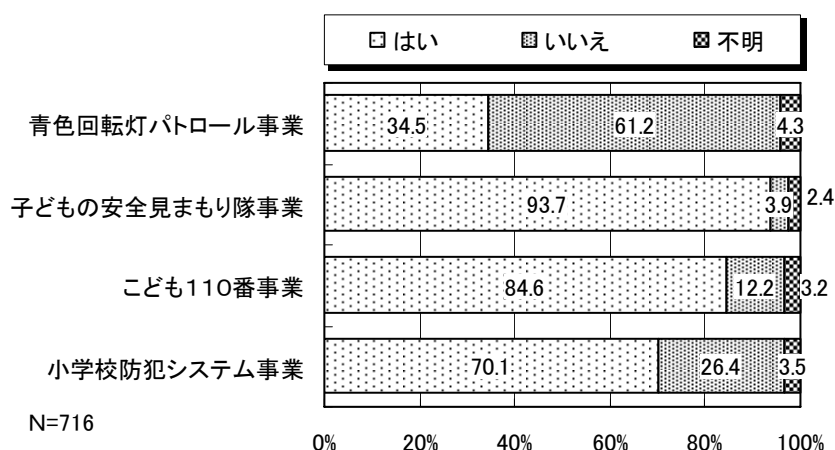
14. 子どもの安全の確保についてお伺いします。

子どもの安全を確保するための取組やサービスの認知度等についてお伺いします。

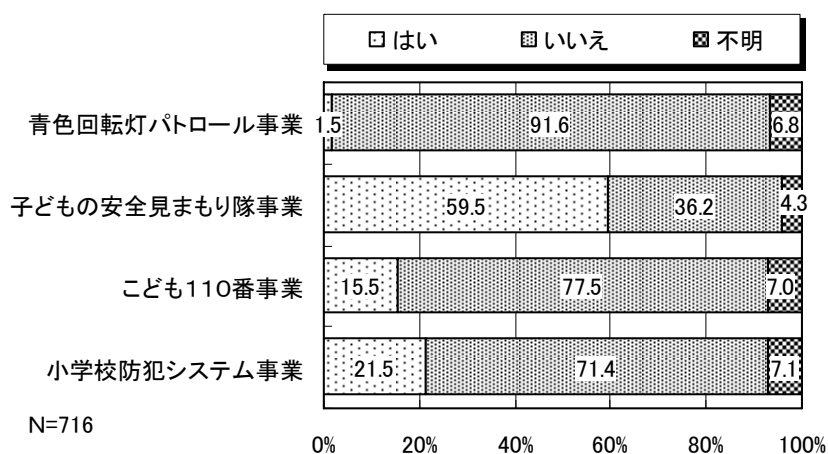
問30 下記の取組やサービスを知っていたり、これまでに協力したことはありますか。また、今後、協力したいと思いますか。サービスごとに、「1. はい」、「2. いいえ」のどちらかに○をつけてください。

子どもの安全を確保するための取組やサービスの認知度等については、「青色回転灯パトロール事業」の認知度が他と比べて低い。これまでに協力したことがある事業としては、「子どもの安全見まもり隊事業」が半数以上で特に多い。今後協力したい事業では、「子どもの安全見まもり隊事業」が最も多く、次が「こども110番事業」である。

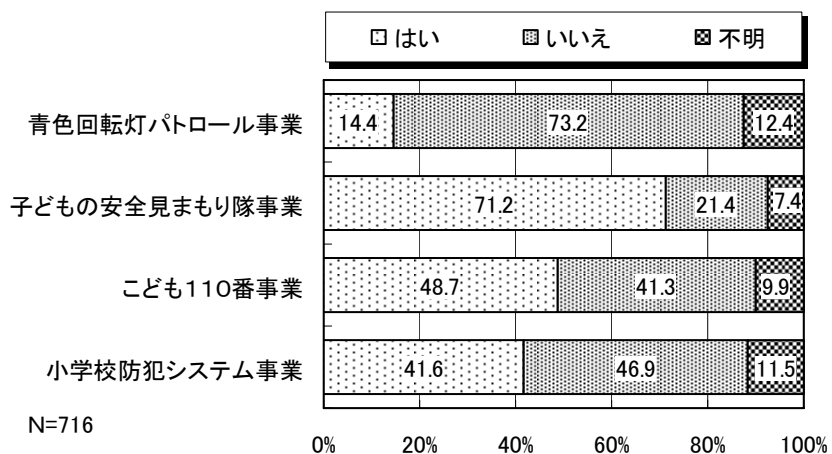
A. 知っている



B. これまでに協力したことがある

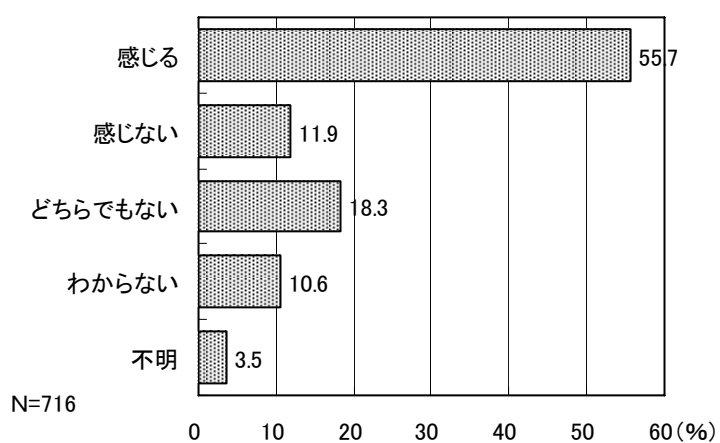


C. 今後協力したい



問3 1 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

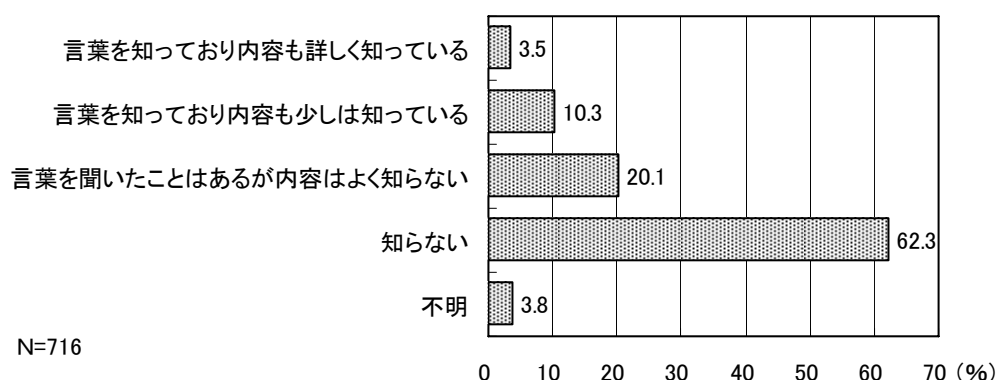
増加していると「感じる」人は55.7%と半数以上であり、多くの人が子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じていることがわかる。



15. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします。

問32 「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

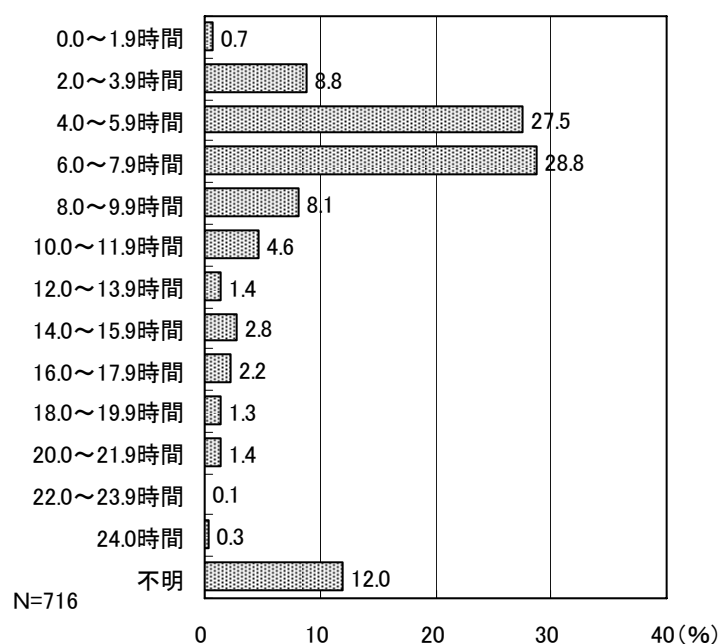
「仕事と生活の調和」または「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度では、「知らない」と回答した人が62.3%であり、認知度が低いことがわかる。

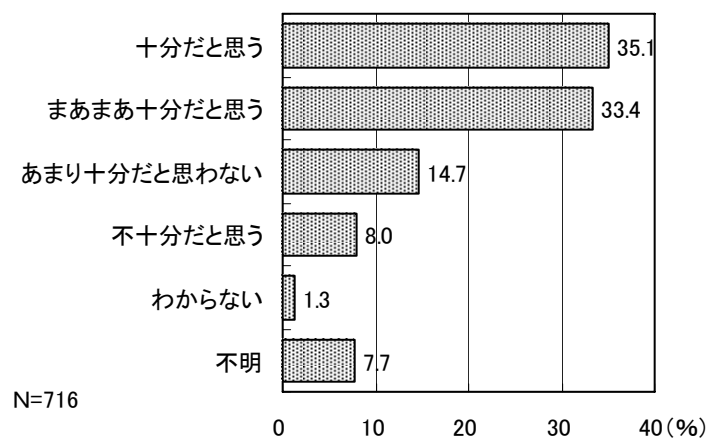


問33 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思いますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

（1）母親

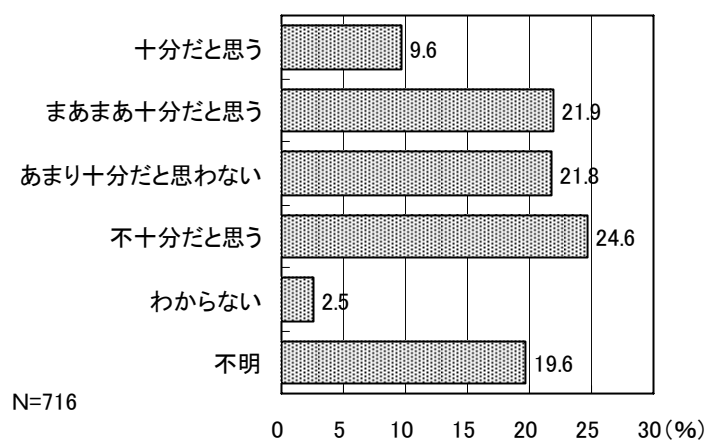
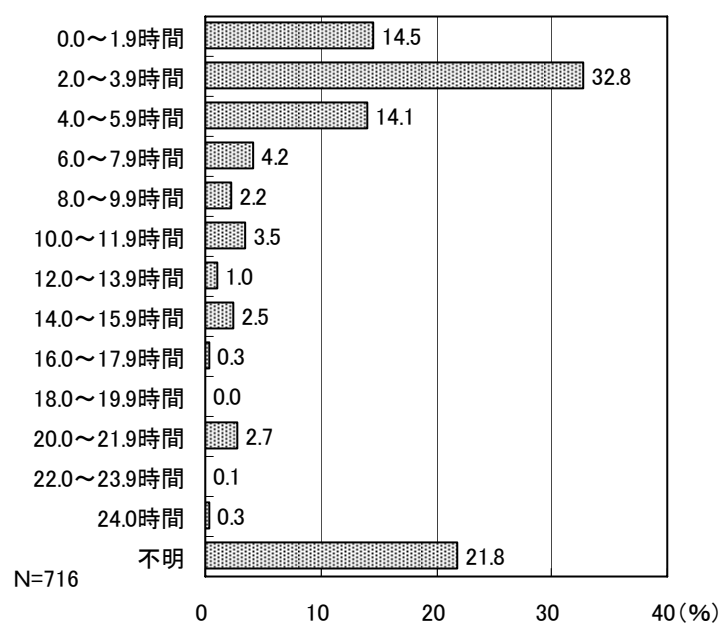
母親が1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間は、「6.0～7.9時間」が最も多く、次が「4.0～5.9時間」である。また、一緒に過ごす時間については「十分だと思う」人が35.1%である。





(2) 父親

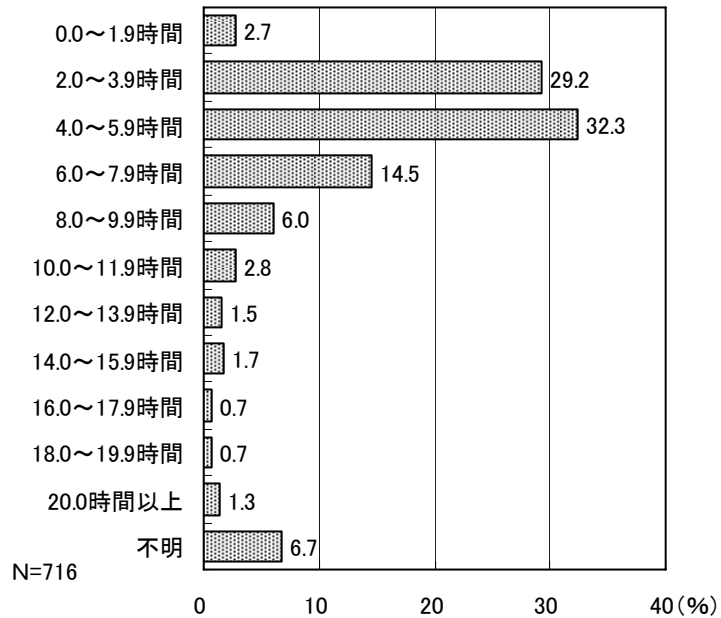
父親が1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間は、「2.0～3.9時間」が最も多い。また、一緒に過ごす時間については「不十分だと思う」人が24.6%と最も多く、「あまり十分だと思わない」と人合わせると46.4%が不十分と回答している。



問3 4 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。(1週間の平均的な時間をお答えください。)

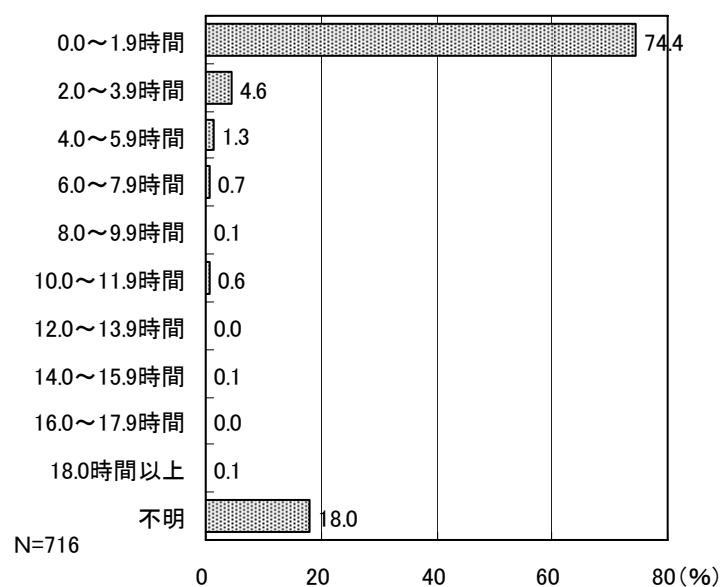
(1) 母親

母親の1日当たりの家事の時間は、「4.0～5.9時間」が最も多く、次が「2.0～3.9時間」である。



(2) 父親

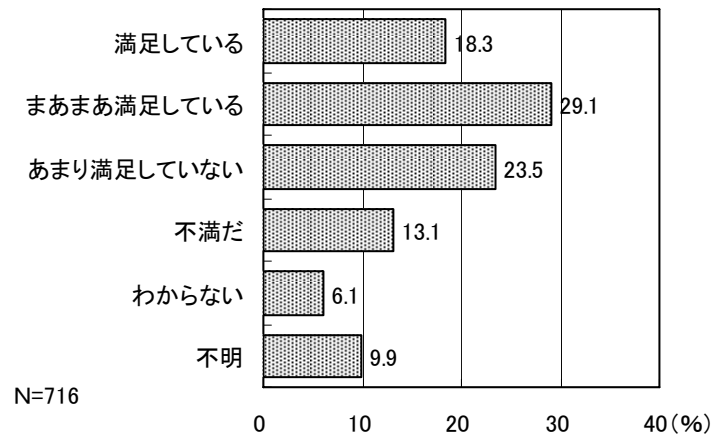
父親の1日当たりの家事の時間は、「0.0～1.9時間」(2時間未満)が74.4%と大半を占めている。



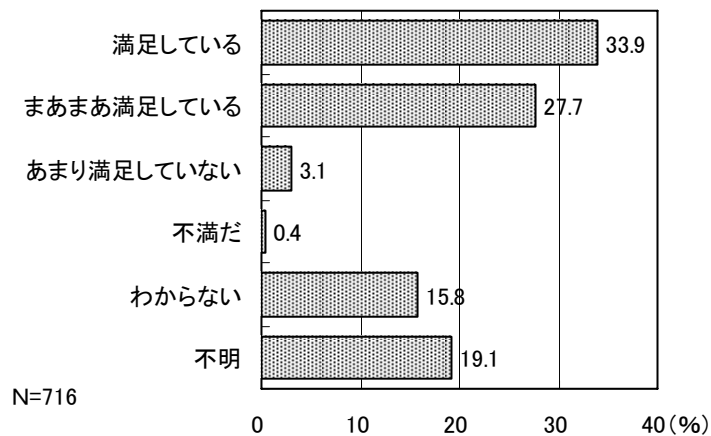
問35 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

配偶者との家事、育児分担の満足度をみると、母親は「あまり満足していない」と「不満だ」を合わせると36.6%が満足していないが、父親は満足していない人は3.5%と少なく、男女で家事、育児分担の満足度に大きな差があることがわかる。

(1) 母親



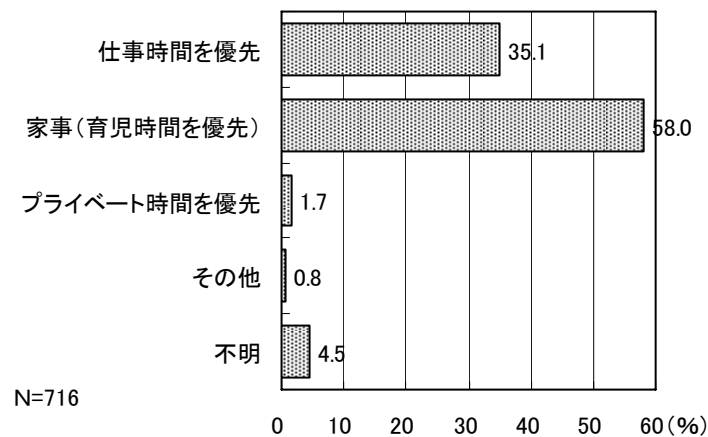
(2) 父親



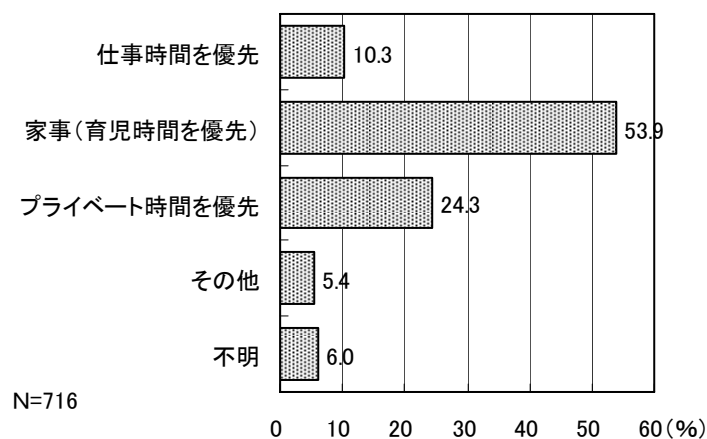
問36 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。それぞれについてあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度をみると、「家事（育児時間を優先）」は現実と希望の両方で最も多く、「プライベート時間を優先」は希望する人は24.3%あるが、現実にはできていない人は1.7%と大変少なく、仕事を優先している人が多いになっている。

（1）現実

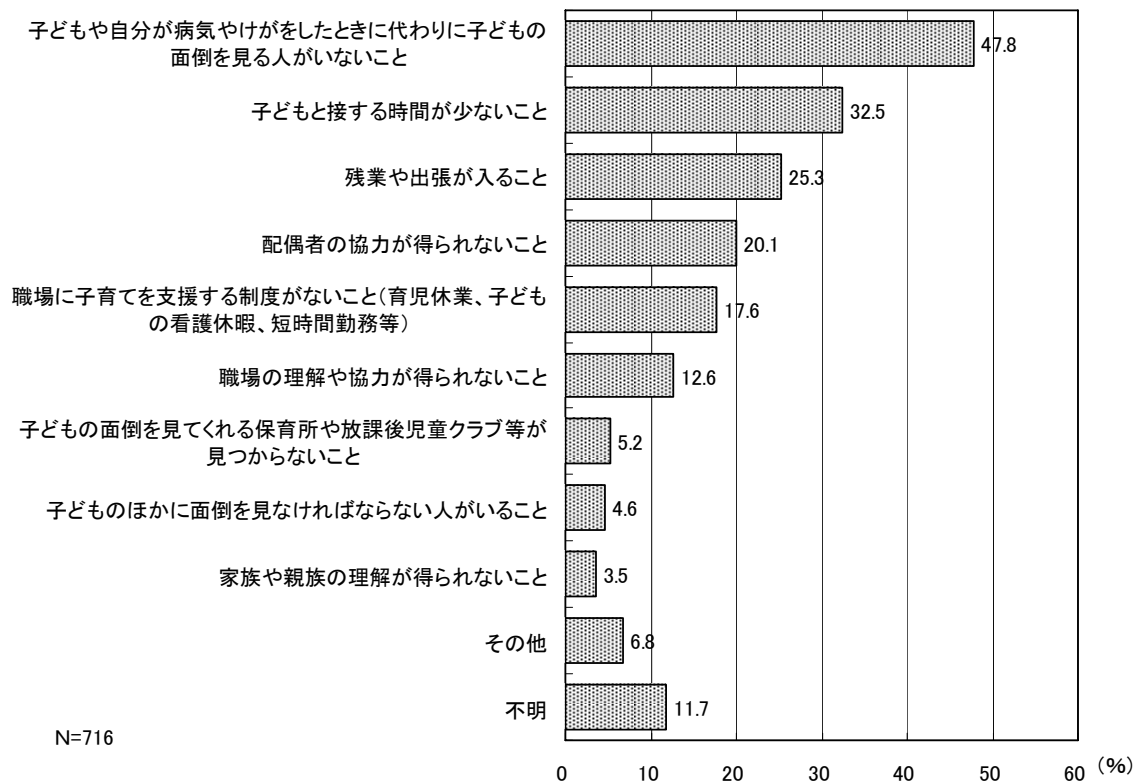


（2）希望



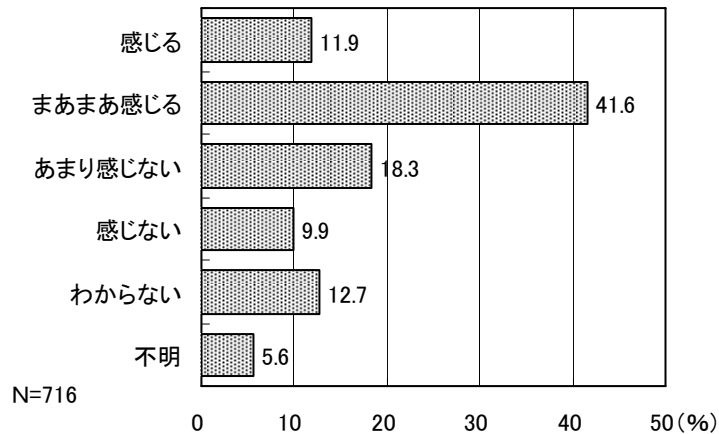
問37 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこととしては、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもの面倒を見る人がいないこと」が最も多く、次が「子どもと接する時間が少ないこと」である。



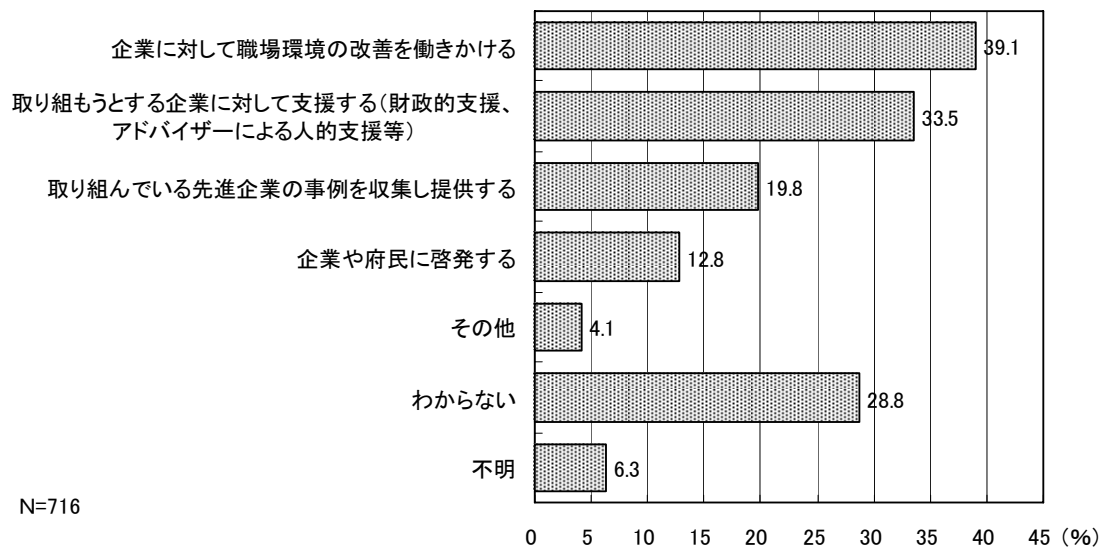
問38 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

仕事と生活の調和については、調和が図られていると「感じる」人と「まあまあ感じる」人を合わせて、53.5%の人が調和が図られていると感じている。



問39 あなた（またはあなたの配偶者）の勤務先で、労働時間の短縮、休暇の取得促進、育児休業取得促進等が進むため、行政のどのような取り組みが必要と思いますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

「企業に対して職場環境の改善を働きかける」が最も多く、次が「取り組もうとする企業に対して支援する（財政的支援、アドバイザーによる人的支援等）」である。



16. 行政サービスへの要望についてお伺いします。

問40 行政（市町村、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」が最も多く、次に「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」「子どもの安全を確保する対策を充実する」と続いている。

